

舞鶴市 男女共同参画に関する市民アンケート調査  
結果報告書

令和3年3月

舞 鶴 市

# 目次

|  |     |
|--|-----|
| ① 調査の概要 .....                                | 1   |
| ② 調査結果のまとめ.....                              | 3   |
| ③ 調査結果.....                                  | 9   |
| 本調査における回答者の属性（問 28～問 32） .....               | 9   |
| Ⅰ 男女共同参画に関する意識について（問 1～問 2） .....            | 13  |
| Ⅱ 働く場における男女平等について（問 3～問 5） .....             | 66  |
| Ⅲ 仕事と家庭・地域生活について（問 6～問 12） .....             | 80  |
| Ⅳ ドメスティック・バイオレンス（DV）について（問 13～問 20） .....    | 137 |
| Ⅴ 子育て・教育について（問 21～問 22） .....                | 163 |
| Ⅵ 災害について（問 23） .....                         | 174 |
| Ⅶ フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）について（問 24～問 26） ..... | 176 |
| Ⅷ 男女共同参画全体について（問 27・自由記述） .....              | 187 |
| ④ 調査票 .....                                  | 193 |

## ① 調査の概要

### 1 調査の目的

本市では、令和3年度に『舞鶴市男女共同参画計画（まいプラン）（第3次）』の中間年を迎えることから、更なる施策の充実を図るための計画の見直しを予定しています。本調査は、その基礎調査として、市民の皆さんのお考えや現状を調べることを目的に実施しました。

### 2 調査設計

#### 調査対象者

令和2年7月1日現在、舞鶴市に住んでいる18歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出

#### 調査期間

令和2年8月1日～8月21日

#### 調査方法

- ・調査票による本人記入方式
- ・郵送配布・郵送回収による郵送調査法

### 3 回収結果

| 調査対象者（配布数） | 有効回収数 | 有効回収率 |
|------------|-------|-------|
| 2,000      | 792   | 39.6% |

#### 4 報告書の見方

- この報告書は、調査の概要、調査結果のまとめ、調査結果、調査票の4部から構成されています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文とグラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては、結果を詳細に分析するため、クロス集計表を掲載しています。
- 本報告書では「不明・無回答」も含めたデータを用いています。ただし、令和元年度国調査の結果と比較する際には、令和元年度国調査のデータが「不明・無回答」を除いたものであるため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものを用いています。
- 前回調査（平成27年度）については、「舞鶴市男女共同参画に関する市民・事業所アンケート調査結果報告書（平成28年3月）」から参照しています。

## ② 調査結果のまとめ

本調査は、9個の分野と32個の問から構成されています。

| 分野                     | 問                                    |
|------------------------|--------------------------------------|
| I 男女共同参画に関する意識         | 問1 (1)～(5)<br>性別による分業や役割分担に関する意識     |
|                        | 問2 (1)～(9)<br>男女平等に関する意識             |
| II 働く場における男女平等         | 問3 責任ある職務や指導的立場における女性の比率が低いことについての考え |
|                        | 問4 責任ある職務や指導的立場への女性の参画を促進するために必要なこと  |
|                        | 問5 男女がともに働きやすい環境をつくるために必要なこと         |
| III 仕事と家庭・地域活動         | 問6-1 回答者の職業                          |
|                        | 問6-2 回答者の配偶者（パートナー）の職業               |
|                        | 問7-1 回答者が収入を得る仕事に就いていない理由            |
|                        | 問7-2 回答者の配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていない理由 |
|                        | 問8 女性が仕事をもつことについての考え                 |
|                        | 問9 女性が働き続けたり再就職したりする上で支障となっていること     |
|                        | 問10 家庭生活・地域活動における役割分担                |
|                        | 問11 (1)～(2)<br>仕事と家庭生活・地域活動の希望と現状    |
| IV ドメスティック・バイオレンス (DV) | 問12 男性が家庭生活・地域活動に積極的に参加していくために必要なこと  |
|                        | 問13 DVであると認識されているもの                  |
|                        | 問14 DVを受けた経験の有無とその内容                 |
|                        | 問15 DVを受けた際の相談先                      |
|                        | 問16 DVを受けた際に誰にも相談しなかった理由             |
|                        | 問17 暴力に関する相談機関として認識されているもの           |
|                        | 問18 DVを解決するために必要なこと                  |
| 問19 DVを防止するために必要なこと    |                                      |

|                               |                                       |
|-------------------------------|---------------------------------------|
|                               | 問 20 女性に対する暴力や悩みなどを相談する窓口で配慮すべきこと     |
| V 子育て・教育                      | 問 21 (1)～(3)<br>子育てについての考え方           |
|                               | 問 22 学校教育の場における男女共同参画を推進するために必要なこと    |
| VI 災害                         | 問 23 災害に備えるために今後必要な施策                 |
| VII フレアス舞鶴<br>(舞鶴市男女共同参画センター) | 問 24-1 フレアス舞鶴の認知度                     |
|                               | 問 24-2 フレアス舞鶴の利用経験                    |
|                               | 問 25 フレアス舞鶴について認識されていること              |
|                               | 問 26 フレアス舞鶴の事業として充実すべきこと              |
| VIII 男女共同参画全体について             | 問 27 男女共同参画社会の実現に向けて舞鶴市が力を入れて取り組むべきこと |
| IX 回答者自身について                  | 問 28 回答者の性別                           |
|                               | 問 29 回答者の年齢                           |
|                               | 問 30 回答者の結婚の状況                        |
|                               | 問 31-1 回答者の子どもの人数                     |
|                               | 問 31-2 回答者の一番下の子どもの年齢                 |
|                               | 問 32 回答者の家族構成                         |

#### 本調査における回答者の属性（問 28～問 32）

回答者の男女比を見ると、女性が占める割合の方が高く、55.7%となっています。年齢別では 60 歳代の占める割合が 20.7%と最も高く、60 歳代と 70 歳以上の回答者が 41.0%を占めています。回答者の 67.8%は現在結婚しており（内縁・事実婚を含む）、主な家族構成は「親と子（2 世帯）」(44.6%)と「夫婦またはパートナーと 2 人だけ」(26.4%)です。また、回答者の 69.6%は子どもが 1 人以上います。一番下の子どもの年齢を見ると、18 歳までの子どもがいる回答者が 29.0%、19 歳以上の子どもがいる回答者が 56.0%となっています。

## I 男女共同参画に関する意識（問1～問2）

性別による分業や役割分担に関する5個の考え方の中で「抵抗を感じる」の割合が最も高いのは「(1)「女(男)だから・・・」「女(男)のくせに・・・」といった言い方」で58.3%となっています。また、「抵抗を感じない」の割合が最も高いのは「(3)自治会長など地域の役員に女性がなる」で84.0%となっています。

男女平等に関する意識については以下のようになっています。9項目のうち「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計は、「(8)社会通念・習慣・しきたりなど」の割合が66.1%と最も高く、次いで「(6)政治の場」が66.0%「(2)雇用の機会や働く場」が65.8%となっています。一方、「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計が50.0%を超えている項目はありません。「男女が平等である」の割合は「(4)学校教育の場」の割合が60.6%と最も高く、「(1)家事や育児など家庭生活」は11.1%と最も低いです。

## II 働く場における男女平等（問3～問5）

責任ある職務や指導的立場にある女性の比率が低いことについては「適正のある女性はどんどん登用していくべき」が77.1%と最も高いです。「このままでよい」と「女性は登用しなくてよい」は合わせて5.1%となっています。また、そのような立場にある女性の比率を高めていくための方法としては、「男性の意識改革を進める」の割合が46.8%と最も高いです。さらに、「女性の意識改革を進める」も35.2%と2番目に高く、男女両方の意識改革が重視されていると言えます。

男女ともに働きやすい環境の実現のためには家事・育児・介護における男女の協力や、育児休業・介護休業をとりやすくすること、離職後の職場復帰を可能にする制度などが重視されています。一方、「能力開発のための研修やセミナーを開催する」の割合は最も低く、「すでに男女がともに働きやすい環境になっている」と「その他」を除くと、唯一1桁となっています。

### Ⅲ 仕事と家庭・地域生活（問6～問12）

回答者自身の職業も回答者の配偶者（パートナー）の職業も「勤め人（正規・常勤）」の割合が最も高く、ともに30%台となっています。また、女性が仕事をもつことについては、「子どもができて、ずっと仕事を持ち続ける方がよい」の割合が47.1%と最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」は28.2%となっています。しかし、男女がともに家事や育児、介護に関わるという意識がないことや、職場の理解・協力を得ることが難しいことが女性の就労継続や再就職における主な支障となっています。

また、仕事と家庭生活・地域活動のバランスについて希望と現状を比較すると、両立させることを希望している回答者の割合が高いです。しかし、実際には仕事に専念している、またはどちらかという仕事を優先させているという状況となっています。

家庭生活と地域活動における役割分担については以下のようになっています。10項目のうち夫が中心に担っていることとしては「生活費を得る」の割合が64.9%と最も高く、「食事の支度」は1.9%と最も低いです。妻が中心に担っていることとしては「食事の支度」の割合が89.8%と最も高く、「生活費を得る」は2.6%と最も低いです。夫と妻が同程度に担っていることとしては「近所付き合い」の割合が48.6%と最も高く、「食事の支度」は8.6%と最も低いです。

また、男性が家庭生活や地域活動に積極的に参加していくために必要なこととしては夫婦や家族間のコミュニケーションを図ることや、家事や育児などに対する男性の抵抗感をなくすこと、積極的に参加する男性への職場や周囲の理解を促進することがそれぞれ約35.0%で、上位3項目となっています。

### Ⅳ ドメスティック・バイオレンス（DV）（問13～問20）

DVとして認識されているものは「身体的暴力」が90.3%と最も高く、その他の選択肢もすべて55.0%以上となっています。また、実際にDVを受けたことがある回答者は19.3%であり、その内容としては「おどす、大声でどなる」が8.8%と最も高いです。

DVを受けた際の対応については、「不明・無回答」を除くと「誰にも相談していない」が33.7%と最も高いです。一方、誰かに（どこかに）相談した回答者が選択した相談先としては、家族や親族、同僚や友人の割合が高くなっています。また、行政機関は下位3項目の1つとなっており、このことは、暴力に関する相談を受け付けている行政機関の中で知っているものを尋ねている問17の結果にも影響していると考えられます。問17では、「警察署」と「市の「女性のための相談室」」、「市の人権啓発推進課」につ

いては知っている回答者の割合が比較的高いです。しかし、これらを除くと他の選択肢は平均 8.1%となっています。また、「どれも知らない」の割合が 16.2%と 4 番目に高いです。このように、DV を受けても相談していない回答者の割合の方が高く、相談先として多くの回答者に認識されているものは少ないと言えます。

DV の解決に必要なこととしては、「被害者のための緊急避難場所を提供する」、「警察が適切に対応する」、「弁護士などに気軽に相談できるようにする」の割合が 30%台と高いです。また、DV の防止に必要なこととしては、「暴力をふるったものへの罰則を強化する」、「学校で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」の割合がそれぞれ 50.0%以上と高くなっています。解決策については被害者保護の視点の選択肢、防止策については加害者視点の選択肢の割合が高いと言えます。また、加害者に対しては教育を行うことよりも罰則を強化することの方が重視されているという点は共通しています。

#### V 子育て・教育（問 21～問 22）

子育てに関する 3 つの考え方について、「そう思う」の割合が最も高いのは「男女に関わらず、個性や能力、希望に応じて育てる方がよい」であり、91.7%となっています。一方、「そう思わない」の割合が最も高いのは「子どもは、家庭で母親が育てる方がよい」であり、58.8%となっています。

また、学校教育の場における男女共同参画の推進に必要なこととしては「個人の能力、個性、希望を重んじた進路指導」の割合が 78.8%と最も高いです。一方、「保護者へ男女共同参画を広報し、啓発を行う」の割合は 17.4%と最も低くなっています。

#### VI 災害（問 23）

災害に備えるためにこれから必要な施策については、備蓄品の整備や避難所運営マニュアルの作成において多様な人の視点を入れたり配慮を盛り込んだりするものの割合が 50.0%以上と高くなっています。一方、「その他」と「特に必要なことはない」を除くと「男女共同参画の視点を取り入れた防災の研修・講座の実施」の割合は最も低く、唯一 10%台となっています。

## VII フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）（問 24～問 26）

回答者の 79.2%がフレアス舞鶴を知らないと回答しており、知っている回答者の 4.7 倍となっています。さらに、知っている回答者の中でも利用したことがない回答者の割合の方が 73.7%と高く、利用したことがある回答者の 3 倍となっています。フレアス舞鶴の機能として認識されていることとしては、「中総合会館の 5 階にある」の割合が 78.2%と最も高く、「団体登録制度があり、情報交換や交流ができる」の割合が 19.5%と最も低くなっています。また、施設の所在地以外に 50.0%以上となっている選択肢はなく、「どのようなことが行われているのか知らない」が 17.3%となっています。一方、フレアス舞鶴を知っている回答者が充実させるべきと考えていることとしては「さまざまな悩みに対する相談事業」と「働く上で役立つ各種講座」、「起業や就業・再就職を目指す女性のための講座」の割合が高く、それぞれ 20%台から 30%台となっています。

## VIII 男女共同参画全体（問 27）

男女共同参画社会の実現に向けて舞鶴市が力を入れるべきことについては、子育てや介護に従事する人への支援に関するものの割合が高くなっています。一方、相談を除く女性への支援や女性の人材育成に関するものについては割合が低くなっています。

### ③ 調査結果

以下では各問について、単純集計の結果、舞鶴市における平成 27 年度調査と国の調査の結果（内閣府 男女共同参画に関する世論調査（令和元年 9 月））との比較、回答者の属性ごとの結果、について説明していきます。

本調査における回答者の属性（問 28～問 32）

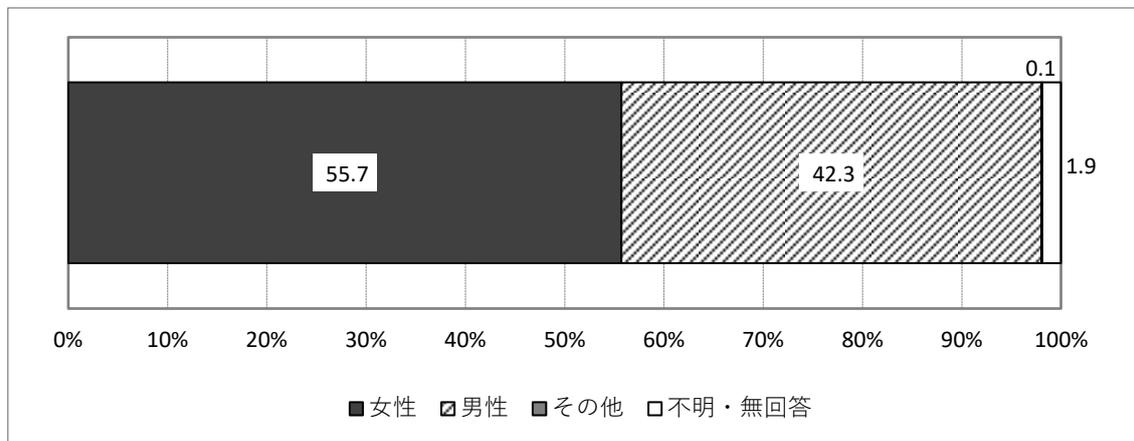
本調査では、性別と年齢、結婚の状況、子どもの人数と年齢、家族構成という観点から回答者の属性を把握しています。調査票の中では最後の問となっていますが、調査結果を見る上で基本となる情報であるため、本報告書では最初に説明します。

問 28 あなたの性別は。

単数回答 (N=792)

回答者を性別で分けると、女性の方が男性よりも高い割合を占めています。(図表 1)

図表 1



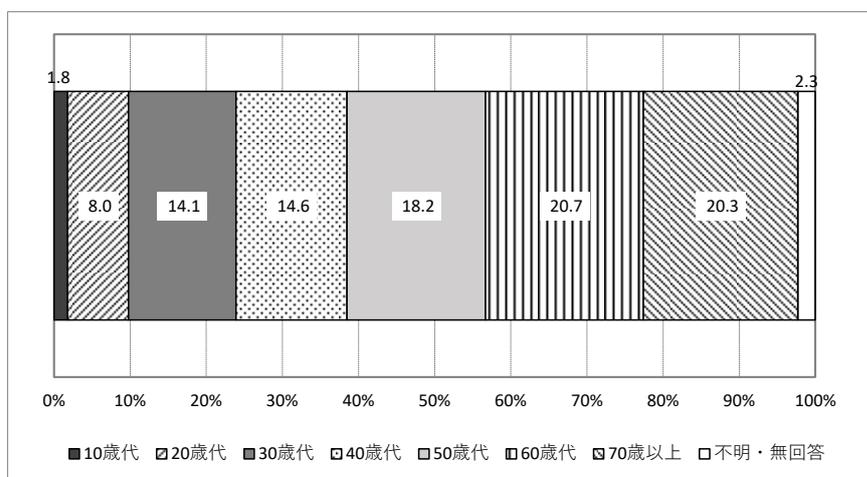
問 29 あなたの年齢は。(記入日の時点で)

単数回答 (N=792)

回答者の年齢を 10 歳ごとに区切ると、60 歳代の占める割合が最も高く、次いで 70 歳以上、50 歳代となっています。また、60 歳代と 70 歳以上が 41.0%を占めています。

(図表 2)

図表 2

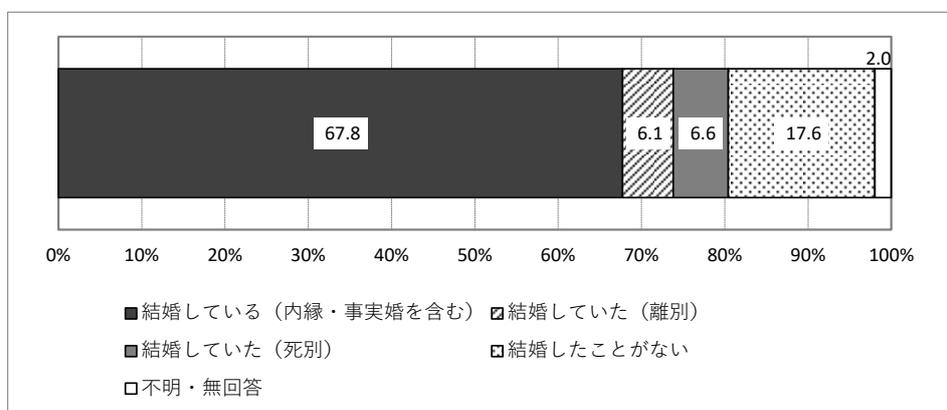


問 30 あなたは現在結婚されていますか。

単数回答 (N=792)

「結婚している (内縁・事実婚を含む)」が 67.8%と最も高く、次いで「結婚したことがない」が 17.6%となっています。(図表 3)

図表 3



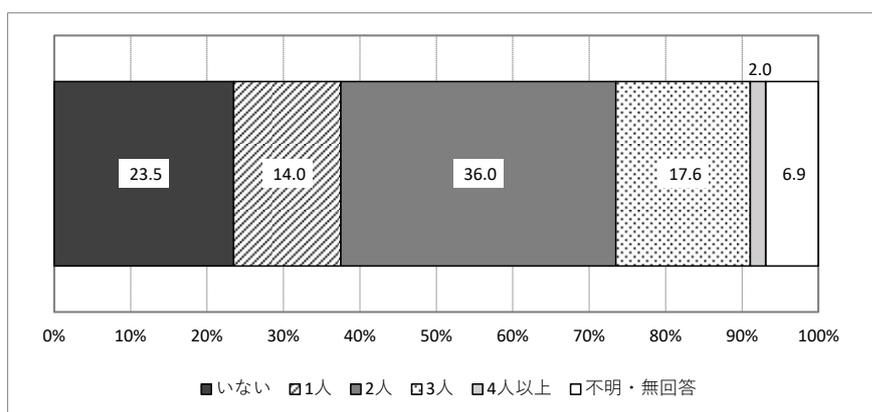
問 31 お子さんについてお尋ねします。

問 31-1 あなたにはお子さんがおられますか。また、何人おられますか。

単数回答 (N=792)

子どもがいる回答者は 69.6%です。子どもの人数は 2 人が 36.0%と最も高く、次いで 3 人が 17.6%、1 人が 14.0%となっています。(図表 4)

図表 4

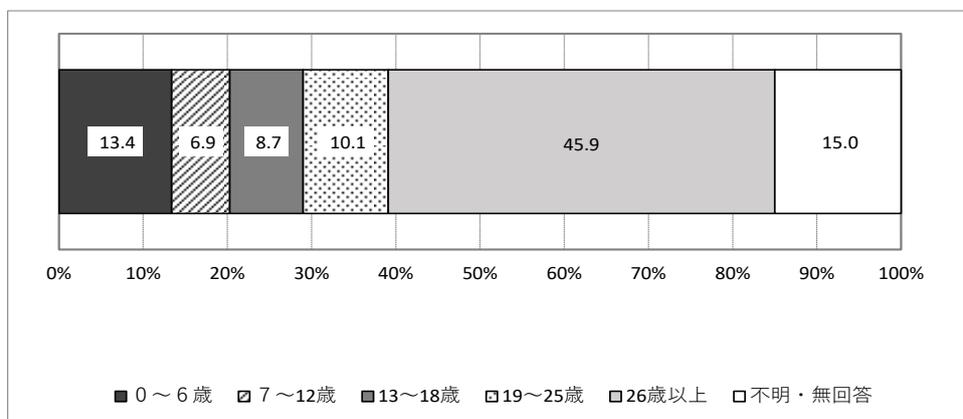


問 31-2 一番下のお子さんは何歳ですか。

数量回答 (N=606)

子どもがいる回答者のうち、18歳までの子どもがいる回答者は 29.0%、19歳以上の子どもがいる回答者は 56.0%となっています。18歳までの子どもがいる回答者のうち、一番下の子どもの年齢としては 0~6歳の割合が 13.4%と最も高く、次いで 13~18歳が 8.7%、7~12歳が 6.9%となっています。(図表 5)

図表 5

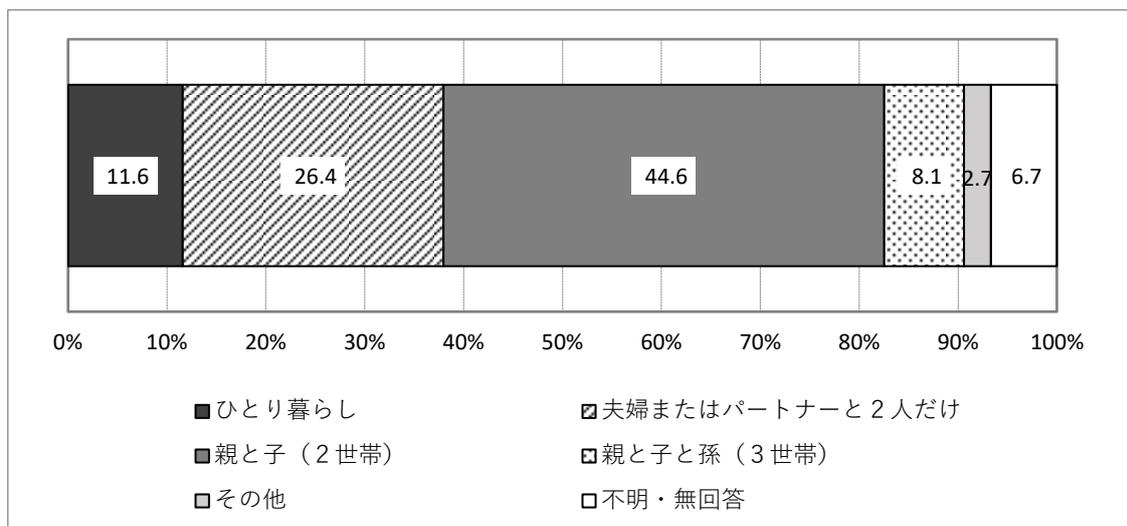


問 32 あなたの現在の家族構成はどれにあたりますか。(○は1つ)

単数回答 (N=792)

「親と子(2世帯)」が44.6%と最も高く、次いで「夫婦またはパートナーと2人だけ」が26.4%、「ひとり暮らし」が11.6%となっています。また、「夫婦またはパートナーと2人だけ」と「親と子(2世帯)」を合わせると71.0%となります。(図表6)

図表6



I 男女共同参画に関する意識について（問1～問2）

Iでは、性別分業と男女平等についてどのように考えているかをそれぞれ5段階で尋ねています。

問1 あなたは、次の（1）～（5）についてどのように思いますか。

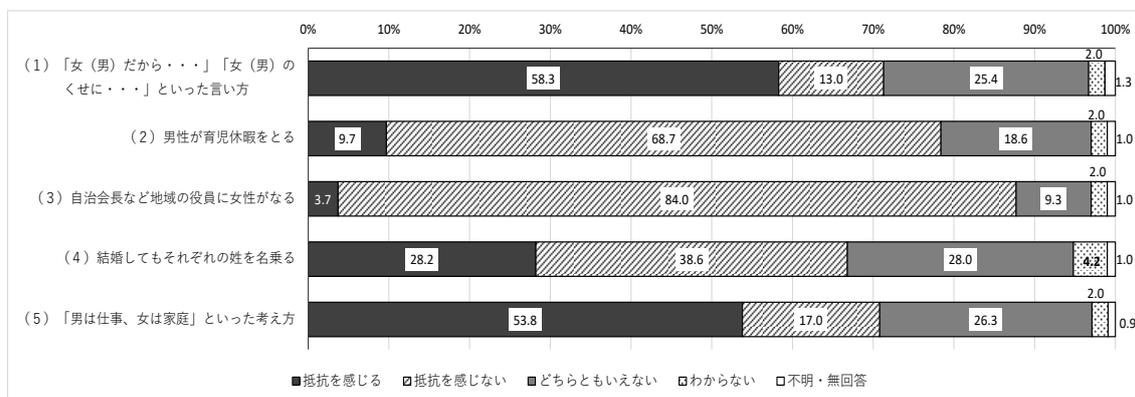
（○はそれぞれ1つ）

単数回答（N=792）

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、性別、年齢

（1）から（5）の単純集計の結果をまとめると、図表I-1のようになります。「（1）女（男）だから・・・」「女（男）のくせに・・・」といった言い方」と「（5）「男は仕事、女は家庭」といった考え方」の2つは「抵抗を感じる」が50.0%以上となっています。一方、「（2）男性が育児休暇をとる」と「（3）自治会長など地域の役員に女性になる」については「抵抗を感じる」は10.0%未満であり、「抵抗を感じない」の割合が高くなっています。「（4）結婚してもそれぞれの姓を名乗る」については、他の選択肢と比べると「抵抗を感じる」と「抵抗を感じない」、「どちらともいえない」の3つの差が小さくなっています。

図表 I - 1

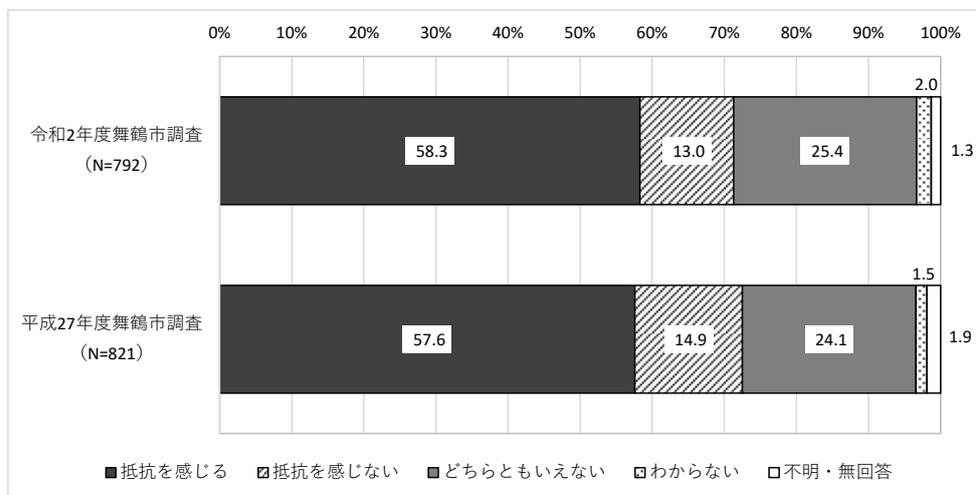


(1) 「女（男）だから・・・」「女（男）のくせに・・・」といった言い方

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化はなく、「抵抗を感じる」が 50%台後半と最も高いです。ただし、平成 27 年度調査の間は「女のくせに・・・」「男のくせに・・・」といった言い方となっています。（図表 I - 2）

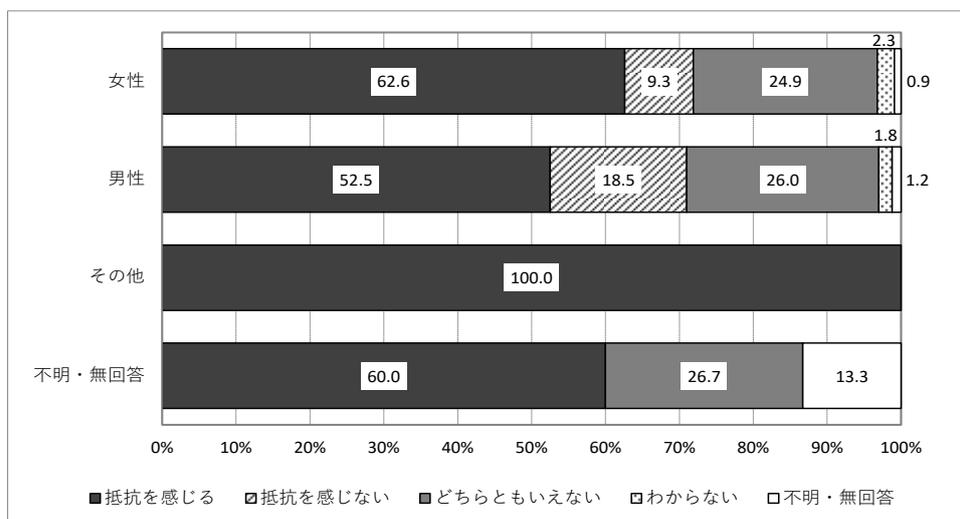
図表 I - 2



【性別によるクロス集計】

男女ともに「抵抗を感じる」の割合が最も高く、女性は 62.6%、男性は 52.5%となっています。（図表 I - 3）

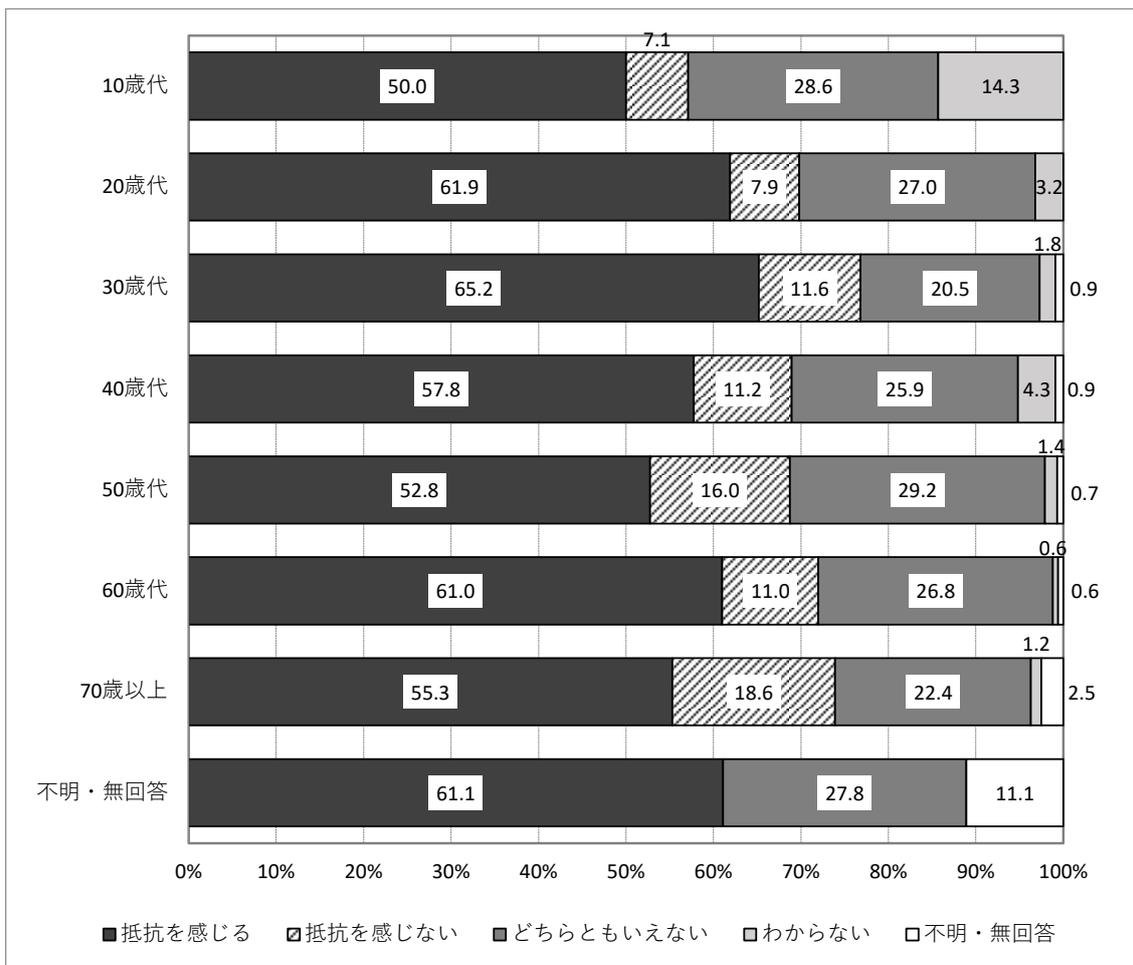
図表 I - 3



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において、「抵抗を感じる」が50.0%から65.0%となっています。また、「どちらともいえない」がすべての年齢において25.0%前後となっています。(図表I-4)

図表 I - 4

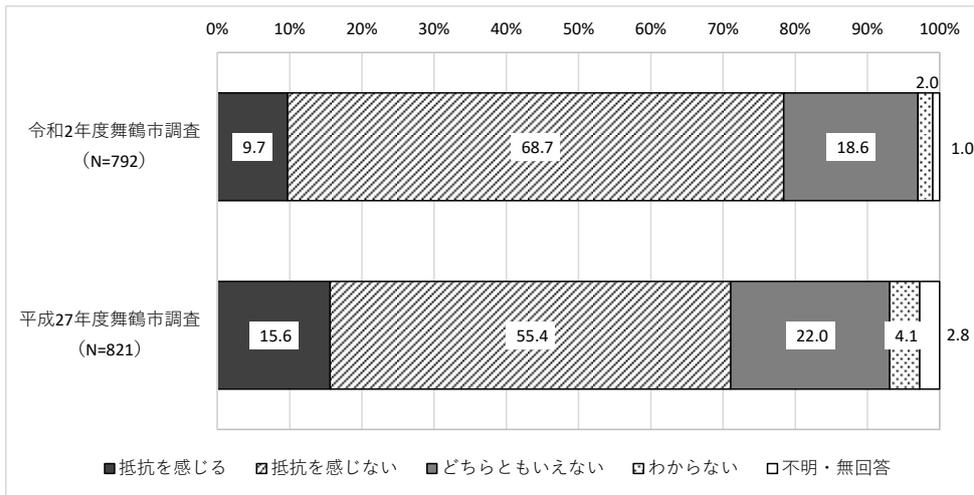


(2) 男性が育児休暇をとる

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

全体の傾向としては同じです。しかし、「抵抗を感じない」は 13.3 ポイント増加し、「抵抗を感じる」は 5.9 ポイント減少しています。(図表 I - 5)

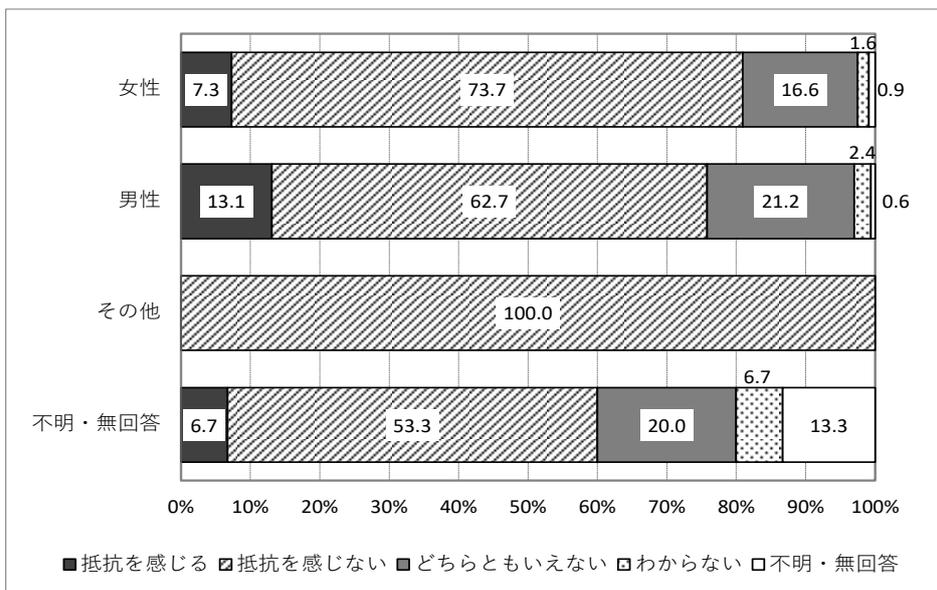
図表 I - 5



【性別によるクロス集計】

男女ともに「抵抗を感じない」の割合が最も高く、女性は 73.7%、男性は 62.7%となっています(図表 I - 6)。

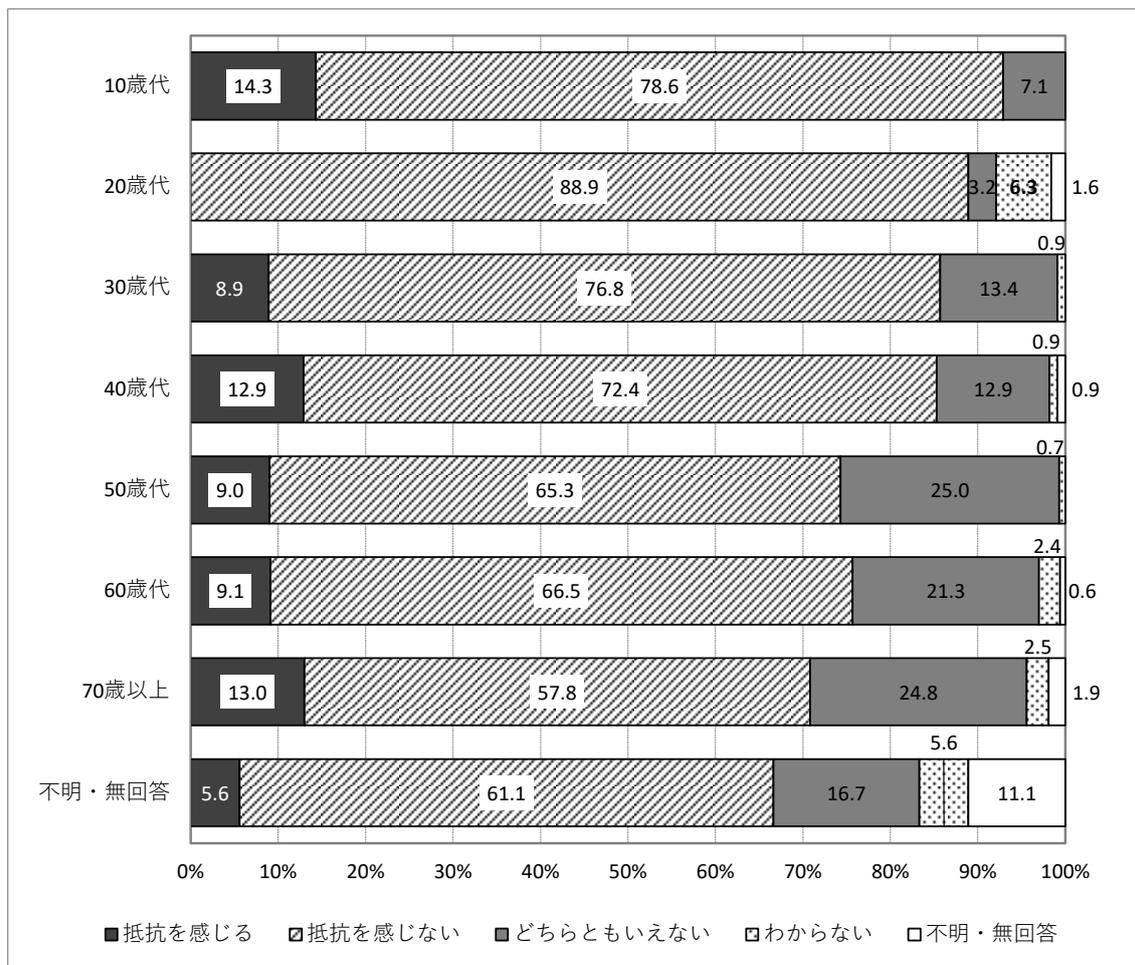
図表 I - 6



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において「抵抗を感じない」の割合が最も高く、「抵抗を感じる」の割合は10.0%前後となっています。また、20歳代では「抵抗を感じる」の割合は0.0%となっています。(図表I-7)

図表 I - 7



(3) 自治会長など地域の役員に女性になる

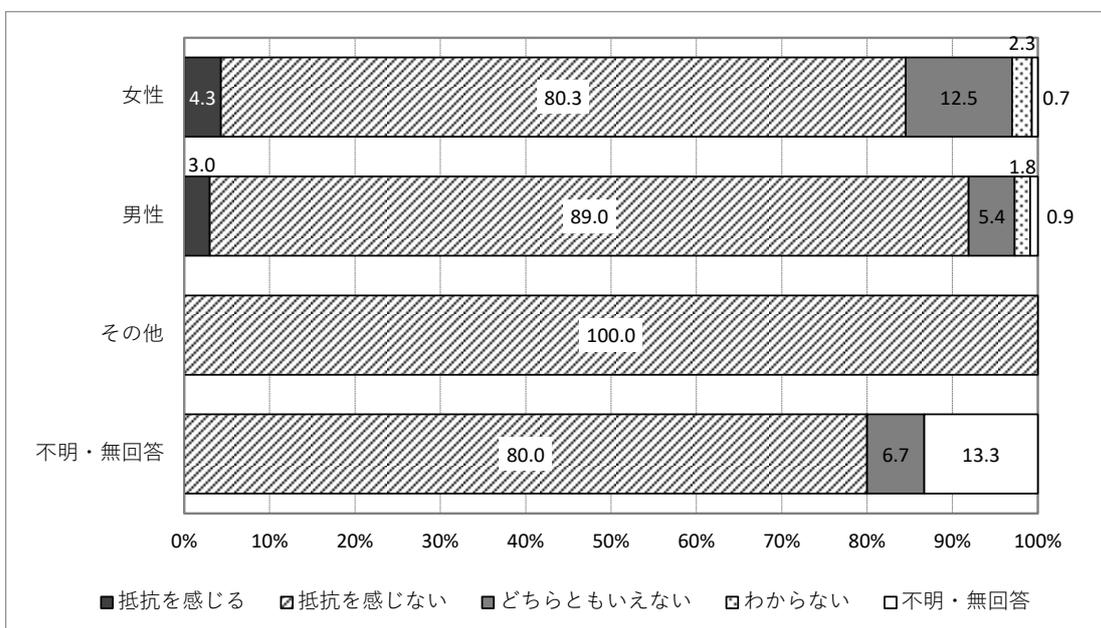
【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

平成 27 年度舞鶴市調査には、この問はありません。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「抵抗を感じない」の割合が最も高く、女性は 80.3%、男性は 89.0%となっています。(図表 I - 8)

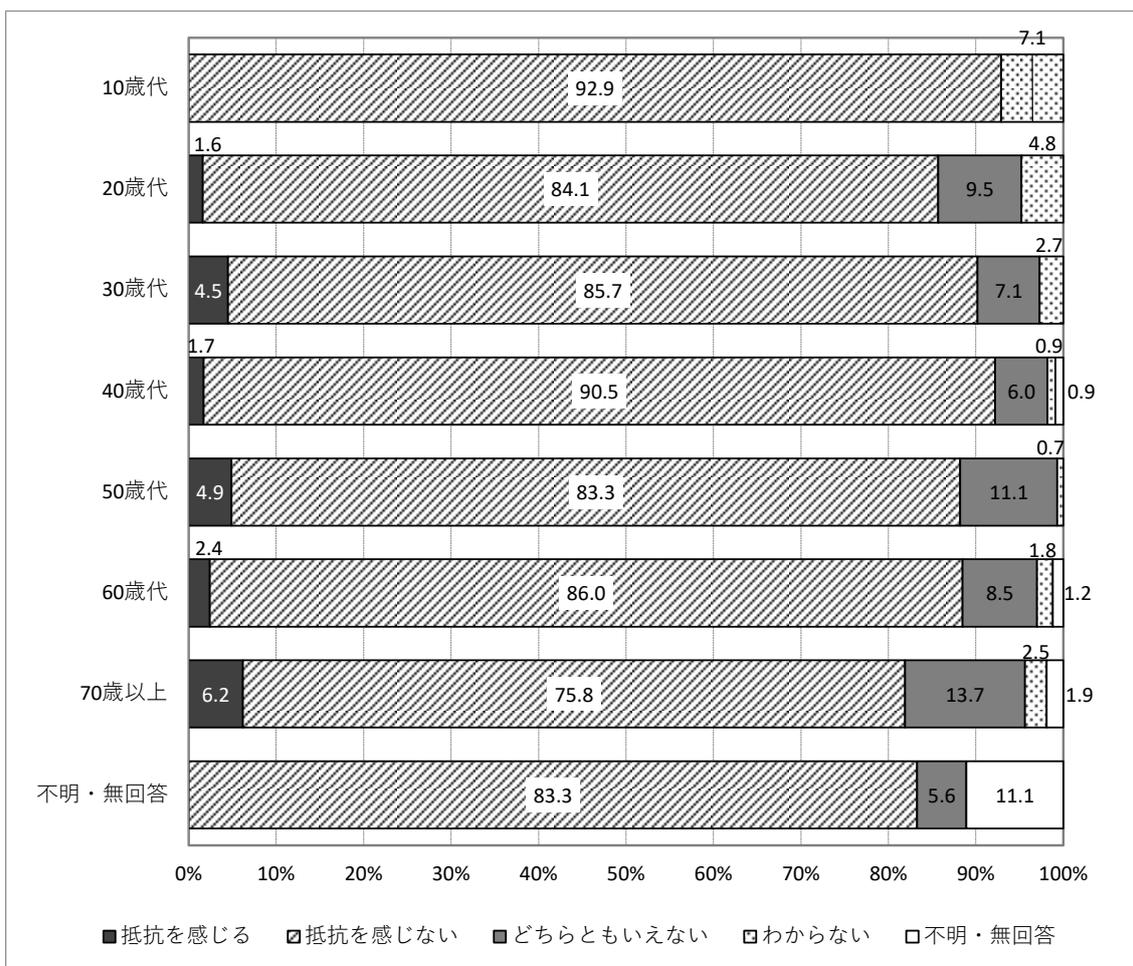
図表 I - 8



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において「抵抗を感じない」の割合が最も高く、「抵抗を感じる」の割合は5.0%前後となっています。(図表 I - 9)

図表 I - 9

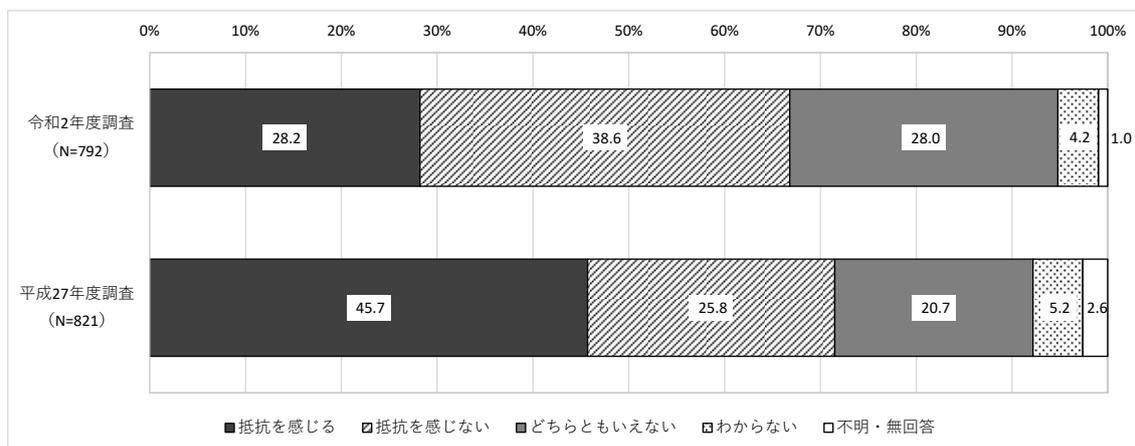


#### (4) 結婚してもそれぞれの姓を名乗る

##### 【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

平成 27 年度舞鶴市調査とは傾向が変化しています。平成 27 年度舞鶴市調査では「抵抗を感じる」の割合が最も高く、次いで「抵抗を感じない」、「どちらともいえない」となっています。しかし、令和 2 年度舞鶴市調査では「抵抗を感じない」の割合が最も高く、次いで「抵抗を感じる」、「どちらともいえない」が概ね同程度となっています。また、「抵抗を感じる」と「抵抗を感じない」の差は平成 27 年度舞鶴市調査では 19.9 ポイントですが、令和 2 年度舞鶴市調査では 10.4 ポイントとなっており、差が縮小しています。(図表 I - 10)

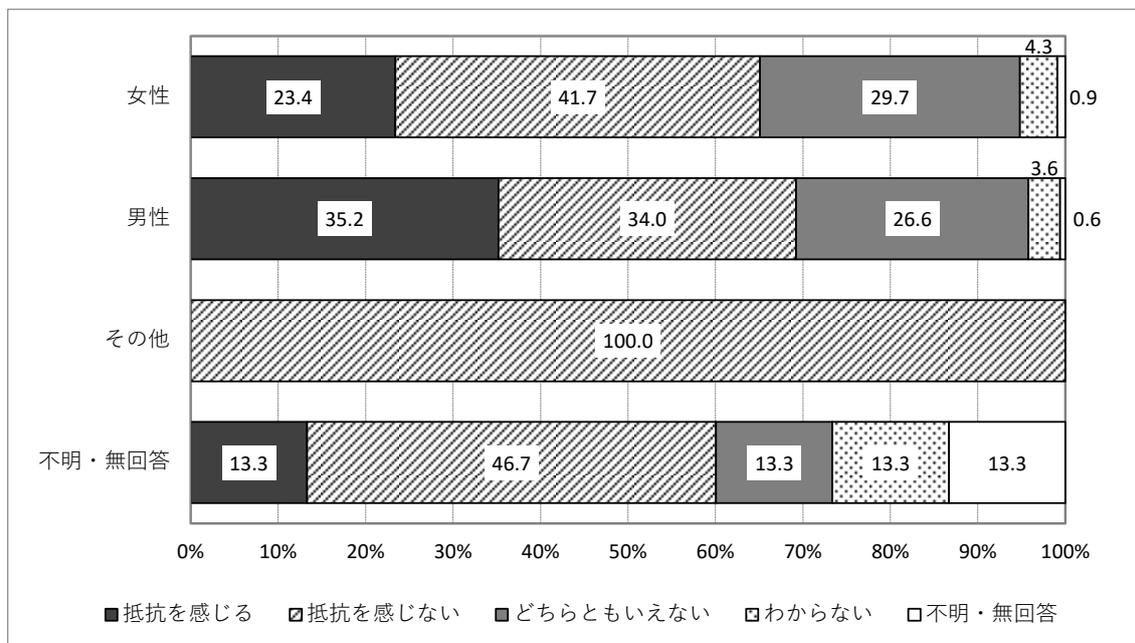
図表 I - 10



【性別によるクロス集計】

女性は「抵抗感じない」が41.7%と最も高いです。一方、男性は「抵抗を感じる」と「抵抗を感じない」が同程度であり、ともに約35.0%となっています。(図表 I - 11)

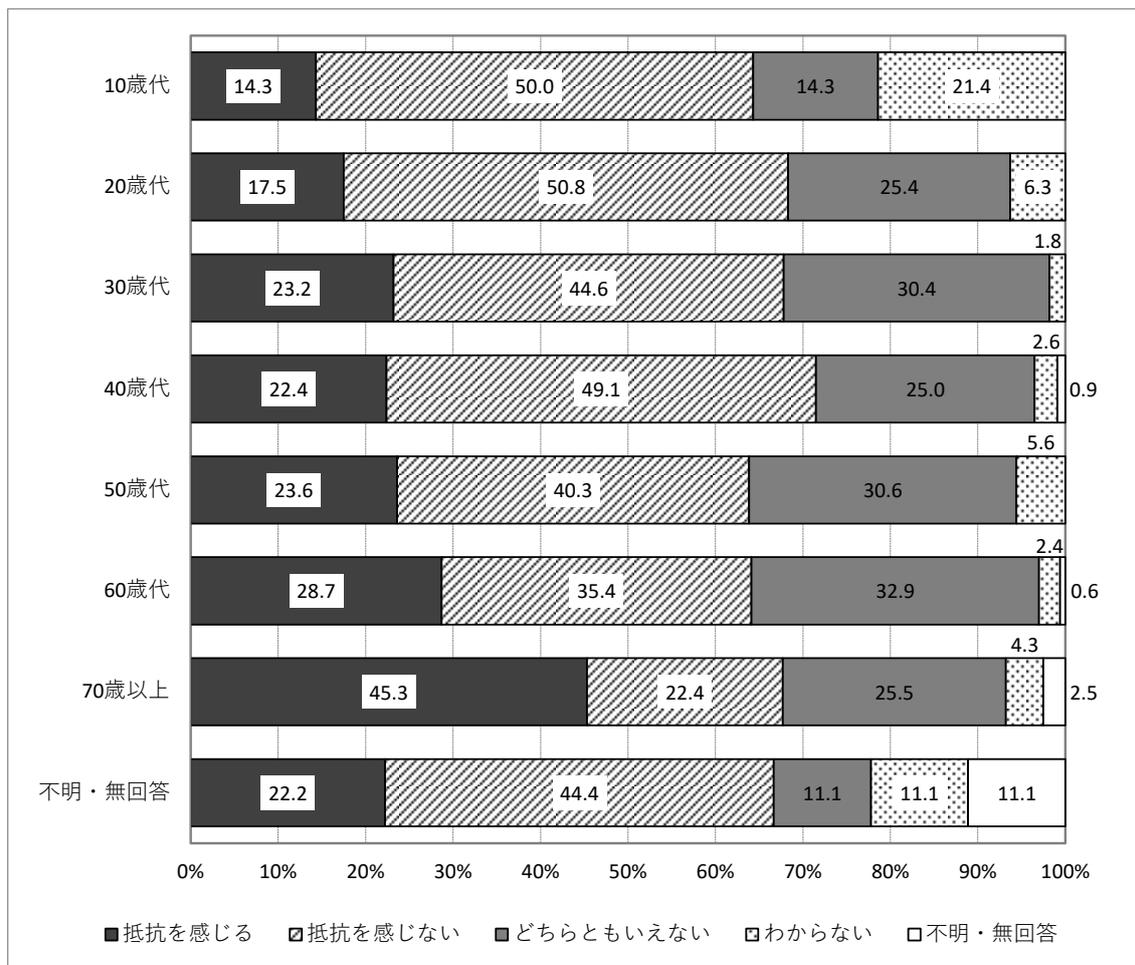
図表 I - 11



【年齢によるクロス集計】

30歳代から50歳代では「抵抗を感じる」が20%台前半、「抵抗を感じない」が40%台となっています。一方、70歳以上では「抵抗を感じる」が45.3%、「抵抗を感じない」が22.4%となっています。(図表I-12)

図表 I - 12

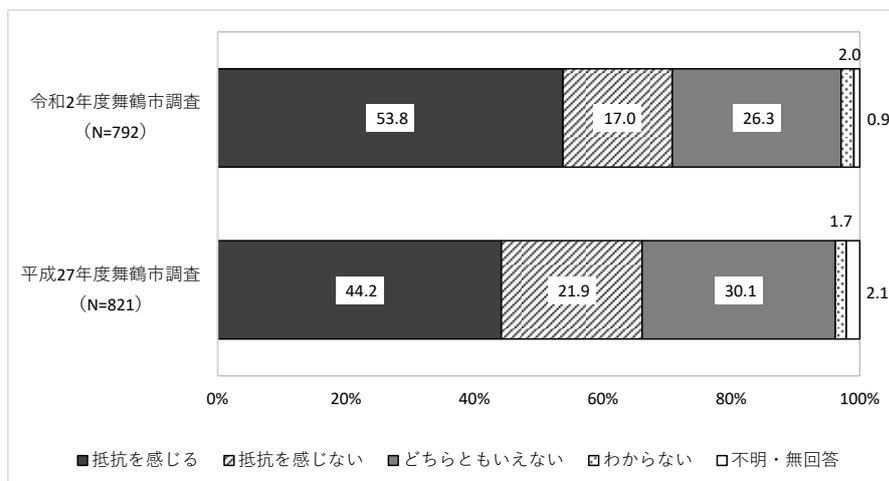


(5) 「男は仕事、女は家庭」といった考え方

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

全体の傾向としては同じです。しかし、令和 2 年度舞鶴市調査では「抵抗を感じる」の割合が 9.6 ポイント増加、「抵抗を感じない」は 4.9 ポイント、「どちらともいえない」は 3.8 ポイント減少しています。(図表 I - 13)

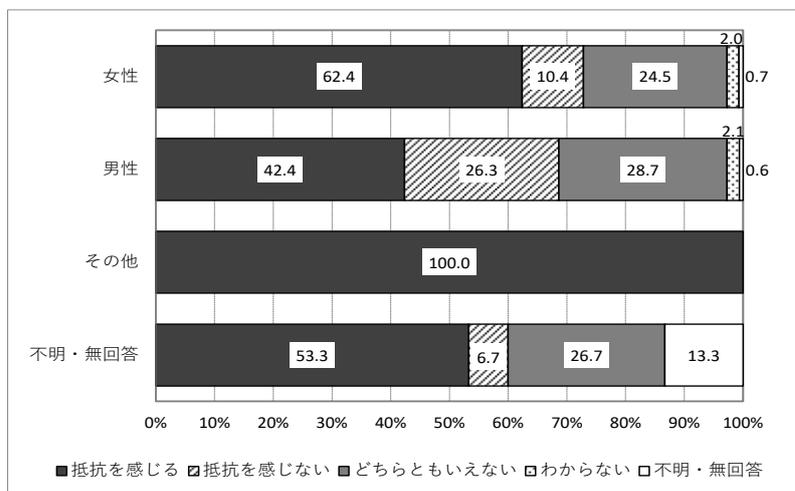
図表 I - 13



【性別によるクロス集計】

男女ともに「抵抗を感じる」の割合が最も高く、女性は 62.4%、男性は 42.4%となっています。ただし、男性は「抵抗を感じない」と「どちらともいえない」が同程度であり、ともに約 25.0%となっています。(図表 I - 14)

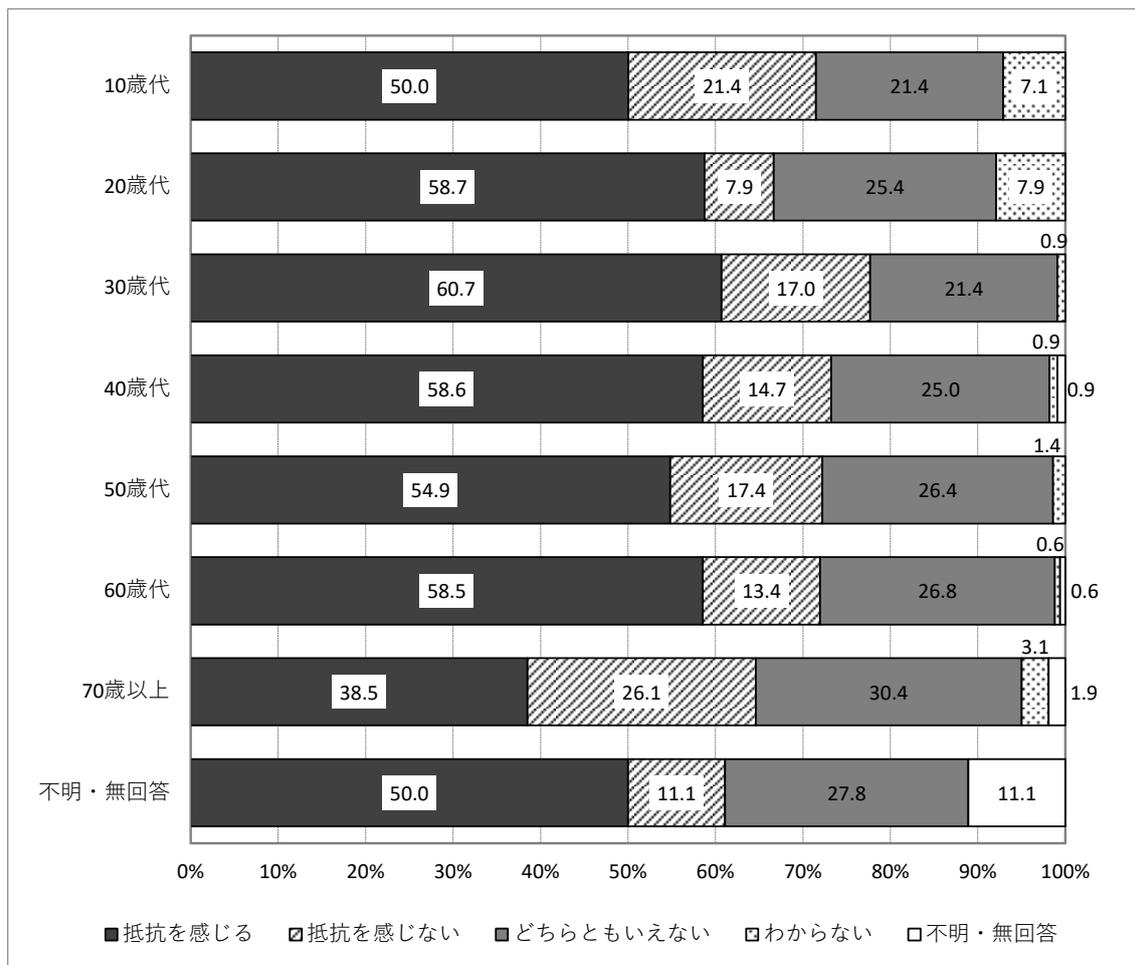
図表 I - 14



【年齢によるクロス集計】

70歳以上を除くと、「抵抗を感じる」が50.0%以上となっています。一方、70歳以上では、「抵抗を感じる」は38.5%に留まっており、「抵抗を感じない」と「どちらともいえない」もそれぞれ30.0%前後となっています。(図表 I - 15)

図表 I - 15



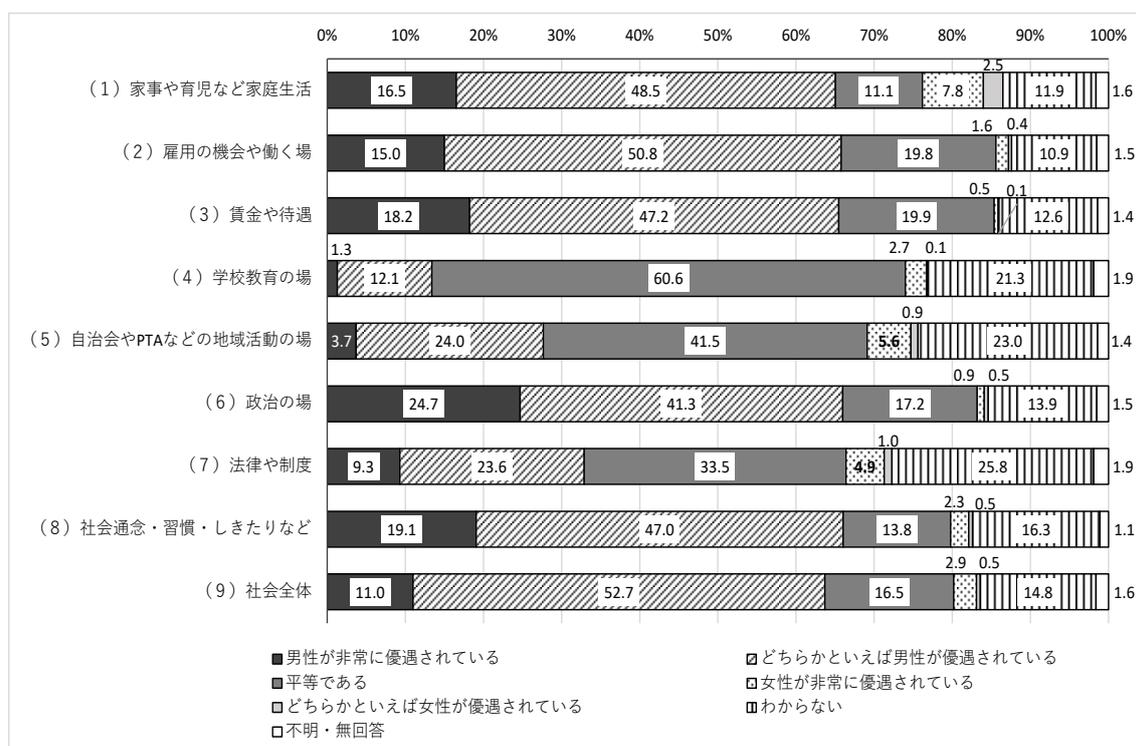
問2 あなたは、次の(1)～(9)について男女は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

単数回答 (N=792)

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、令和元年度国調査、性別、年齢、家族構成

(1)から(9)の単純集計の結果をまとめると、図表I-16のようになります。「(4)学校教育の場」と「(5)自治会やPTAなどの地域活動の場」、「(7)法律や制度」を除いて「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計が60.0%以上となっています。また、「平等である」が50.0%以上となっているのは「(4)学校教育の場」のみとなっています。

図表 I - 16

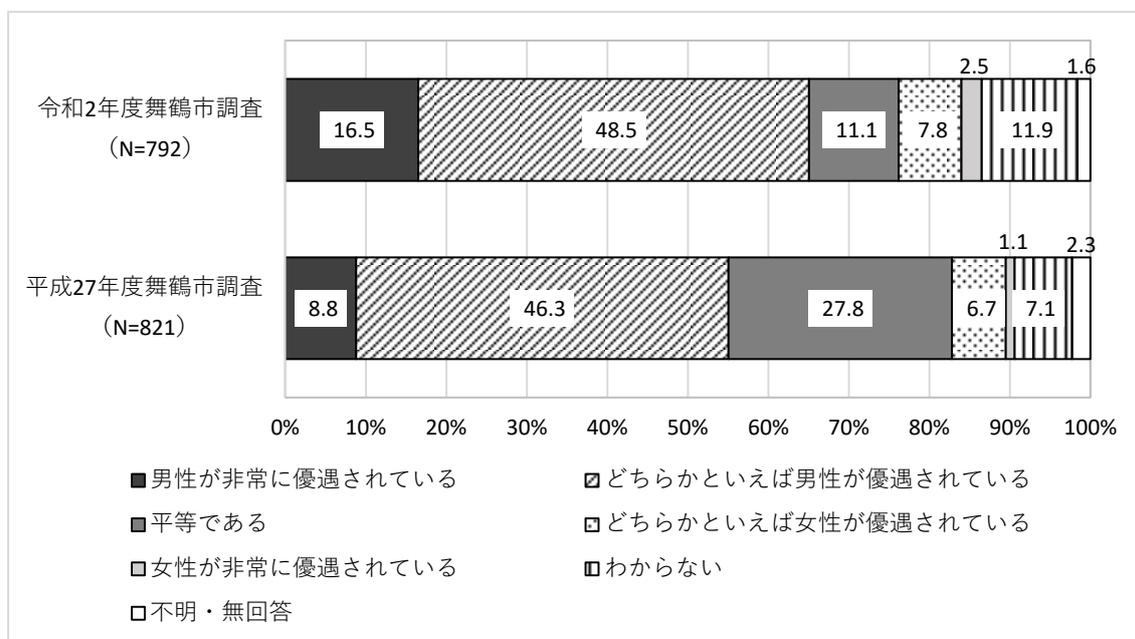


(1) 家事や育児など家庭生活

【平成 27 年度舞鶴市調査】

平成 27 年度舞鶴市調査とは傾向が変化しています。平成 27 年度舞鶴市調査では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高く、次いで「平等である」、「男性が非常に優遇されている」となっています。しかし、令和 2 年度舞鶴市調査では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いのは同じですが、次いで高いのは「男性が非常に優遇されている」、「平等である」となっています。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計は 9.9 ポイント増加し、「平等である」は 16.7 ポイント減少しています。(図表 I - 17)

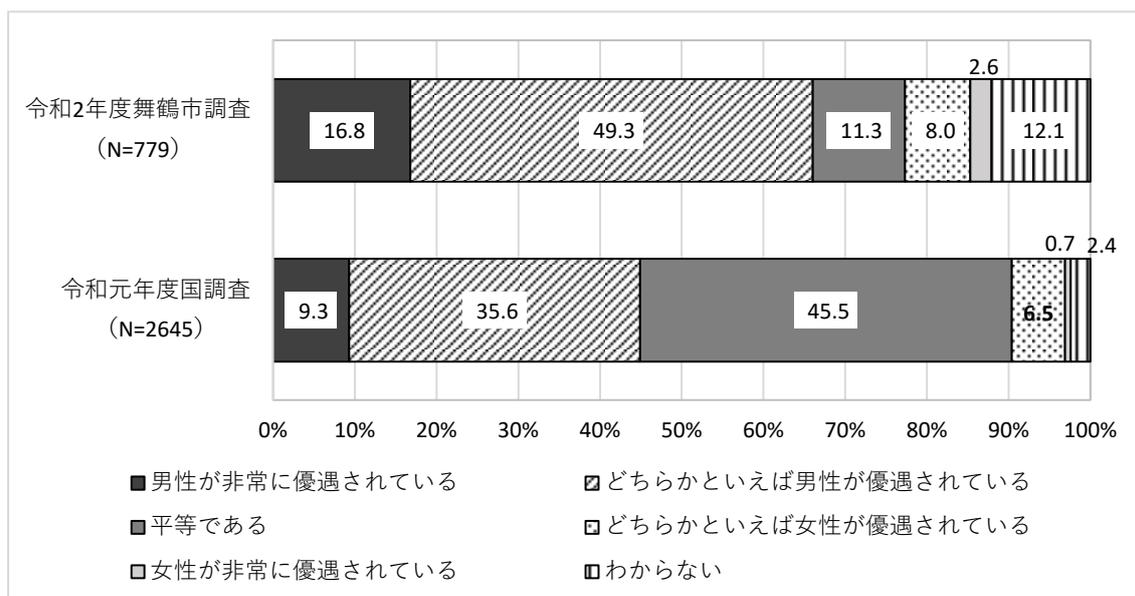
図表 I - 17



【令和元年度国調査との比較】

令和2年度舞鶴市調査では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高く、次いで「男性が非常に優遇されている」、「平等である」となっています。一方、令和元年度国調査では「平等である」の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」、「男性が非常に優遇されている」となっています。(図表 I - 18)

図表 I - 18

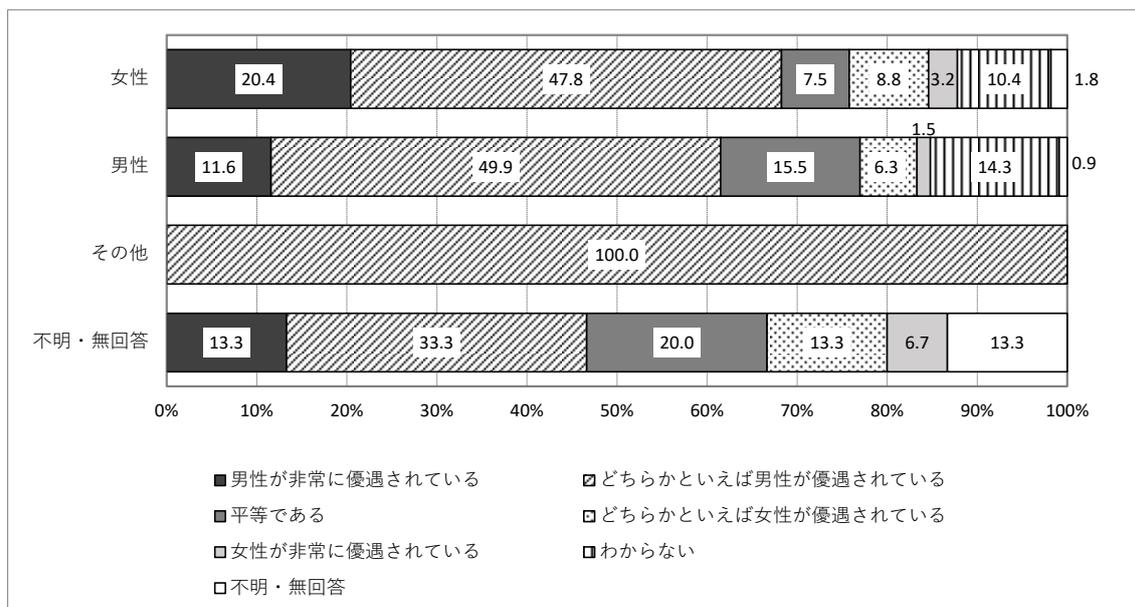


(注1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせると、女性は68.2%、男性は61.5%となっています。(図表 I - 19)

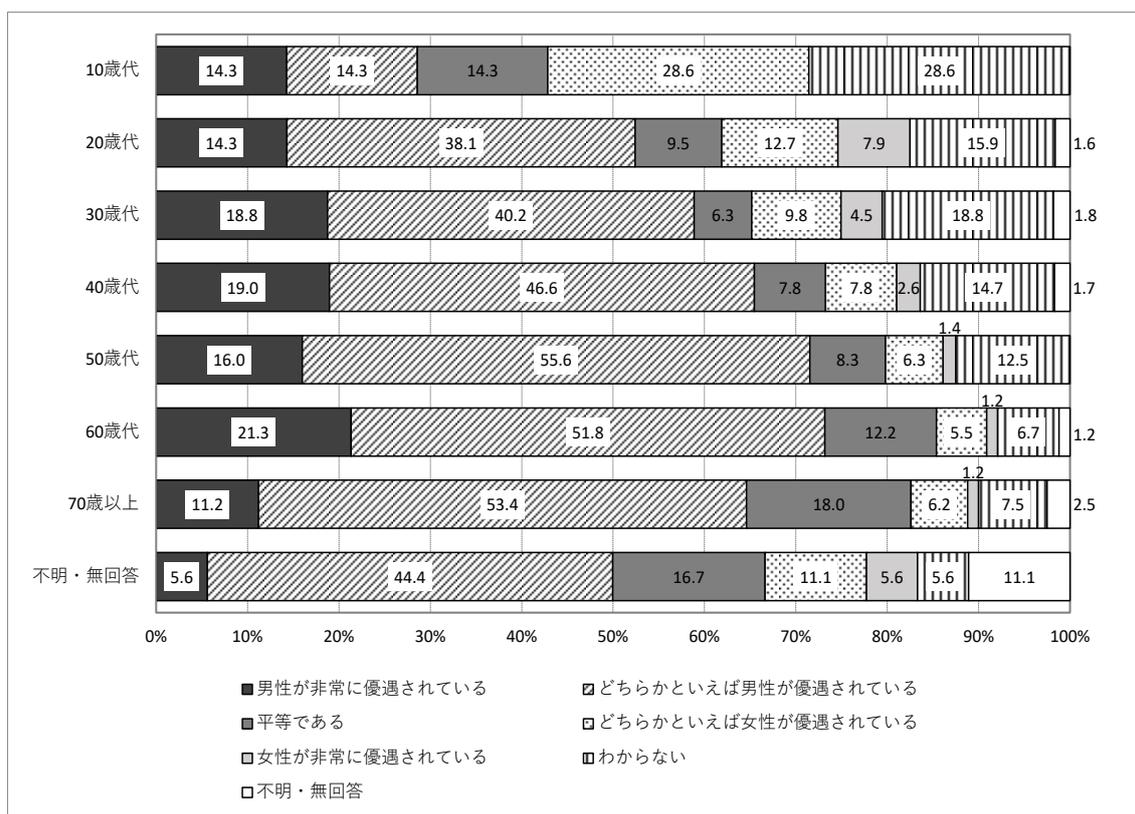
図表 I - 19



【年齢によるクロス集計】

20歳代から70歳以上では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです（図表 I - 20）。

図表 I - 20



【家族構成と性別によるクロス集計】

男女ともに、家族構成による違いは特に見られません。(図表 I - 21)

図表 I - 21

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である      | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない      | 不明・無回答     |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------|------------|--------------------|---------------|------------|------------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 8<br>20.0     | 17<br>42.5         | 1<br>2.5   | 4<br>10.0          | -<br>-        | 9<br>22.5  | 1<br>2.5   |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 21<br>18.4    | 60<br>52.6         | 13<br>11.4 | 11<br>9.6          | 1<br>0.9      | 6<br>5.3   | 2<br>1.8   |
|                 | 親と子(2世帯)        | 208<br>100.0 | 49<br>23.6    | 96<br>46.2         | 13<br>6.3  | 15<br>7.2          | 9<br>4.3      | 22<br>10.6 | 4<br>1.9   |
|                 | 親と子と孫(3世帯)      | 44<br>100.0  | 7<br>15.9     | 21<br>47.7         | 3<br>6.8   | 4<br>9.1           | 1<br>2.3      | 8<br>18.2  | -<br>-     |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | 1<br>7.7      | 7<br>53.8          | 1<br>7.7   | 2<br>15.4          | 2<br>15.4     | -<br>-     | -<br>-     |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 4<br>18.2     | 10<br>45.5         | 2<br>9.1   | 3<br>13.6          | 1<br>4.5      | 1<br>4.5   | 1<br>4.5   |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0   | 6<br>12.0          | 18<br>36.0 | 8<br>16.0          | 5<br>10.0     | 2<br>4.0   | 11<br>22.0 |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ |                 | 91<br>100.0  | 11<br>12.1    | 57<br>62.6         | 15<br>16.5 | 3<br>3.3           | -<br>-        | 5<br>5.5   | -<br>-     |
| 親と子(2世帯)        |                 | 142<br>100.0 | 14<br>9.9     | 73<br>51.4         | 19<br>13.4 | 10<br>7.0          | 2<br>1.4      | 23<br>16.2 | 1<br>0.7   |
| 親と子と孫(3世帯)      |                 | 19<br>100.0  | 5<br>26.3     | 10<br>52.6         | 1<br>5.3   | 1<br>5.3           | -<br>-        | 2<br>10.5  | -<br>-     |
| その他             |                 | 7<br>100.0   | 1<br>14.3     | 3<br>42.9          | 2<br>28.6  | 1<br>14.3          | -<br>-        | -<br>-     | -<br>-     |
| 不明・無回答          |                 | 26<br>100.0  | 2<br>7.7      | 6<br>23.1          | 7<br>26.9  | 1<br>3.8           | 1<br>3.8      | 7<br>26.9  | 2<br>7.7   |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

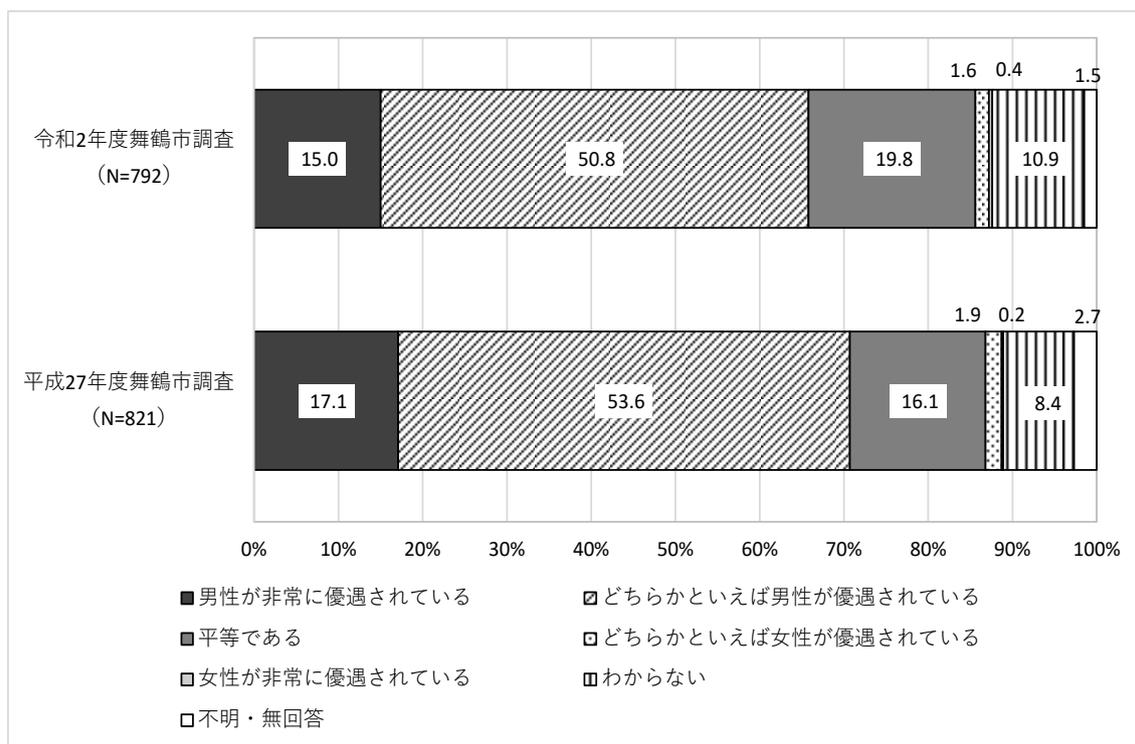
(注2) 網掛けは、各における上位2項目を示しています。

(2) 雇用の機会や働く場

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化ではありませんが、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計は 4.9 ポイント減少しています。また、「平等である」は 3.7 ポイント増加しています。(図表 I - 22)

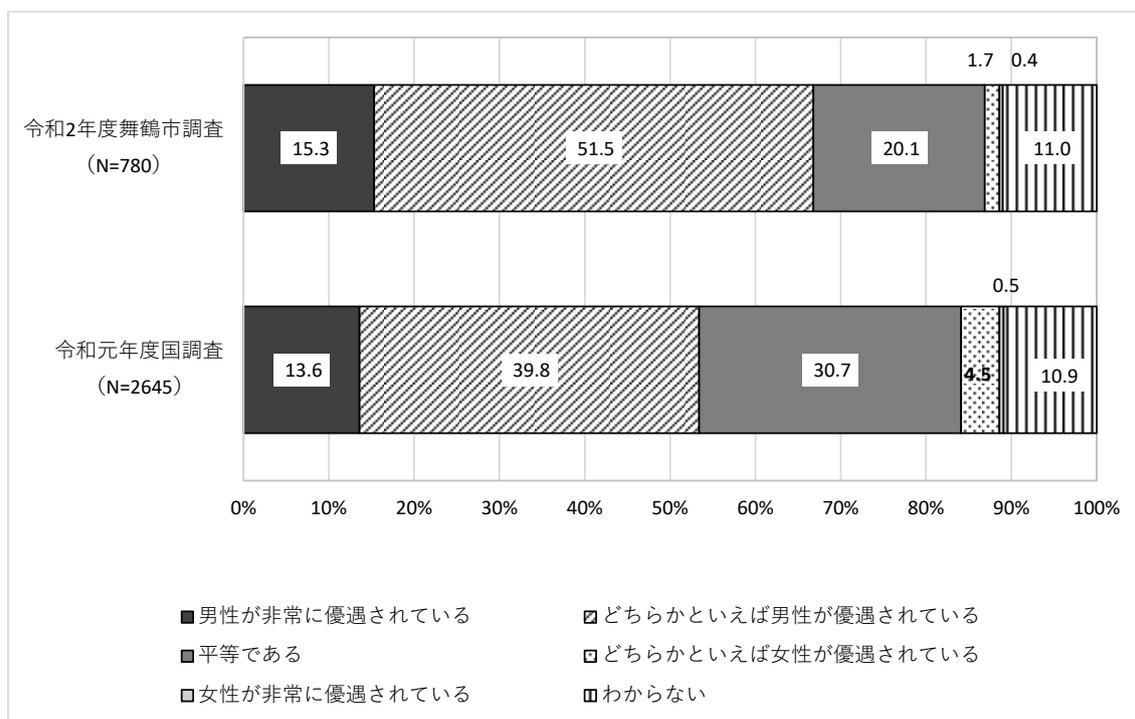
図表 I - 22



【令和元年度国調査との比較】

令和2年度舞鶴市調査では「どちらかといえば男性が優遇されている」が50.0%を越えています。しかし、令和元年度国調査では39.8%に留まっています。(図表I-23)

図表 I - 23

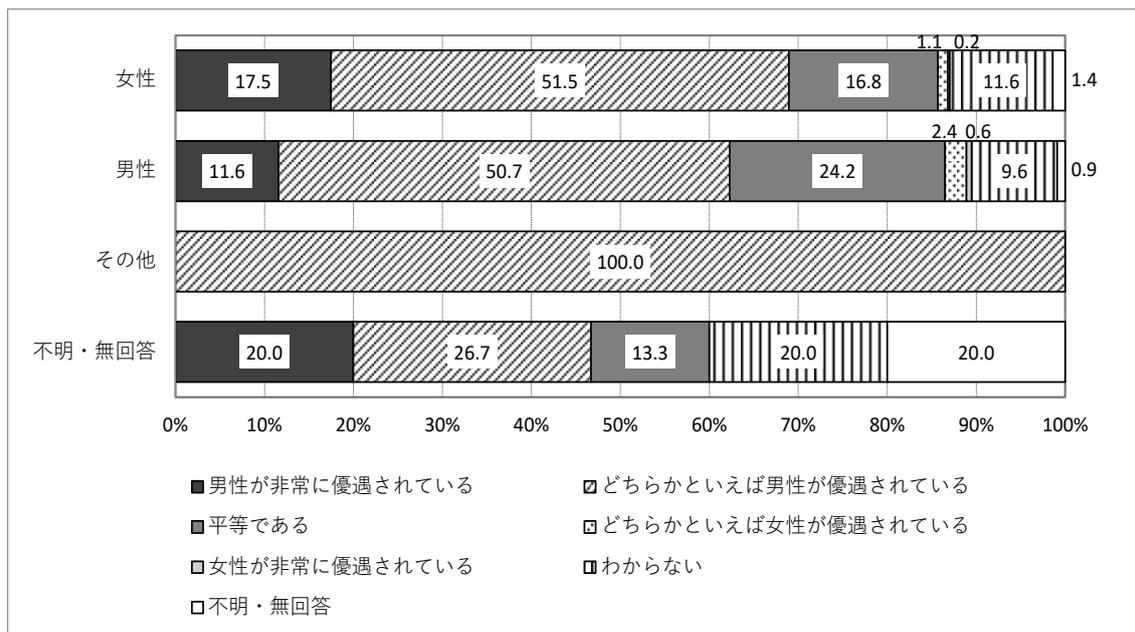


(注1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせると、女性は69.0%、男性は62.3%となっています。(図表 I - 24)

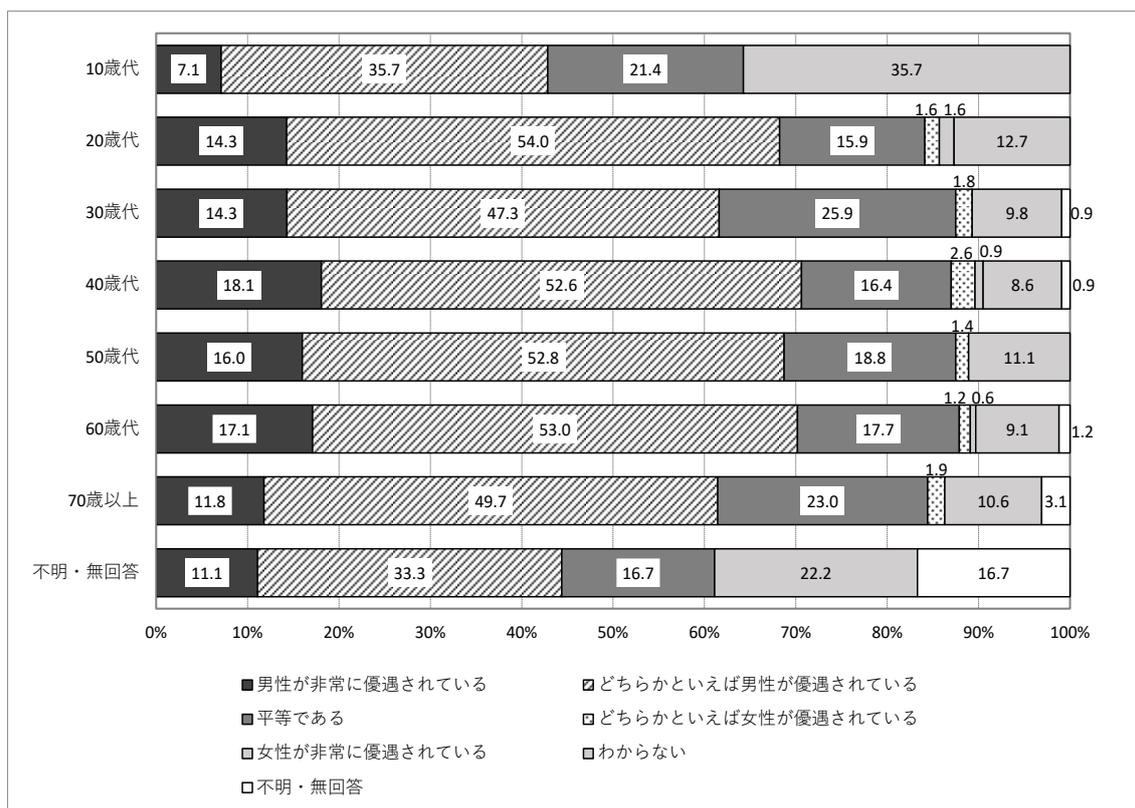
図表 I - 24



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。一方、「平等である」も20.0%前後となっています。(図表 I - 25)

図表 I - 25



【家族構成と性別によるクロス集計】

女性は、「親と子（2世帯）」で「男性が非常に優遇されている」の割合が他の家族構成に比べると高いです。男性は、家族構成に関わらず「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高く、「その他」と「不明・無回答」を除き 50.0%を超えています。

（図表 I - 26）

図表 I - 26

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である      | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない     | 不明・無回答    |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------|------------|--------------------|---------------|-----------|-----------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 7<br>17.5     | 19<br>47.5         | 5<br>12.5  | -                  | -             | 8<br>20.0 | 1<br>2.5  |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 18<br>15.8    | 61<br>53.5         | 21<br>18.4 | 2<br>1.8           | -             | 11<br>9.6 | 1<br>0.9  |
|                 | 親と子（2世帯）        | 208<br>100.0 | 44<br>21.2    | 109<br>52.4        | 30<br>14.4 | 3<br>1.4           | 1<br>0.5      | 18<br>8.7 | 3<br>1.4  |
|                 | 親と子と孫（3世帯）      | 44<br>100.0  | 5<br>11.4     | 18<br>40.9         | 13<br>29.5 | -                  | -             | 7<br>15.9 | 1<br>2.3  |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | 3<br>23.1     | 8<br>61.5          | 2<br>15.4  | -                  | -             | -         | -         |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | -             | 12<br>54.5         | 3<br>13.6  | -                  | -             | 7<br>31.8 | -         |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0   | 6<br>12.0          | 25<br>50.0 | 10<br>20.0         | 1<br>2.0      | 1<br>2.0  | 7<br>14.0 |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91<br>100.0     | 13<br>14.3   | 46<br>50.5    | 27<br>29.7         | 2<br>2.2   | -                  | -             | 3<br>3.3  | -         |
| 親と子（2世帯）        | 142<br>100.0    | 16<br>11.3   | 76<br>53.5    | 31<br>21.8         | 5<br>3.5   | 1<br>0.7           | 12<br>8.5     | 1<br>0.7  |           |
| 親と子と孫（3世帯）      | 19<br>100.0     | 2<br>10.5    | 11<br>57.9    | 5<br>26.3          | -          | -                  | 1<br>5.3      | -         |           |
| その他             | 7<br>100.0      | -            | 3<br>42.9     | 3<br>42.9          | -          | -                  | 1<br>14.3     | -         |           |
| 不明・無回答          | 26<br>100.0     | 2<br>7.7     | 9<br>34.6     | 5<br>19.2          | -          | -                  | 8<br>30.8     | 2<br>7.7  |           |

（注1）上段は度数、下段は%を表しています。

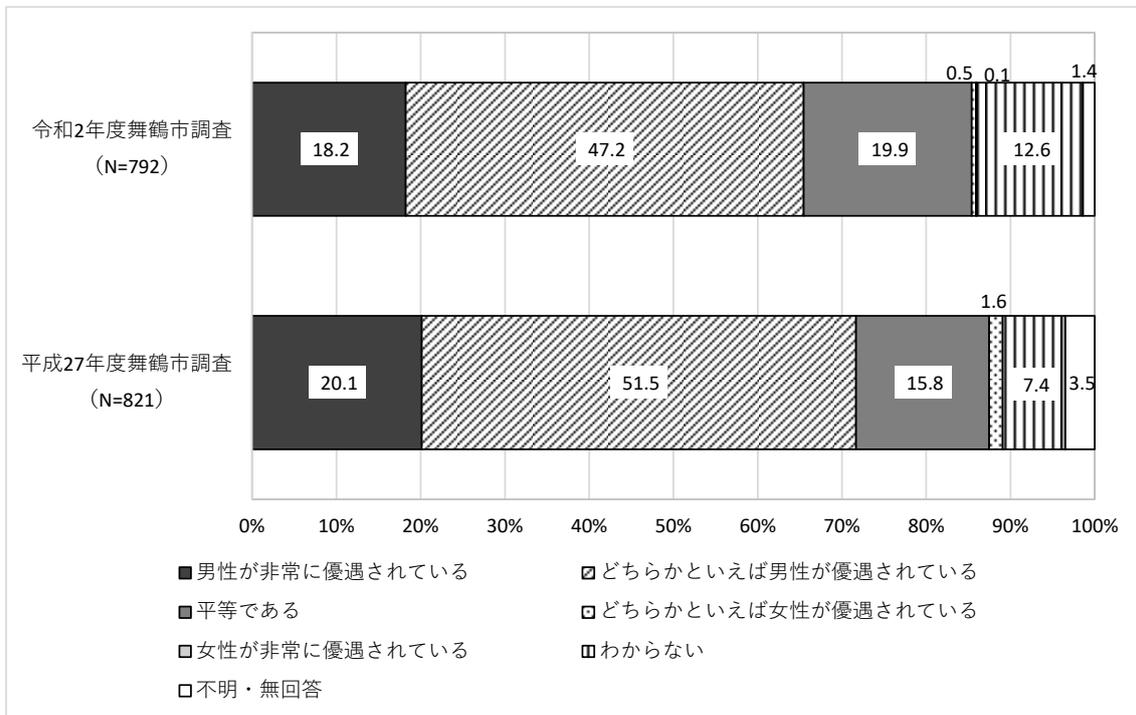
（注2）網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

### (3) 賃金や待遇

#### 【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

平成 27 年度舞鶴市調査とは傾向が変化しています。平成 27 年度舞鶴市調査では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高く、次いで「男性が非常に優遇されている」、「平等である」となっています。しかし、令和 2 年度舞鶴市調査では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いのは同じですが、「男性が非常に優遇されている」と「平等である」が同程度となっています。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計は 6.2 ポイント減少し、「平等である」は 4.1 ポイント増加しています。(図表 I - 27)

図表 I - 27



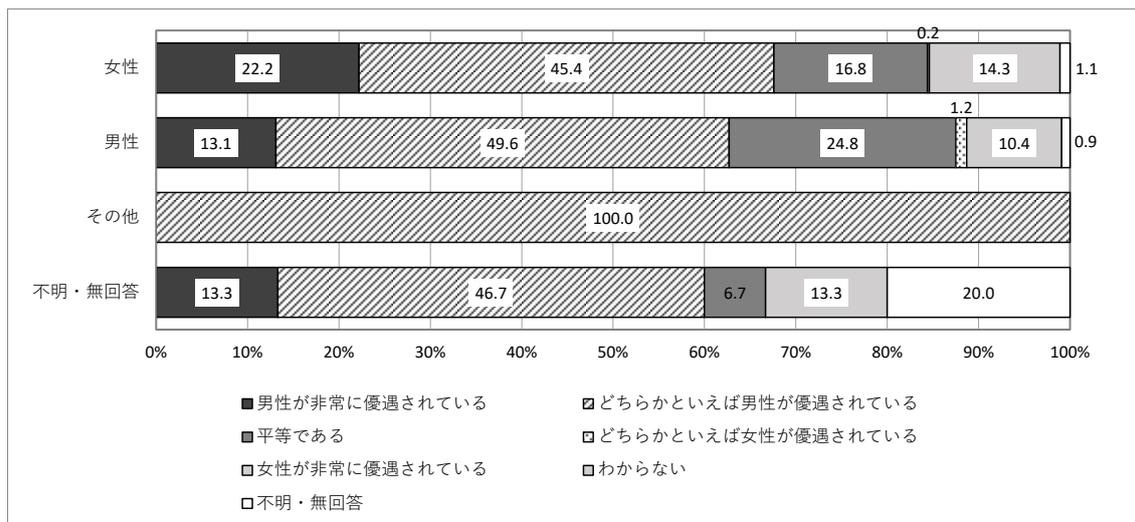
#### 【令和元年度国調査との比較】

令和元年度国調査には、この問はありません。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせると、女性は67.6%、男性は62.7%になっています。(図表 I - 28)

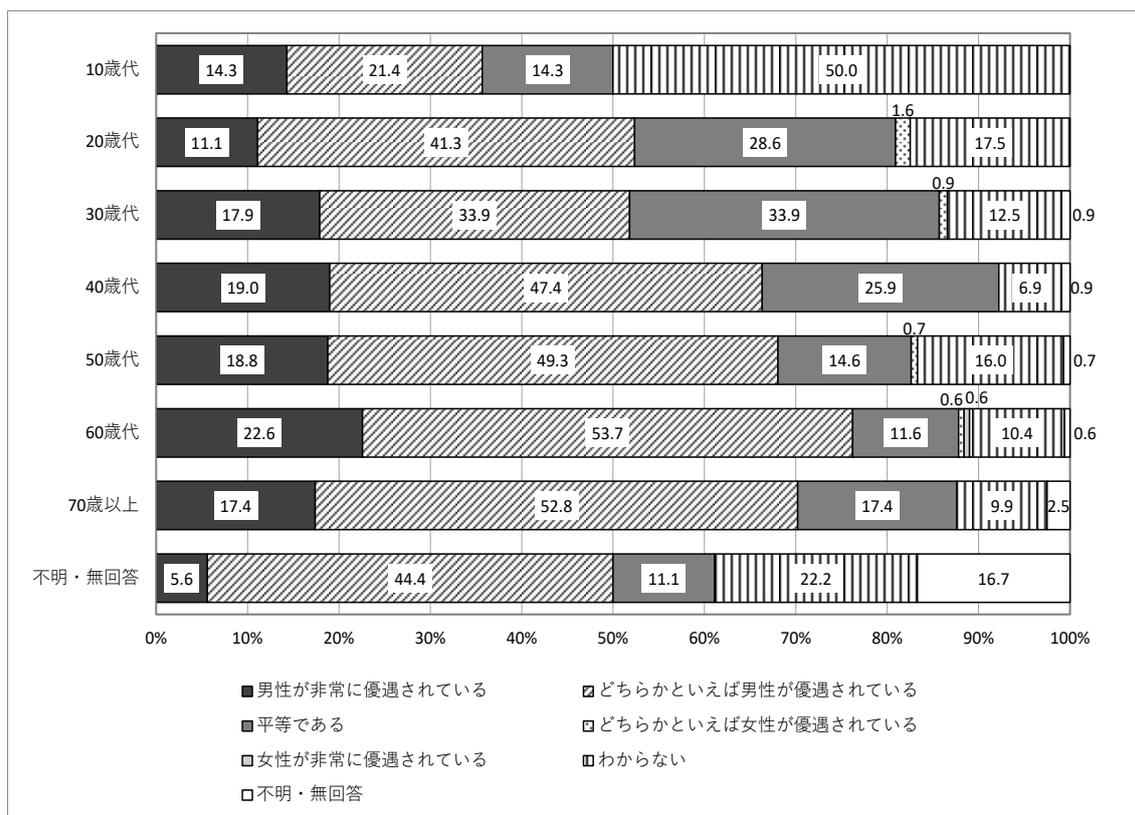
図表 I - 28



【年齢によるクロス集計】

20歳代から70歳以上では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。ただし、30歳代では「平等である」が「どちらかといえば男性が優遇されている」と同じ33.9%で最も高いです。また、「平等である」の割合は20歳代と40歳代、70歳以上でも2番目に高いです。(図表I-29)

図表 I - 29



【家族構成と性別によるクロス集計】

男女ともに、家族構成による違いは特に見られません。(図表 I - 30)

図表 I - 30

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である      | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない      | 不明・無回答    |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------|------------|--------------------|---------------|------------|-----------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 8<br>20.0     | 16<br>40.0         | 8<br>20.0  | -                  | -             | 7<br>17.5  | 1<br>2.5  |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 25<br>21.9    | 51<br>44.7         | 20<br>17.5 | -                  | -             | 17<br>14.9 | 1<br>0.9  |
|                 | 親と子(2世帯)        | 208<br>100.0 | 51<br>24.5    | 97<br>46.6         | 31<br>14.9 | -                  | 1<br>0.5      | 26<br>12.5 | 2<br>1.0  |
|                 | 親と子と孫(3世帯)      | 44<br>100.0  | 8<br>18.2     | 22<br>50.0         | 9<br>20.5  | -                  | -             | 4<br>9.1   | 1<br>2.3  |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | 4<br>30.8     | 6<br>46.2          | 3<br>23.1  | -                  | -             | -          | -         |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 2<br>9.1      | 8<br>36.4          | 3<br>13.6  | -                  | -             | 9<br>40.9  | -         |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0   | 7<br>14.0          | 22<br>44.0 | 13<br>26.0         | -             | -          | 8<br>16.0 |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ |                 | 91<br>100.0  | 14<br>15.4    | 53<br>58.2         | 21<br>23.1 | -                  | -             | 3<br>3.3   | -         |
| 親と子(2世帯)        |                 | 142<br>100.0 | 19<br>13.4    | 72<br>50.7         | 35<br>24.6 | 3<br>2.1           | -             | 12<br>8.5  | 1<br>0.7  |
| 親と子と孫(3世帯)      |                 | 19<br>100.0  | 3<br>15.8     | 6<br>31.6          | 7<br>36.8  | -                  | -             | 3<br>15.8  | -         |
| その他             |                 | 7<br>100.0   | -             | 4<br>57.1          | -          | 1<br>14.3          | -             | 2<br>28.6  | -         |
| 不明・無回答          |                 | 26<br>100.0  | 1<br>3.8      | 9<br>34.6          | 7<br>26.9  | -                  | -             | 7<br>26.9  | 2<br>7.7  |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

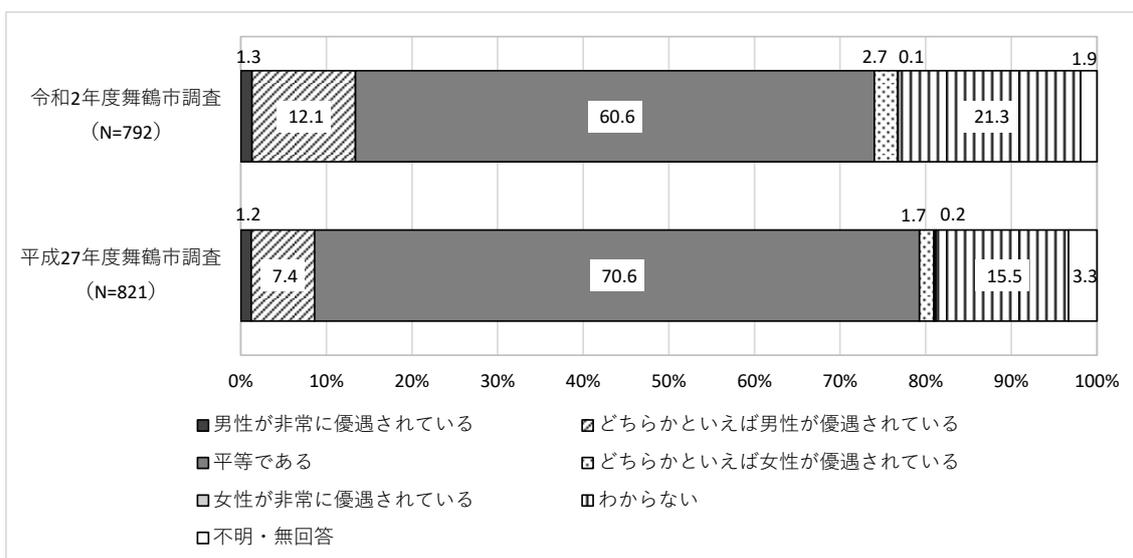
(注2) 網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

(4) 学校教育の場

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

平成 27 年度舞鶴市調査とは傾向が変化しています。「平等である」の割合が最も高いのは同じですが、令和 2 年度舞鶴市調査では平成 27 年度舞鶴市調査の 70.6%から 10 ポイント減少しています。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計は 4.8 ポイント増加しています。(図表 I - 31)

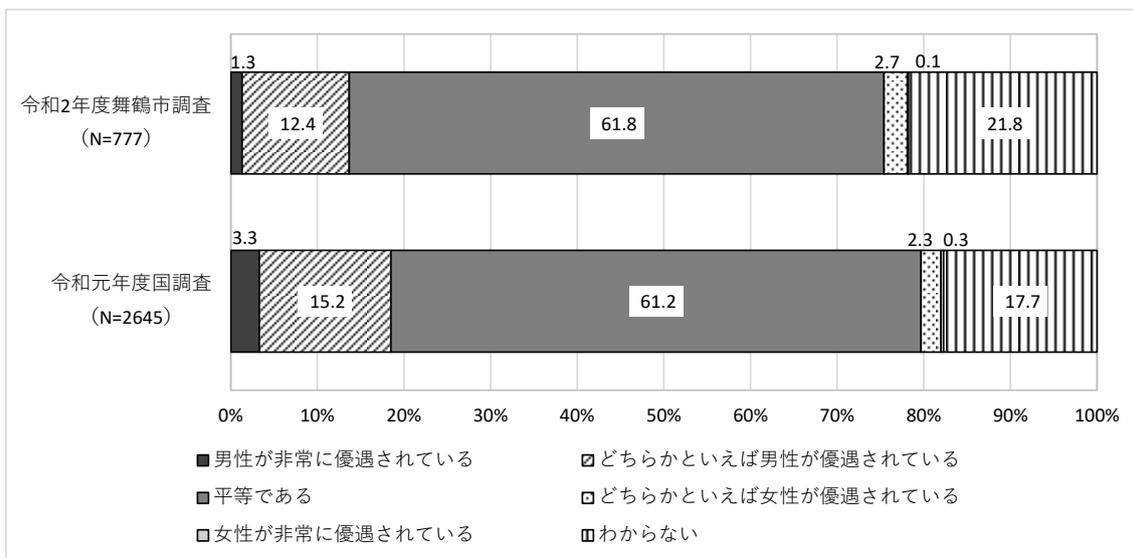
図表 I - 31



【令和元年度国調査との比較】

令和元年度国調査と令和2年度舞鶴市調査は概ね同じ傾向であり、「平等である」が約60.0%と最も高いです。(図表I-32)

図表 I - 32

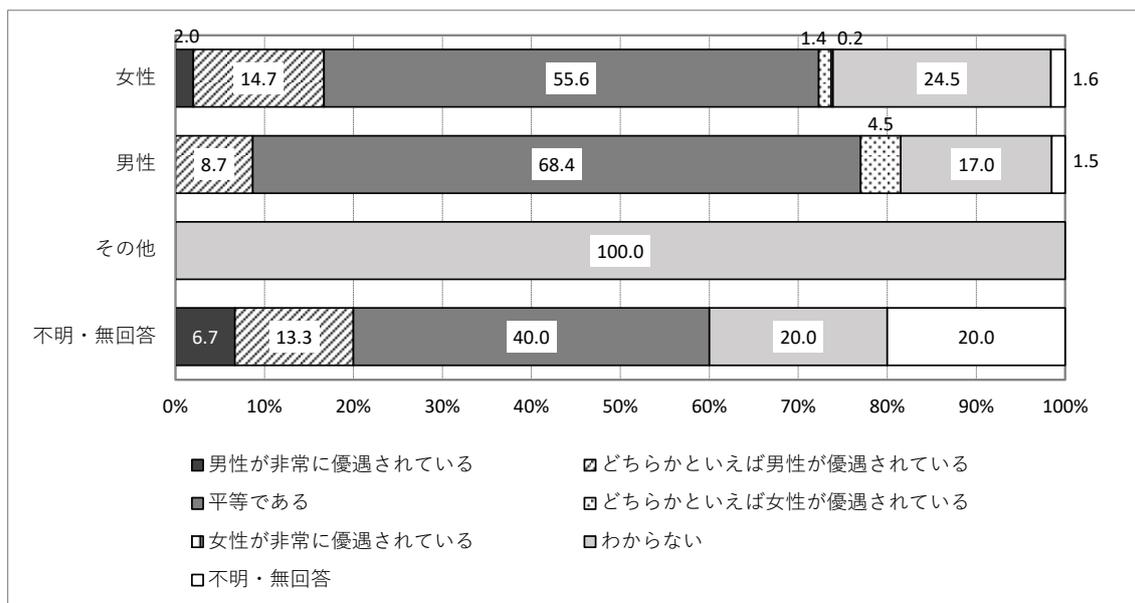


(注1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「平等である」の割合が最も高く、女性は55.6%、男性は68.4%となっています。(図表 I - 33)

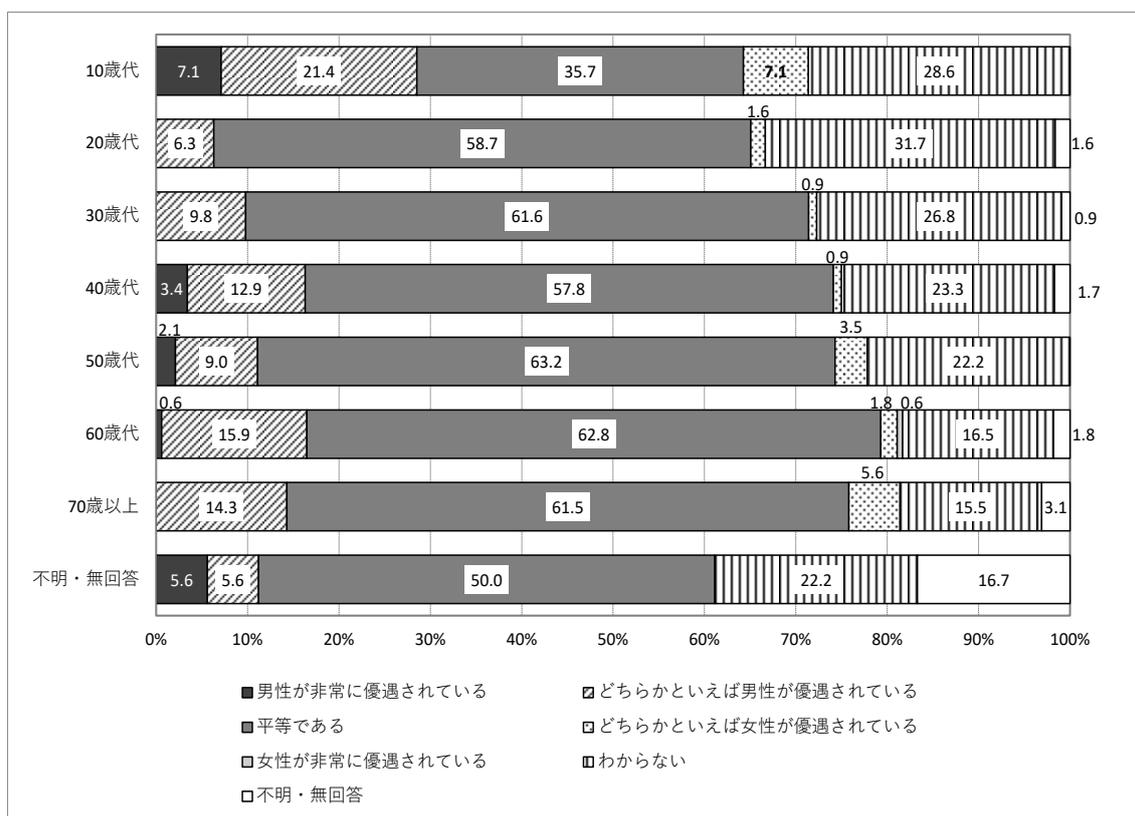
図表 I - 33



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において、「平等である」の割合が最も高いです。また、20歳代から70歳以上では「平等である」の割合が60.0%前後となっています。(図表 I - 34)

図表 I - 34



【家族構成と性別によるクロス集計】

男女ともに、家族構成による違いは特に見られません。(図表 I - 35)

図表 I - 35

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である       | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない      | 不明・無回答     |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------|-------------|--------------------|---------------|------------|------------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 2<br>5.0      | 5<br>12.5          | 22<br>55.0  | 1<br>2.5           | -             | 9<br>22.5  | 1<br>2.5   |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 1<br>0.9      | 19<br>16.7         | 68<br>59.6  | 1<br>0.9           | -             | 22<br>19.3 | 3<br>2.6   |
|                 | 親と子(2世帯)        | 208<br>100.0 | 6<br>2.9      | 26<br>12.5         | 116<br>55.8 | 2<br>1.0           | 1<br>0.5      | 55<br>26.4 | 2<br>1.0   |
|                 | 親と子と孫(3世帯)      | 44<br>100.0  | -             | 9<br>20.5          | 21<br>47.7  | 2<br>4.5           | -             | 12<br>27.3 | -          |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | -             | 2<br>15.4          | 6<br>46.2   | -                  | -             | 5<br>38.5  | -          |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | -             | 4<br>18.2          | 12<br>54.5  | -                  | -             | 5<br>22.7  | 1<br>4.5   |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0   | -                  | 3<br>6.0    | 34<br>68.0         | 3<br>6.0      | -          | 10<br>20.0 |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91<br>100.0     | -            | 9<br>9.9      | 70<br>76.9         | 3<br>3.3    | -                  | 8<br>8.8      | 1<br>1.1   |            |
| 親と子(2世帯)        | 142<br>100.0    | -            | 14<br>9.9     | 96<br>67.6         | 5<br>3.5    | -                  | 26<br>18.3    | 1<br>0.7   |            |
| 親と子と孫(3世帯)      | 19<br>100.0     | -            | 2<br>10.5     | 11<br>57.9         | 2<br>10.5   | -                  | 4<br>21.1     | -          |            |
| その他             | 7<br>100.0      | -            | -             | 3<br>42.9          | 2<br>28.6   | -                  | 2<br>28.6     | -          |            |
| 不明・無回答          | 26<br>100.0     | -            | 1<br>3.8      | 15<br>57.7         | -           | -                  | 7<br>26.9     | 3<br>11.5  |            |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

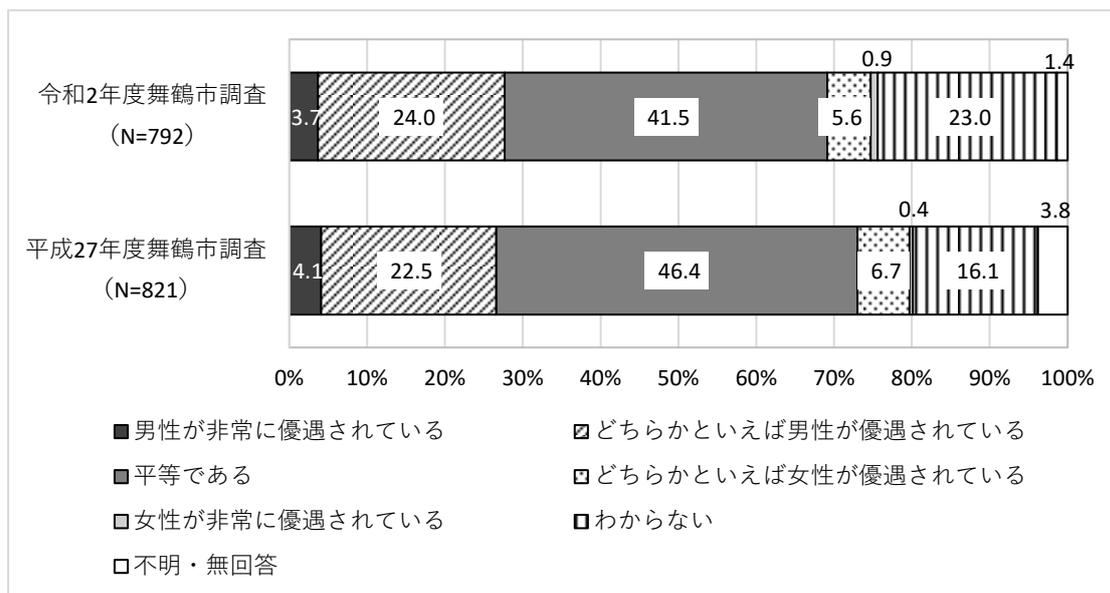
(注2) 網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

(5) 自治会やPTAなどの地域活動の場

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化はなく、「平等である」がともに40%台となっています。一方、大きな変化ではありませんが、令和2年度調査では「平等である」の割合が4.9ポイント減少し、「わからない」が6.9ポイント増加しています。(図表I-36)

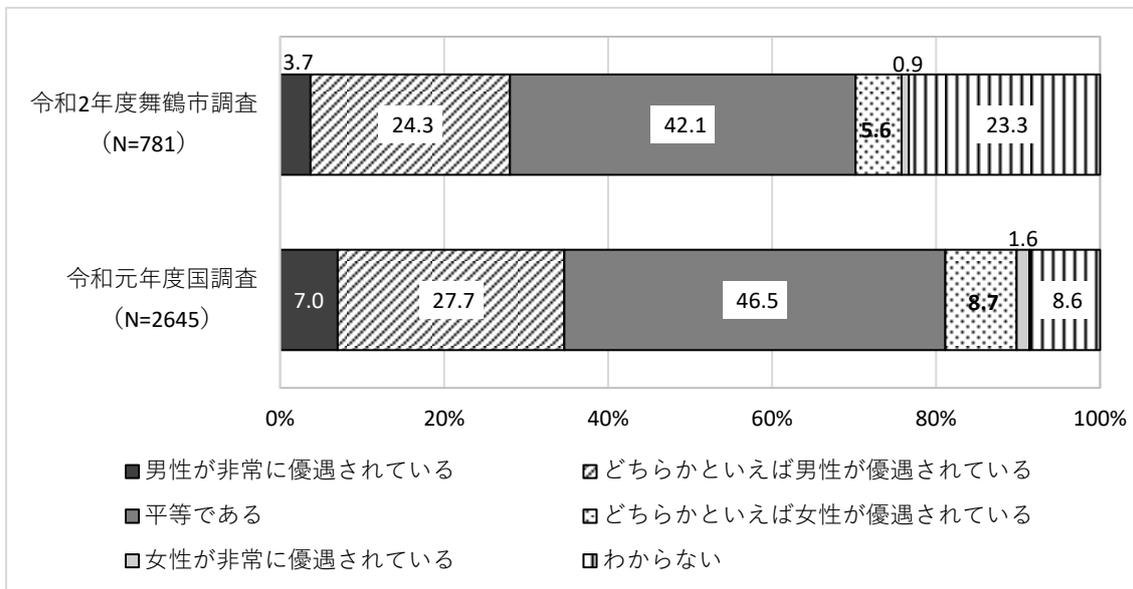
図表 I - 36



【令和元年度国調査との比較】

大きな違いはなく、「平等である」がともに40%台と最も高いです。(図表 I - 37)

図表 I - 37

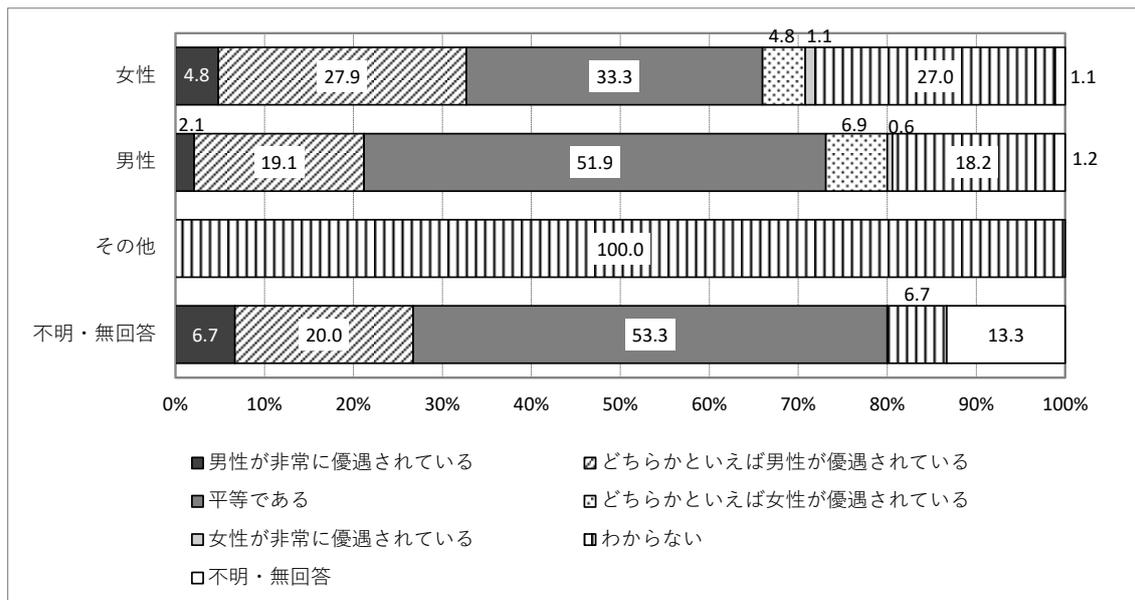


(注1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「平等である」の割合が最も高いです。ただし、女性は「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計と「平等である」の割合が同程度であり、ともに約30.0%となっています。(図表 I - 38)

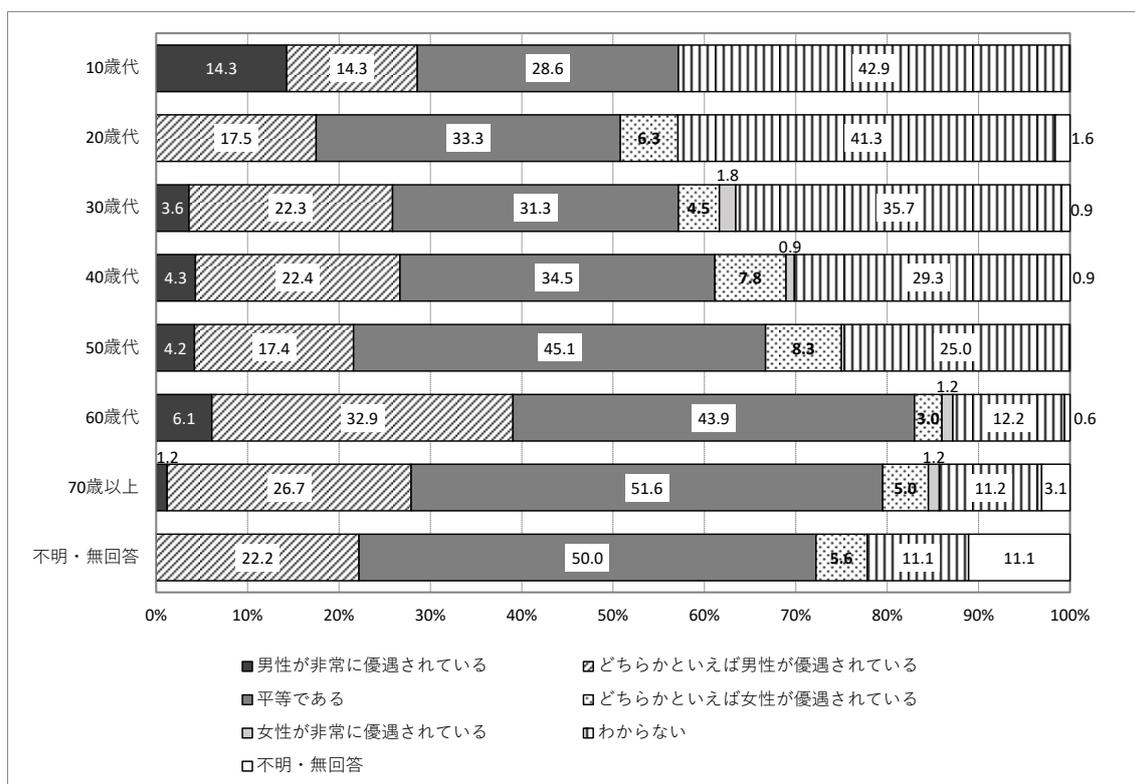
図表 I - 38



【年齢によるクロス集計】

10歳代から30歳代では「わからない」の割合が最も高く、40歳代と50歳代でも2番目に高いです。また、40歳代から70歳以上では「平等である」の割合が最も高いです。ただし、60歳代では「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が39.0%と2番目に高く、「平等である」との差も小さくなっています。(図表I-39)

図表 I - 39



【家族構成と性別によるクロス集計】

男女ともに、「ひとり暮らし」で「わからない」の割合が他の選択肢に比べると高いです。また、女性は「夫婦またはパートナーと2人だけ」と「親と子（2世帯）」で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が他の選択肢に比べると高いです。この傾向は男性の「夫婦またはパートナーと2人だけ」にも見られます。（図表 I - 40）

図表 I - 40

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である      | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない      | 不明・無回答     |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------|------------|--------------------|---------------|------------|------------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | -<br>-        | 10<br>25.0         | 11<br>27.5 | 1<br>2.5           | -<br>-        | 17<br>42.5 | 1<br>2.5   |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 7<br>6.1      | 33<br>28.9         | 50<br>43.9 | 2<br>1.8           | 2<br>1.8      | 19<br>16.7 | 1<br>0.9   |
|                 | 親と子（2世帯）        | 208<br>100.0 | 12<br>5.8     | 63<br>30.3         | 57<br>27.4 | 13<br>6.3          | 2<br>1.0      | 59<br>28.4 | 2<br>1.0   |
|                 | 親と子と孫（3世帯）      | 44<br>100.0  | 2<br>4.5      | 9<br>20.5          | 19<br>43.2 | 2<br>4.5           | -<br>-        | 12<br>27.3 | -<br>-     |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | -<br>-        | 2<br>15.4          | 3<br>23.1  | -<br>-             | 1<br>7.7      | 7<br>53.8  | -<br>-     |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | -<br>-        | 6<br>27.3          | 7<br>31.8  | 3<br>13.6          | -<br>-        | 5<br>22.7  | 1<br>4.5   |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0   | -<br>-             | 8<br>16.0  | 22<br>44.0         | 2<br>4.0      | -<br>-     | 18<br>36.0 |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ |                 | 91<br>100.0  | 1<br>1.1      | 28<br>30.8         | 51<br>56.0 | 3<br>3.3           | -<br>-        | 8<br>8.8   | -<br>-     |
| 親と子（2世帯）        |                 | 142<br>100.0 | 4<br>2.8      | 22<br>15.5         | 75<br>52.8 | 15<br>10.6         | 1<br>0.7      | 24<br>16.9 | 1<br>0.7   |
| 親と子と孫（3世帯）      |                 | 19<br>100.0  | 1<br>5.3      | 2<br>10.5          | 10<br>52.6 | 2<br>10.5          | 1<br>5.3      | 3<br>15.8  | -<br>-     |
| その他             |                 | 7<br>100.0   | -<br>-        | 1<br>14.3          | 4<br>57.1  | -<br>-             | -<br>-        | 2<br>28.6  | -<br>-     |
| 不明・無回答          |                 | 26<br>100.0  | 1<br>3.8      | 3<br>11.5          | 12<br>46.2 | 1<br>3.8           | -<br>-        | 6<br>23.1  | 3<br>11.5  |

（注1）上段は度数、下段は%を表しています。

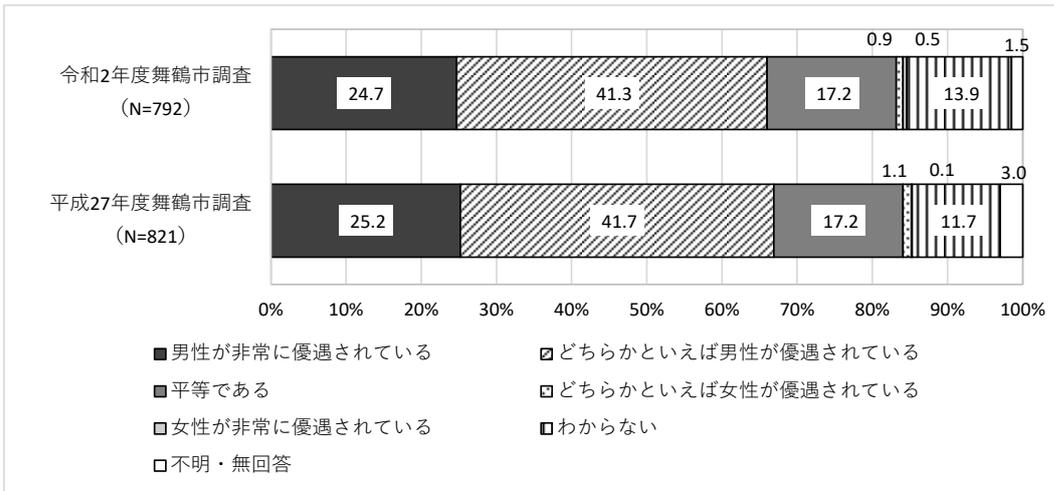
（注2）網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

(6) 政治の場

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化はなく、「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が約 40.0%と最も高いです。(図表 I - 41)

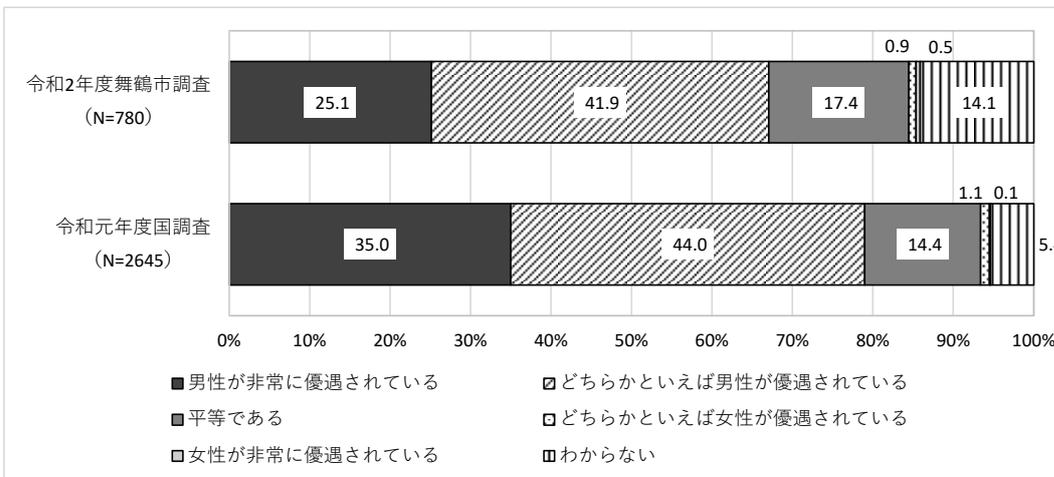
図表 I - 41



【令和元年度国調査との比較】

概ね同じ傾向であり、「どちらかといえば男性が優遇されている」がともに 40%台前半と最も高いです。(図表 I - 42)

図表 I - 42

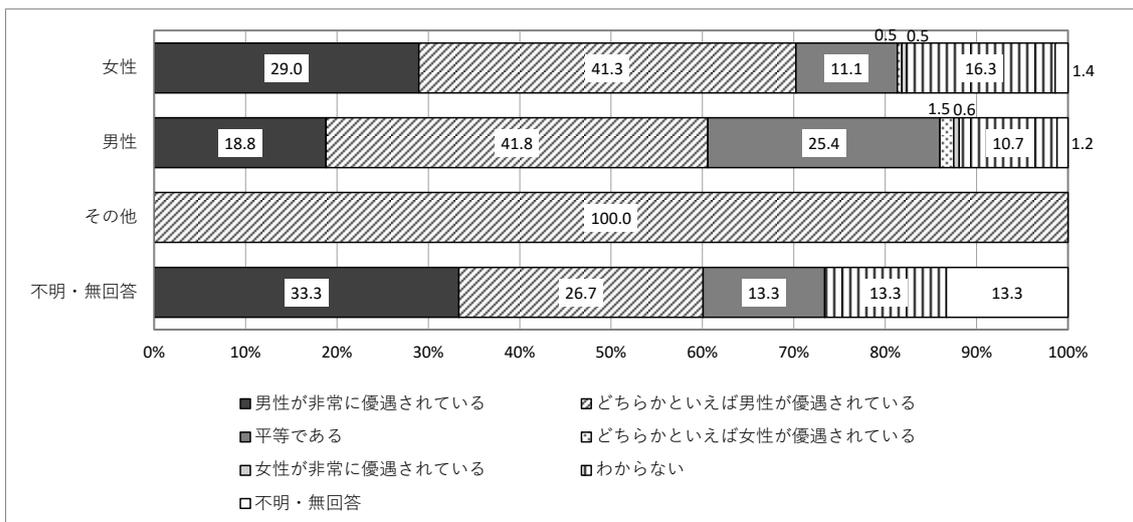


(注 1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和 2 年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせると、女性は70.3%、男性は60.6%となっています。(図表 I - 43)

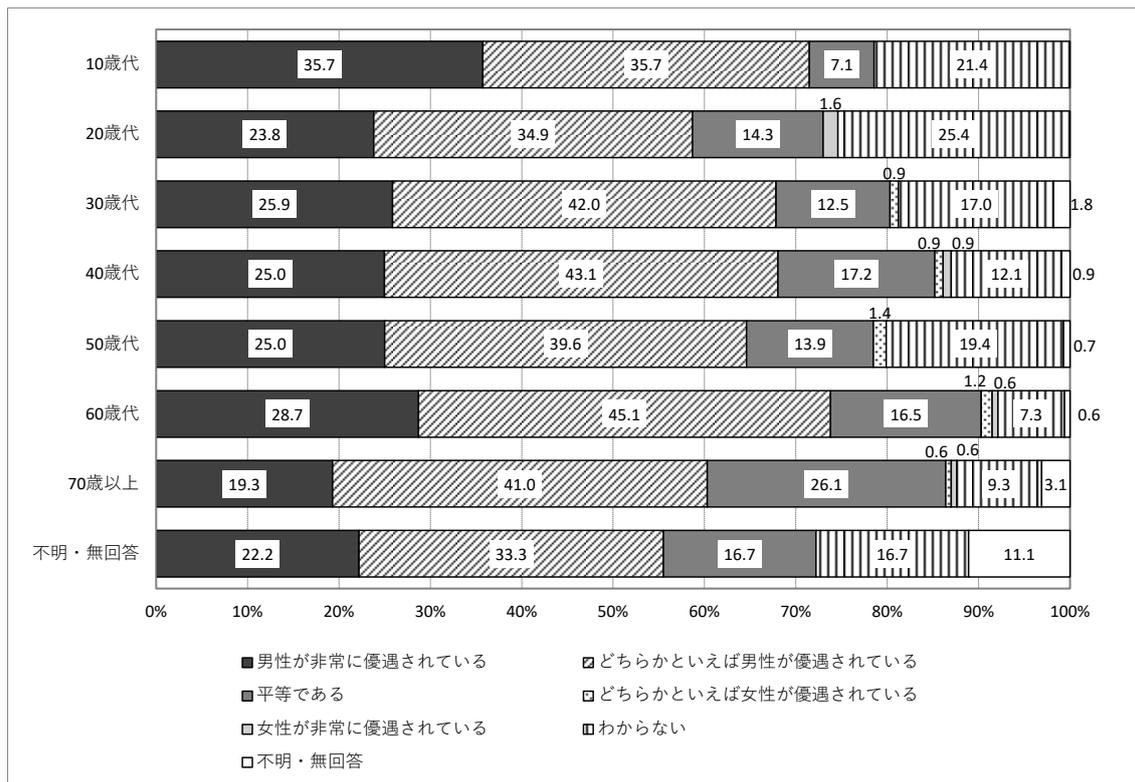
図表 I - 43



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 30%台後半から 40%台前半と最も高いです。ただし、70 歳以上では「平等である」が 26.1%と 2 番目に高く、他の年齢に比べても高いです。(図表 I - 44)

図表 I - 44



【家族構成と性別によるクロス集計】

女性は、「ひとり暮らし」で「わからない」の割合が他の家族構成に比べると高いです。男性は、「夫婦またはパートナーと2人だけ」で「男性が非常に優遇されている」の割合が他の家族構成に比べると高いです。また、男性は「ひとり暮らし」で「平等である」の割合が他の家族構成に比べると高いです。(図表 I - 45)

図表 I - 45

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である      | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない      | 不明・無回答    |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------|------------|--------------------|---------------|------------|-----------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 12<br>30.0    | 10<br>25.0         | 6<br>15.0  | -<br>-             | -<br>-        | 11<br>27.5 | 1<br>2.5  |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 35<br>30.7    | 40<br>35.1         | 21<br>18.4 | 1<br>0.9           | -<br>-        | 16<br>14.0 | 1<br>0.9  |
|                 | 親と子(2世帯)        | 208<br>100.0 | 59<br>28.4    | 97<br>46.6         | 12<br>5.8  | -<br>-             | 2<br>1.0      | 34<br>16.3 | 4<br>1.9  |
|                 | 親と子と孫(3世帯)      | 44<br>100.0  | 12<br>27.3    | 21<br>47.7         | 7<br>15.9  | 1<br>2.3           | -<br>-        | 3<br>6.8   | -<br>-    |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | 3<br>23.1     | 7<br>53.8          | 1<br>7.7   | -<br>-             | -<br>-        | 2<br>15.4  | -<br>-    |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 7<br>31.8     | 7<br>31.8          | 2<br>9.1   | -<br>-             | -<br>-        | 6<br>27.3  | -<br>-    |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0   | 7<br>14.0          | 15<br>30.0 | 19<br>38.0         | 2<br>4.0      | -<br>-     | 7<br>14.0 |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ |                 | 91<br>100.0  | 21<br>23.1    | 38<br>41.8         | 26<br>28.6 | 2<br>2.2           | -<br>-        | 4<br>4.4   | -<br>-    |
| 親と子(2世帯)        |                 | 142<br>100.0 | 25<br>17.6    | 64<br>45.1         | 32<br>22.5 | 1<br>0.7           | 1<br>0.7      | 17<br>12.0 | 2<br>1.4  |
| 親と子と孫(3世帯)      |                 | 19<br>100.0  | 3<br>15.8     | 10<br>52.6         | 2<br>10.5  | -<br>-             | 1<br>5.3      | 3<br>15.8  | -<br>-    |
| その他             |                 | 7<br>100.0   | 1<br>14.3     | 3<br>42.9          | 2<br>28.6  | -<br>-             | -<br>-        | 1<br>14.3  | -<br>-    |
| 不明・無回答          |                 | 26<br>100.0  | 6<br>23.1     | 10<br>38.5         | 4<br>15.4  | -<br>-             | -<br>-        | 4<br>15.4  | 2<br>7.7  |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

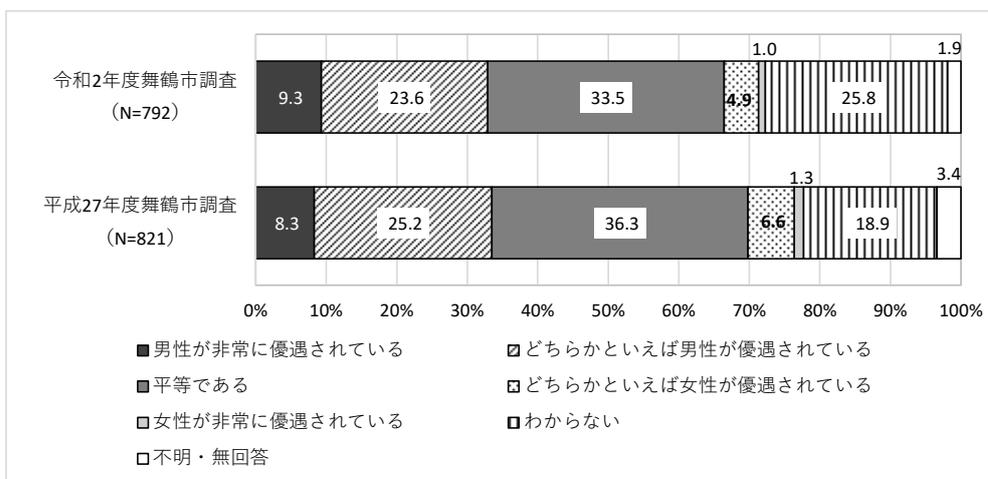
(注2) 網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

(7) 法律や制度

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化はなく、「平等である」の割合が 30%台と最も高いです。ただし、令和 2 年度調査では「わからない」が 6.9 ポイント増加しています。ただし、平成 27 年度舞鶴市調査では「法律や制度の上」という問になっています。(図表 I - 46)

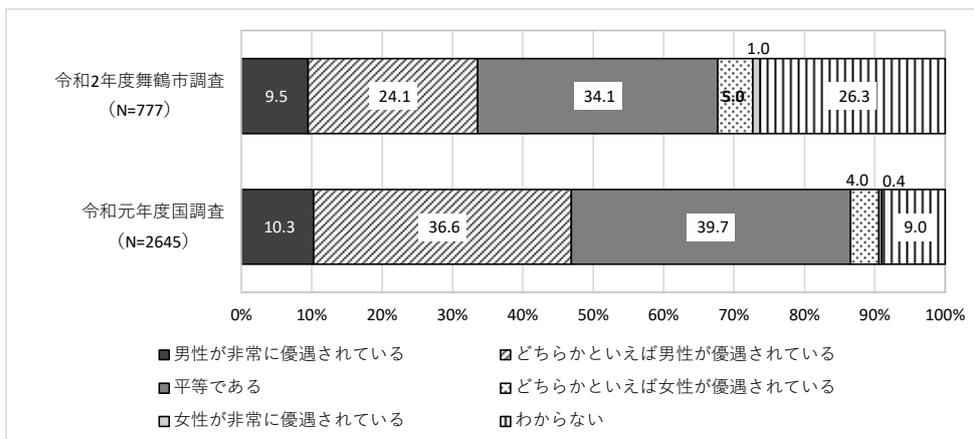
図表 I - 46



【令和元年度国調査との比較】

概ね同じ傾向であり、「平等である」がともに 30%台と最も高いです。ただし、令和元年度国調査では「法律や制度の上」という問になっています。(図表 I - 47)

図表 I - 47

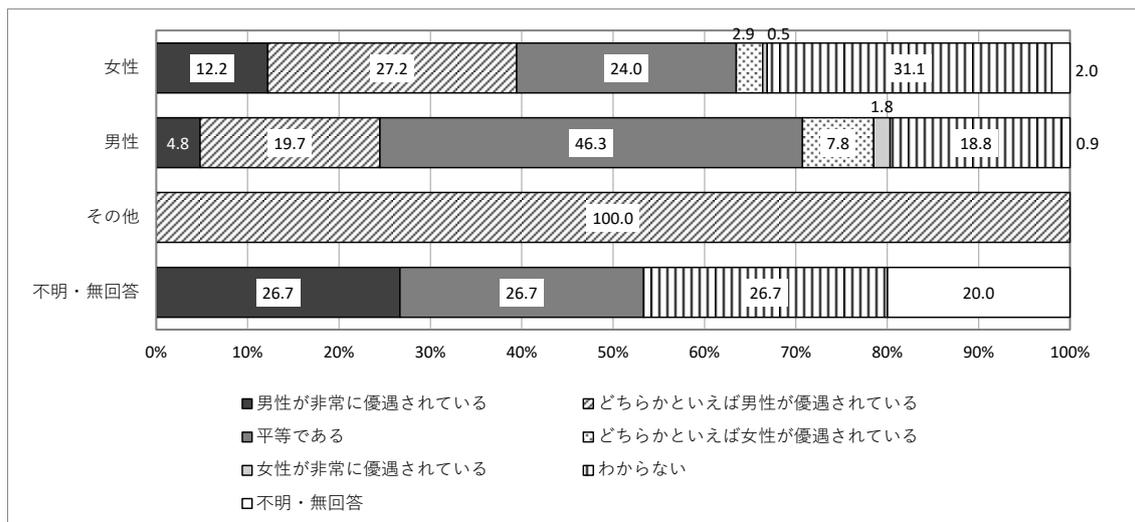


(注 1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和 2 年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

女性は「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が39.4%と最も高いです。一方、男性は「平等である」の割合が46.3%と最も高くなっています。(図表 I - 48)

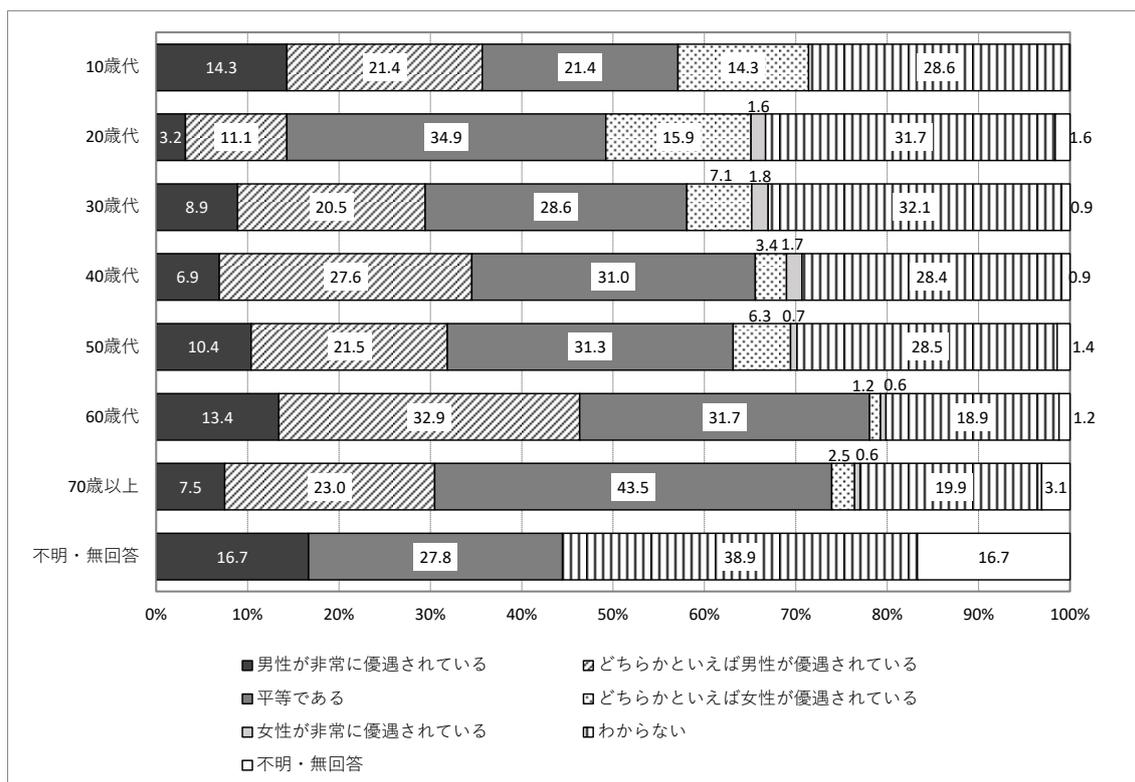
図表 I - 48



【年齢によるクロス集計】

30歳代から70歳以上では「どちらかといえば男性が優遇されている」と「平等である」が主な回答となっています。ただし、70歳以上では「どちらかといえば男性が優遇されている」よりも「平等である」の方が20.5ポイント高く、他の年齢に比べても「平等である」の割合が高いです。(図表I-49)

図表 I - 49



【家族構成と性別によるクロス集計】

女性は、「ひとり暮らし」と「親と子（2世帯）」で「わからない」の割合が他の家族構成に比べると高いです。また、女性は「夫婦またはパートナーと2人だけ」で「平等である」の割合が他の家族構成に比べると高いです。男性は、「ひとり暮らし」で「わからない」の割合が他の家族構成に比べると高いです。（図表 I - 50）

図表 I - 50

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である      | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない      | 不明・無回答     |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------|------------|--------------------|---------------|------------|------------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 6<br>15.0     | 9<br>22.5          | 9<br>22.5  | 2<br>5.0           | -             | 13<br>32.5 | 1<br>2.5   |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 13<br>11.4    | 32<br>28.1         | 36<br>31.6 | 3<br>2.6           | -             | 29<br>25.4 | 1<br>0.9   |
|                 | 親と子（2世帯）        | 208<br>100.0 | 27<br>13.0    | 58<br>27.9         | 42<br>20.2 | 6<br>2.9           | 2<br>1.0      | 68<br>32.7 | 5<br>2.4   |
|                 | 親と子と孫（3世帯）      | 44<br>100.0  | 6<br>13.6     | 12<br>27.3         | 11<br>25.0 | -                  | -             | 13<br>29.5 | 2<br>4.5   |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | -             | 5<br>38.5          | 4<br>30.8  | -                  | -             | 4<br>30.8  | -          |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 2<br>9.1      | 4<br>18.2          | 4<br>18.2  | 2<br>9.1           | -             | 10<br>45.5 | -          |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0   | 1<br>2.0           | 8<br>16.0  | 24<br>48.0         | 2<br>4.0      | 1<br>2.0   | 14<br>28.0 |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91<br>100.0     | 8<br>8.8     | 21<br>23.1    | 48<br>52.7         | 5<br>5.5   | 1<br>1.1           | 8<br>8.8      | -          |            |
| 親と子（2世帯）        | 142<br>100.0    | 4<br>2.8     | 27<br>19.0    | 62<br>43.7         | 17<br>12.0 | 4<br>2.8           | 27<br>19.0    | 1<br>0.7   |            |
| 親と子と孫（3世帯）      | 19<br>100.0     | -            | 5<br>26.3     | 9<br>47.4          | -          | -                  | 5<br>26.3     | -          |            |
| その他             | 7<br>100.0      | -            | 1<br>14.3     | 4<br>57.1          | -          | -                  | 2<br>28.6     | -          |            |
| 不明・無回答          | 26<br>100.0     | 3<br>11.5    | 4<br>15.4     | 8<br>30.8          | 2<br>7.7   | -                  | 7<br>26.9     | 2<br>7.7   |            |

（注1）上段は度数、下段は%を表しています。

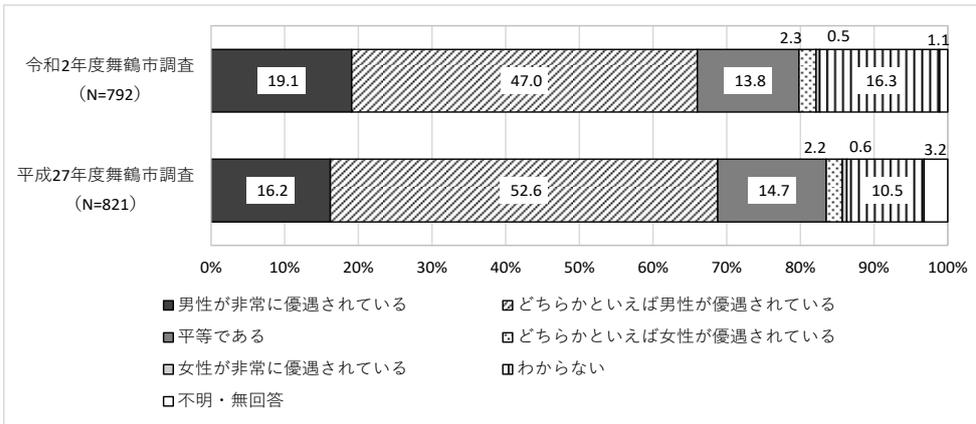
（注2）網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

(8) 社会通念・習慣・しきたりなど

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化はありませんが、「どちらかといえば男性が優遇されている」が 5.6 ポイント減少し、「わからない」が 5.8 ポイント増加しています。(図表 I - 51)

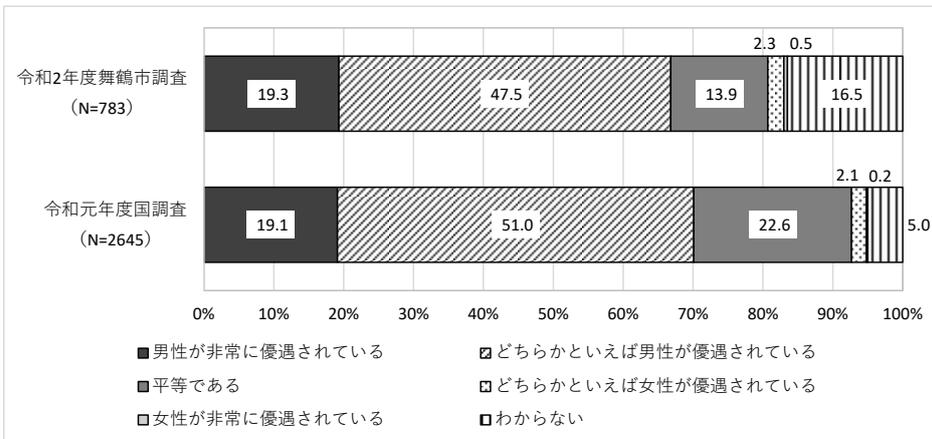
図表 I - 51



【令和元年度国調査との比較】

概ね同じ傾向であり、「どちらかといえば男性が優遇されている」がともに最も高いです。ただし、令和元年度国調査では「どちらかといえば男性が優遇されている」が 50.0%を越えています。令和 2 年度舞鶴市調査では 40%台後半であり、「わからない」の割合が令和元年度国調査よりも高くなっています。(図表 I - 52)

図表 I - 52

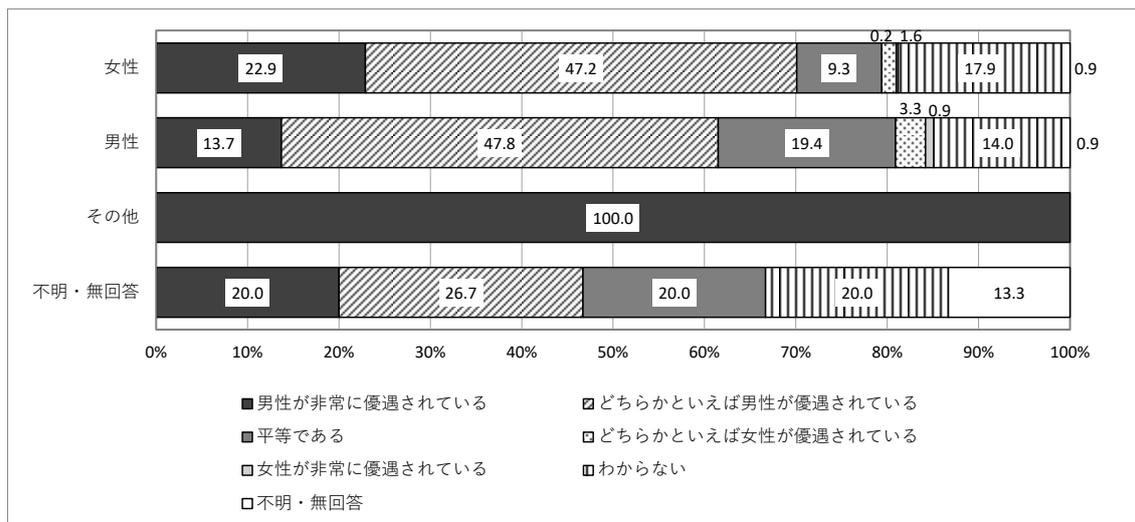


(注 1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和 2 年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせると、女性は70.1%、男性は61.5%になっています。(図表 I - 53)

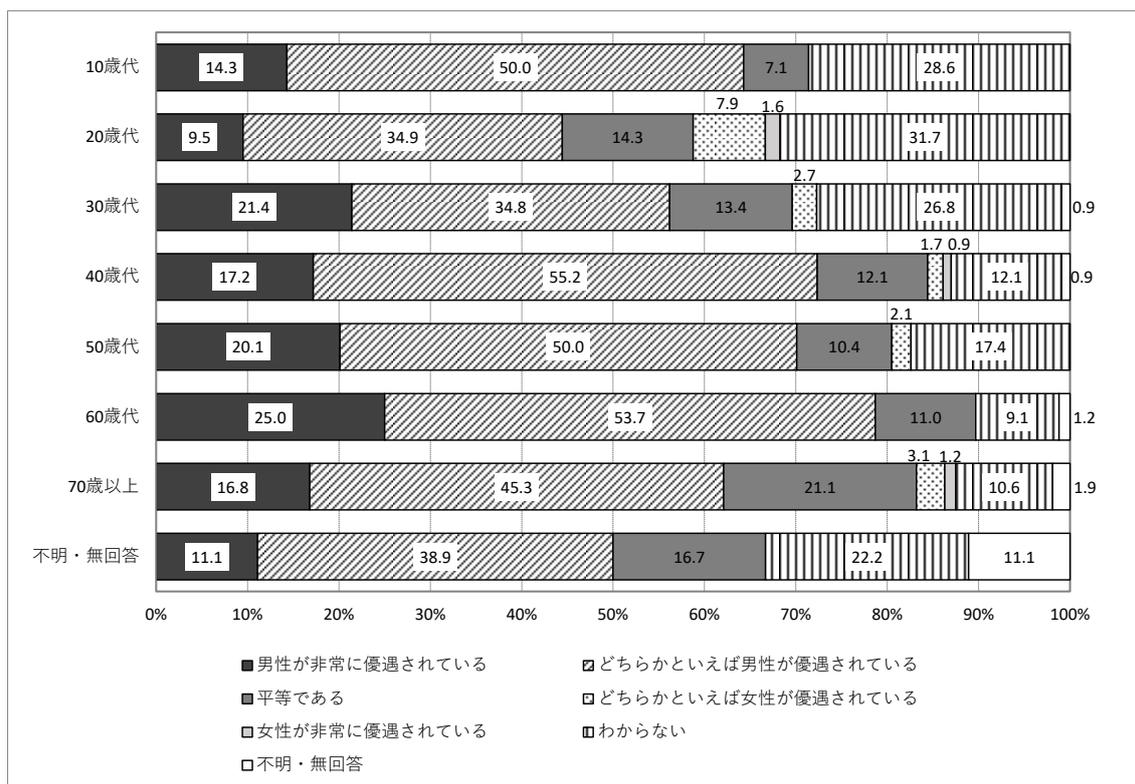
図表 I - 53



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、40歳以上では「男性が非常に優遇されている」の割合が2番目に高いです。一方で、10歳代から30歳代では「わからない」の割合が2番目に高いです。(図表 I - 54)

図表 I - 54



【家族構成と性別によるクロス集計】

女性は、家族構成による違いは特に見られません。男性は、「夫婦またはパートナーと2人だけ」で「男性が非常に優遇されている」の割合が他の家族構成に比べると高いです。また、男性は「ひとり暮らし」で「わからない」の割合が他の家族構成に比べると高いです。(図表 I - 55)

図表 I - 55

| 性別     | 家族構成            | 合計    | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない | 不明・無回答 |
|--------|-----------------|-------|---------------|--------------------|-------|--------------------|---------------|-------|--------|
| 女性     | ひとり暮らし          | 40    | 8             | 15                 | 5     | 2                  | -             | 8     | 2      |
|        |                 | 100.0 | 20.0          | 37.5               | 12.5  | 5.0                | -             | 20.0  | 5.0    |
|        | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114   | 24            | 57                 | 16    | -                  | -             | 17    | -      |
|        |                 | 100.0 | 21.1          | 50.0               | 14.0  | -                  | -             | 14.9  | -      |
|        | 親と子(2世帯)        | 208   | 50            | 103                | 14    | 2                  | -             | 37    | 2      |
|        |                 | 100.0 | 24.0          | 49.5               | 6.7   | 1.0                | -             | 17.8  | 1.0    |
|        | 親と子と孫(3世帯)      | 44    | 13            | 17                 | 5     | 1                  | -             | 8     | -      |
|        | 100.0           | 29.5  | 38.6          | 11.4               | 2.3   | -                  | 18.2          | -     |        |
| その他    | 13              | 4     | 5             | -                  | 1     | -                  | 3             | -     |        |
|        | 100.0           | 30.8  | 38.5          | -                  | 7.7   | -                  | 23.1          | -     |        |
| 不明・無回答 | 22              | 2     | 11            | 1                  | 1     | 1                  | 6             | -     |        |
|        | 100.0           | 9.1   | 50.0          | 4.5                | 4.5   | 4.5                | 27.3          | -     |        |
| 男性     | ひとり暮らし          | 50    | 2             | 23                 | 11    | -                  | 2             | 12    | -      |
|        |                 | 100.0 | 4.0           | 46.0               | 22.0  | -                  | 4.0           | 24.0  | -      |
|        | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91    | 21            | 48                 | 14    | 3                  | -             | 5     | -      |
|        |                 | 100.0 | 23.1          | 52.7               | 15.4  | 3.3                | -             | 5.5   | -      |
|        | 親と子(2世帯)        | 142   | 15            | 74                 | 24    | 7                  | 1             | 20    | 1      |
|        |                 | 100.0 | 10.6          | 52.1               | 16.9  | 4.9                | 0.7           | 14.1  | 0.7    |
|        | 親と子と孫(3世帯)      | 19    | 4             | 6                  | 6     | -                  | -             | 3     | -      |
|        | 100.0           | 21.1  | 31.6          | 31.6               | -     | -                  | 15.8          | -     |        |
| その他    | 7               | -     | 2             | 3                  | -     | -                  | 2             | -     |        |
|        | 100.0           | -     | 28.6          | 42.9               | -     | -                  | 28.6          | -     |        |
| 不明・無回答 | 26              | 4     | 7             | 7                  | 1     | -                  | 5             | 2     |        |
|        | 100.0           | 15.4  | 26.9          | 26.9               | 3.8   | -                  | 19.2          | 7.7   |        |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

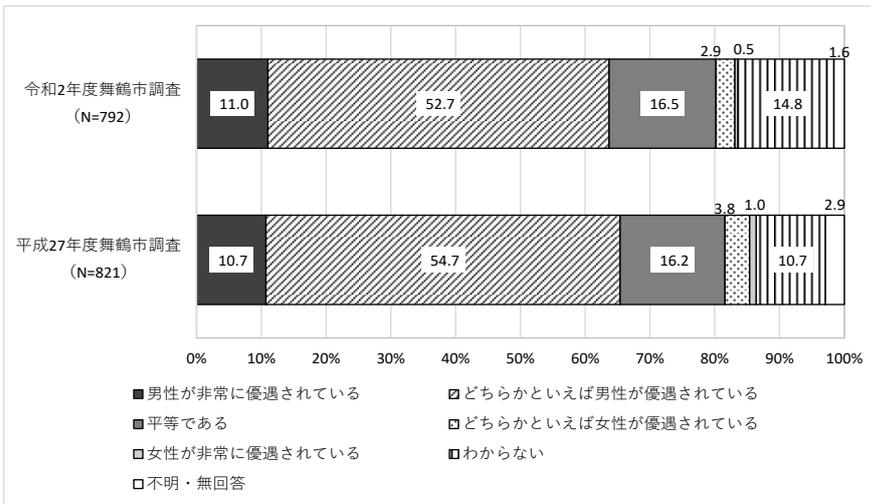
(注2) 網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

(9) 社会全体

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化はありません。「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高く、50%台前半となっています。(図表 I - 56)

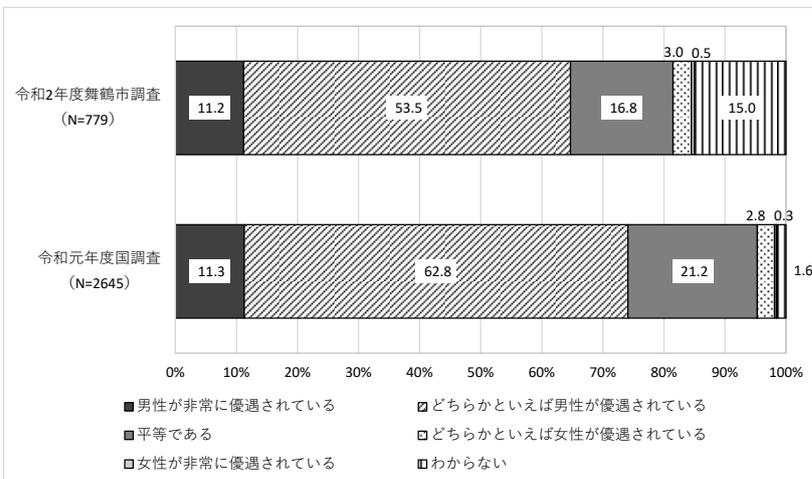
図表 I - 56



【令和元年度国調査との比較】

「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合がともに最も高いです。ただし、令和 2 年度舞鶴市調査では「平等である」と「わからない」の割合が同程度となっており、「わからない」の割合が令和元年度国調査よりも高くなっています。(図表 I - 57)

図表 I - 57

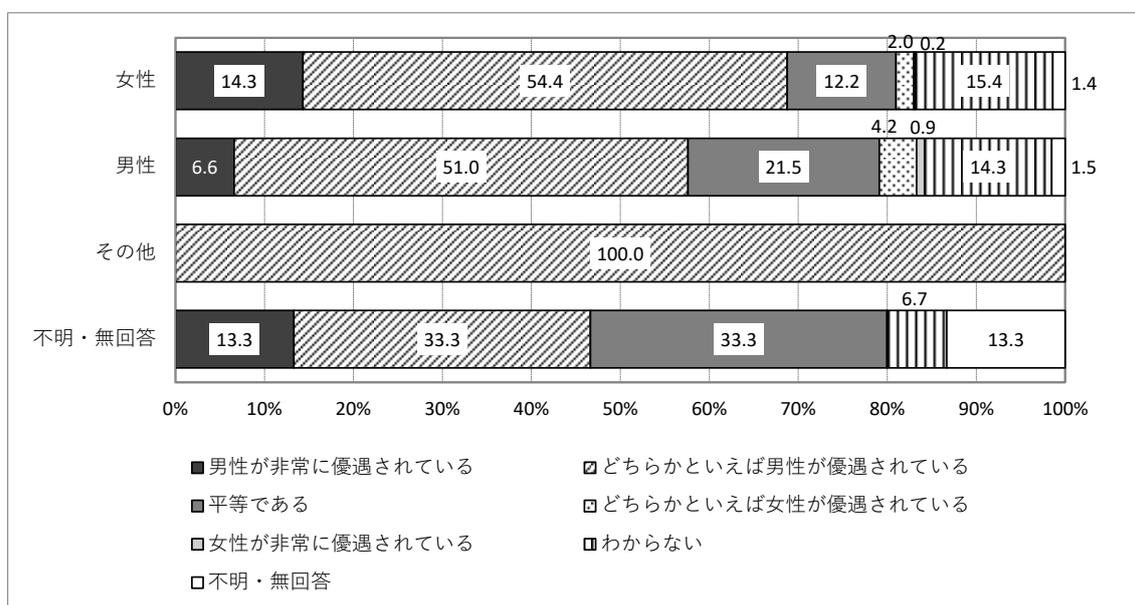


(注1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせると、女性は68.7%、男性は57.6%となっています。(図表I-58)

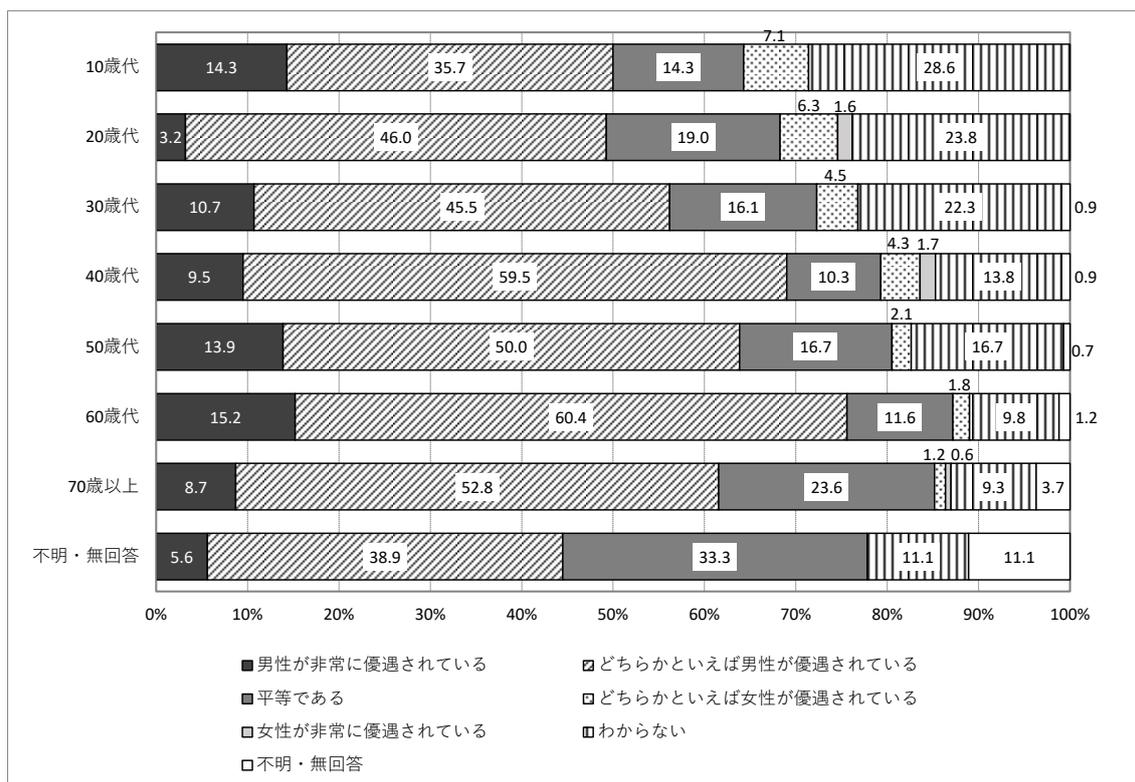
図表 I - 58



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も高いです。また、10歳代から50歳代では「わからない」の割合が2番目に高いです。ただし、20歳代から60歳代では「平等である」と「わからない」の差は小さくなっています。(図表 I - 59)

図表 I - 59



【家族構成と性別によるクロス集計】

女性は、「ひとり暮らし」で「わからない」の割合が他の家族構成に比べると高いです。男性は、「夫婦またはパートナーと2人だけ」で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が他の家族構成に比べると高いです。また、男性は「親と子と孫（3世帯）」で「男性が非常に優遇されている」の割合が他の家族構成に比べると高いです。

(図表 I - 60)

図表 I - 60

| 性別 | 家族構成            | 合計           | 男性が非常に優遇されている | どちらかといえば男性が優遇されている | 平等である      | どちらかといえば女性が優遇されている | 女性が非常に優遇されている | わからない      | 不明・無回答    |
|----|-----------------|--------------|---------------|--------------------|------------|--------------------|---------------|------------|-----------|
| 女性 | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 4<br>10.0     | 19<br>47.5         | 5<br>12.5  | 2<br>5.0           | -             | 9<br>22.5  | 1<br>2.5  |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 18<br>15.8    | 59<br>51.8         | 20<br>17.5 | 2<br>1.8           | -             | 15<br>13.2 | -         |
|    | 親と子（2世帯）        | 208<br>100.0 | 33<br>15.9    | 116<br>55.8        | 20<br>9.6  | 3<br>1.4           | -             | 31<br>14.9 | 5<br>2.4  |
|    | 親と子と孫（3世帯）      | 44<br>100.0  | 5<br>11.4     | 24<br>54.5         | 7<br>15.9  | 1<br>2.3           | 1<br>2.3      | 6<br>13.6  | -         |
|    | その他             | 13<br>100.0  | 2<br>15.4     | 9<br>69.2          | -          | -                  | -             | 2<br>15.4  | -         |
|    | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 1<br>4.5      | 13<br>59.1         | 2<br>9.1   | 1<br>4.5           | -             | 5<br>22.7  | -         |
| 男性 | ひとり暮らし          | 50<br>100.0  | 3<br>6.0      | 23<br>46.0         | 11<br>22.0 | 3<br>6.0           | 2<br>4.0      | 8<br>16.0  | -         |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91<br>100.0  | 11<br>12.1    | 56<br>61.5         | 16<br>17.6 | 3<br>3.3           | -             | 5<br>5.5   | -         |
|    | 親と子（2世帯）        | 142<br>100.0 | 5<br>3.5      | 70<br>49.3         | 33<br>23.2 | 6<br>4.2           | 1<br>0.7      | 25<br>17.6 | 2<br>1.4  |
|    | 親と子と孫（3世帯）      | 19<br>100.0  | 3<br>15.8     | 10<br>52.6         | 3<br>15.8  | -                  | -             | 3<br>15.8  | -         |
|    | その他             | 7<br>100.0   | -             | 3<br>42.9          | 2<br>28.6  | 1<br>14.3          | -             | 1<br>14.3  | -         |
|    | 不明・無回答          | 26<br>100.0  | -             | 9<br>34.6          | 7<br>26.9  | 1<br>3.8           | -             | 6<br>23.1  | 3<br>11.5 |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

(注2) 網掛けは、各家族構成における上位2項目を示しています。

## II 働く場における男女平等について（問3～問5）

IIでは、責任ある職務や指導的立場にある女性の比率と、男女がともに働きやすい職場をつくっていくために必要なことに関する考えを尋ねています。

問3 企業や行政などの職場では、責任ある職務や指導的立場にある女性の比率が低い状況にあります。これについてあなたはどのようにお考えですか。（○は1つ）

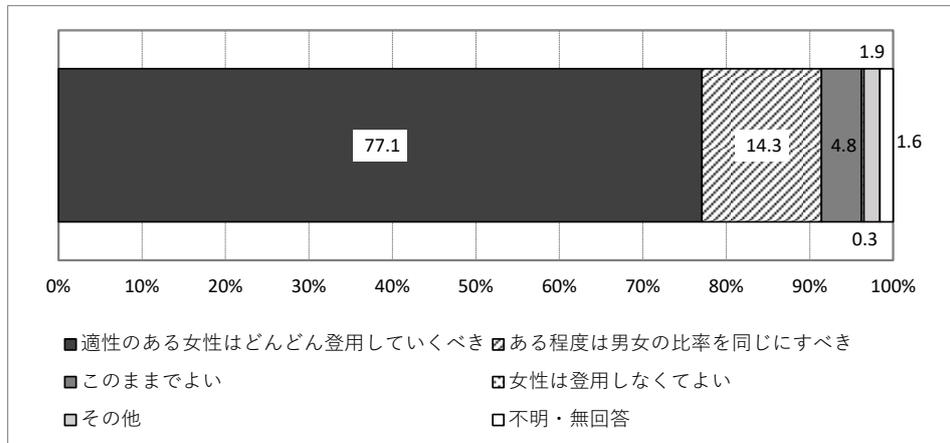
単数回答（N=792）

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、性別、年齢

「適性のある女性はどんどん登用していくべき」が77.1%と最も高く、次いで「ある程度は男女の比率を同じにすべき」、「このままでよい」となっています。（図表II-1）

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「性別ではなく能力で選ぶべき」、「本人が選択できるようにすべき」、「比率は問題ではない」といった内容が中心となっています。（図表II-2）

図表II-1



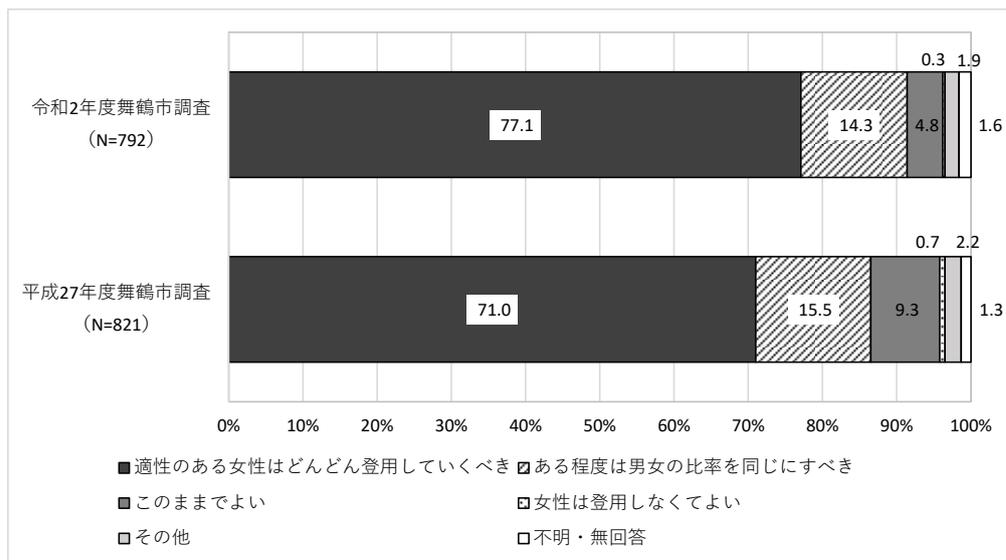
図表II-2 「その他」の内容の分類

| 分類             | 件数 (件) |
|----------------|--------|
| 性別ではなく能力で選ぶべき  | 6      |
| 本人が選択できるようにすべき | 2      |
| 比率は問題ではない      | 3      |
| 人材育成が必要        | 1      |
| わからない          | 1      |
| その他            | 1      |

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化ではありませんが、「適性のある女性はどんどん登用していくべき」が 6.1 ポイント増加しています。また、「このままでよい」は 4.5 ポイント減少しています。  
 (図表 II - 3)

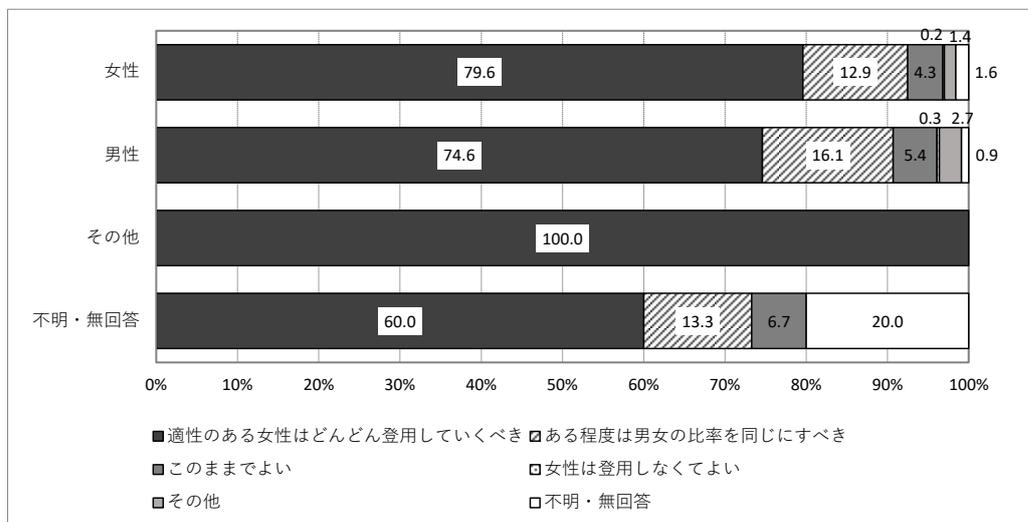
図表 II - 3



【性別によるクロス集計】

男女ともに「適性のある女性はどんどん登用していくべき」が 70%台と最も高くなっています。(図表 II - 4)

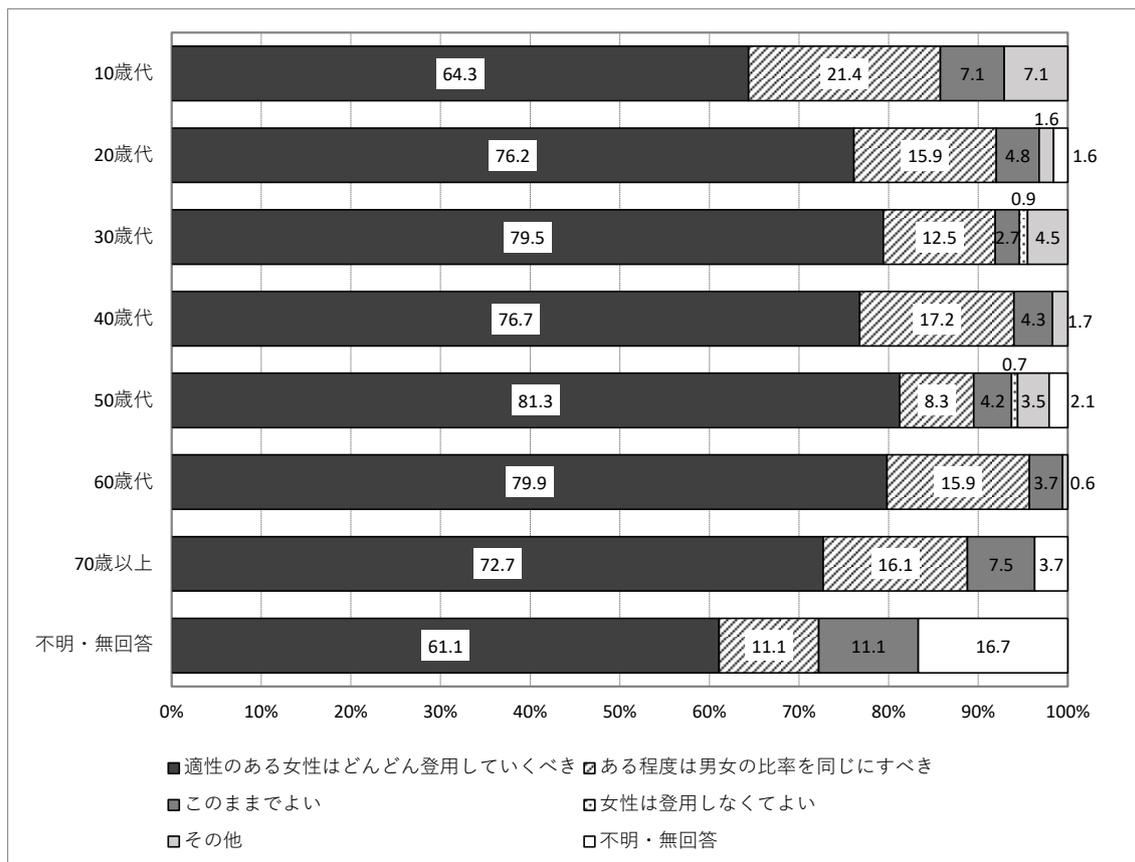
図表 II - 4



【年齢によるクロス集計】

すべての年齢において概ね同じ傾向となっています。ただし、50歳代では「適性のある女性はどんどん登用していくべき」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅱ-5)

図表Ⅱ-5



問4 企業や行政などの職場において、管理職などの責任ある職務や指導的立場にもっと女性が参画するためには、どのようにするのがよいと思いますか。(〇は3つまで)

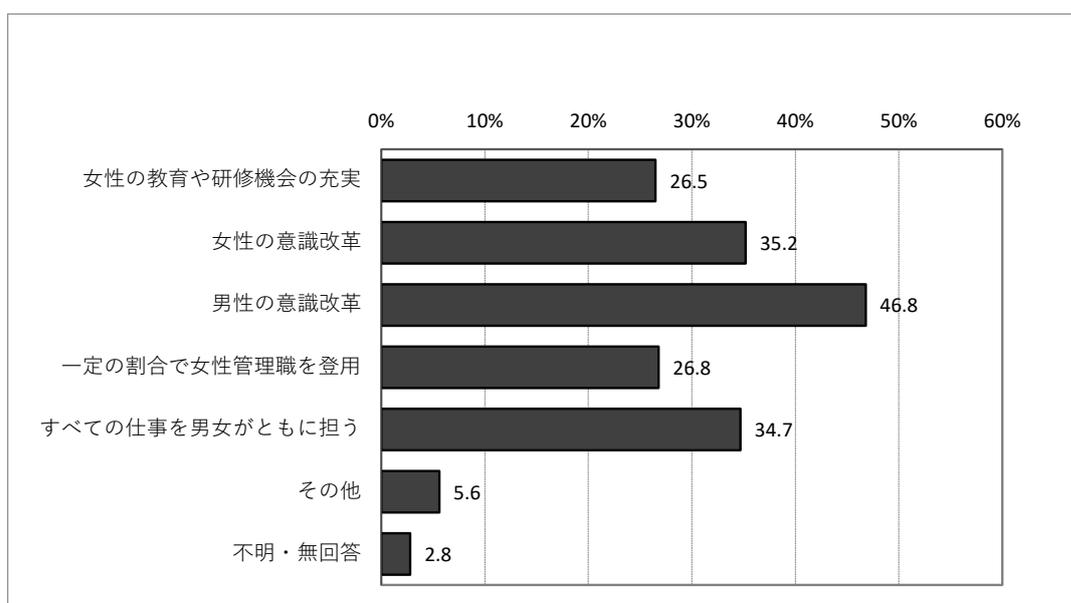
複数回答(3つまで)

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、性別、年齢

「男性の意識改革」が46.8%と最も高く、次いで「女性の意識改革」が35.2%、「すべての仕事を男女がともに担う」が34.7%となっています。(図表Ⅱ-6)

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「性別ではなく能力で選ぶべき」、「男女がともに活躍できる環境を整える」、「女性が働きやすい環境を整える」といった内容のものが多くなっています。(図表Ⅱ-7)

図表Ⅱ-6



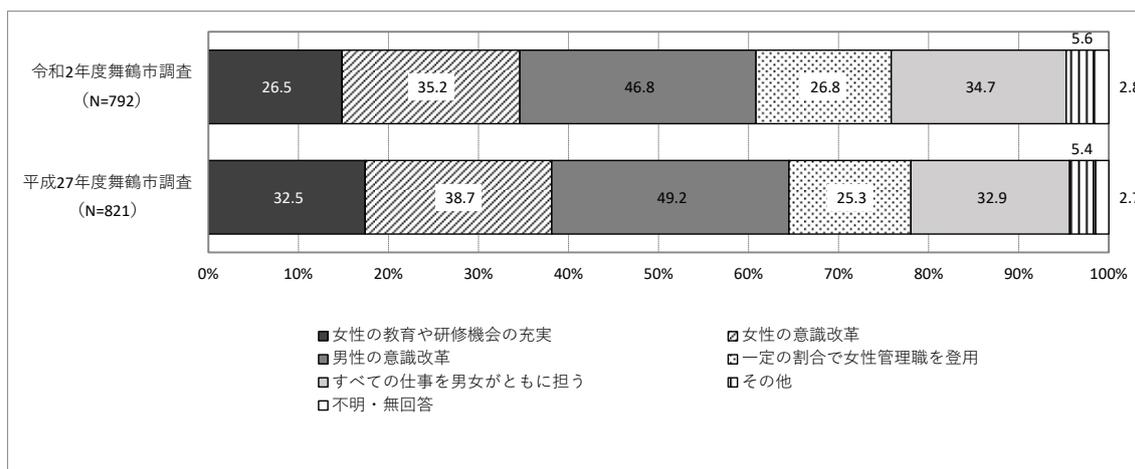
図表Ⅱ－7 「その他」の内容の分類

| 分類               | 件数 (件) |
|------------------|--------|
| 家庭環境を整える         | 4      |
| 古い慣習をなくす         | 3      |
| 無理に参画する必要はない     | 2      |
| 適性のある女性を探す・育成する  | 3      |
| 男性も家事や育児に参加する    | 2      |
| 性差を考慮すべき         | 3      |
| 性別ではなく能力で選ぶべき    | 10     |
| 男女が共に活躍できる環境を整える | 7      |
| 比率は問題ではない        | 2      |
| 女性が働きやすい環境を整える   | 7      |
| 行政や政治家が率先して取り組む  | 2      |
| わからない            | 1      |
| その他              | 2      |

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

大きな変化ではありませんが、「女性の教育や研修機会の充実」は 6.0 ポイント減少しています。(図表Ⅱ－8)

図表Ⅱ－8



【性別によるクロス集計】

男女ともに「男性の意識改革」の割合が最も高く、次いで「女性の意識改革」と「すべての仕事を男女がともに担う」が同程度となっています。（図表Ⅱ－９）

図表Ⅱ－９

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 女性の教育<br>や研修機会<br>の充実 | 女性の意識<br>改革 | 男性の意識<br>改革 | 一定の割合<br>で女性管理<br>職を登用 | すべての仕<br>事を男女が<br>ともに担う | その他       | 不明・無回<br>答 |
|---------------|--------------|-----------------------|-------------|-------------|------------------------|-------------------------|-----------|------------|
| 全体            | 792<br>100.0 | 210<br>26.5           | 279<br>35.2 | 371<br>46.8 | 212<br>26.8            | 275<br>34.7             | 44<br>5.6 | 22<br>2.8  |
| 女性            | 441<br>100.0 | 139<br>31.5           | 149<br>33.8 | 226<br>51.2 | 113<br>25.6            | 150<br>34.0             | 27<br>6.1 | 12<br>2.7  |
| 男性            | 335<br>100.0 | 67<br>20.0            | 127<br>37.9 | 139<br>41.5 | 98<br>29.3             | 121<br>36.1             | 17<br>5.1 | 5<br>1.5   |
| その他           | 1<br>100.0   | 1<br>100.0            | -<br>-      | 1<br>100.0  | -<br>-                 | -<br>-                  | -<br>-    | -<br>-     |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 3<br>20.0             | 3<br>20.0   | 5<br>33.3   | 1<br>6.7               | 4<br>26.7               | -         | 5<br>33.3  |

（注１）網掛けは、各性別における上位３項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

全体の傾向としては概ね同じであり、年齢による大きな違いは見られません。ただし、60歳代では「女性の意識改革を進める」と「一定の割合で女性管理職を登用」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅱ-10)

図表Ⅱ-10

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 女性の教育<br>や研修機会<br>の充実 | 女性の意識<br>改革 | 男性の意識<br>改革 | 一定の割合<br>で女性管理<br>職を登用 | すべての仕<br>事を男女が<br>ともに担う | その他        | 不明・無回<br>答 |
|---------------|--------------|-----------------------|-------------|-------------|------------------------|-------------------------|------------|------------|
| 全体            | 792<br>100.0 | 210<br>26.5           | 279<br>35.2 | 371<br>46.8 | 212<br>26.8            | 275<br>34.7             | 44<br>5.6  | 22<br>2.8  |
| 10歳代          | 14<br>100.0  | 1<br>7.1              | 1<br>7.1    | 3<br>21.4   | 5<br>35.7              | 8<br>57.1               | 1<br>7.1   | -<br>-     |
| 20歳代          | 63<br>100.0  | 20<br>31.7            | 23<br>36.5  | 26<br>41.3  | 17<br>27.0             | 23<br>36.5              | 1<br>1.6   | 2<br>3.2   |
| 30歳代          | 112<br>100.0 | 28<br>25.0            | 28<br>25.0  | 61<br>54.5  | 27<br>24.1             | 35<br>31.3              | 8<br>7.1   | 2<br>1.8   |
| 40歳代          | 116<br>100.0 | 26<br>22.4            | 40<br>34.5  | 59<br>50.9  | 28<br>24.1             | 41<br>35.3              | 11<br>9.5  | 3<br>2.6   |
| 50歳代          | 144<br>100.0 | 36<br>25.0            | 57<br>39.6  | 62<br>43.1  | 38<br>26.4             | 53<br>36.8              | 15<br>10.4 | 2<br>1.4   |
| 60歳代          | 164<br>100.0 | 49<br>29.9            | 71<br>43.3  | 85<br>51.8  | 52<br>31.7             | 50<br>30.5              | 7<br>4.3   | 3<br>1.8   |
| 70歳以上         | 161<br>100.0 | 46<br>28.6            | 54<br>33.5  | 69<br>42.9  | 44<br>27.3             | 59<br>36.6              | 1<br>0.6   | 5<br>3.1   |
| 不明・無回答        | 18<br>100.0  | 4<br>22.2             | 5<br>27.8   | 6<br>33.3   | 1<br>5.6               | 6<br>33.3               | -<br>-     | 5<br>27.8  |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

問5 あなたは、男女がともに働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

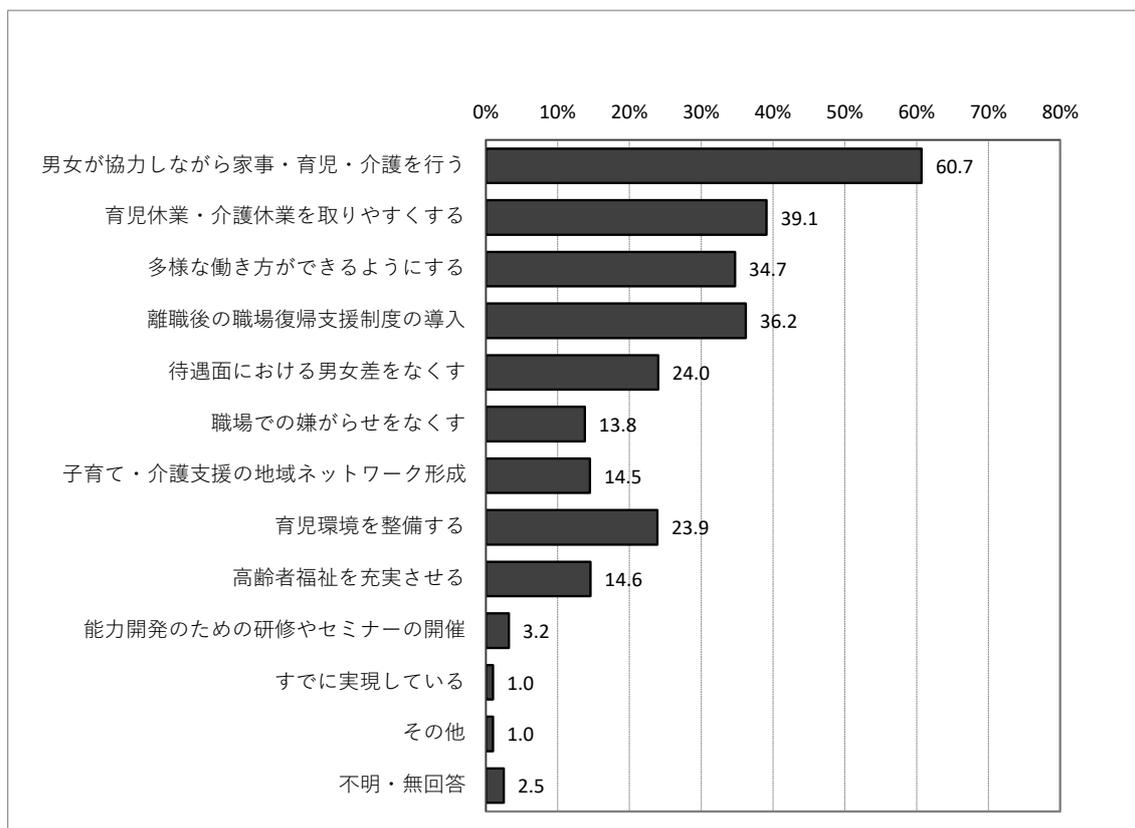
複数回答(3つまで)

クロス集計：性別、年齢、結婚、子どもの有無・年齢、家族構成・性別

「男女が協力しながら家事・育児・介護を行う」が60.7%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業を取りやすくする」が39.1%、「離職後の職場復帰支援制度の導入」が36.2%となっています。(図表Ⅱ-11)

「その他」として挙げられている内容は、「長時間労働を是正する」、「子育て支援、男女が互いに尊重し合う」、「管理職の意識改革」、「男性の家事や育児への参加」、「賃金の保障や制度の充実」などに分類できます。(図表Ⅱ-12)

図表Ⅱ-11



図表Ⅱ－12 「その他」の内容の分類

| 分類           | 件数（件） |
|--------------|-------|
| 長時間労働を是正する   | 2     |
| 子育て支援        | 1     |
| 男女が互いに尊重しあう  | 1     |
| 管理職の意識改革     | 1     |
| 男性の家事や育児への参加 | 1     |
| 賃金の保障や制度の充実  | 1     |
| わからない        | 1     |
| その他          | 2     |

【性別によるクロス集計】

男女ともに「男女が協力しながら家事・育児・介護を行う」が60%台と最も高いです。また、「育児休業・介護休業を取りやすくする」も同程度であり、30%台後半となっています。（図表Ⅱ－13）

図表Ⅱ－13

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 男女が協力しながら家事・育児・介護を行う | 育児休業・介護休業を取りやすくする | 多様な働き方ができるようにする | 離職後の職場復帰支援制度の導入 | 待遇面における男女差をなくす | 職場での嫌がらせをなくす |
|---------------|--------------|----------------------|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 272<br>61.7          | 176<br>39.9       | 163<br>37.0     | 170<br>38.5     | 96<br>21.8     | 58<br>13.2   |
| 男性            | 335<br>100.0 | 202<br>60.3          | 128<br>38.2       | 108<br>32.2     | 111<br>33.1     | 91<br>27.2     | 51<br>15.2   |
| その他           | 1<br>100.0   | 1<br>100.0           | -<br>-            | 1<br>100.0      | 1<br>100.0      | -<br>-         | -<br>-       |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 6<br>40.0            | 6<br>40.0         | 3<br>20.0       | 5<br>33.3       | 3<br>20.0      | -<br>-       |

| 上段：度数<br>下段：% | 子育て・介護支援の地域ネットワーク形成 | 育児環境を整備する   | 高齢者福祉を充実させる | 能力開発のための研修やセミナーの開催 | すでに実現している | その他      | 不明・無回答    |
|---------------|---------------------|-------------|-------------|--------------------|-----------|----------|-----------|
| 女性            | 68<br>15.4          | 105<br>23.8 | 74<br>16.8  | 14<br>3.2          | 3<br>0.7  | 1<br>0.2 | 10<br>2.3 |
| 男性            | 47<br>14.0          | 82<br>24.5  | 41<br>12.2  | 11<br>3.3          | 5<br>1.5  | 7<br>2.1 | 5<br>1.5  |
| その他           | -<br>-              | -<br>-      | -<br>-      | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-   | -<br>-    |
| 不明・無回答        | -<br>-              | 2<br>13.3   | 1<br>6.7    | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-   | 5<br>33.3 |

（注1）網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

10歳代から40歳代では「多様な働き方ができるようにする」が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅱ-14)

図表Ⅱ-14

| 上段：度数<br>下段：% | 合計    | 男女が協力しながら家事・育児・介護を行う | 育児休業・介護休業を取りやすくする | 多様な働き方ができるようにする | 離職後の職場復帰支援制度の導入 | 待遇面における男女差をなくす | 職場での嫌がらせをなくす |
|---------------|-------|----------------------|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 10歳代          | 14    | 8                    | 5                 | 9               | 5               | 3              | 2            |
|               | 100.0 | 57.1                 | 35.7              | 64.3            | 35.7            | 21.4           | 14.3         |
| 20歳代          | 63    | 42                   | 34                | 26              | 17              | 7              | 7            |
|               | 100.0 | 66.7                 | 54.0              | 41.3            | 27.0            | 11.1           | 11.1         |
| 30歳代          | 112   | 69                   | 49                | 49              | 27              | 28             | 14           |
|               | 100.0 | 61.6                 | 43.8              | 43.8            | 24.1            | 25.0           | 12.5         |
| 40歳代          | 116   | 80                   | 42                | 45              | 38              | 33             | 14           |
|               | 100.0 | 69.0                 | 36.2              | 38.8            | 32.8            | 28.4           | 12.1         |
| 50歳代          | 144   | 80                   | 55                | 46              | 53              | 33             | 26           |
|               | 100.0 | 55.6                 | 38.2              | 31.9            | 36.8            | 22.9           | 18.1         |
| 60歳代          | 164   | 100                  | 64                | 50              | 80              | 48             | 15           |
|               | 100.0 | 61.0                 | 39.0              | 30.5            | 48.8            | 29.3           | 9.1          |
| 70歳以上         | 161   | 94                   | 52                | 46              | 62              | 35             | 30           |
|               | 100.0 | 58.4                 | 32.3              | 28.6            | 38.5            | 21.7           | 18.6         |
| 不明・無回答        | 18    | 8                    | 9                 | 4               | 5               | 3              | 1            |
|               | 100.0 | 44.4                 | 50.0              | 22.2            | 27.8            | 16.7           | 5.6          |

| 上段：度数<br>下段：% | 子育て・介護支援の地域ネットワーク形成 | 育児環境を整備する | 高齢者福祉を充実させる | 能力開発のための研修やセミナーの開催 | すでに実現している | その他 | 不明・無回答 |
|---------------|---------------------|-----------|-------------|--------------------|-----------|-----|--------|
| 10歳代          | 1                   | 2         | -           | -                  | -         | -   | -      |
|               | 7.1                 | 14.3      | -           | -                  | -         | -   | -      |
| 20歳代          | 7                   | 20        | 6           | 3                  | 1         | -   | 2      |
|               | 11.1                | 31.7      | 9.5         | 4.8                | 1.6       | -   | 3.2    |
| 30歳代          | 18                  | 29        | 9           | 6                  | 1         | 2   | 3      |
|               | 16.1                | 25.9      | 8.0         | 5.4                | 0.9       | 1.8 | 2.7    |
| 40歳代          | 16                  | 24        | 9           | 5                  | 4         | 1   | 2      |
|               | 13.8                | 20.7      | 7.8         | 4.3                | 3.4       | 0.9 | 1.7    |
| 50歳代          | 20                  | 36        | 29          | 1                  | -         | 3   | 2      |
|               | 13.9                | 25.0      | 20.1        | 0.7                | -         | 2.1 | 1.4    |
| 60歳代          | 26                  | 44        | 26          | 6                  | 2         | 2   | 1      |
|               | 15.9                | 26.8      | 15.9        | 3.7                | 1.2       | 1.2 | 0.6    |
| 70歳以上         | 26                  | 31        | 35          | 4                  | -         | -   | 5      |
|               | 16.1                | 19.3      | 21.7        | 2.5                | -         | -   | 3.1    |
| 不明・無回答        | 1                   | 3         | 2           | -                  | -         | -   | 5      |
|               | 5.6                 | 16.7      | 11.1        | -                  | -         | -   | 27.8   |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

【結婚の状況によるクロス集計】

「結婚していた（離別）」では、「離職後の職場復帰支援制度の導入」と「職場での嫌がらせをなくす」の割合が他に比べると高いです。（図表Ⅱ－15）

図表Ⅱ－15

| 上段：度数<br>下段：%     | 合計           | 男女が協力しながら家事・育児・介護を行う | 育児休業・介護休業を取りやすくする | 多様な働き方ができるようにする | 離職後の職場復帰支援制度の導入 | 待遇面における男女差をなくす | 職場での嫌がらせをなくす |
|-------------------|--------------|----------------------|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 結婚している（内縁・事実婚を含む） | 537<br>100.0 | 333<br>62.0          | 218<br>40.6       | 195<br>36.3     | 204<br>38.0     | 136<br>25.3    | 69<br>12.8   |
| 結婚していた（離別）        | 48<br>100.0  | 28<br>58.3           | 15<br>31.3        | 14<br>29.2      | 22<br>45.8      | 9<br>18.8      | 16<br>33.3   |
| 結婚していた（死別）        | 52<br>100.0  | 29<br>55.8           | 15<br>28.8        | 16<br>30.8      | 22<br>42.3      | 12<br>23.1     | 4<br>7.7     |
| 結婚したことがない         | 139<br>100.0 | 85<br>61.2           | 56<br>40.3        | 46<br>33.1      | 34<br>24.5      | 29<br>20.9     | 20<br>14.4   |
| 不明・無回答            | 16<br>100.0  | 6<br>37.5            | 6<br>37.5         | 4<br>25.0       | 5<br>31.3       | 4<br>25.0      | -<br>-       |

| 上段：度数<br>下段：%     | 子育て・介護支援の地域ネットワーク形成 | 育児環境を整備する   | 高齢者福祉を充実させる | 能力開発のための研修やセミナーの開催 | すでに実現している | その他      | 不明・無回答    |
|-------------------|---------------------|-------------|-------------|--------------------|-----------|----------|-----------|
| 結婚している（内縁・事実婚を含む） | 74<br>13.8          | 134<br>25.0 | 78<br>14.5  | 13<br>2.4          | 5<br>0.9  | 7<br>1.3 | 9<br>1.7  |
| 結婚していた（離別）        | 11<br>22.9          | 7<br>14.6   | 7<br>14.6   | 3<br>6.3           | 1<br>2.1  | -<br>-   | -<br>-    |
| 結婚していた（死別）        | 11<br>21.2          | 9<br>17.3   | 10<br>19.2  | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-   | 2<br>3.8  |
| 結婚したことがない         | 18<br>12.9          | 37<br>26.6  | 19<br>13.7  | 9<br>6.5           | 2<br>1.4  | 1<br>0.7 | 4<br>2.9  |
| 不明・無回答            | 1<br>6.3            | 2<br>12.5   | 2<br>12.5   | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-   | 5<br>31.3 |

（注1）網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもの有無と年齢による大きな違いは見られません。ただし、子どもが19歳以上の回答者では「離職後の職場復帰支援制度の導入」の割合が相対的に高くなっています。  
(図表Ⅱ-16)

図表Ⅱ-16

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | 男女が協力しながら家事・育児・介護を行う | 育児休業・介護休業を取りやすくする | 多様な働き方ができるようにする | 離職後の職場復帰支援制度の導入 | 待遇面における男女差をなくす | 職場での嫌がらせをなくす |
|---------------|-------|--------------|----------------------|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 362<br>100.0 | 224<br>61.9          | 148<br>40.9       | 133<br>36.7     | 116<br>32.0     | 85<br>23.5     | 50<br>13.8   |
|               | 19歳以上 | 339<br>100.0 | 205<br>60.5          | 124<br>36.6       | 107<br>31.6     | 145<br>42.8     | 82<br>24.2     | 48<br>14.2   |
| 子どもがいない       |       | 186<br>100.0 | 107<br>57.5          | 80<br>43.0        | 67<br>36.0      | 58<br>31.2      | 44<br>23.7     | 25<br>13.4   |

| 上段：度数<br>下段：% |       | 子育て・介護支援の地域ネットワーク形成 | 育児環境を整備する  | 高齢者福祉を充実させる | 能力開発のための研修やセミナーの開催 | すでに実現している | その他      | 不明・無回答   |
|---------------|-------|---------------------|------------|-------------|--------------------|-----------|----------|----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 51<br>14.1          | 96<br>26.5 | 36<br>9.9   | 12<br>3.3          | 4<br>1.1  | 5<br>1.4 | 8<br>2.2 |
|               | 19歳以上 | 58<br>17.1          | 77<br>22.7 | 63<br>18.6  | 8<br>2.4           | 3<br>0.9  | 3<br>0.9 | 5<br>1.5 |
| 子どもがいない       |       | 26<br>14.0          | 47<br>25.3 | 26<br>14.0  | 7<br>3.8           | 2<br>1.1  | 2<br>1.1 | 4<br>2.2 |

(注1) 網掛けは上位3項目を示しています。

【家族構成と性別によるクロス集計】

女性は、「夫婦またはパートナーと2人」で「育児休業・介護休業を取りやすくする」の割合が他の家族構成に比べると高いです。また、女性は「親と子と孫（3世帯）」で「多様な働き方ができるようにする」の割合が他の家族構成に比べると高いです。男性は、「ひとり暮らし」で「待遇面における男女差をなくす」の割合が他の家族構成に比べると高いです。（図表Ⅱ－17）

図表Ⅱ－17

| 性別 | 家族構成            | 合計           | 男女が協力しながら家事・育児・介護を行う | 育児休業・介護休業を取りやすくする | 多様な働き方ができるようにする | 離職後の職場復帰支援制度の導入 | 待遇面における男女差をなくす | 職場での嫌がらせをなくす |
|----|-----------------|--------------|----------------------|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 女性 | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 23<br>57.5           | 12<br>30.0        | 14<br>35.0      | 18<br>45.0      | 8<br>20.0      | 5<br>12.5    |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 68<br>59.6           | 51<br>44.7        | 36<br>31.6      | 48<br>42.1      | 29<br>25.4     | 10<br>8.8    |
|    | 親と子（2世帯）        | 208<br>100.0 | 135<br>64.9          | 82<br>39.4        | 80<br>38.5      | 75<br>36.1      | 46<br>22.1     | 25<br>12.0   |
|    | 親と子と孫（3世帯）      | 44<br>100.0  | 27<br>61.4           | 14<br>31.8        | 20<br>45.5      | 18<br>40.9      | 3<br>6.8       | 12<br>27.3   |
|    | その他             | 13<br>100.0  | 7<br>53.8            | 5<br>38.5         | 5<br>38.5       | 4<br>30.8       | 4<br>30.8      | 2<br>15.4    |
|    | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 12<br>54.5           | 12<br>54.5        | 8<br>36.4       | 7<br>31.8       | 6<br>27.3      | 4<br>18.2    |
| 男性 | ひとり暮らし          | 50<br>100.0  | 26<br>52.0           | 19<br>38.0        | 12<br>24.0      | 11<br>22.0      | 17<br>34.0     | 12<br>24.0   |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91<br>100.0  | 55<br>60.4           | 33<br>36.3        | 29<br>31.9      | 38<br>41.8      | 26<br>28.6     | 12<br>13.2   |
|    | 親と子（2世帯）        | 142<br>100.0 | 86<br>60.6           | 54<br>38.0        | 47<br>33.1      | 45<br>31.7      | 38<br>26.8     | 21<br>14.8   |
|    | 親と子と孫（3世帯）      | 19<br>100.0  | 10<br>52.6           | 8<br>42.1         | 8<br>42.1       | 9<br>47.4       | 3<br>15.8      | 1<br>5.3     |
|    | その他             | 7<br>100.0   | 6<br>85.7            | 3<br>42.9         | -<br>-          | 3<br>42.9       | 1<br>14.3      | 2<br>28.6    |
|    | 不明・無回答          | 26<br>100.0  | 19<br>73.1           | 11<br>42.3        | 12<br>46.2      | 5<br>19.2       | 6<br>23.1      | 3<br>11.5    |

| 性別 | 家族構成            | 子育て・介護支援の地域ネットワーク形成 | 育児環境を整備する  | 高齢者福祉を充実させる | 能力開発のための研修やセミナーの開催 | すでに実現している | その他      | 不明・無回答   |
|----|-----------------|---------------------|------------|-------------|--------------------|-----------|----------|----------|
| 女性 | ひとり暮らし          | 7<br>17.5           | 8<br>20.0  | 5<br>12.5   | 3<br>7.5           | -<br>-    | -<br>-   | 2<br>5.0 |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 20<br>17.5          | 28<br>24.6 | 26<br>22.8  | 1<br>0.9           | 2<br>1.8  | -<br>-   | 1<br>0.9 |
|    | 親と子(2世帯)        | 29<br>13.9          | 47<br>22.6 | 28<br>13.5  | 6<br>2.9           | 1<br>0.5  | 1<br>0.5 | 5<br>2.4 |
|    | 親と子と孫(3世帯)      | 7<br>15.9           | 12<br>27.3 | 8<br>18.2   | 3<br>6.8           | -<br>-    | -<br>-   | 1<br>2.3 |
|    | その他             | 2<br>15.4           | 6<br>46.2  | 3<br>23.1   | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-   | -<br>-   |
|    | 不明・無回答          | 3<br>13.6           | 4<br>18.2  | 4<br>18.2   | 1<br>4.5           | -<br>-    | -<br>-   | 1<br>4.5 |
| 男性 | ひとり暮らし          | 10<br>20.0          | 6<br>12.0  | 8<br>16.0   | 1<br>2.0           | 1<br>2.0  | -<br>-   | -<br>-   |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 13<br>14.3          | 26<br>28.6 | 15<br>16.5  | 3<br>3.3           | 1<br>1.1  | 2<br>2.2 | 1<br>1.1 |
|    | 親と子(2世帯)        | 22<br>15.5          | 39<br>27.5 | 17<br>12.0  | 5<br>3.5           | 1<br>0.7  | 4<br>2.8 | 2<br>1.4 |
|    | 親と子と孫(3世帯)      | -<br>-              | 4<br>21.1  | -<br>-      | 1<br>5.3           | 1<br>5.3  | 1<br>5.3 | 1<br>5.3 |
|    | その他             | 1<br>14.3           | 2<br>28.6  | -<br>-      | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-   | -<br>-   |
|    | 不明・無回答          | 1<br>3.8            | 5<br>19.2  | 1<br>3.8    | 1<br>3.8           | 1<br>3.8  | -<br>-   | 1<br>3.8 |

(注1) 網掛けは、各家族構成における上位3項目を示しています。

### Ⅲ 仕事と家庭・地域生活について（問6～問12）

Ⅲでは、仕事と家庭・地域生活における現状、女性の就労、家庭・地域生活への男性の参加促進について尋ねています。

問6 あなたと配偶者（パートナー）の職業は何ですか。

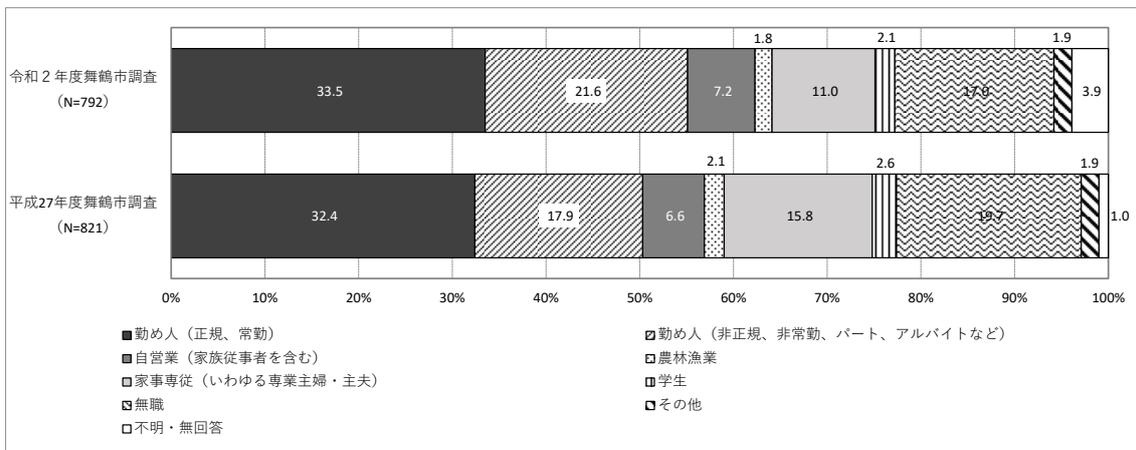
問6-1 あなた。（○は1つ。2つ以上あてはまる場合は、主なもの1つに○）

単数回答（N=792）

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、性別、年齢

「勤め人（正規、常勤）」が33.5%と最も高く、次いで「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイト）」が21.6%、「自営業（家族従事者を含む）」が7.2%となっています。また、平成27年度舞鶴市調査から大きな変化はありませんが、「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイト）」は3.7ポイント増加し、「家事専従（いわゆる専業主婦・主夫）」は4.8ポイント減少しています。（図表Ⅲ-1）

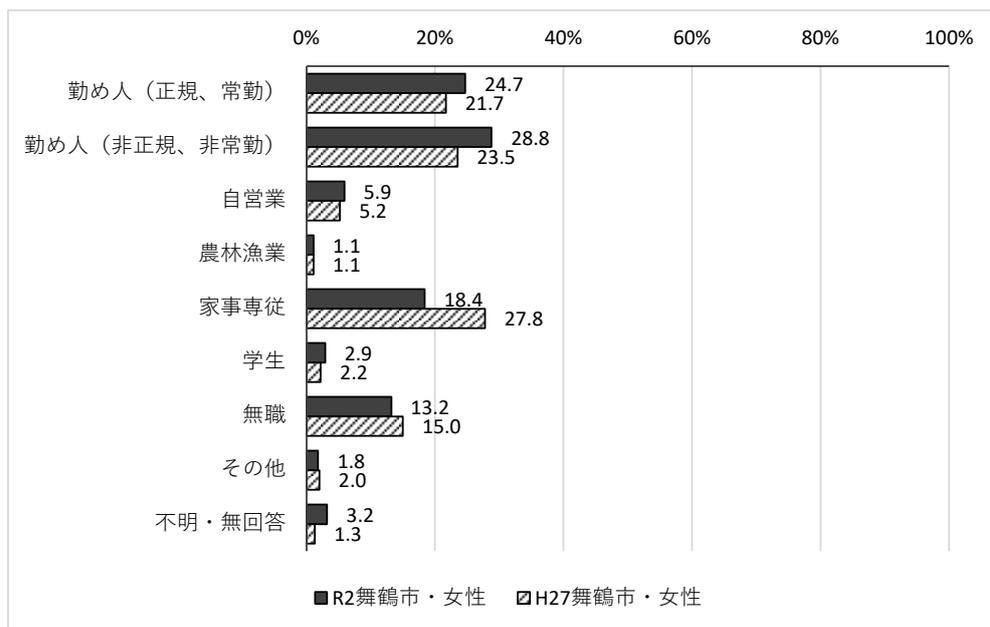
図表Ⅲ-1



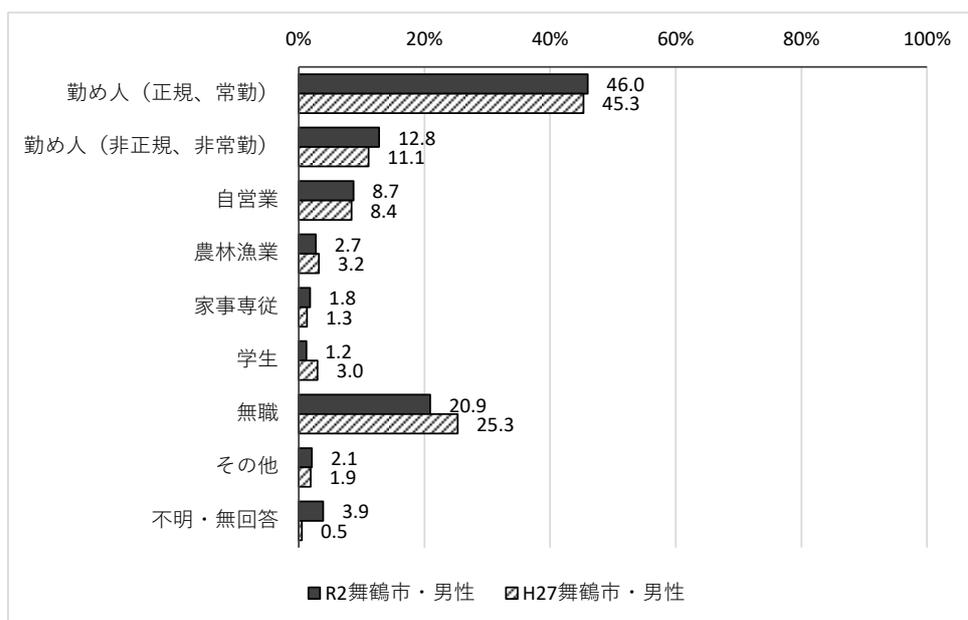
【平成 27 年度舞鶴市調査との比較（男女別）】

男女別で比較すると、女性は「家事専従（いわゆる専業主婦・主夫）」が9.4ポイント減少しています。一方、「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイトなど）」は5.3ポイント増加しています。また、男性は「無職」が4.4ポイント減少しています。（図表Ⅲ－2・図表Ⅲ－3）

図表Ⅲ－2 回答者本人の職業の変化（女性）



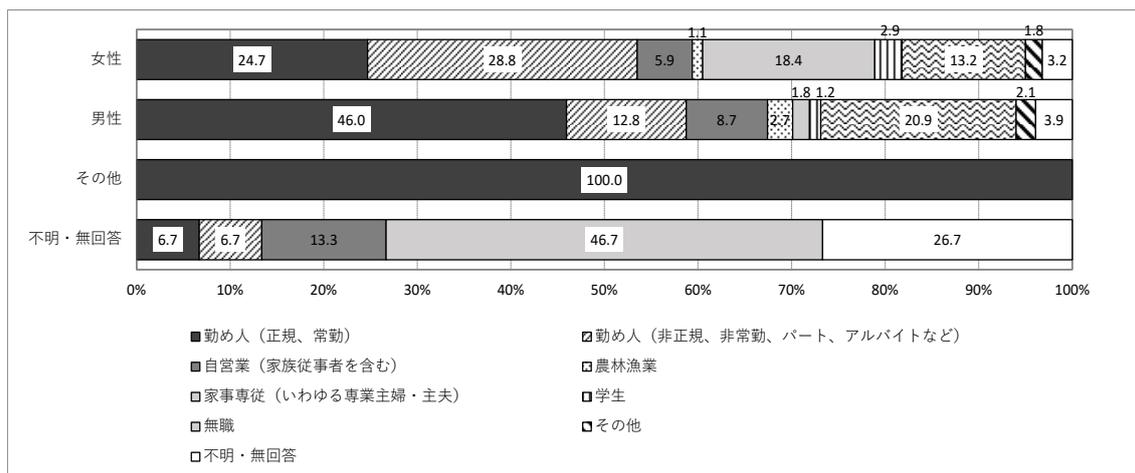
図表Ⅲ－3 回答者本人の職業の変化（男性）



【性別によるクロス集計】

女性は「勤め人（正規、常勤）」と「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイトなど）」の割合が同程度です。一方、男性は「勤め人（正規、常勤）」が「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイトなど）」の3.6倍となっています。（図表Ⅲ－4）

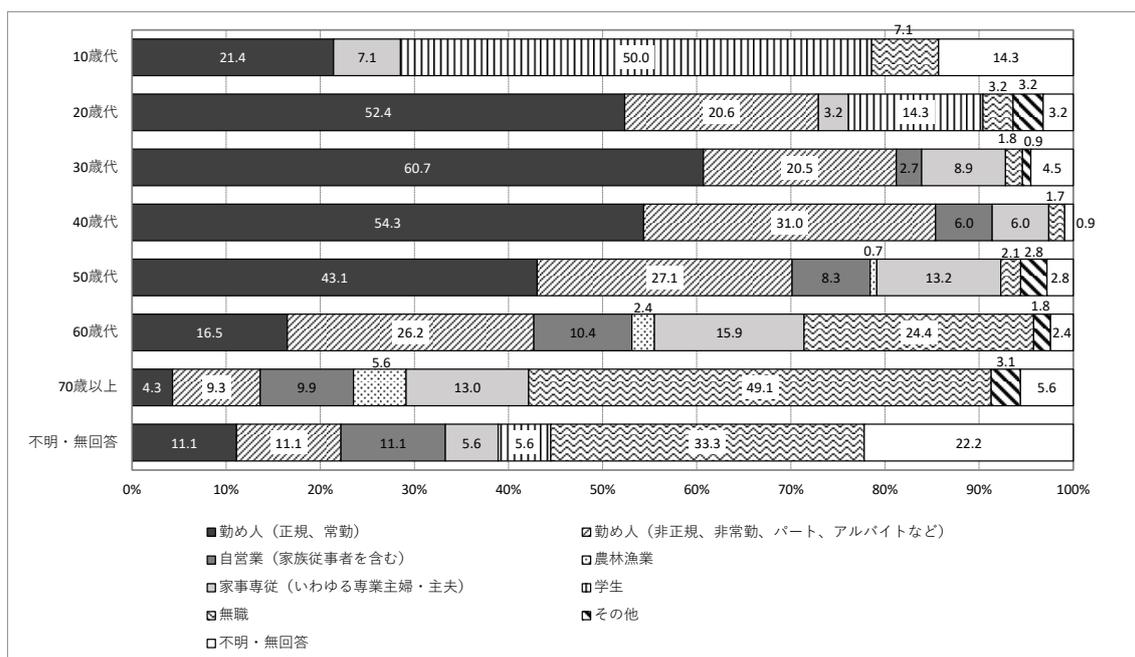
図表Ⅲ－4



【年齢によるクロス集計】

20歳代から40歳代までは「勤め人（正規、常勤）」が50.0%以上となっていますが、50歳代以上では50%未満となっています。また、50歳代以上では「自営業（家族従事者を含む）」と「家事専従（いわゆる専業主婦・主夫）」の割合が他の年齢に比べると高いです。（図表Ⅲ－5）

図表Ⅲ－5



問6-2 配偶者（パートナー）。配偶者等がいる方のみ回答ください。

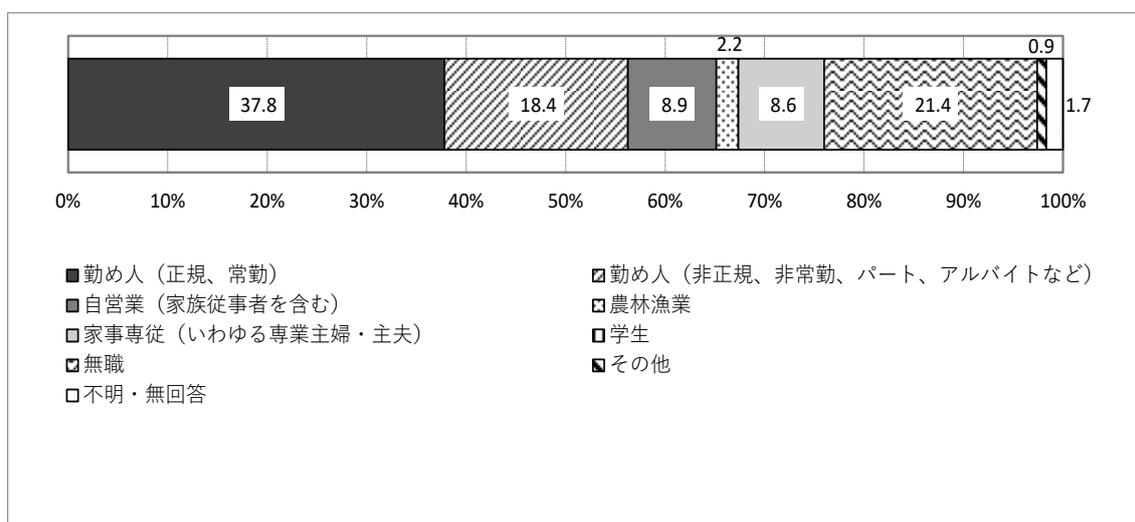
（○は1つ。2つ以上あてはまる場合は、主なもの1つに○）

単数回答（N=537）

クロス集計：性別、年齢

「勤め人（正規、常勤）」が37.8%と最も高く、次いで「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイト）」が18.4%、「自営業（家族従事者を含む）」が8.9%となっています。（図表Ⅲ-6）

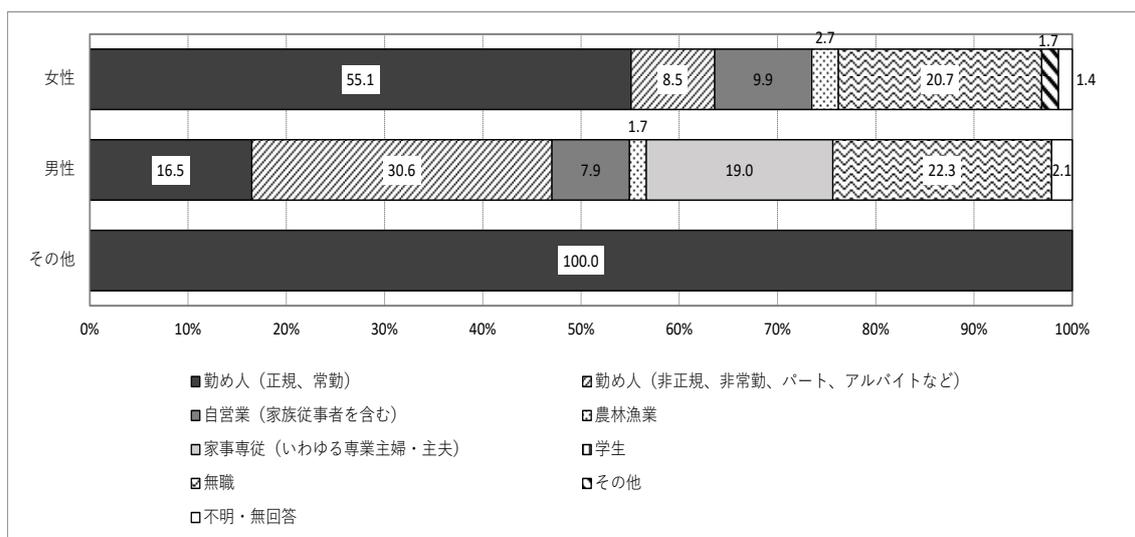
図表Ⅲ-6



【性別によるクロス集計】

女性の回答者の配偶者（パートナー）は「勤め人（正規、常勤）」が「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイトなど）」の6.5倍となっています。一方、男性の回答者の配偶者（パートナー）は「勤め人（正規、常勤）」は「勤め人（非正規、非常勤、パート、アルバイトなど）」の0.5倍となっています。（図表Ⅲ－7）

図表Ⅲ－7

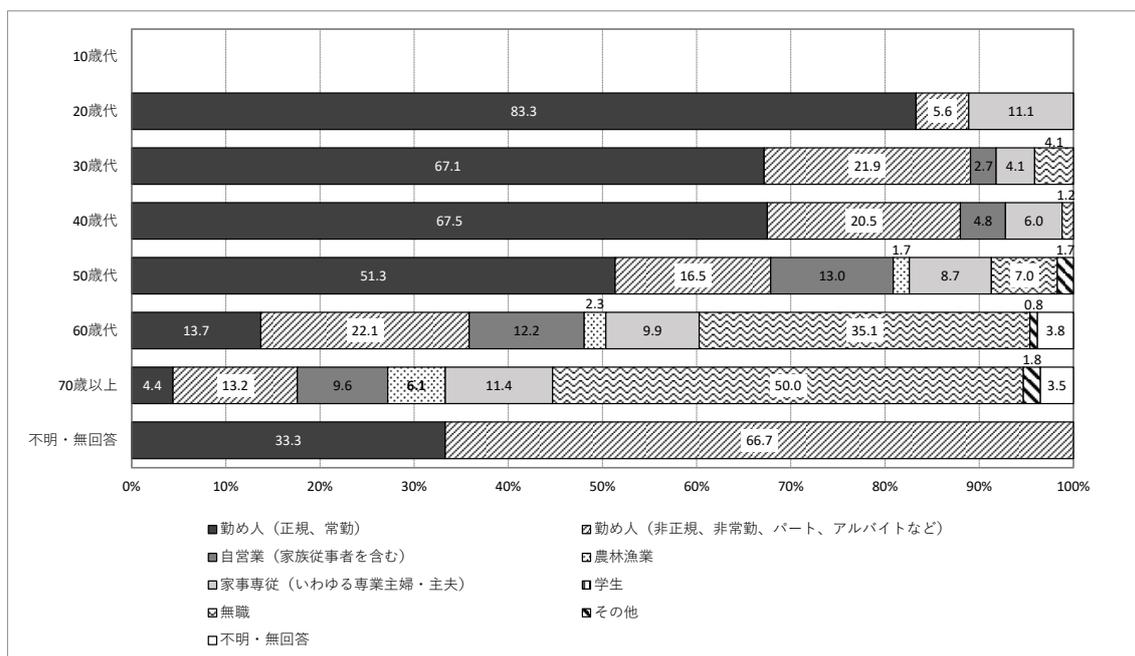


（注1）性別の「不明・無回答」については、該当する回答がなかったため表示していません。

【年齢によるクロス集計】

20 歳代から 40 歳代の回答者の配偶者（パートナー）は「勤め人（正規、常勤）」が約 70.0%から 80.0%を占めています。50 歳代の回答者の配偶者（パートナー）は、20 歳代から 40 歳代の回答者の配偶者（パートナー）に比べると「勤め人（正規、常勤）」の割合が低いです。また、50 歳代と 60 歳代の回答者の配偶者（パートナー）は「自営業（家族従事者を含む）」の割合が他の年齢に比べると高いです。（図表Ⅲ－ 8）

図表Ⅲ－ 8



（注 1）10 歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

問7 あなた、または配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていない場合、その理由は何ですか。（〇は3つまで）

問7-1 あなた

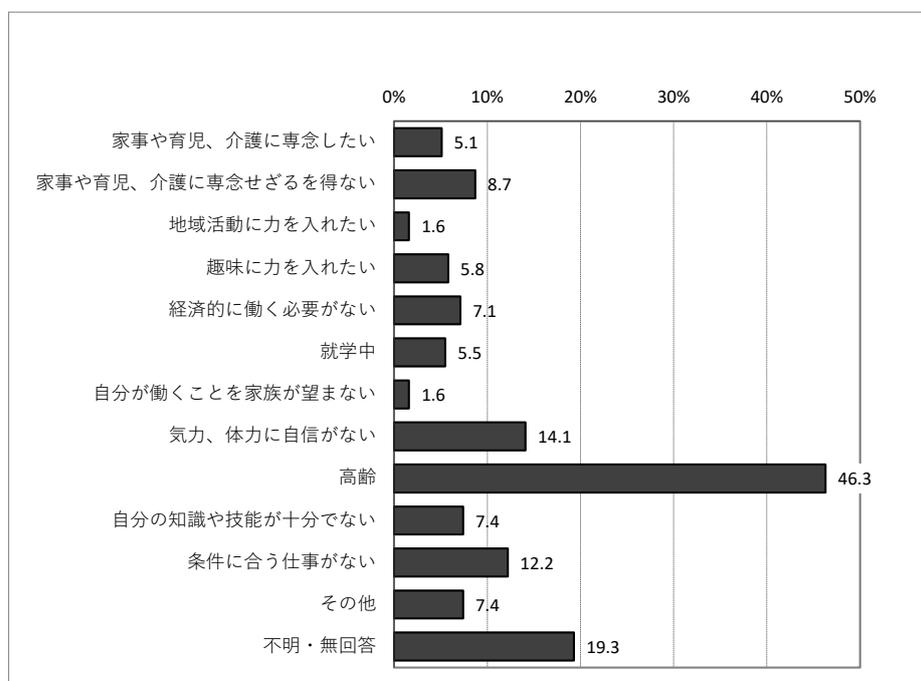
複数回答（3つまで 問7-1の対象者：311）

クロス集計：性別、年齢

「高齢」が46.3%と最も高く、次いで「気力、体力に自信がない」が14.1%、「条件に合う仕事がない」が12.2%となっています。（図表III-9）

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「心身の不調のため」や「家事や育児で忙しいため」などが多くなっています。（図表III-10）

図表III-9



図表III-10 「その他」の内容の分類

| 分類          | 件数 (件) |
|-------------|--------|
| 年金受給者だから    | 2      |
| 心身の不調のため    | 5      |
| 自営業のため      | 2      |
| 家事や育児で忙しいため | 3      |
| 転居直後のため     | 2      |
| 就職活動中のため    | 2      |
| その他         | 2      |

【性別によるクロス集計】

男女ともに「高齢」と「気力・体力に自信がない」の割合が高いです。また、「不明・無回答」を除くと、女性は「家事や育児、介護に専念せざるを得ない」の割合が男性に比べると高く、男性は「条件に合う仕事がない」の割合が女性に比べると高いです。(図表Ⅲ－11)

図表Ⅲ－11

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 家事や育児、介護に専念したい | 家事や育児、介護に専念せざるを得ない | 地域活動に力を入れたい | 趣味に力を入れたい | 経済的に働く必要がない | 就学中       |
|---------------|--------------|----------------|--------------------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 女性            | 186<br>100.0 | 13<br>7.0      | 19<br>10.2         | 3<br>1.6    | 9<br>4.8  | 13<br>7.0   | 12<br>6.5 |
| 男性            | 116<br>100.0 | 3<br>2.6       | 7<br>6.0           | 2<br>1.7    | 9<br>7.8  | 9<br>7.8    | 5<br>4.3  |
| その他           | -<br>-       | -<br>-         | -<br>-             | -<br>-      | -<br>-    | -<br>-      | -<br>-    |
| 不明・無回答        | 9<br>100.0   | -<br>-         | 1<br>11.1          | -<br>-      | -<br>-    | -<br>-      | -<br>-    |

| 上段：度数<br>下段：% | 自分が働くことを家族が望まない | 気力、体力に自信がない | 高齢         | 自分の知識や技能が十分でない | 条件に合う仕事がない | その他       | 不明・無回答     |
|---------------|-----------------|-------------|------------|----------------|------------|-----------|------------|
| 女性            | 4<br>2.2        | 30<br>16.1  | 78<br>41.9 | 16<br>8.6      | 17<br>9.1  | 18<br>9.7 | 29<br>15.6 |
| 男性            | 1<br>0.9        | 13<br>11.2  | 62<br>53.4 | 6<br>5.2       | 18<br>15.5 | 5<br>4.3  | 28<br>24.1 |
| その他           | -<br>-          | -<br>-      | -<br>-     | -<br>-         | -<br>-     | -<br>-    | -<br>-     |
| 不明・無回答        | -<br>-          | 1<br>11.1   | 4<br>44.4  | 1<br>11.1      | 3<br>33.3  | -<br>-    | 3<br>33.3  |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

30歳代では「家事や育児、介護に専念せざるを得ない」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、30歳代と40歳代では「条件に合う仕事がない」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-12)

図表Ⅲ-12

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 家事や育児、介護に専念したい | 家事や育児、介護に専念せざるを得ない | 地域活動に力を入れたい | 趣味に力を入れたい | 経済的に働く必要がない | 就学中       |
|---------------|--------------|----------------|--------------------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 10歳代          | 9<br>100.0   | 1<br>11.1      | -<br>-             | -<br>-      | -<br>-    | -<br>-      | 6<br>66.7 |
| 20歳代          | 15<br>100.0  | -<br>-         | 2<br>13.3          | -<br>-      | -<br>-    | 1<br>6.7    | 9<br>60.0 |
| 30歳代          | 16<br>100.0  | 5<br>31.3      | 5<br>31.3          | -<br>-      | -<br>-    | -<br>-      | -<br>-    |
| 40歳代          | 16<br>100.0  | 1<br>6.3       | 2<br>12.5          | -<br>-      | 2<br>12.5 | -<br>-      | 1<br>6.3  |
| 50歳代          | 38<br>100.0  | 4<br>10.5      | 5<br>13.2          | 1<br>2.6    | 2<br>5.3  | 4<br>10.5   | -<br>-    |
| 60歳代          | 86<br>100.0  | 4<br>4.7       | 11<br>12.8         | 3<br>3.5    | 9<br>10.5 | 8<br>9.3    | -<br>-    |
| 70歳以上         | 121<br>100.0 | 1<br>0.8       | 2<br>1.7           | 1<br>0.8    | 5<br>4.1  | 8<br>6.6    | 1<br>0.8  |
| 不明・無回答        | 10<br>100.0  | -<br>-         | -<br>-             | -<br>-      | -<br>-    | 1<br>10.0   | -<br>-    |

| 上段：度数<br>下段：% | 自分が働くことを家族が望まない | 気力、体力に自信がない | 高齢         | 自分の知識や技能が十分でない | 条件に合う仕事がない | その他       | 不明・無回答     |
|---------------|-----------------|-------------|------------|----------------|------------|-----------|------------|
| 10歳代          | -<br>-          | -<br>-      | -<br>-     | -<br>-         | 1<br>11.1  | -<br>-    | 2<br>22.2  |
| 20歳代          | -<br>-          | 1<br>6.7    | -<br>-     | -<br>-         | 2<br>13.3  | 1<br>6.7  | 2<br>13.3  |
| 30歳代          | -<br>-          | 3<br>18.8   | -<br>-     | 2<br>12.5      | 4<br>25.0  | 1<br>6.3  | 3<br>18.8  |
| 40歳代          | -<br>-          | 1<br>6.3    | -<br>-     | 2<br>12.5      | 5<br>31.3  | 2<br>12.5 | 7<br>43.8  |
| 50歳代          | 1<br>2.6        | 5<br>13.2   | 4<br>10.5  | 8<br>21.1      | 7<br>18.4  | 3<br>7.9  | 13<br>34.2 |
| 60歳代          | 2<br>2.3        | 22<br>25.6  | 40<br>46.5 | 7<br>8.1       | 9<br>10.5  | 9<br>10.5 | 15<br>17.4 |
| 70歳以上         | 2<br>1.7        | 10<br>8.3   | 96<br>79.3 | 3<br>2.5       | 7<br>5.8   | 7<br>5.8  | 14<br>11.6 |
| 不明・無回答        | -<br>-          | 2<br>20.0   | 4<br>40.0  | 1<br>10.0      | 3<br>30.0  | -<br>-    | 4<br>40.0  |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

問7-2 配偶者（パートナー）

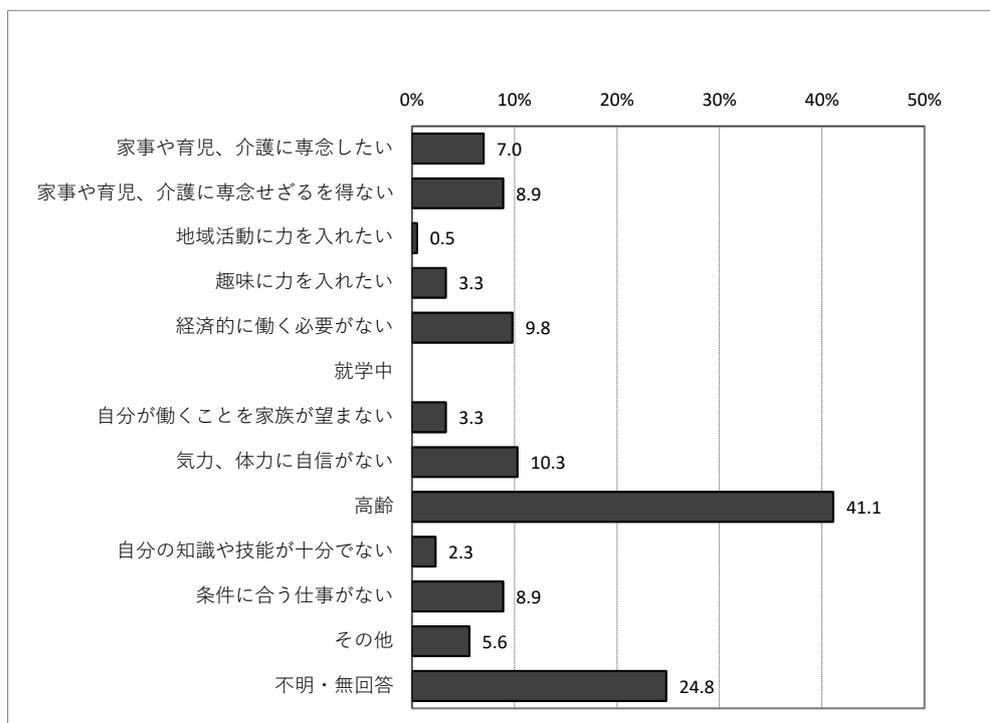
複数回答（3つまで 問7-2の対象者：214）

クロス集計：性別、年齢

「高齢」が41.1%と最も高く、次いで「気力、体力に自信がない」が10.3%、「経済的に働く必要がない」が9.8%となっています。（図表Ⅲ-13）

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「年金受給者だから」と「心身の不調のため」が主な理由となっています。（図表Ⅲ-14）

図表Ⅲ-13



図表Ⅲ-14 「その他」の内容の分類

| 分類            | 件数（件） |
|---------------|-------|
| 年金受給者だから      | 4     |
| 家族の世話のため      | 1     |
| 自営業のため        | 1     |
| パートナーの収入があるため | 1     |
| 心身の不調のため      | 2     |
| 失業中のため        | 1     |
| わからない         | 1     |
| その他           | 3     |

【性別によるクロス集計】

回答者本人と同様に「高齢」の割合が男女ともに最も高いです。「不明・無回答」を除くと、女性の回答者の配偶者（パートナー）は2番目が「その他」、3番目が「経済的に働く必要がない」、「気力・体力に自信がない」となっています。また、男性の回答者の配偶者（パートナー）は2番目が「家事や育児、介護に専念せざるを得ない」、3番目が「気力・体力に自信がない」となっています。（図表Ⅲ－15）

図表Ⅲ－15

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 家事や育児、介護に専念したい | 家事や育児、介護に専念せざるを得ない | 地域活動に力を入れたい | 趣味に力を入れたい | 経済的に働く必要がない | 就学中    |
|---------------|--------------|----------------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------|
| 女性            | 95<br>100.0  | 2<br>2.1       | 2<br>2.1           | -<br>-      | 2<br>2.1  | 7<br>7.4    | -<br>- |
| 男性            | 119<br>100.0 | 13<br>10.9     | 17<br>14.3         | 1<br>0.8    | 5<br>4.2  | 14<br>11.8  | -<br>- |
| その他           | -<br>-       | -<br>-         | -<br>-             | -<br>-      | -<br>-    | -<br>-      | -<br>- |
| 不明・無回答        | -<br>-       | -<br>-         | -<br>-             | -<br>-      | -<br>-    | -<br>-      | -<br>- |

| 上段：度数<br>下段：% | 自分が働くことを家族が望まない | 気力、体力に自信がない | 高齢         | 自分の知識や技能が十分でない | 条件に合う仕事がない | その他      | 不明・無回答     |
|---------------|-----------------|-------------|------------|----------------|------------|----------|------------|
| 女性            | -<br>-          | 7<br>7.4    | 49<br>51.6 | 1<br>1.1       | 5<br>5.3   | 9<br>9.5 | 31<br>32.6 |
| 男性            | 7<br>5.9        | 15<br>12.6  | 39<br>32.8 | 4<br>3.4       | 14<br>11.8 | 3<br>2.5 | 22<br>18.5 |
| その他           | -<br>-          | -<br>-      | -<br>-     | -<br>-         | -<br>-     | -<br>-   | -<br>-     |
| 不明・無回答        | -<br>-          | -<br>-      | -<br>-     | -<br>-         | -<br>-     | -<br>-   | -<br>-     |

（注1）網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

問8 あなたは、一般的に女性が仕事をもつことについてどう思いますか。

(○は1つ)

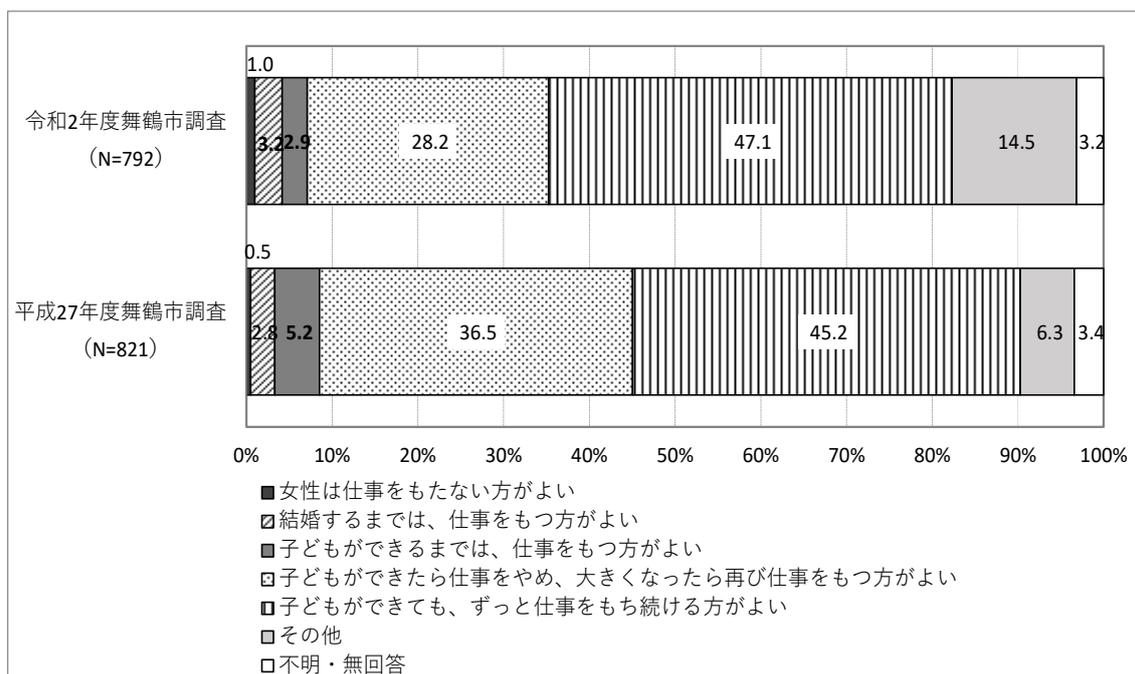
単数回答 (N=792)

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、令和元年度国調査、性別、年齢、結婚、  
家族構成・性別

「子どもができて、ずっと仕事もち続ける方がよい」が47.1%と最も高く、次いで「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が28.2%、「その他」が14.5%となっています。また、平成27年度舞鶴市調査と比較すると「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が8.3ポイント減少し、「その他」が8.2ポイント増加しています。(図表Ⅲ-16)

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「個人の自由だと思う」、「ケースバイケースだと思う」、「子どもや家庭を優先した方がよいと思う」が多くなっています。(図表Ⅲ-17)

図表Ⅲ-16



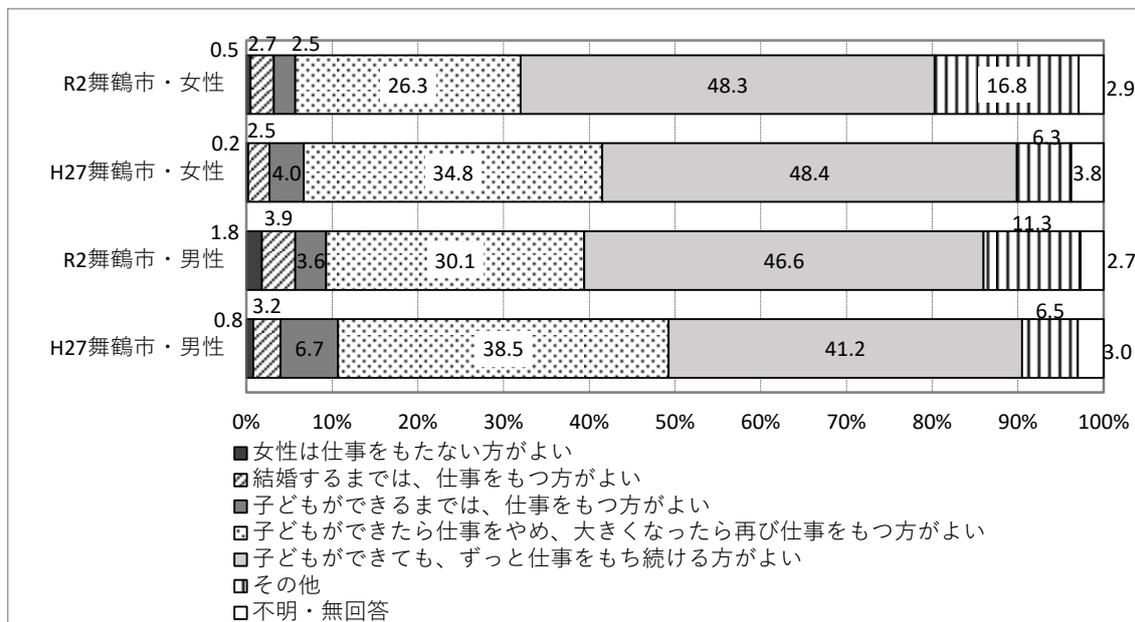
図表Ⅲ－17 「その他」の内容の分類

| 分類                 | 件数 (件) |
|--------------------|--------|
| 個人の自由だと思う          | 58     |
| ケースバイケースだと思う       | 15     |
| 女性も仕事をもった方がよいと思う   | 7      |
| 子どもや家庭を優先した方がよいと思う | 10     |
| 子どもができるまでは働くべきだと思う | 2      |
| わからない              | 4      |
| その他                | 12     |

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較（男女別）】

平成 27 年度舞鶴市調査と同様に、男女ともに「子どもができて、ずっと仕事をもち続ける方がよい」の割合が最も高いです。一方、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」については、令和 2 年度舞鶴市調査では、女性は 8.5 ポイント、男性は 8.4 ポイント減少しています。（図表Ⅲ－18）

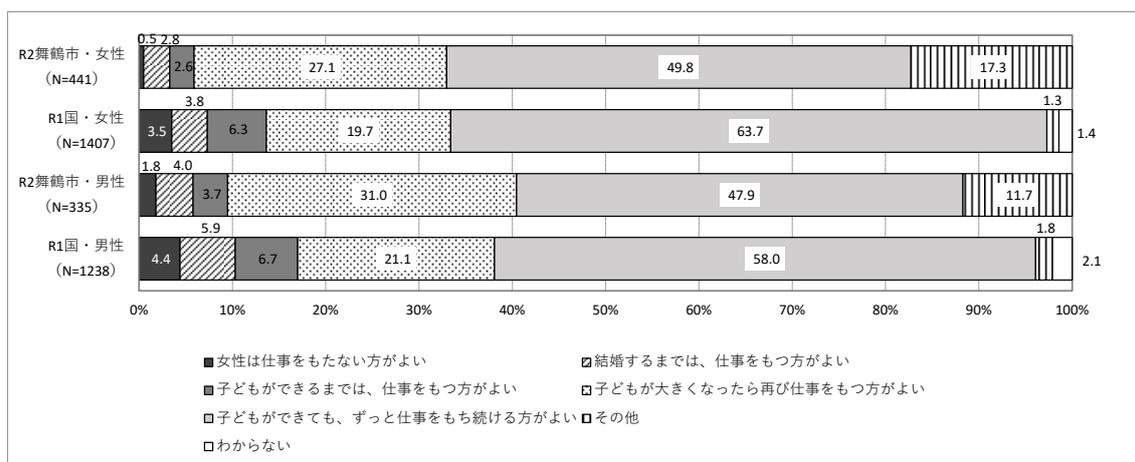
図表Ⅲ－18 女性が仕事をもつことについての考えの変化（男女別）



【令和元年度国調査との比較（男女別）】

男女ともに概ね同じ傾向であり、「子どもができて、ずっと仕事をもち続ける方がよい」の割合が最も高く、次いで「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」の割合が高いです。ただし、令和2年度舞鶴市調査では「その他」の割合が3番目に高いという点が令和元年度国調査とは異なります。（図表Ⅲ－19）

図表Ⅲ－19 女性が仕事をもつことについての考えの変化（男女別）



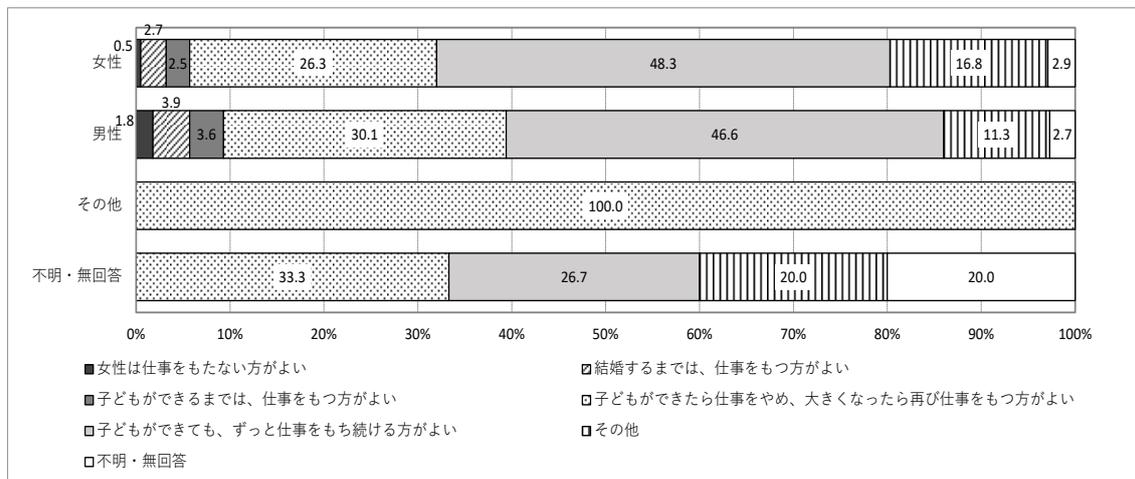
（注1）令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

（注2）「わからない」は令和元年度国調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

性別による違いは特に見られません。（図表Ⅲ－20）

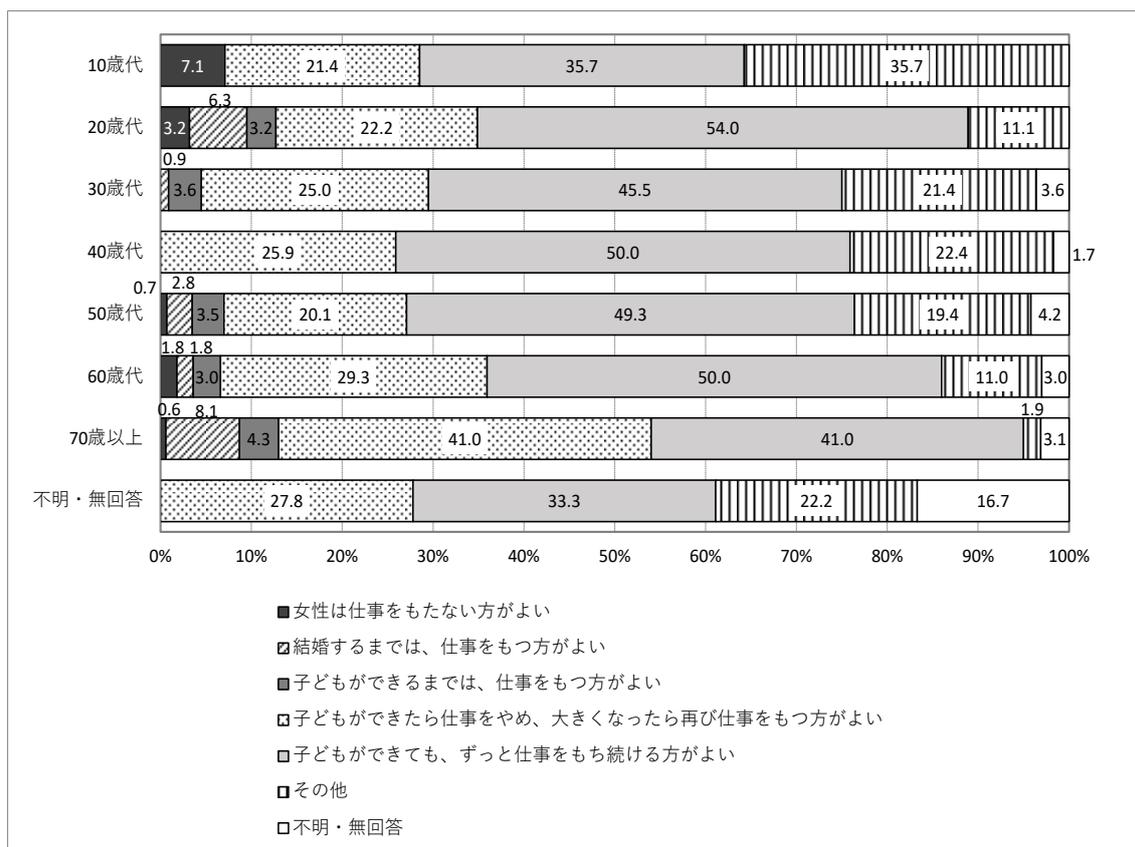
図表Ⅲ－20



【年齢によるクロス集計】

10歳代から60歳代までは、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」と「子どもができて、ずっと仕事をもち続ける方がよい」、「その他」の割合が他の選択肢に比べると高いです。70歳以上では、「結婚するまでは仕事をもち続ける方がよい」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-21)

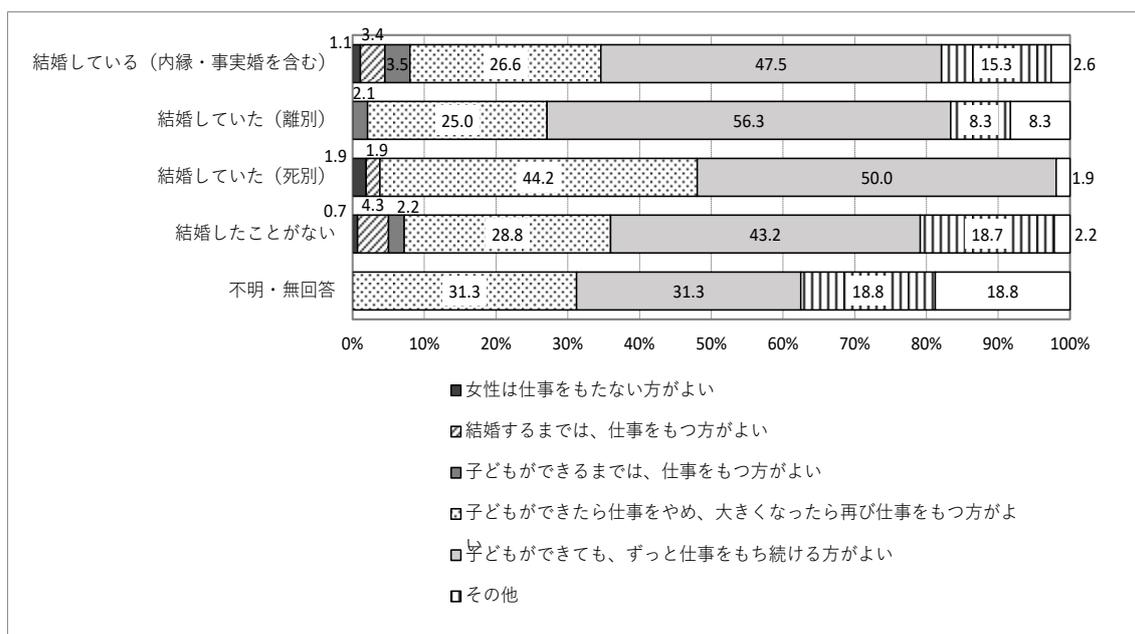
図表Ⅲ-21



【結婚の状況によるクロス集計】

「結婚していた（死別）」では「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」の割合が他に比べると高いです。また、「結婚していた（離別）」では「子どもができて、ずっと仕事をもち続ける方がよい」の割合が他に比べると高いです。（図表Ⅲ－22）

図表Ⅲ－22



【家族構成と性別によるクロス集計】

家族構成と性別による大きな違いは特に見られません。(図表Ⅲ-23)

図表Ⅲ-23

| 性別 | 家族構成            | 合計           | 女性は仕事をもたない方がよい | 結婚するまでは、仕事をもつ方がよい | 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい | 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい | 子どもができて、ずっと仕事をもち続ける方がよい | その他        | 不明・無回答   |
|----|-----------------|--------------|----------------|-------------------|----------------------|----------------------------------|-------------------------|------------|----------|
| 女性 | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | -<br>-         | 1<br>2.5          | -<br>-               | 11<br>27.5                       | 24<br>60.0              | 4<br>10.0  | -<br>-   |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 1<br>0.9       | 6<br>5.3          | 2<br>1.8             | 32<br>28.1                       | 50<br>43.9              | 18<br>15.8 | 5<br>4.4 |
|    | 親と子(2世帯)        | 208<br>100.0 | -<br>-         | 4<br>1.9          | 7<br>3.4             | 51<br>24.5                       | 100<br>48.1             | 41<br>19.7 | 5<br>2.4 |
|    | 親と子と孫(3世帯)      | 44<br>100.0  | -<br>-         | -<br>-            | 1<br>2.3             | 12<br>27.3                       | 22<br>50.0              | 6<br>13.6  | 3<br>6.8 |
|    | その他             | 13<br>100.0  | -<br>-         | -<br>-            | -<br>-               | 5<br>38.5                        | 8<br>61.5               | -<br>-     | -<br>-   |
|    | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 1<br>4.5       | 1<br>4.5          | 1<br>4.5             | 5<br>22.7                        | 9<br>40.9               | 5<br>22.7  | -<br>-   |
| 男性 | ひとり暮らし          | 50<br>100.0  | -<br>-         | 2<br>4.0          | 1<br>2.0             | 16<br>32.0                       | 22<br>44.0              | 7<br>14.0  | 2<br>4.0 |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91<br>100.0  | 2<br>2.2       | 5<br>5.5          | 6<br>6.6             | 28<br>30.8                       | 44<br>48.4              | 5<br>5.5   | 1<br>1.1 |
|    | 親と子(2世帯)        | 142<br>100.0 | 1<br>0.7       | 4<br>2.8          | 4<br>2.8             | 44<br>31.0                       | 65<br>45.8              | 20<br>14.1 | 4<br>2.8 |
|    | 親と子と孫(3世帯)      | 19<br>100.0  | -<br>-         | -<br>-            | 1<br>5.3             | 5<br>26.3                        | 8<br>42.1               | 5<br>26.3  | -<br>-   |
|    | その他             | 7<br>100.0   | 2<br>28.6      | 1<br>14.3         | -<br>-               | 2<br>28.6                        | 2<br>28.6               | -<br>-     | -<br>-   |
|    | 不明・無回答          | 26<br>100.0  | 1<br>3.8       | 1<br>3.8          | -<br>-               | 6<br>23.1                        | 15<br>57.7              | 1<br>3.8   | 2<br>7.7 |

問9 女性が結婚・出産後も働き続けたり、結婚・出産を機に退職した女性が再就職したりする上で支障となっていることは何だと思えますか。(〇は3つまで)

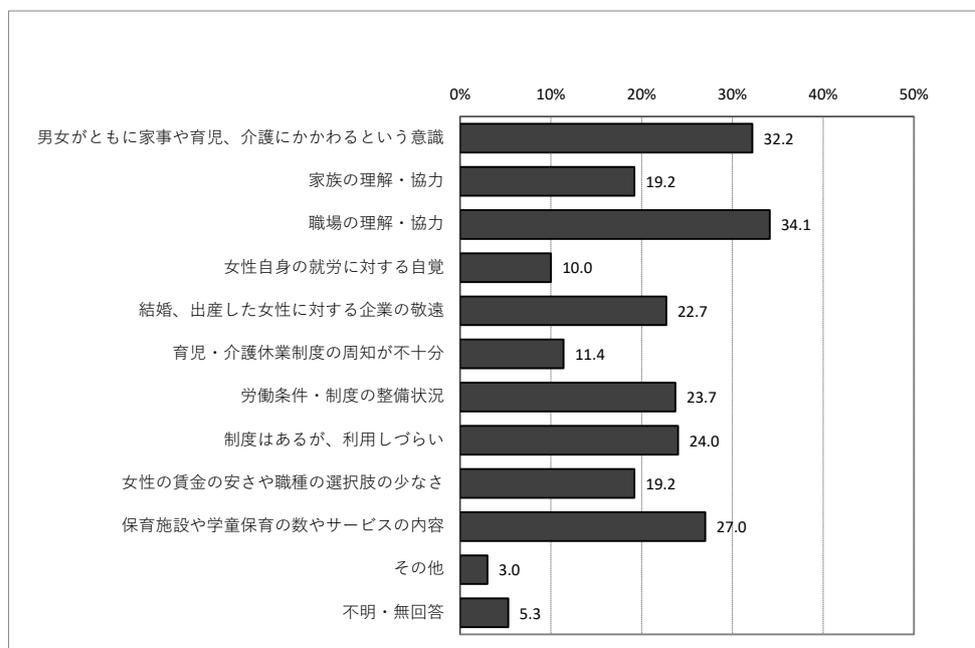
複数回答(3つまで)

クロス集計：性別、結婚、子どもの有無・年齢、家族構成・性別

「職場の理解・協力」が34.1%と最も高く、次いで「男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識」が32.2%、「保育施設や学童保育の数やサービスの内容」が27.0%となっています。(図表III-24)

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「育児に関する支援制度の不足」「子どもや家族に対する不安や心配」などが多くなっています。(図表III-25)

図表III-24



図表III-25 「その他」の内容の分類

| 分類              | 件数(件) |
|-----------------|-------|
| 支障を感じない         | 4     |
| 男性が育児に参加しにくい環境  | 2     |
| 労働条件            | 1     |
| 職場環境の変化         | 2     |
| 育児に関する支援制度の不足   | 4     |
| 子どもや家族に対する不安や心配 | 4     |
| わからない           | 6     |
| その他             | 2     |

【性別によるクロス集計】

性別による大きな違いは見られません。ただし、女性は「男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識」の割合が男性に比べると高いです。(図表Ⅲ-26)

図表Ⅲ-26

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識 | 家族の理解・協力   | 職場の理解・協力    | 女性自身の就労に対する自覚 | 結婚、出産した女性に対する企業の敬遠 |
|---------------|--------------|--------------------------|------------|-------------|---------------|--------------------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 173<br>39.2              | 96<br>21.8 | 154<br>34.9 | 38<br>8.6     | 94<br>21.3         |
| 男性            | 335<br>100.0 | 78<br>23.3               | 53<br>15.8 | 113<br>33.7 | 40<br>11.9    | 82<br>24.5         |
| その他           | 1<br>100.0   | 1<br>100.0               | -<br>-     | -<br>-      | -<br>-        | 1<br>100.0         |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 3<br>20.0                | 3<br>20.0  | 3<br>20.0   | 1<br>6.7      | 3<br>20.0          |

| 上段：度数<br>下段：% | 育児・介護休業制度の周知が不十分 | 労働条件・制度の整備状況 | 制度はあるが、利用しづらい | 女性の賃金の安さや職種の選択肢の少なさ | 保育施設や学童保育の数やサービスの内容 | その他       | 不明・無回答    |
|---------------|------------------|--------------|---------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 女性            | 43<br>9.8        | 100<br>22.7  | 105<br>23.8   | 86<br>19.5          | 125<br>28.3         | 10<br>2.3 | 18<br>4.1 |
| 男性            | 46<br>13.7       | 86<br>25.7   | 84<br>25.1    | 65<br>19.4          | 86<br>25.7          | 14<br>4.2 | 18<br>5.4 |
| その他           | -<br>-           | -<br>-       | 1<br>100.0    | -<br>-              | -<br>-              | -<br>-    | -<br>-    |
| 不明・無回答        | 1<br>6.7         | 2<br>13.3    | -<br>-        | 1<br>6.7            | 3<br>20.0           | -<br>-    | 6<br>40.0 |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【結婚によるクロス集計】

「結婚していた（離別）」では「家族の理解・協力」と「女性の賃金の安さや職種の選択肢の少なさ」の割合が他に比べると高いです。また、「結婚したことがない」では「結婚、出産した女性に対する企業の敬遠」の割合が他に比べると高いです。（図表III-27）

図表III-27

| 上段：度数<br>下段：%     | 合計           | 男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識 | 家族の理解・協力    | 職場の理解・協力    | 女性自身の就労に対する自覚 | 結婚、出産した女性に対する企業の敬遠 |
|-------------------|--------------|--------------------------|-------------|-------------|---------------|--------------------|
| 結婚している（内縁・事実婚を含む） | 537<br>100.0 | 185<br>34.5              | 107<br>19.9 | 183<br>34.1 | 59<br>11.0    | 120<br>22.3        |
| 結婚していた（離別）        | 48<br>100.0  | 12<br>25.0               | 12<br>25.0  | 19<br>39.6  | 3<br>6.3      | 12<br>25.0         |
| 結婚していた（死別）        | 52<br>100.0  | 7<br>13.5                | 11<br>21.2  | 16<br>30.8  | 4<br>7.7      | 4<br>7.7           |
| 結婚したことがない         | 139<br>100.0 | 47<br>33.8               | 20<br>14.4  | 49<br>35.3  | 11<br>7.9     | 41<br>29.5         |
| 不明・無回答            | 16<br>100.0  | 4<br>25.0                | 2<br>12.5   | 3<br>18.8   | 2<br>12.5     | 3<br>18.8          |

| 上段：度数<br>下段：%     | 育児・介護休業制度の周知が不十分 | 労働条件・制度の整備状況 | 制度はあるが、利用しづらい | 女性の賃金の安さや職種の選択肢の少なさ | 保育施設や学童保育の数やサービスの内容 | その他       | 不明・無回答    |
|-------------------|------------------|--------------|---------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 結婚している（内縁・事実婚を含む） | 56<br>10.4       | 142<br>26.4  | 132<br>24.6   | 106<br>19.7         | 154<br>28.7         | 11<br>2.0 | 17<br>3.2 |
| 結婚していた（離別）        | 6<br>12.5        | 11<br>22.9   | 10<br>20.8    | 16<br>33.3          | 8<br>16.7           | 2<br>4.2  | 3<br>6.3  |
| 結婚していた（死別）        | 10<br>19.2       | 8<br>15.4    | 10<br>19.2    | 11<br>21.2          | 16<br>30.8          | 3<br>5.8  | 8<br>15.4 |
| 結婚したことがない         | 17<br>12.2       | 25<br>18.0   | 37<br>26.6    | 18<br>12.9          | 32<br>23.0          | 8<br>5.8  | 8<br>5.8  |
| 不明・無回答            | 1<br>6.3         | 2<br>12.5    | 1<br>6.3      | 1<br>6.3            | 4<br>25.0           | -         | 6<br>37.5 |

（注1）網掛けは、上位3項目を示しています。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもが18歳以下の回答者では「制度はあるが、利用しづらい」が上位3項目に入っていますが、子どもが19歳以上の回答者または子どもがいない回答者では入っていません。子どもが19歳以上の回答者または子どもがいない回答者では「保育施設や学童保育の数やサービスの内容」が上位3項目に入っていますが、子どもが18歳以下の回答者では入っていません。(図表III-28)

図表III-28

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | 男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識 | 家族の理解・協力   | 職場の理解・協力    | 女性自身の就労に対する自覚 | 結婚、出産した女性に対する企業の敬遠 |
|---------------|-------|--------------|--------------------------|------------|-------------|---------------|--------------------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 362<br>100.0 | 122<br>33.7              | 64<br>17.7 | 142<br>39.2 | 32<br>8.8     | 96<br>26.5         |
|               | 19歳以上 | 339<br>100.0 | 112<br>33.0              | 74<br>21.8 | 99<br>29.2  | 38<br>11.2    | 67<br>19.8         |
| 子どもがいない       |       | 186<br>100.0 | 58<br>31.2               | 31<br>16.7 | 72<br>38.7  | 17<br>9.1     | 51<br>27.4         |

| 上段：度数<br>下段：% |       | 育児・介護休業制度の周知が不十分 | 労働条件・制度の整備状況 | 制度はあるが、利用しづらい | 女性の賃金の安さや職種の選択肢の少なさ | 保育施設や学童保育の数やサービスの内容 | その他       | 不明・無回答    |
|---------------|-------|------------------|--------------|---------------|---------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 36<br>9.9        | 90<br>24.9   | 98<br>27.1    | 65<br>18.0          | 93<br>25.7          | 12<br>3.3 | 10<br>2.8 |
|               | 19歳以上 | 43<br>12.7       | 82<br>24.2   | 74<br>21.8    | 72<br>21.2          | 102<br>30.1         | 6<br>1.8  | 19<br>5.6 |
| 子どもがいない       |       | 25<br>13.4       | 39<br>21.0   | 46<br>24.7    | 27<br>14.5          | 54<br>29.0          | 7<br>3.8  | 7<br>3.8  |

(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

【家族構成と性別によるクロス集計】

男女ともに、家族構成と性別による大きな違いは見られません。ただし、女性は「親と子（2世帯）」で「制度はあるが、利用しづらい」の割合が他の家族構成に比べると高いです。また、男性は「夫婦またはパートナーと2人だけ」で「結婚、出産した女性に対する企業の敬遠」の割合が他の家族構成に比べると高いです。（図表III-29）

図表III-29

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識 | 家族の理解・協力   | 職場の理解・協力   | 女性自身の就労に対する自覚 | 結婚、出産した女性に対する企業の敬遠 |
|-----------------|-----------------|--------------|--------------------------|------------|------------|---------------|--------------------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 9<br>22.5                | 10<br>25.0 | 12<br>30.0 | 4<br>10.0     | 9<br>22.5          |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 50<br>43.9               | 21<br>18.4 | 36<br>31.6 | 15<br>13.2    | 18<br>15.8         |
|                 | 親と子（2世帯）        | 208<br>100.0 | 81<br>38.9               | 50<br>24.0 | 79<br>38.0 | 13<br>6.3     | 54<br>26.0         |
|                 | 親と子と孫（3世帯）      | 44<br>100.0  | 17<br>38.6               | 9<br>20.5  | 15<br>34.1 | 3<br>6.8      | 9<br>20.5          |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | 7<br>53.8                | 3<br>23.1  | 6<br>46.2  | 1<br>7.7      | 3<br>23.1          |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 9<br>40.9                | 3<br>13.6  | 6<br>27.3  | 2<br>9.1      | 1<br>4.5           |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0              | 11<br>22.0 | 5<br>10.0  | 17<br>34.0    | 4<br>8.0           |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ |                 | 91<br>100.0  | 19<br>20.9               | 19<br>20.9 | 23<br>25.3 | 16<br>17.6    | 32<br>35.2         |
| 親と子（2世帯）        |                 | 142<br>100.0 | 35<br>24.6               | 23<br>16.2 | 58<br>40.8 | 15<br>10.6    | 34<br>23.9         |
| 親と子と孫（3世帯）      |                 | 19<br>100.0  | 5<br>26.3                | 2<br>10.5  | 4<br>21.1  | 3<br>15.8     | 1<br>5.3           |
| その他             |                 | 7<br>100.0   | 2<br>28.6                | 1<br>14.3  | 3<br>42.9  | -<br>-        | 1<br>14.3          |
| 不明・無回答          |                 | 26<br>100.0  | 6<br>23.1                | 3<br>11.5  | 8<br>30.8  | 2<br>7.7      | 6<br>23.1          |

| 性別 | 家族構成                | 育児・介護<br>休業制度の<br>周知が不十分 | 労働条件・<br>制度の整備<br>状況 | 制度はある<br>が、利用し<br>づらい | 女性の賃金<br>の安さや職<br>種の選択肢<br>の少なさ | 保育施設や<br>学童保育の<br>数やサービ<br>スの内容 | その他       | 不明・無回<br>答 |
|----|---------------------|--------------------------|----------------------|-----------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------|------------|
| 女性 | ひとり暮らし              | 5<br>12.5                | 6<br>15.0            | 8<br>20.0             | 12<br>30.0                      | 11<br>27.5                      | 3<br>7.5  | 1<br>2.5   |
|    | 夫婦またはパート<br>ナーと2人だけ | 13<br>11.4               | 29<br>25.4           | 21<br>18.4            | 28<br>24.6                      | 37<br>32.5                      | 2<br>1.8  | 2<br>1.8   |
|    | 親と子（2世帯）            | 19<br>9.1                | 48<br>23.1           | 59<br>28.4            | 34<br>16.3                      | 52<br>25.0                      | 1<br>0.5  | 9<br>4.3   |
|    | 親と子と孫<br>（3世帯）      | 2<br>4.5                 | 11<br>25.0           | 10<br>22.7            | 4<br>9.1                        | 15<br>34.1                      | 1<br>2.3  | 4<br>9.1   |
|    | その他                 | 3<br>23.1                | 2<br>15.4            | 2<br>15.4             | 5<br>38.5                       | 5<br>38.5                       | 1<br>7.7  | -<br>-     |
|    | 不明・無回答              | 1<br>4.5                 | 4<br>18.2            | 5<br>22.7             | 3<br>13.6                       | 5<br>22.7                       | 2<br>9.1  | 2<br>9.1   |
| 男性 | ひとり暮らし              | 10<br>20.0               | 13<br>26.0           | 7<br>14.0             | 7<br>14.0                       | 11<br>22.0                      | 5<br>10.0 | 7<br>14.0  |
|    | 夫婦またはパート<br>ナーと2人だけ | 14<br>15.4               | 22<br>24.2           | 24<br>26.4            | 19<br>20.9                      | 32<br>35.2                      | -<br>-    | 2<br>2.2   |
|    | 親と子（2世帯）            | 17<br>12.0               | 41<br>28.9           | 40<br>28.2            | 31<br>21.8                      | 28<br>19.7                      | 6<br>4.2  | 4<br>2.8   |
|    | 親と子と孫<br>（3世帯）      | 2<br>10.5                | 4<br>21.1            | 5<br>26.3             | 2<br>10.5                       | 5<br>26.3                       | 1<br>5.3  | 2<br>10.5  |
|    | その他                 | -<br>-                   | 2<br>28.6            | 1<br>14.3             | 3<br>42.9                       | 1<br>14.3                       | -<br>-    | -<br>-     |
|    | 不明・無回答              | 3<br>11.5                | 4<br>15.4            | 7<br>26.9             | 3<br>11.5                       | 9<br>34.6                       | 2<br>7.7  | 3<br>11.5  |

(注1) 網掛けは、各家族構成における上位3項目を示しています。

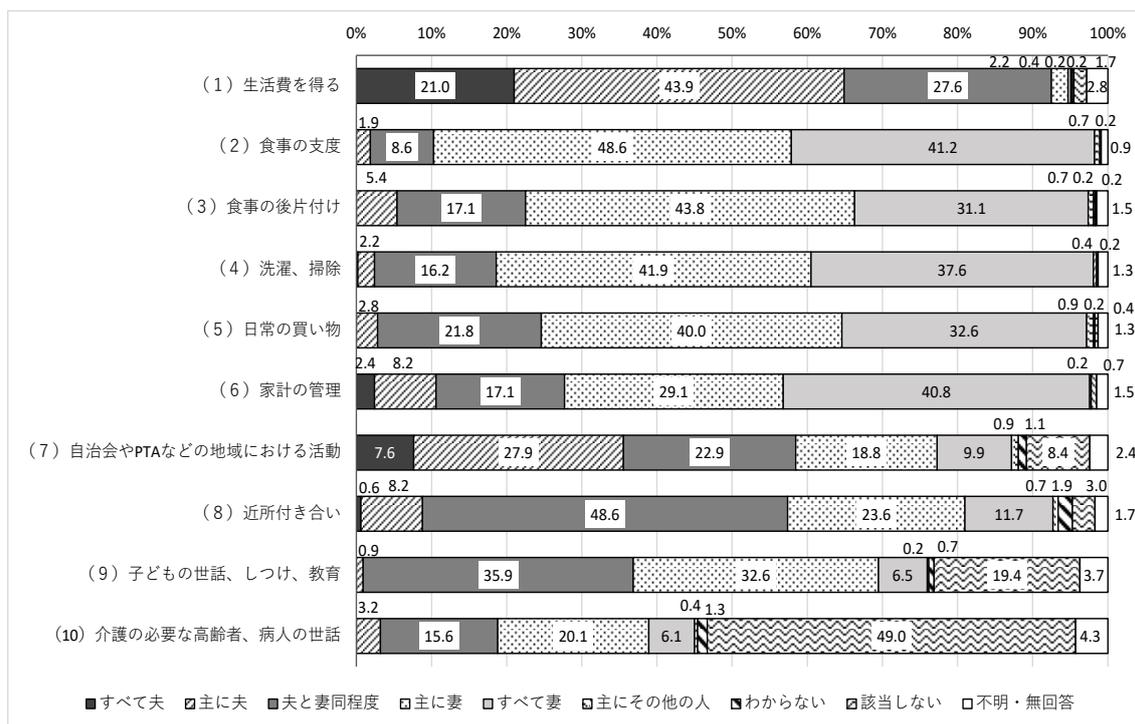
問10 配偶者（パートナー）がおられる方にお聞きします。次の（1）～（10）のことがらについて、あなたのご家庭では誰が行っていますか。（○はそれぞれ1つ）

単数回答（N=537）

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、性別、年齢、子どもの有無・年齢

（1）から（10）の単純集計の結果をまとめると、図表Ⅲ-30 のようになります。10項目のうち「（2）食事の支度」、「（3）食事の後片付け」、「（4）洗濯、掃除」、「（5）日常の買い物」、「（6）家計の管理」の5項目は「主に妻」と「すべて妻」の合計が約70.0%から80.0%となっています。「夫と妻同程度」の割合が他の項目に比べると高いのは「（8）近所付き合い」と「（9）子どもの世話、しつけ、教育」ですが、それ以外の項目はどちらかというとな妻中心となっています。また、「すべて夫」と「主に夫」が50.0%を越えている項目は「（1）生活費を得る」のみです。

図表Ⅲ-30

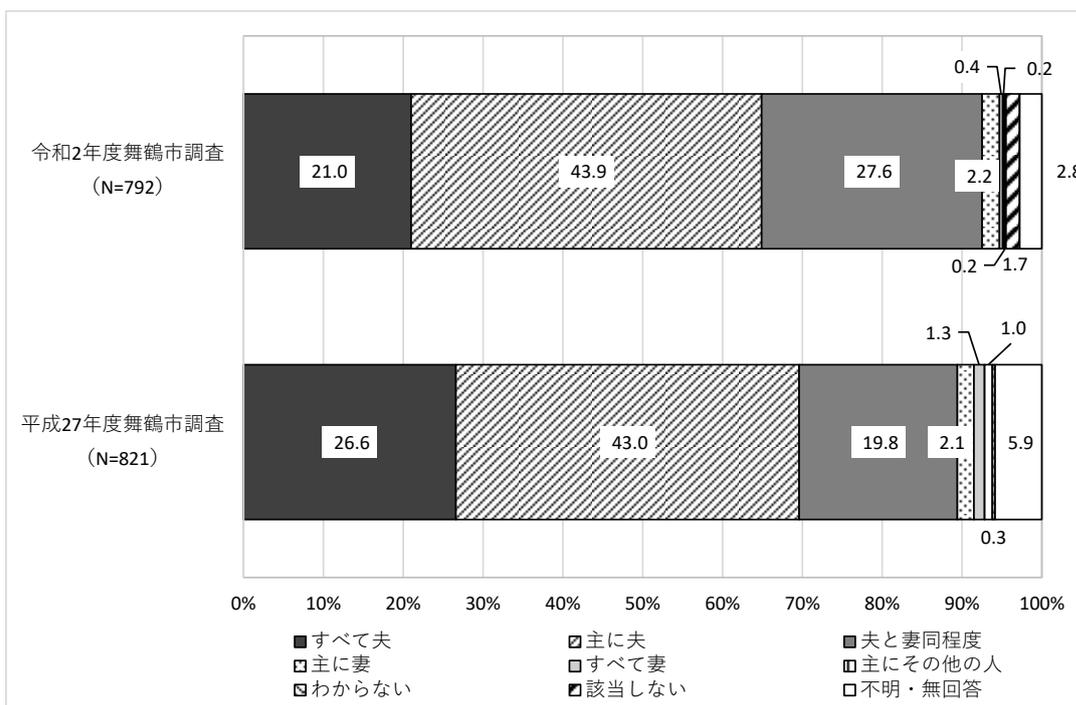


(1) 生活費を得る

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は 4.7 ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は 0.8 ポイント減少しています。また、「夫と妻同程度」は 7.8 ポイント増加しています。(図表Ⅲ-31)

図表Ⅲ-31

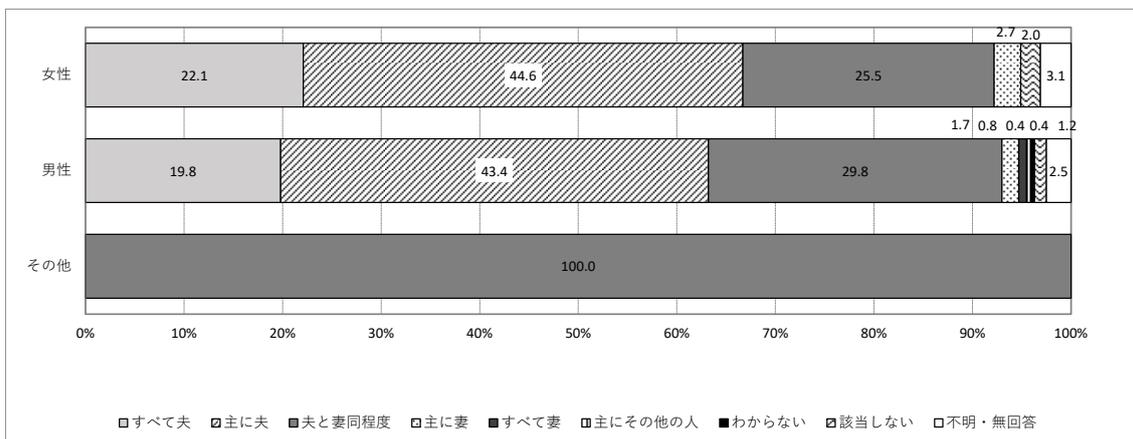


(注 1) 「該当しない」は令和 2 年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「主に夫」の割合が最も高く、「すべて夫」と合わせると約 65.0%となっています。(図表Ⅲ-32)

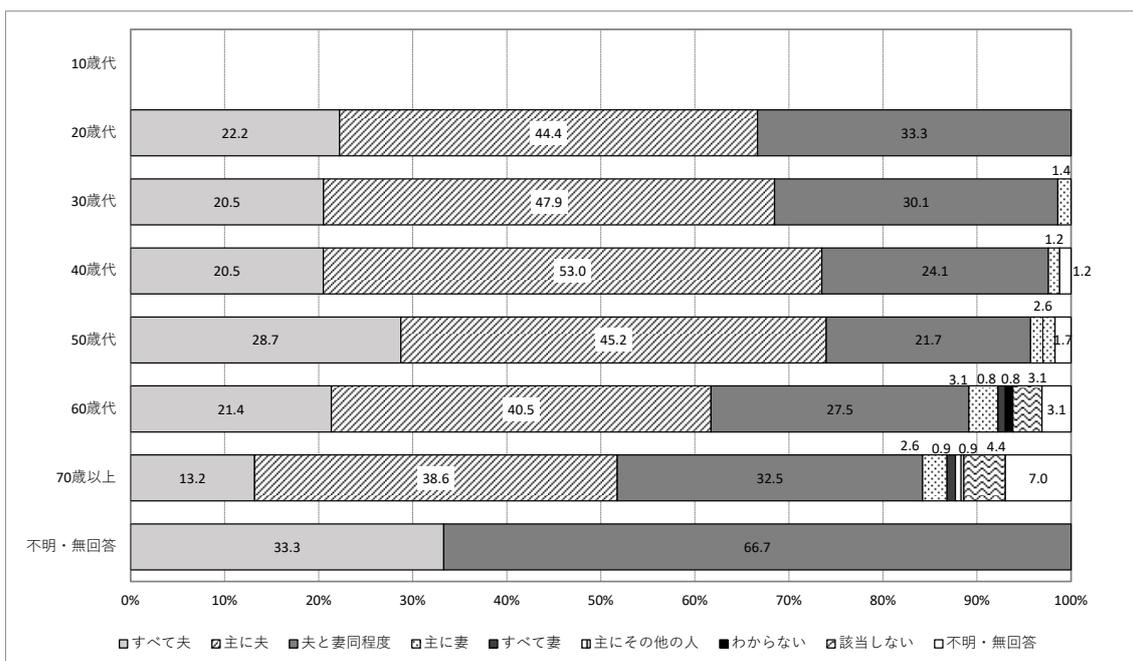
図表Ⅲ-32



【年齢によるクロス集計】

年齢による大きな違いは見られません。ただし、40歳代と50歳代では「主に夫」の割合が他の年齢に比べると高く、「夫と妻同程度」の割合が他の年齢に比べると低くなっています。(図表Ⅲ-33)

図表Ⅲ-33



【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもの有無と年齢による違いは特に見られません。(図表Ⅲ-34)

図表Ⅲ-34

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫       | 主に夫         | 夫と妻同程度     | 主に妻      | すべて妻     | 主にその他の人 | わからない    | 該当しない    | 不明・無回答    |
|---------------|-------|--------------|------------|-------------|------------|----------|----------|---------|----------|----------|-----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | 53<br>25.2 | 97<br>46.2  | 54<br>25.7 | 2<br>1.0 | -        | -       | -        | 1<br>0.5 | 3<br>1.4  |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | 50<br>18.4 | 113<br>41.5 | 79<br>29.0 | 8<br>2.9 | 2<br>0.7 | -       | 1<br>0.4 | 7<br>2.6 | 12<br>4.4 |
| 子どもがいない       |       | 50<br>100.0  | 18<br>36.0 | 9<br>18.0   | 21<br>42.0 | -        | -        | -       | -        | 1<br>2.0 | 1<br>2.0  |

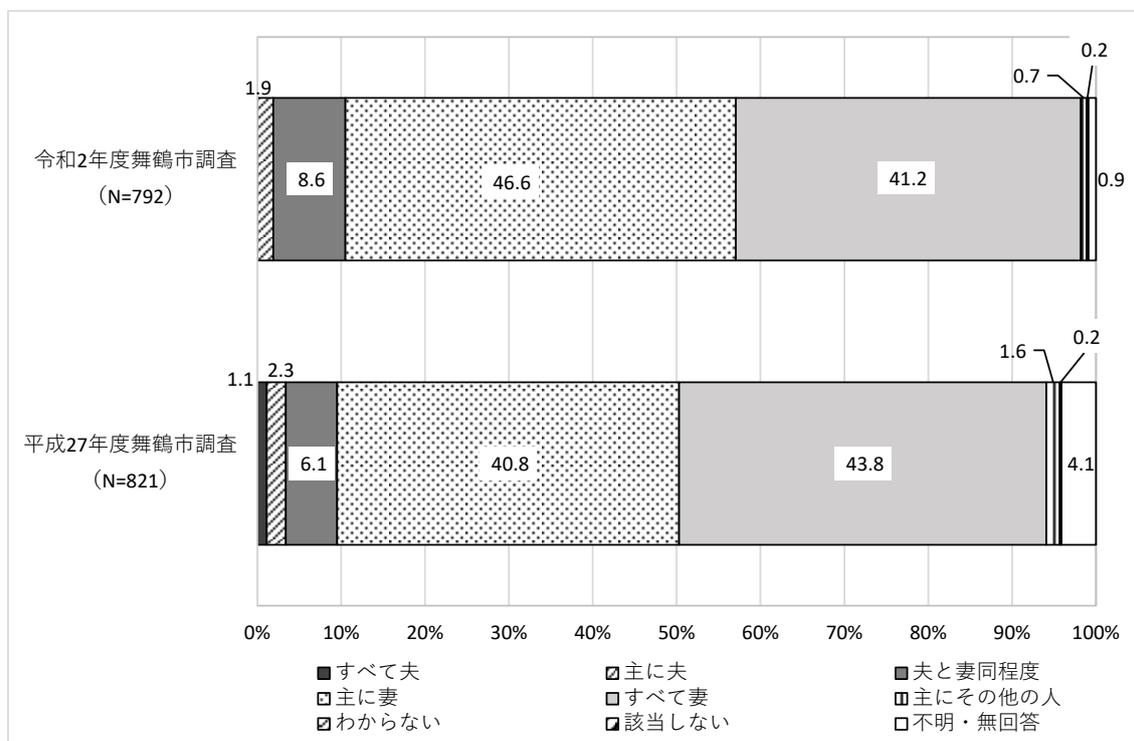
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(2) 食事の支度

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は1.5ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は3.2ポイント増加しています。また、「夫と妻同程度」は2.5ポイント増加しています。(図表Ⅲ-35)

図表Ⅲ-35

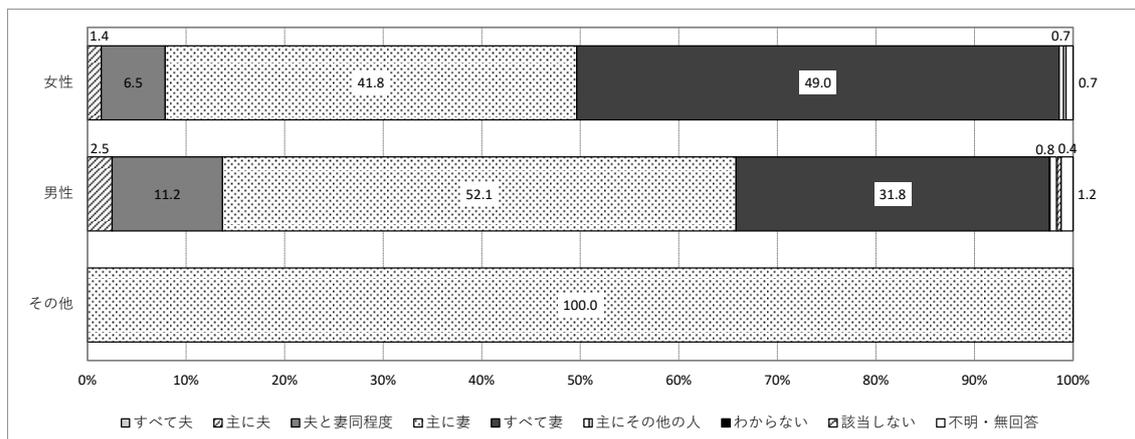


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「主に妻」と「すべて妻」と合わせると80.0%以上となっています。(図表Ⅲ-36)

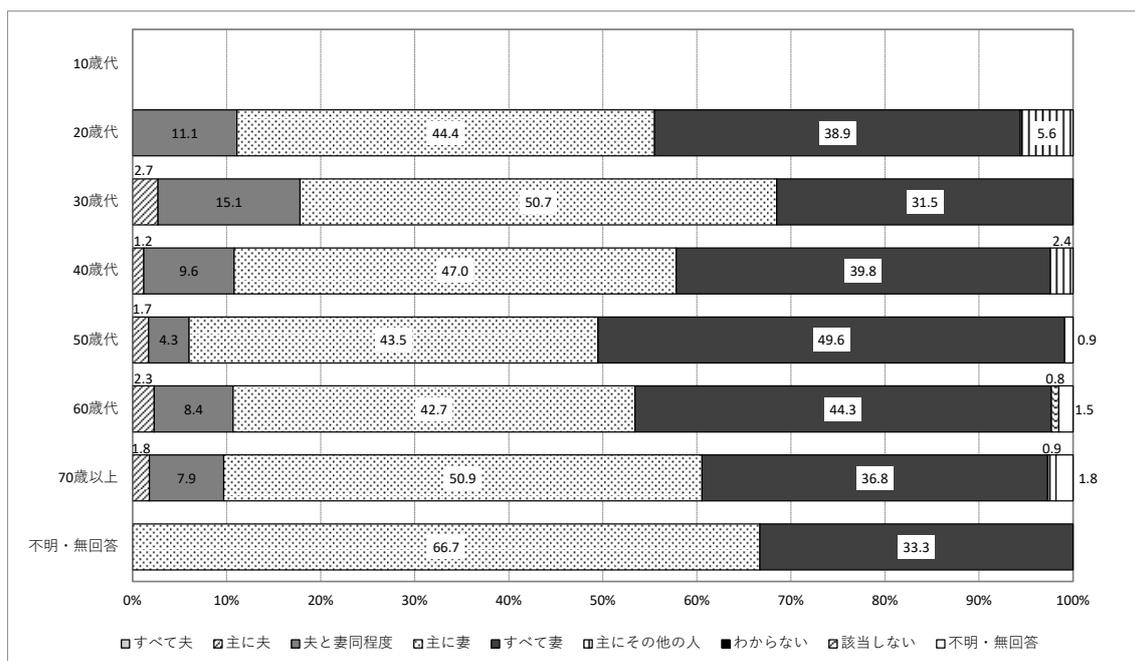
図表Ⅲ-36



【年齢によるクロス集計】

年齢による大きな違いは見られません。ただし、50歳代では「夫と妻同程度」の割合が他の年齢に比べると低いです。また、50歳代と60歳代では「すべて妻」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-37)

図表Ⅲ-37



【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもの有無と年齢による違いは特に見られません。(図表Ⅲ-38)

図表Ⅲ-38

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫 | 主に夫      | 夫と妻同程度    | 主に妻         | すべて妻        | 主にその他の人  | わからない | 該当しない    | 不明・無回答   |
|---------------|-------|--------------|------|----------|-----------|-------------|-------------|----------|-------|----------|----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | -    | 6<br>2.9 | 18<br>8.6 | 106<br>50.5 | 76<br>36.2  | 3<br>1.4 | -     | -        | 1<br>0.5 |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | -    | 4<br>1.5 | 20<br>7.4 | 117<br>43.0 | 126<br>46.3 | -        | -     | 1<br>0.4 | 4<br>1.5 |
| 子どもがない        |       | 50<br>100.0  | -    | 3<br>6.0 | 6<br>12.0 | 17<br>34.0  | 22<br>44.0  | 1<br>2.0 | -     | -        | 1<br>2.0 |

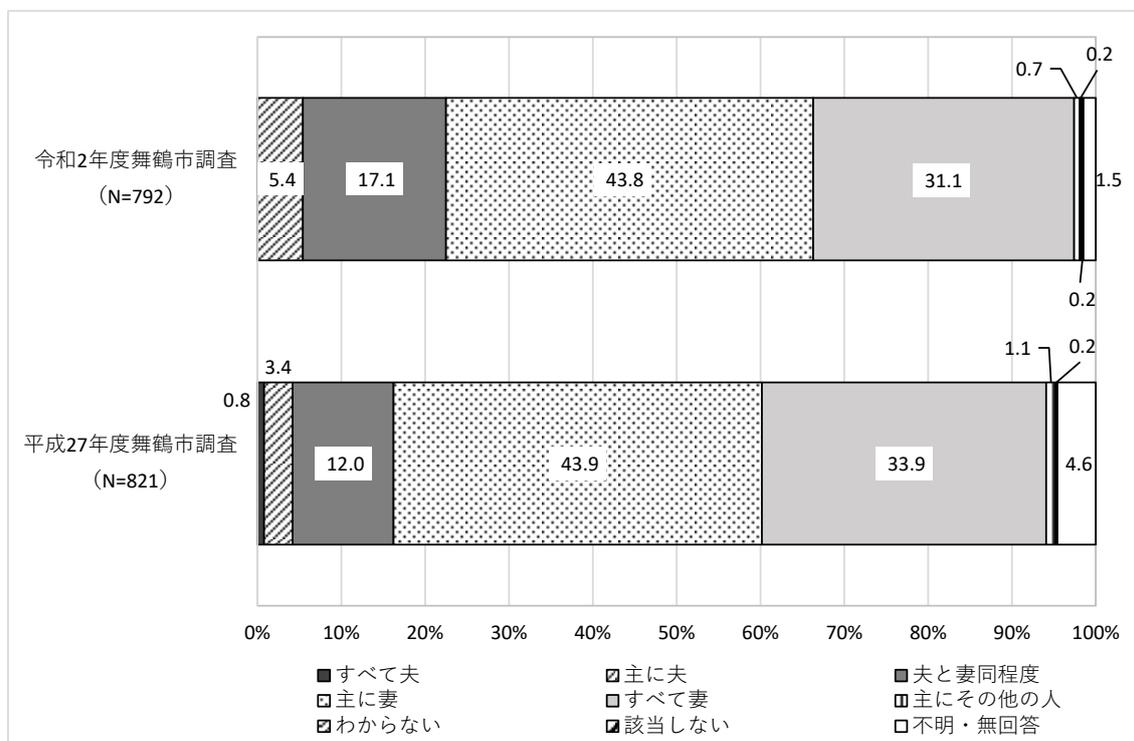
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(3) 食事の後片付け

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は1.2ポイント増加し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は2.9ポイント減少しています。また、「夫と妻同程度」は5.1ポイント増加しています。(図表Ⅲ-39)

図表Ⅲ-39

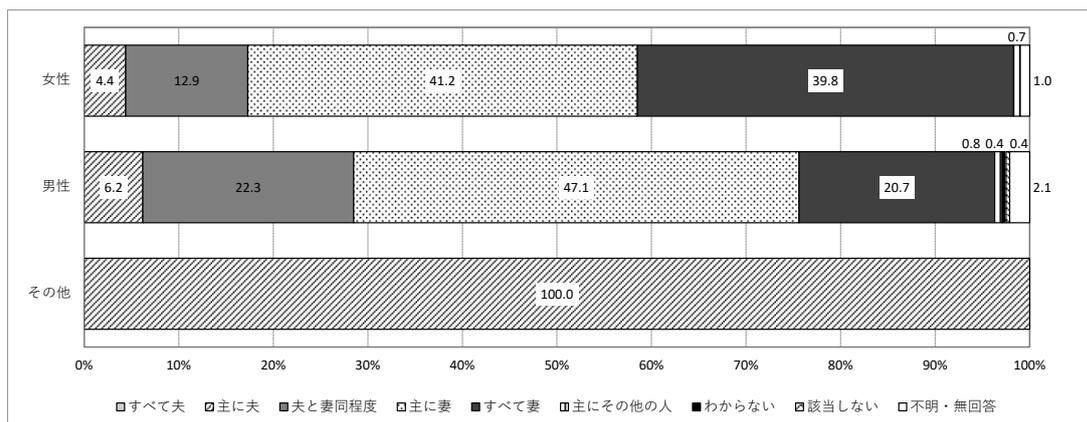


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「主に妻」の割合が最も高く、女性は「主に妻」と「すべて妻」と合わせると81.0%となっています。また、男性は「夫と妻同程度」の割合が女性に比べると高いです。(図表Ⅲ-40)

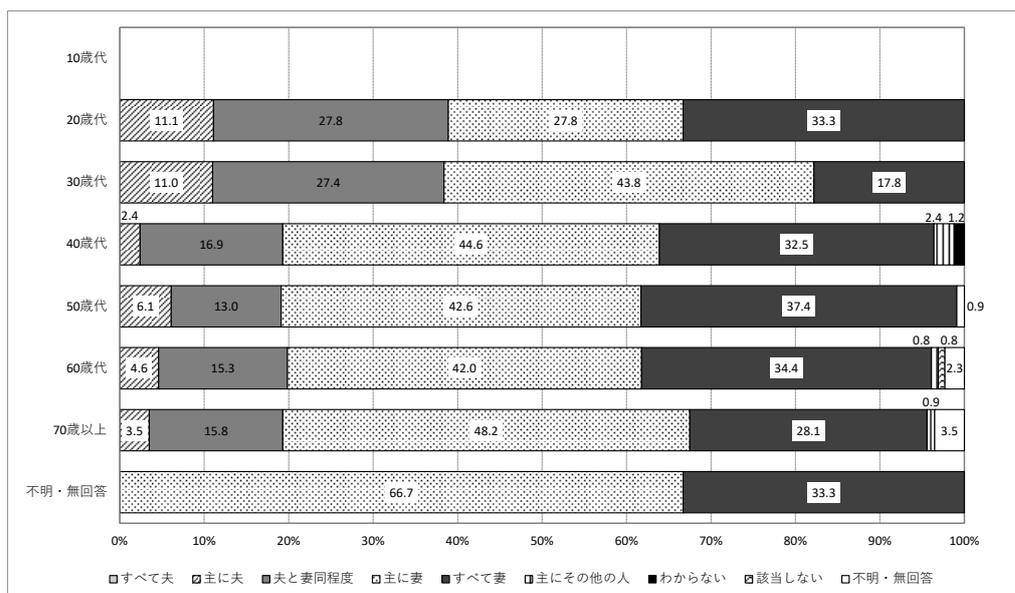
図表Ⅲ-40



【年齢によるクロス集計】

40歳代から70歳以上では「主に妻」と「すべて妻」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、20歳代と30歳代では「夫と妻同程度」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-41)

図表Ⅲ-41



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもの有無と年齢による違いは特に見られません。(図表Ⅲ-42)

図表Ⅲ-42

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫 | 主に夫       | 夫と妻同程度     | 主に妻         | すべて妻        | 主にその他の人  | わからない | 該当しない    | 不明・無回答   |
|---------------|-------|--------------|------|-----------|------------|-------------|-------------|----------|-------|----------|----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | -    | 15<br>7.1 | 44<br>21.0 | 95<br>45.2  | 53<br>25.2  | 2<br>1.0 | -     | -        | 1<br>0.5 |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | -    | 12<br>4.4 | 37<br>13.6 | 113<br>41.5 | 101<br>37.1 | 1<br>0.4 | -     | 1<br>0.4 | 7<br>2.6 |
| 子どもがない        |       | 50<br>100.0  | -    | 4<br>8.0  | 13<br>26.0 | 16<br>32.0  | 15<br>30.0  | 1<br>2.0 | -     | -        | 1<br>2.0 |

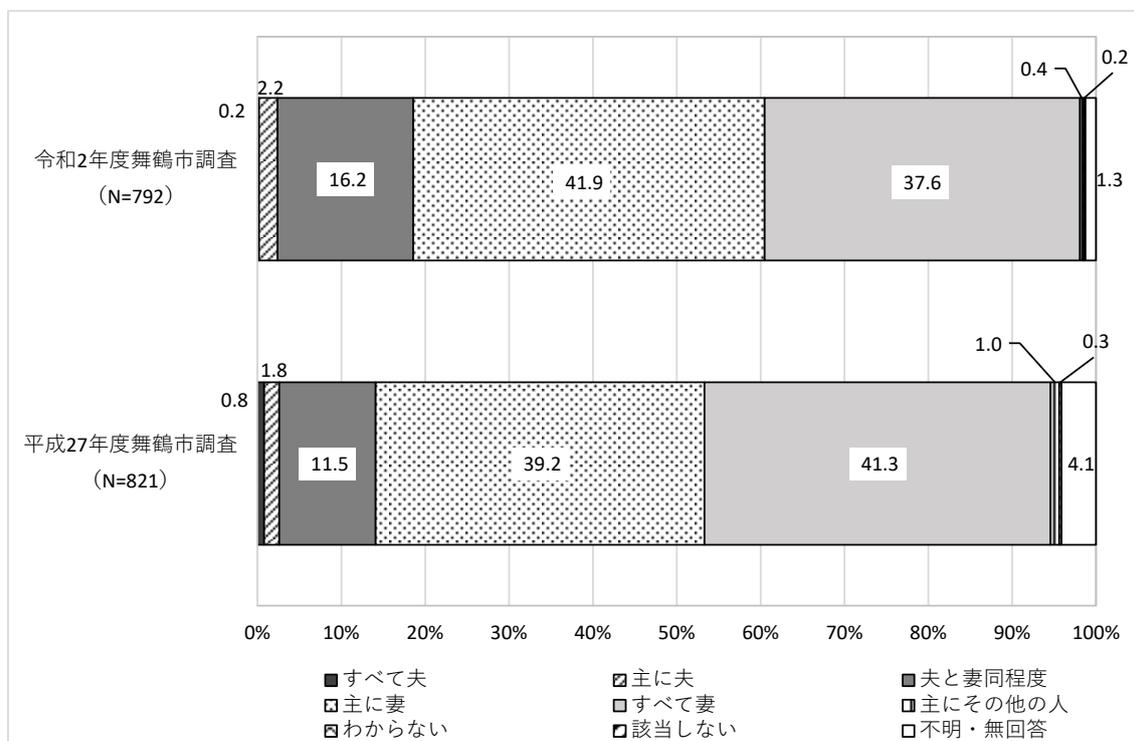
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(4) 洗濯、掃除

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は0.2ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は1.0ポイント減少しています。また、「夫と妻同程度」は4.7ポイント増加しています。(図表Ⅲ-43)

図表Ⅲ-43

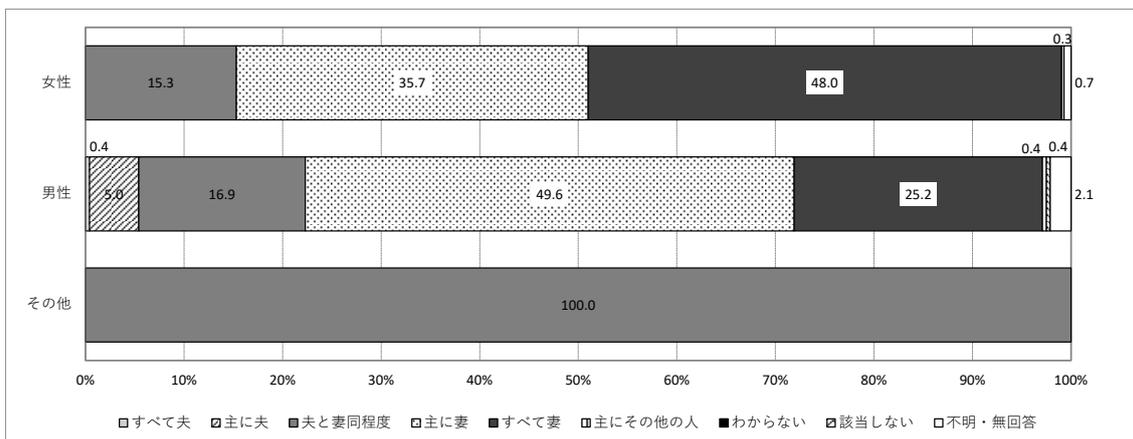


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「すべて妻」と「主に妻」の割合が高く、女性は83.7%、男性は74.8%となっています。(図表Ⅲ-44)

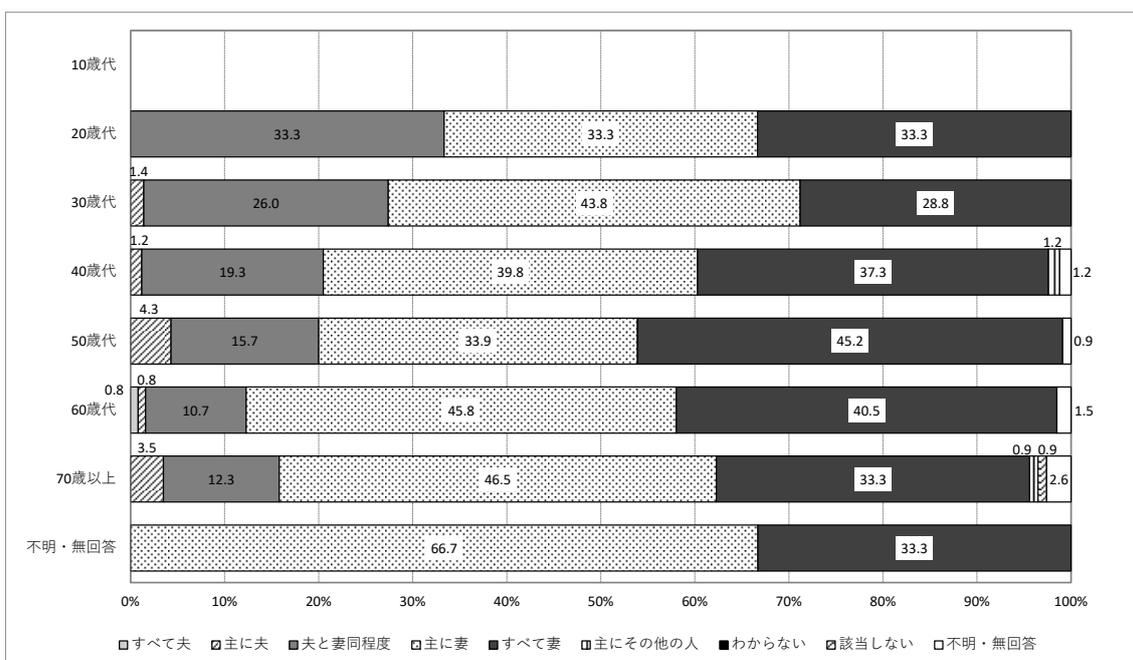
図表Ⅲ-44



【年齢によるクロス集計】

年齢が上がるほど「夫と妻同程度」の割合は相対的に低くなっています。また、30歳代では「すべて妻」の割合が他の年齢に比べると低いです。(図表Ⅲ-45)

図表Ⅲ-45



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもが19歳以上の回答者では「夫と妻同程度」の割合が相対的に低く、「すべて妻」の割合が相対的に高くなっています。(図表Ⅲ-46)

図表Ⅲ-46

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫     | 主に夫      | 夫と妻同程度     | 主に妻         | すべて妻        | 主にその他の人  | わからない | 該当しない    | 不明・無回答   |
|---------------|-------|--------------|----------|----------|------------|-------------|-------------|----------|-------|----------|----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | -        | 4<br>1.9 | 42<br>20.0 | 92<br>43.8  | 69<br>32.9  | 1<br>0.5 | -     | -        | 2<br>1.0 |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | 1<br>0.4 | 5<br>1.8 | 34<br>12.5 | 108<br>39.7 | 118<br>43.4 | -        | -     | 1<br>0.4 | 5<br>1.8 |
| 子どもがいない       |       | 50<br>100.0  | -        | 1<br>2.0 | 11<br>22.0 | 21<br>42.0  | 16<br>32.0  | -        | -     | -        | 1<br>2.0 |

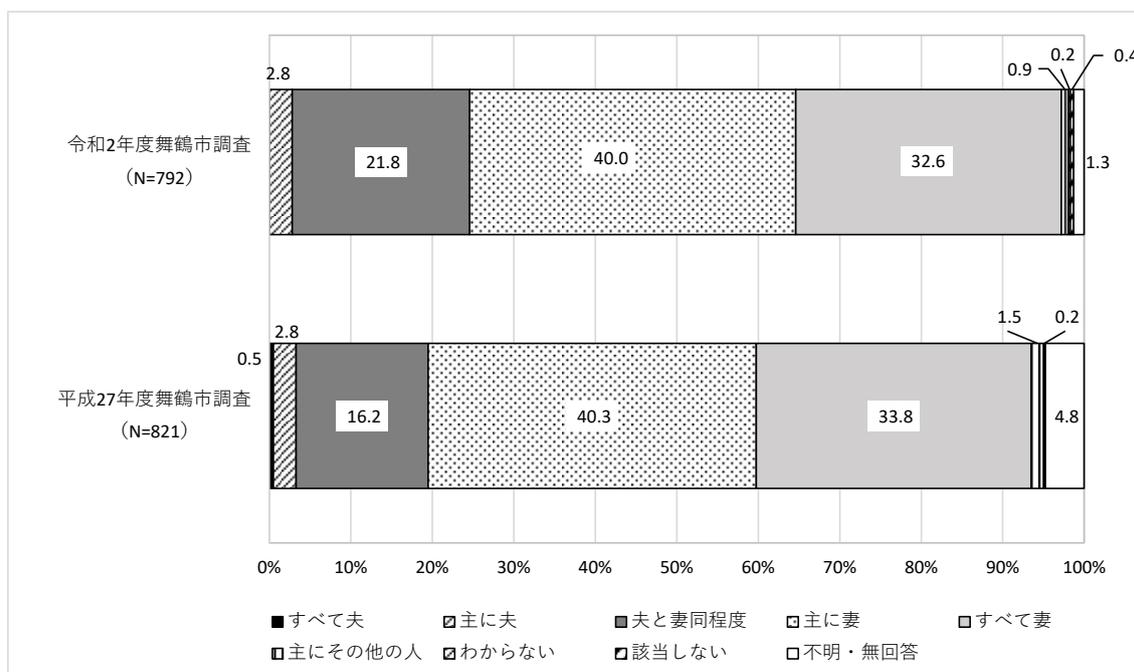
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(5) 日常の買い物

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は、0.5ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は1.5ポイント減少しています。また、「夫と妻同程度」は5.6ポイント増加しています。(図表Ⅲ-47)

図表Ⅲ-47

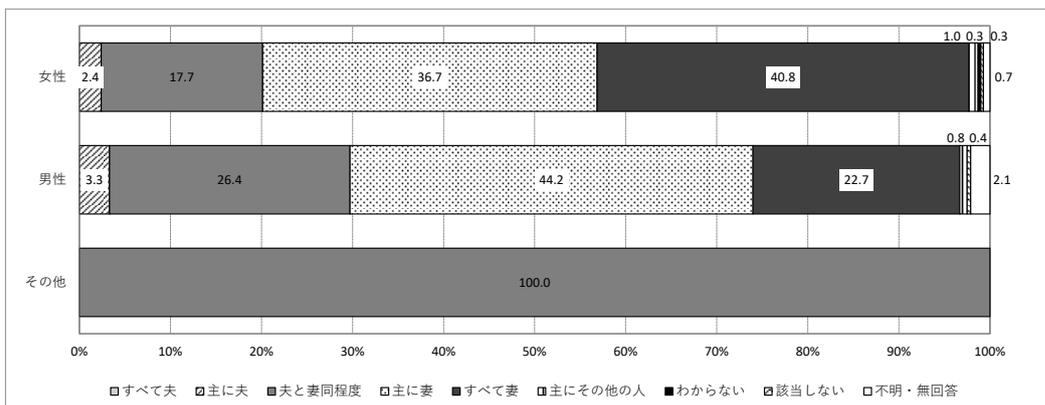


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

女性は「すべて妻」の割合が最も高く、「主に妻」と合わせると 77.5%となっています。男性は「夫と妻同程度」の割合が女性に比べると高いです。(図表Ⅲ-48)

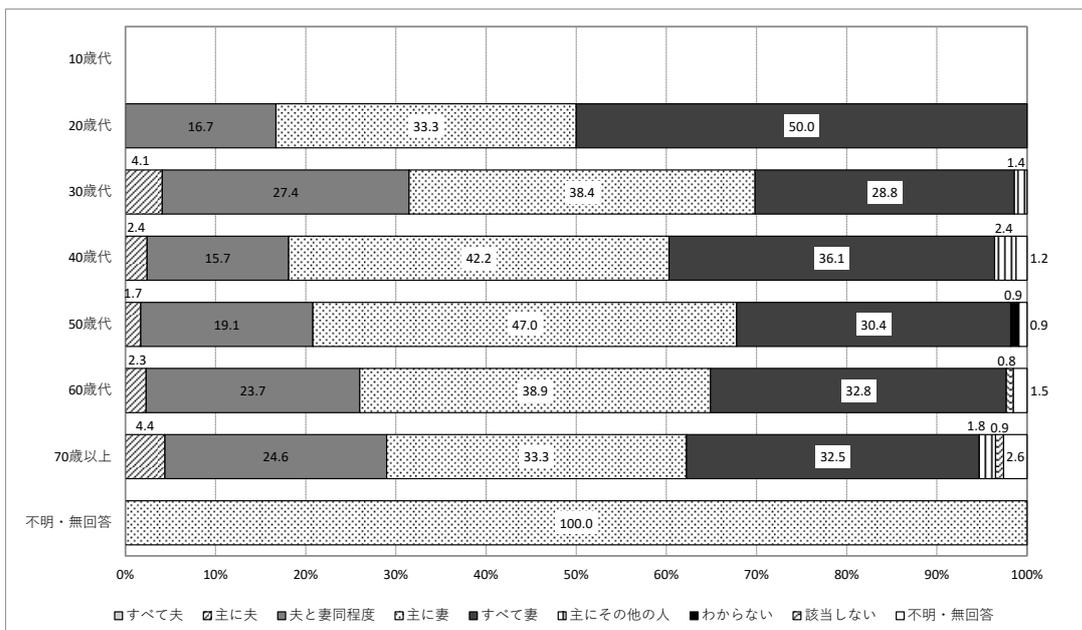
図表Ⅲ-48



【年齢によるクロス集計】

30歳代では「夫と妻同程度」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、40歳代と50歳代では「主に妻」と「すべて妻」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-49)

図表Ⅲ-49



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもの有無と年齢による違いは特に見られません。(図表Ⅲ－50)

図表Ⅲ－50

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫 | 主に夫      | 夫と妻同程度     | 主に妻         | すべて妻       | 主にその他の人  | わからない | 該当しない    | 不明・無回答   |
|---------------|-------|--------------|------|----------|------------|-------------|------------|----------|-------|----------|----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | -    | 7<br>3.3 | 43<br>20.5 | 86<br>41.0  | 68<br>32.4 | 3<br>1.4 | -     | 1<br>0.5 | 2<br>1.0 |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | -    | 7<br>2.6 | 62<br>22.8 | 106<br>39.0 | 91<br>33.5 | -        | -     | 1<br>0.4 | 5<br>1.8 |
| 子どもがない        |       | 50<br>100.0  | -    | 1<br>2.0 | 15<br>30.0 | 19<br>38.0  | 12<br>24.0 | 1<br>2.0 | -     | 1<br>2.0 | 1<br>2.0 |

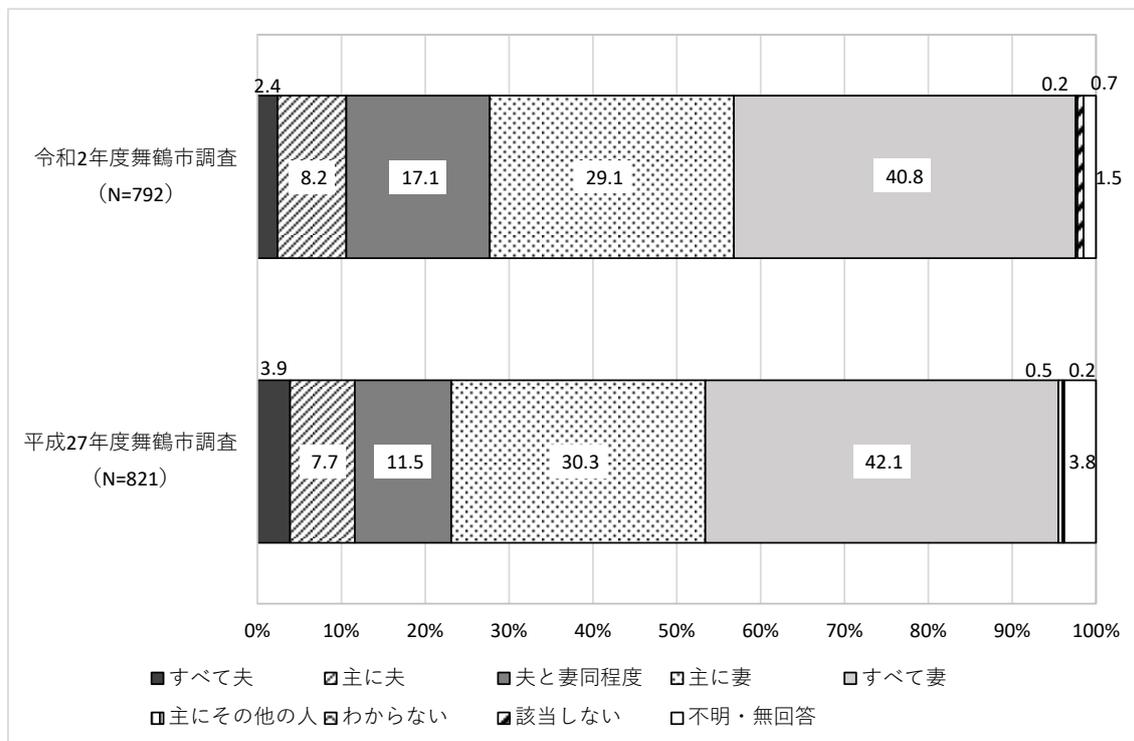
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(6) 家計の管理

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は1.0ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は2.5ポイント減少しています。また、「夫と妻同程度」は5.6ポイント増加しています。(図表Ⅲ－51)

図表Ⅲ－51

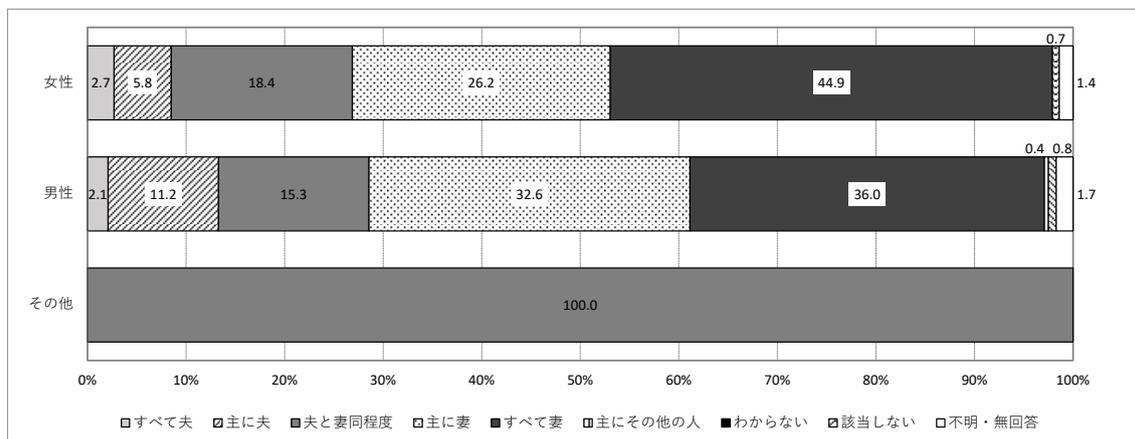


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「すべて妻」の割合が最も高く、「主に妻」と合わせると約 70.0%となっています。(図表Ⅲ-52)

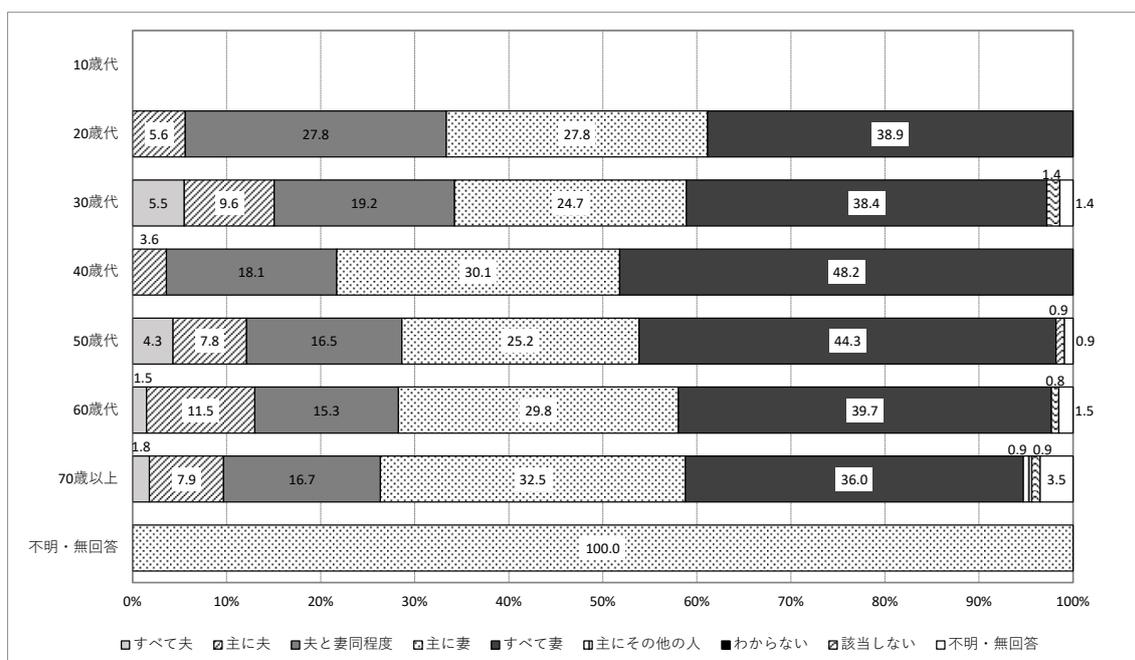
図表Ⅲ-52



【年齢によるクロス集計】

40歳代と50歳代では「すべて妻」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-53)

図表Ⅲ-53



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもが19歳以上の回答者では「主に妻」の割合が相対的に高いです。また、子どもが18歳以下の回答者と子どもが19歳以上の回答者では「すべて妻」の割合が相対的に高いです。(図表Ⅲ-54)

図表Ⅲ-54

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫     | 主に夫       | 夫と妻同程度     | 主に妻        | すべて妻        | 主にその他の人 | わからない | 該当しない    | 不明・無回答   |
|---------------|-------|--------------|----------|-----------|------------|------------|-------------|---------|-------|----------|----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | 6<br>2.9 | 19<br>9.0 | 43<br>20.5 | 51<br>24.3 | 87<br>41.4  | -       | -     | 2<br>1.0 | 2<br>1.0 |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | 5<br>1.8 | 19<br>7.0 | 38<br>14.0 | 91<br>33.5 | 111<br>40.8 | -       | -     | 2<br>0.7 | 6<br>2.2 |
| 子どもがいない       |       | 50<br>100.0  | 1<br>2.0 | 4<br>8.0  | 13<br>26.0 | 12<br>24.0 | 17<br>34.0  | -       | -     | 1<br>2.0 | 2<br>4.0 |

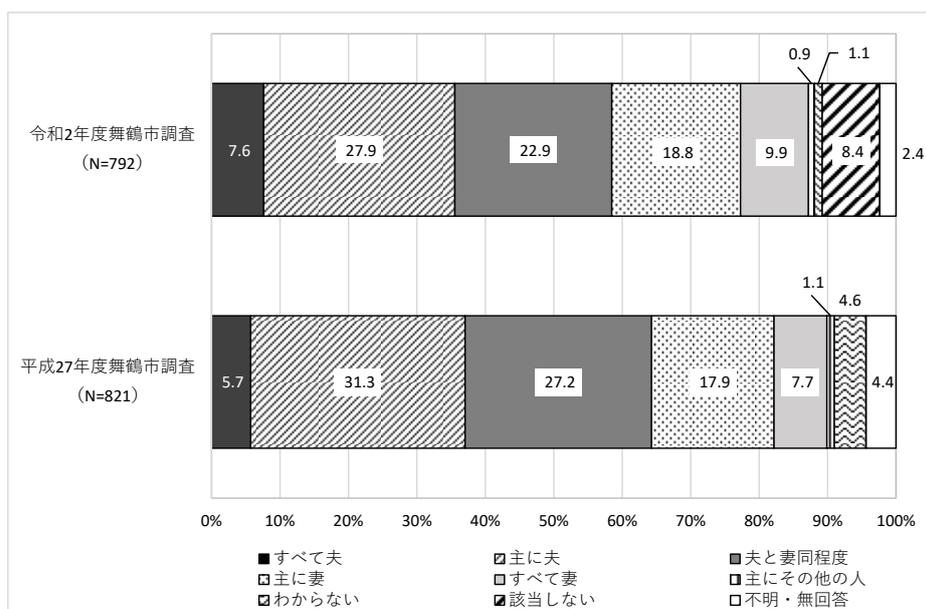
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(7) 自治会やPTAなどの地域における活動

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は1.5ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は3.1ポイント増加しています。また、「夫と妻同程度」は4.3ポイント減少しています。(図表Ⅲ-55)

図表Ⅲ-55

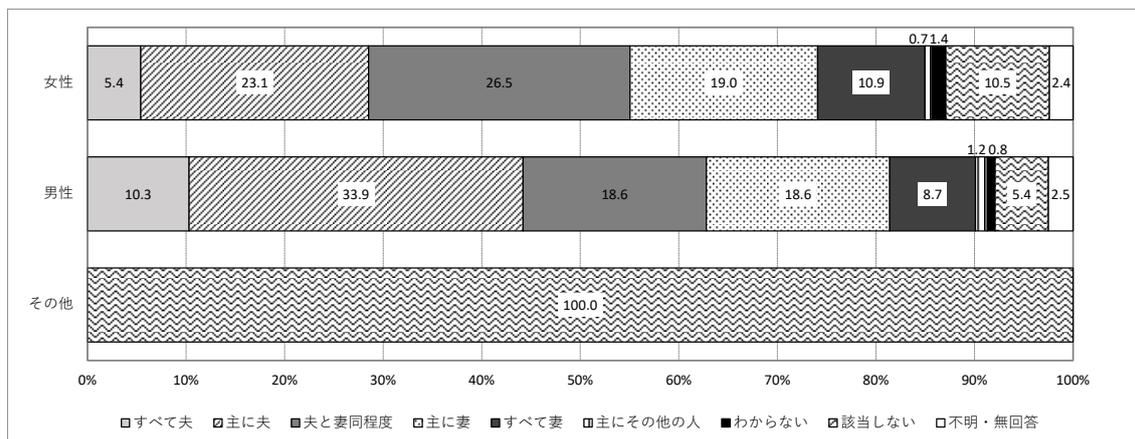


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

女性は「主に夫」と「夫と妻同程度」の割合が同程度となっています。男性は「主に夫」の割合が女性と比べると高いです。(図表Ⅲ-56)

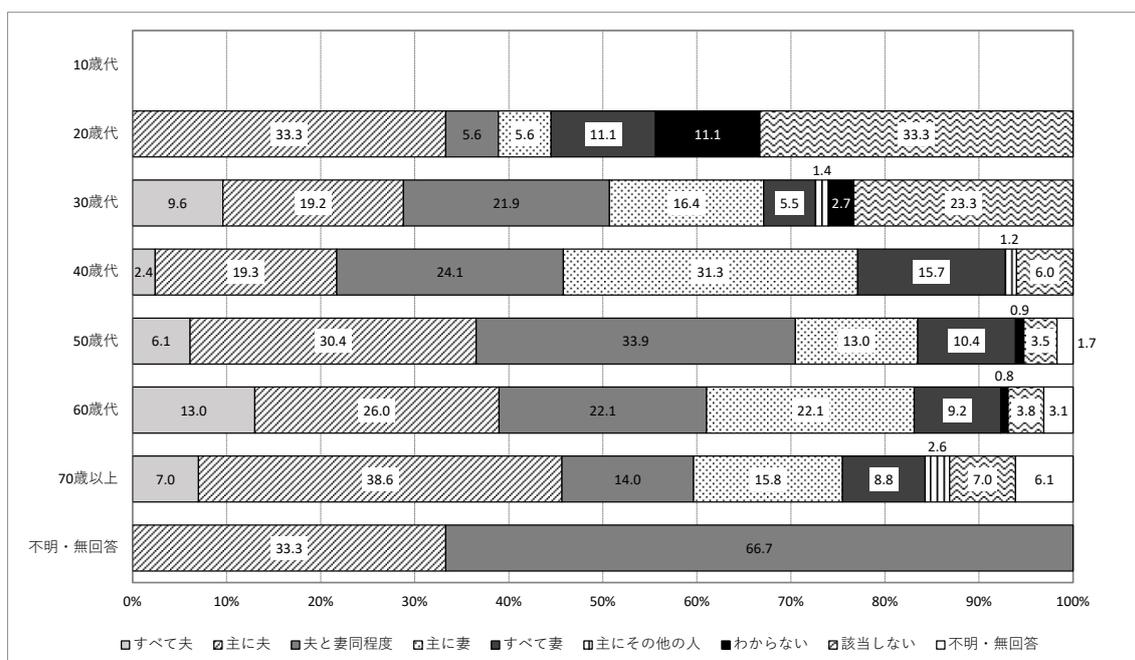
図表Ⅲ-56



【年齢によるクロス集計】

40歳代では「主に妻」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、50歳代から70歳以上では「主に夫」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-57)

図表Ⅲ-57



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

19歳以上の子どもがいる回答者では「主に夫」の割合が相対的に高いです。また、子どもがいない回答者では「該当しない」の割合が相対的に高いです。(図表Ⅲ-58)

図表Ⅲ-58

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫      | 主に夫        | 夫と妻同程度     | 主に妻        | すべて妻       | 主にその他の人  | わからない    | 該当しない      | 不明・無回答    |
|---------------|-------|--------------|-----------|------------|------------|------------|------------|----------|----------|------------|-----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | 11<br>5.2 | 52<br>24.8 | 45<br>21.4 | 40<br>19.0 | 26<br>12.4 | 2<br>1.0 | 4<br>1.9 | 28<br>13.3 | 2<br>1.0  |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | 25<br>9.2 | 85<br>31.3 | 64<br>23.5 | 49<br>18.0 | 24<br>8.8  | 1<br>0.4 | 2<br>0.7 | 12<br>4.4  | 10<br>3.7 |
| 子どもがいない       |       | 50<br>100.0  | 4<br>8.0  | 13<br>26.0 | 7<br>14.0  | 4<br>8.0   | 3<br>6.0   | 2<br>4.0 | -        | 15<br>30.0 | 2<br>4.0  |

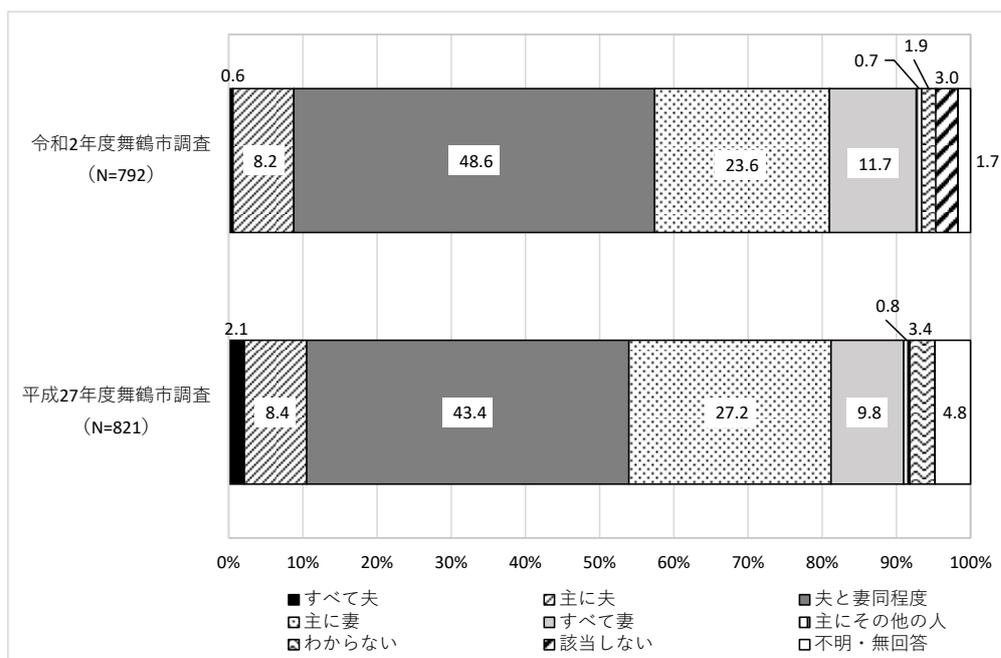
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(8) 近所付き合い

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は1.7ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は1.7ポイント減少しています。また、「夫と妻同程度」は5.2ポイント増加しています。(図表Ⅲ-59)

図表Ⅲ-59

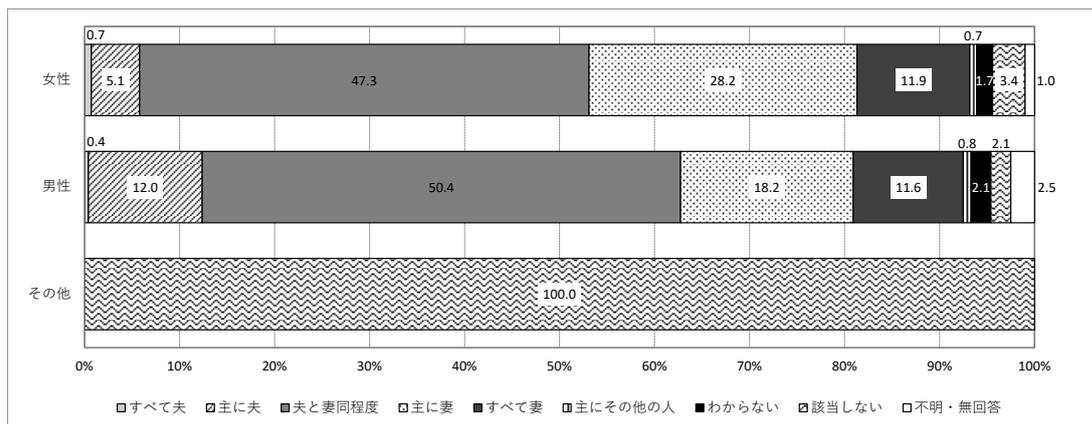


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「夫と妻同程度」の割合が最も高いです。女性は「主に妻」の割合が男性に比べると高く、男性は「主に夫」の割合が女性に比べると高くなっています。(図表Ⅲ-60)

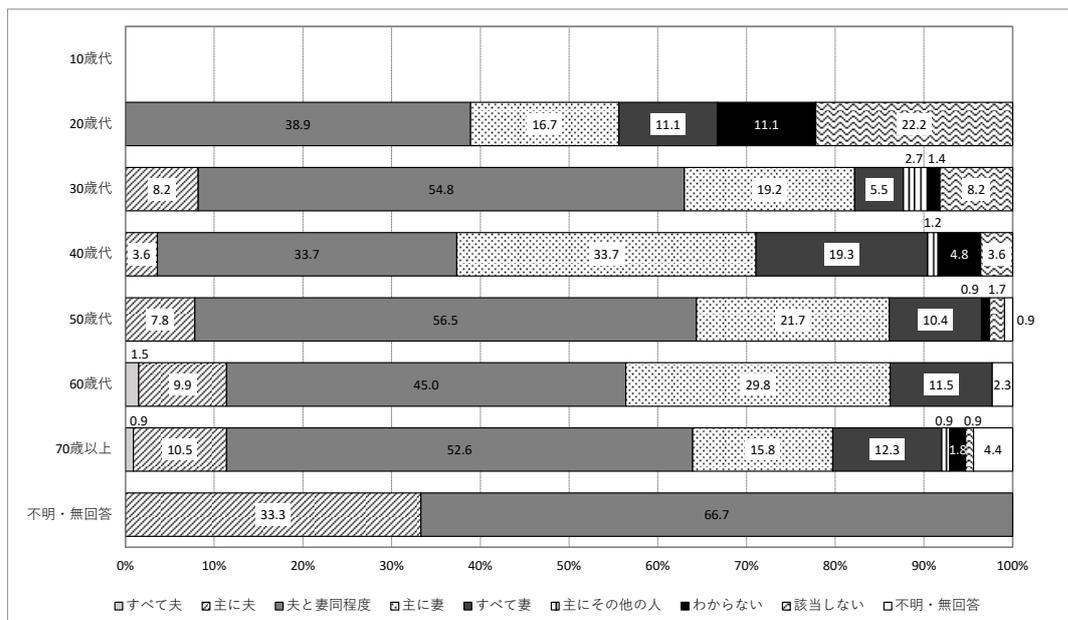
図表Ⅲ-60



【年齢によるクロス集計】

40歳代では「夫と妻同程度」の割合が他の年齢に比べると低いです。一方、「主に妻」と「すべて妻」の割合は他の年齢に比べると高くなっています。(図表Ⅲ-61)

図表Ⅲ-61



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもが19歳以上の回答者では「夫と妻同程度」が50.0%以上となっていますが、子どもが18歳以下の回答者と子どもがいない回答者では50.0%未満となっています。また、子どもがいない回答者では「該当しない」の割合が相対的に高いです。(図表Ⅲ-62)

図表Ⅲ-62

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫     | 主に夫       | 夫と妻同程度      | 主に妻        | すべて妻       | 主にその他の人  | わからない    | 該当しない     | 不明・無回答   |
|---------------|-------|--------------|----------|-----------|-------------|------------|------------|----------|----------|-----------|----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | -        | 16<br>7.6 | 94<br>44.8  | 48<br>22.9 | 30<br>14.3 | 2<br>1.0 | 7<br>3.3 | 12<br>5.7 | 1<br>0.5 |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | 3<br>1.1 | 23<br>8.5 | 139<br>51.1 | 67<br>24.6 | 30<br>11.0 | -        | 1<br>0.4 | 3<br>1.1  | 6<br>2.2 |
| 子どもがいない       |       | 50<br>100.0  | -        | 7<br>14.0 | 20<br>40.0  | 6<br>12.0  | 6<br>12.0  | 2<br>4.0 | 1<br>2.0 | 7<br>14.0 | 1<br>2.0 |

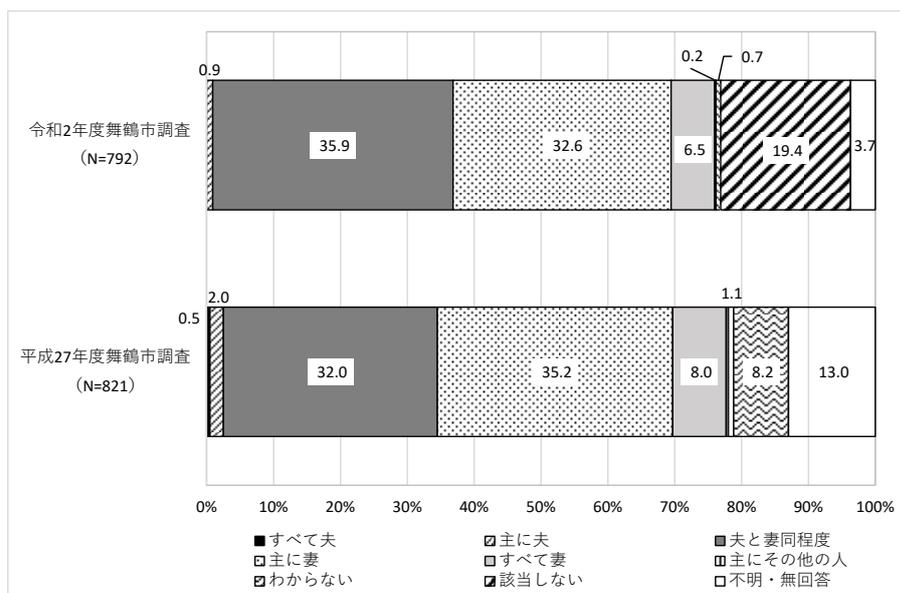
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(9) 子どもの世話、しつけ、教育

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は1.6ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は4.1ポイント減少しています。「夫と妻同程度」は3.9ポイント増加しています。(図表Ⅲ-63)

図表Ⅲ-63

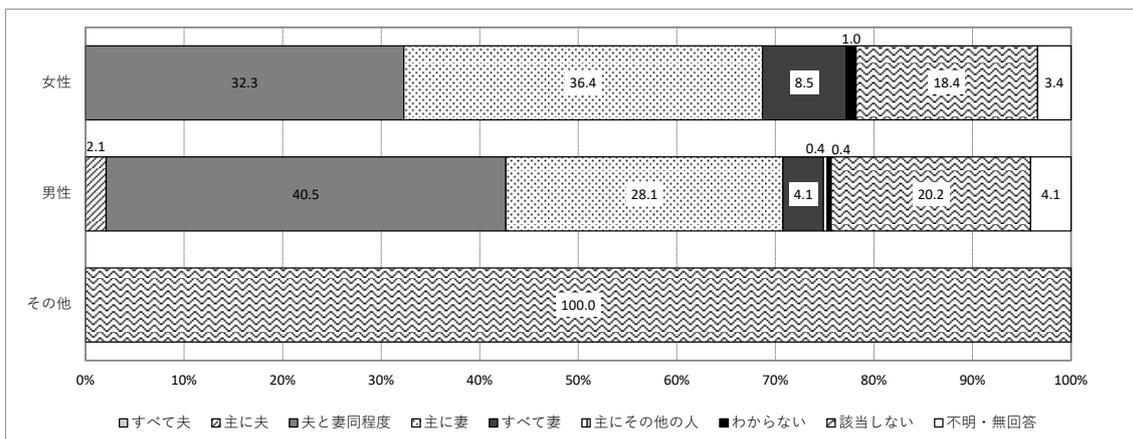


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

女性は「主に妻」の割合が最も高く、男性に比べても高いです。また、男性は「夫と妻同程度」の割合が最も高く、女性に比べても高いです。(図表Ⅲ-64)

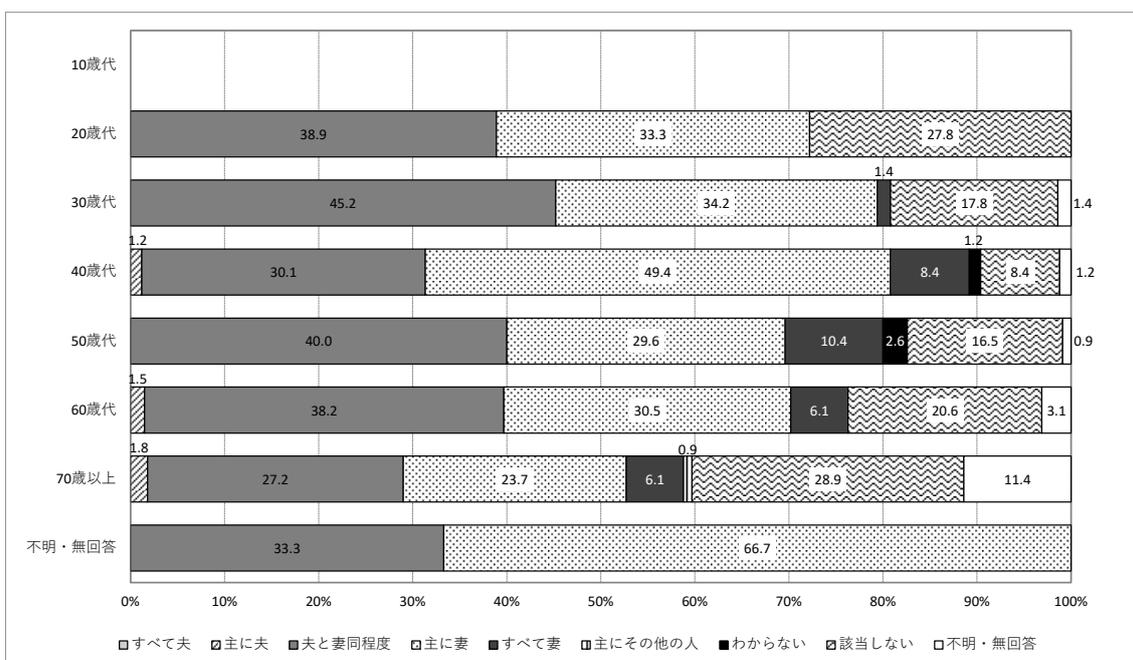
図表Ⅲ-64



【年齢によるクロス集計】

30歳代では「夫と妻同程度」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、40歳代では「主に妻」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-65)

図表Ⅲ-65



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもの有無と年齢による違いは特に見られません。(図表Ⅲ-66)

図表Ⅲ-66

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫 | 主に夫      | 夫と妻同程度     | 主に妻        | すべて妻      | 主にその他の人 | わからない    | 該当しない      | 不明・無回答    |
|---------------|-------|--------------|------|----------|------------|------------|-----------|---------|----------|------------|-----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | -    | 2<br>1.0 | 76<br>36.2 | 75<br>35.7 | 12<br>5.7 | -       | 2<br>1.0 | 40<br>19.0 | 3<br>1.4  |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | -    | 3<br>1.1 | 97<br>35.7 | 80<br>29.4 | 22<br>8.1 | -       | 2<br>0.7 | 54<br>19.9 | 14<br>5.1 |
| 子どもがない        |       | 50<br>100.0  | -    | -        | 2<br>4.0   | 2<br>4.0   | 2<br>4.0  | -       | 2<br>4.0 | 40<br>80.0 | 2<br>4.0  |

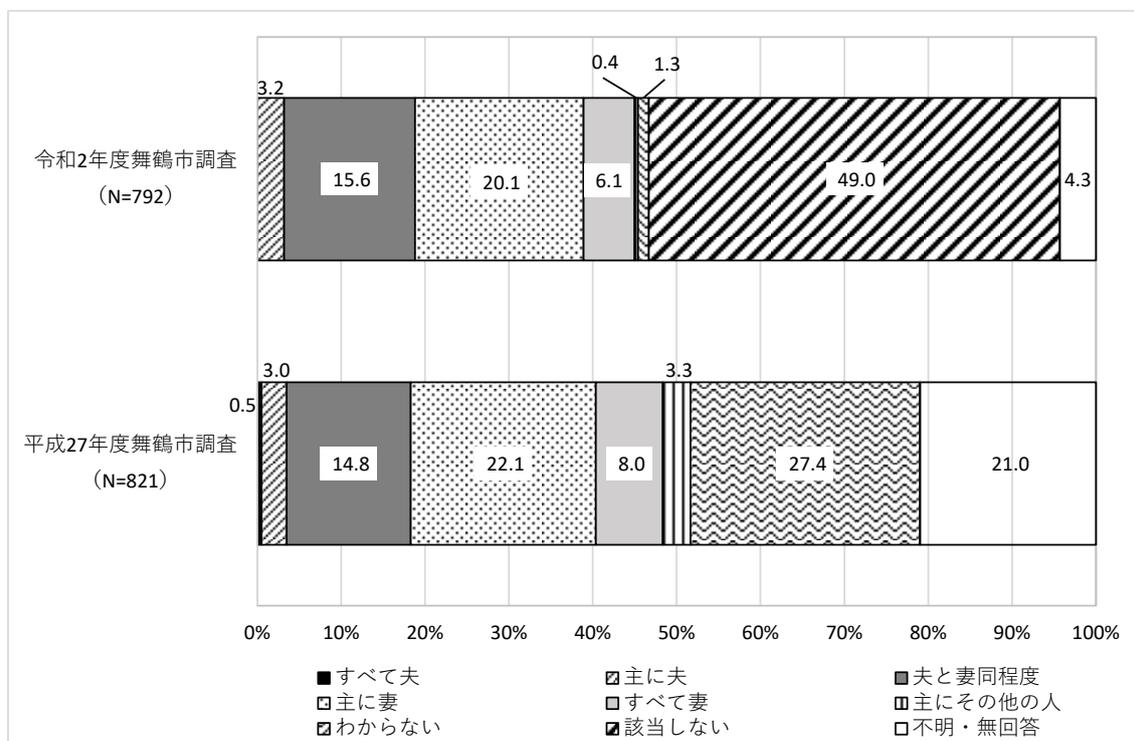
(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

(10) 介護の必要な高齢者、病人の世話

【平成27年度舞鶴市調査との比較】

「すべて夫」と「主に夫」の合計は0.3ポイント減少し、「主に妻」と「すべて妻」の合計は3.9ポイント減少しています。また、「夫と妻同程度」は0.8ポイント増加しています。(図表Ⅲ-67)

図表Ⅲ-67

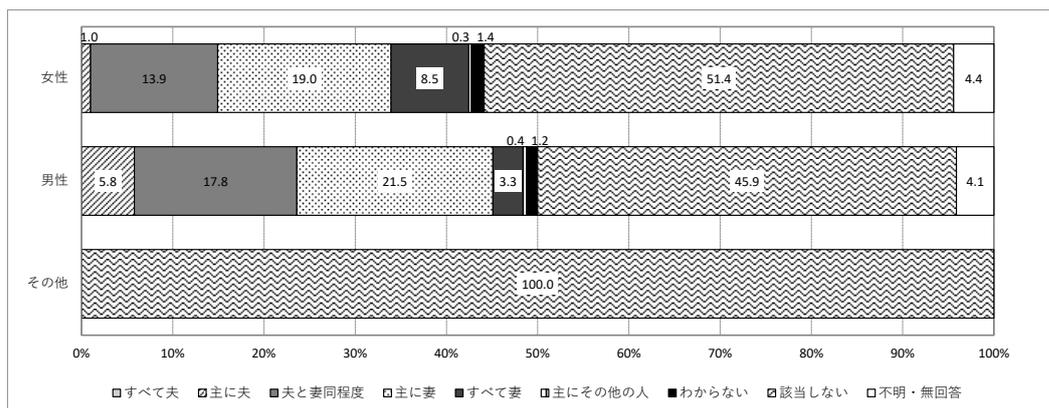


(注1) 「該当しない」は令和2年度舞鶴市調査にのみ含まれている選択肢です。

【性別によるクロス集計】

「該当しない」を除くと、男女ともに「主に妻」の割合が最も高いです。一方、女性は「すべて妻」の割合が男性に比べると高く、男性は「主に夫」の割合が女性に比べると高くなっています。(図表Ⅲ-68)

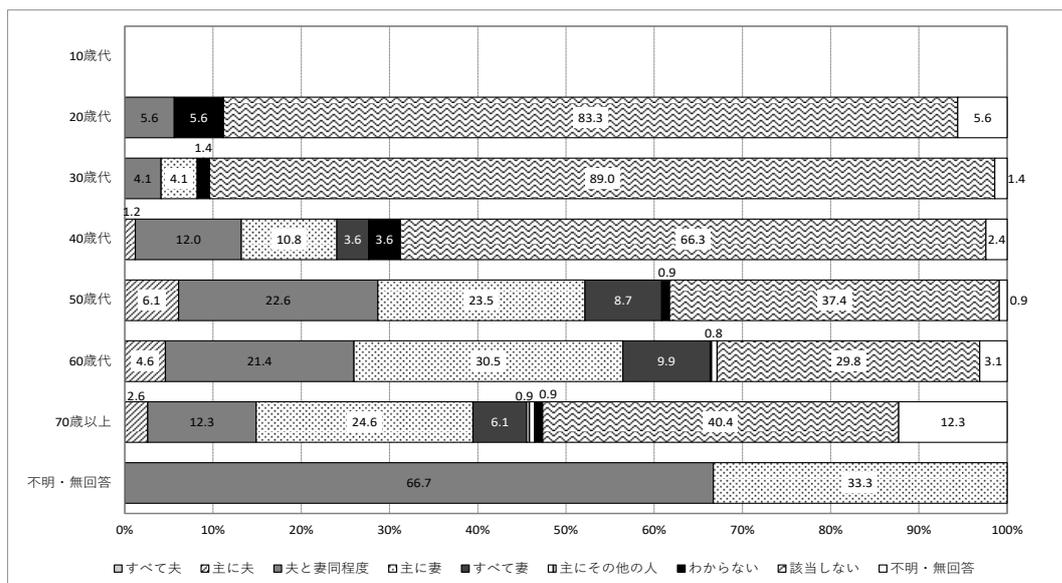
図表Ⅲ-68



【年齢によるクロス集計】

20歳代から40歳代では「該当しない」の割合が50.0%以上となっています。また、50歳代から70歳以上の中では、60歳代で「主に妻」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-69)

図表Ⅲ-69



(注1) 10歳代については、該当する回答がなかったためグラフは表示されていません。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

子どもの有無と年齢による違いは特に見られません。(図表Ⅲ－70)

図表Ⅲ－70

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | すべて夫 | 主に夫       | 夫と妻同程度     | 主に妻        | すべて妻      | 主にその他の人  | わからない    | 該当しない       | 不明・無回答    |
|---------------|-------|--------------|------|-----------|------------|------------|-----------|----------|----------|-------------|-----------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 210<br>100.0 | -    | 5<br>2.4  | 18<br>8.6  | 22<br>10.5 | 7<br>3.3  | -        | 4<br>1.9 | 149<br>71.0 | 5<br>2.4  |
|               | 19歳以上 | 272<br>100.0 | -    | 10<br>3.7 | 57<br>21.0 | 74<br>27.2 | 26<br>9.6 | 1<br>0.4 | 3<br>1.1 | 85<br>31.3  | 16<br>5.9 |
| 子どもがいない       |       | 50<br>100.0  | -    | 1<br>2.0  | 3<br>6.0   | 5<br>10.0  | 2<br>4.0  | -        | 1<br>2.0 | 36<br>72.0  | 2<br>4.0  |

(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

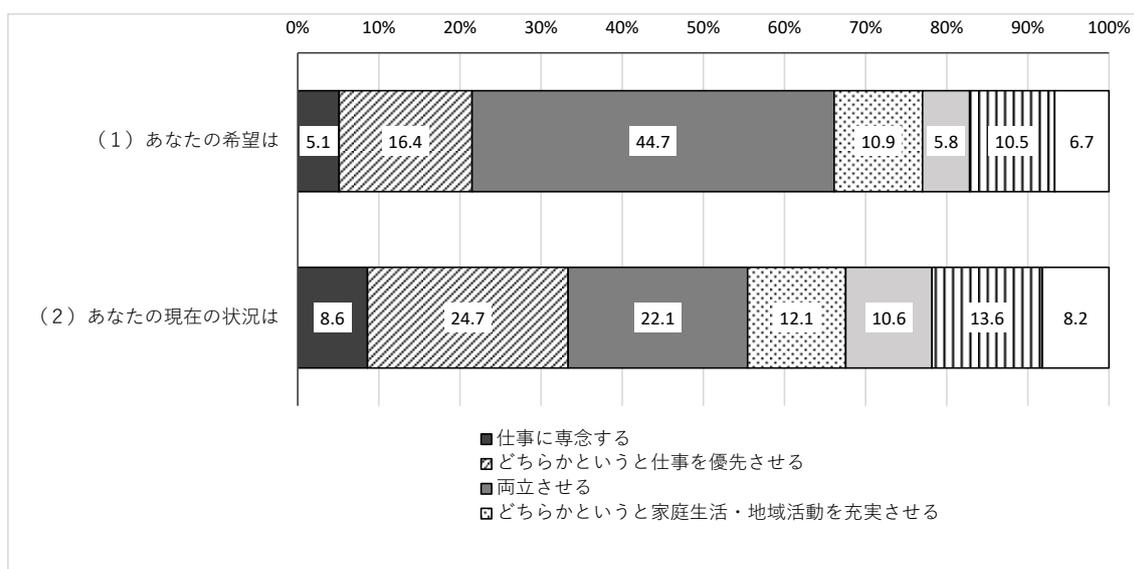
問 11 仕事と家庭生活・地域活動について、あなたの希望と現実（現状）に最も近いものはどれですか。それぞれについてあてはまるものをお答えください。(○はそれぞれ1つ)

単数回答 (N=792)

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、性別、年齢、結婚、子どもの有無・年齢

(1)と(2)の単純集計の結果をまとめると、図表Ⅲ－71のようになります。仕事と家庭・地域生活のバランスについて希望と現状を比較すると、希望としては両立させることですが、実際には仕事に専念している、またはどちらかという仕事を優先させているという状況であると言えます。

図表Ⅲ－71



【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

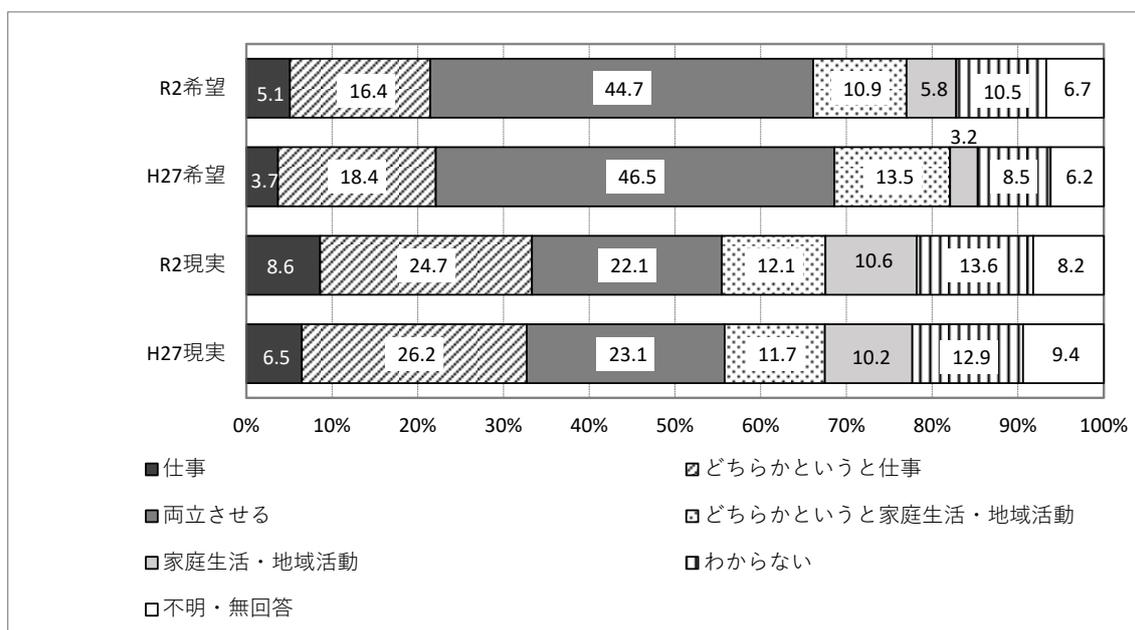
(1) 希望

大きな変化はなく、「両立させる」の割合が約 45.0%と最も高いです。(図表Ⅲ－72)

(2) 現実（現状）

大きな変化はなく、「どちらかという仕事を優先させる」と「両立させる」がそれぞれ 20%台であり、この 2 つで約 50.0%を占めています。(図表Ⅲ－72)

図表Ⅲ－72



【性別によるクロス集計】

(1) 希望

女性は「どちらかというとは家庭生活・地域活動を優先させる」の割合が男性に比べると高いです。男性は「どちらかというとは仕事を優先させる」の割合が女性に比べると高いです。(図表Ⅲ-73)

(2) 現実(現状)

女性は「どちらかというとは家庭生活・地域活動を優先させる」の割合が男性に比べると高いです。男性は「仕事に専念する」の割合が女性に比べると高いです。(図表Ⅲ-73)

図表Ⅲ-73

| 上段：度数<br>下段：% |        | 合計           | 仕事         | どちらかというとは仕事 | 両立させる       | どちらかというとは家庭生活・地域活動 | 家庭生活・地域活動  | わからない      | 不明・無回答     |
|---------------|--------|--------------|------------|-------------|-------------|--------------------|------------|------------|------------|
| 希望            | 女性     | 441<br>100.0 | 16<br>3.6  | 35<br>7.9   | 218<br>49.4 | 63<br>14.3         | 31<br>7.0  | 45<br>10.2 | 33<br>7.5  |
|               | 男性     | 335<br>100.0 | 24<br>7.2  | 92<br>27.5  | 131<br>39.1 | 23<br>6.9          | 14<br>4.2  | 35<br>10.4 | 16<br>4.8  |
|               | その他    | 1<br>100.0   | -          | -           | -           | -                  | 1<br>100.0 | -          | -          |
|               | 不明・無回答 | 15<br>100.0  | -          | 3<br>20.0   | 5<br>33.3   | -                  | -          | 3<br>20.0  | 4<br>26.7  |
| 現実            | 女性     | 441<br>100.0 | 25<br>5.7  | 65<br>14.7  | 111<br>25.2 | 70<br>15.9         | 61<br>13.8 | 64<br>14.5 | 45<br>10.2 |
|               | 男性     | 335<br>100.0 | 42<br>12.5 | 128<br>38.2 | 61<br>18.2  | 26<br>7.8          | 22<br>6.6  | 40<br>11.9 | 16<br>4.8  |
|               | その他    | 1<br>100.0   | 1<br>100.0 | -           | -           | -                  | -          | -          | -          |
|               | 不明・無回答 | 15<br>100.0  | -          | 3<br>20.0   | 3<br>20.0   | -                  | 1<br>6.7   | 4<br>26.7  | 4<br>26.7  |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

(注2) 網掛けは、各性別における上位2項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

(1) 希望

30歳代と40歳代では「仕事に専念する」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、30歳代から50歳代では「どちらかという和家庭生活・地域活動を優先させる」の割合が他の選択肢に比べると高いです。(図表Ⅲ-74)

(2) 現実(現状)

30歳代と40歳代では「仕事に専念する」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、50歳代から70歳以上では「どちらかという和家庭生活・地域活動を優先させる」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ-74)

図表Ⅲ-74

|        | 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 仕事          | どちらかという<br>と仕事 | 両立させる      | どちらかという<br>と家庭生活・地域<br>活動 | 家庭生活・<br>地域活動 | わからない      | 不明・無回<br>答 |
|--------|---------------|--------------|-------------|----------------|------------|---------------------------|---------------|------------|------------|
| 希望     | 10歳代          | 14<br>100.0  | 3<br>21.4   | -              | 9<br>64.3  | -                         | 1<br>7.1      | 1<br>7.1   | -          |
|        | 20歳代          | 63<br>100.0  | 1<br>1.6    | 8<br>12.7      | 36<br>57.1 | 6<br>9.5                  | 4<br>6.3      | 6<br>9.5   | 2<br>3.2   |
|        | 30歳代          | 112<br>100.0 | 9<br>8.0    | 8<br>7.1       | 66<br>58.9 | 13<br>11.6                | 5<br>4.5      | 6<br>5.4   | 5<br>4.5   |
|        | 40歳代          | 116<br>100.0 | 12<br>10.3  | 27<br>23.3     | 54<br>46.6 | 12<br>10.3                | 5<br>4.3      | 5<br>4.3   | 1<br>0.9   |
|        | 50歳代          | 144<br>100.0 | 6<br>4.2    | 27<br>18.8     | 75<br>52.1 | 19<br>13.2                | 7<br>4.9      | 8<br>5.6   | 2<br>1.4   |
|        | 60歳代          | 164<br>100.0 | 4<br>2.4    | 32<br>19.5     | 68<br>41.5 | 19<br>11.6                | 11<br>6.7     | 21<br>12.8 | 9<br>5.5   |
|        | 70歳以上         | 161<br>100.0 | 5<br>3.1    | 25<br>15.5     | 39<br>24.2 | 16<br>9.9                 | 13<br>8.1     | 33<br>20.5 | 30<br>18.6 |
|        | 不明・無回答        | 18<br>100.0  | -           | 3<br>16.7      | 7<br>38.9  | 1<br>5.6                  | -             | 3<br>16.7  | 4<br>22.2  |
|        | 現実            | 10歳代         | 14<br>100.0 | 6<br>42.9      | -          | 2<br>14.3                 | 1<br>7.1      | 1<br>7.1   | 4<br>28.6  |
| 20歳代   |               | 63<br>100.0  | 8<br>12.7   | 16<br>25.4     | 10<br>15.9 | 5<br>7.9                  | 5<br>7.9      | 13<br>20.6 | 6<br>9.5   |
| 30歳代   |               | 112<br>100.0 | 14<br>12.5  | 37<br>33.0     | 23<br>20.5 | 13<br>11.6                | 11<br>9.8     | 9<br>8.0   | 5<br>4.5   |
| 40歳代   |               | 116<br>100.0 | 18<br>15.5  | 34<br>29.3     | 32<br>27.6 | 13<br>11.2                | 6<br>5.2      | 8<br>6.9   | 5<br>4.3   |
| 50歳代   |               | 144<br>100.0 | 10<br>6.9   | 47<br>32.6     | 45<br>31.3 | 21<br>14.6                | 8<br>5.6      | 11<br>7.6  | 2<br>1.4   |
| 60歳代   |               | 164<br>100.0 | 9<br>5.5    | 42<br>25.6     | 33<br>20.1 | 19<br>11.6                | 25<br>15.2    | 24<br>14.6 | 12<br>7.3  |
| 70歳以上  |               | 161<br>100.0 | 3<br>1.9    | 16<br>9.9      | 26<br>16.1 | 24<br>14.9                | 27<br>16.8    | 34<br>21.1 | 31<br>19.3 |
| 不明・無回答 |               | 18<br>100.0  | -           | 4<br>22.2      | 4<br>22.2  | -                         | 1<br>5.6      | 5<br>27.8  | 4<br>22.2  |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

(注2) 網掛けは、各年齢における上位2項目を示しています。

【結婚の状況によるクロス集計】

(1) 希望

結婚の状況による違いは特に見られません。(図表Ⅲ－75)

(2) 現実(現状)

「結婚している(内縁・事実婚を含む)」では「どちらかという家庭生活・地域活動を優先させる」の割合が他に比べると高いです。(図表Ⅲ－75)

図表Ⅲ－75

| 上段：度数<br>下段：% |                   | 合計           | 仕事         | どちらかという仕事   | 両立させる       | どちらかという家庭生活・地域活動 | 家庭生活・地域活動  | わからない      | 不明・無回答     |
|---------------|-------------------|--------------|------------|-------------|-------------|------------------|------------|------------|------------|
| 希望            | 結婚している(内縁・事実婚を含む) | 537<br>100.0 | 21<br>3.9  | 89<br>16.6  | 254<br>47.3 | 69<br>12.8       | 32<br>6.0  | 47<br>8.8  | 25<br>4.7  |
|               | 結婚していた(離別)        | 48<br>100.0  | 5<br>10.4  | 10<br>20.8  | 22<br>45.8  | 2<br>4.2         | 3<br>6.3   | 5<br>10.4  | 1<br>2.1   |
|               | 結婚していた(死別)        | 52<br>100.0  | 1<br>1.9   | 6<br>11.5   | 13<br>25.0  | 7<br>13.5        | 3<br>5.8   | 8<br>15.4  | 14<br>26.9 |
|               | 結婚したことがない         | 139<br>100.0 | 12<br>8.6  | 22<br>15.8  | 60<br>43.2  | 8<br>5.8         | 8<br>5.8   | 20<br>14.4 | 9<br>6.5   |
|               | 不明・無回答            | 16<br>100.0  | 1<br>6.3   | 3<br>18.8   | 5<br>31.3   | -<br>-           | -<br>-     | 3<br>18.8  | 4<br>25.0  |
| 現実            | 結婚している(内縁・事実婚を含む) | 537<br>100.0 | 33<br>6.1  | 137<br>25.5 | 135<br>25.1 | 83<br>15.5       | 65<br>12.1 | 54<br>10.1 | 30<br>5.6  |
|               | 結婚していた(離別)        | 48<br>100.0  | 8<br>16.7  | 15<br>31.3  | 11<br>22.9  | 2<br>4.2         | 4<br>8.3   | 6<br>12.5  | 2<br>4.2   |
|               | 結婚していた(死別)        | 52<br>100.0  | 1<br>1.9   | 3<br>5.8    | 7<br>13.5   | 6<br>11.5        | 9<br>17.3  | 10<br>19.2 | 16<br>30.8 |
|               | 結婚したことがない         | 139<br>100.0 | 25<br>18.0 | 37<br>26.6  | 18<br>12.9  | 5<br>3.6         | 6<br>4.3   | 34<br>24.5 | 14<br>10.1 |
|               | 不明・無回答            | 16<br>100.0  | 1<br>6.3   | 4<br>25.0   | 4<br>25.0   | -<br>-           | -<br>-     | 4<br>25.0  | 3<br>18.8  |

(注1) 上段は度数、下段は%を表しています。

(注2) 網掛けは、上位2項目を示しています。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

(1) 希望

子どもが18歳以下の回答者では「どちらかというと家庭生活・地域活動を優先させる」が上位3項目に入っていますが、子どもが19歳以上の回答者と子どもがいない回答者では入っていません。また、子どもが19歳以上の回答者と子どもがいない回答者では「わからない」が上位3項目に入っていますが、子どもが18歳以下の回答者では入っていません。(図表Ⅲ-76)

(2) 現実(現状)

子どもがいる回答者では「両立させる」が上位3項目に入っていますが、子どもがいない回答者では上位3項目に入っていません。子どもが18歳以下の回答者と子どもがいない回答者では「仕事に専念する」が上位3項目に入っていますが、子どもが19歳以上の回答者では上位3項目に入っていません。また、「どちらかというと家庭生活・地域活動を優先させる」は子どもが19歳以上の回答者でのみ上位3項目に入っています。(図表Ⅲ-76)

図表Ⅲ-76

|    |         | 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 仕事         | どちらかという<br>と仕事 | 両立させる       | どちらか<br>というた<br>家庭生<br>活・地<br>域活<br>動 | 家庭生<br>活・<br>地域<br>活動 | わからない      | 不明・無<br>回答 |
|----|---------|---------------|--------------|------------|----------------|-------------|---------------------------------------|-----------------------|------------|------------|
| 希望 | 子どもがいる  | 18歳以下         | 362<br>100.0 | 24<br>6.6  | 60<br>16.6     | 178<br>49.2 | 35<br>9.7                             | 21<br>5.8             | 31<br>8.6  | 13<br>3.6  |
|    |         | 19歳以上         | 339<br>100.0 | 10<br>2.9  | 59<br>17.4     | 142<br>41.9 | 40<br>11.8                            | 19<br>5.6             | 41<br>12.1 | 28<br>8.3  |
|    | 子どもがいない |               | 186<br>100.0 | 14<br>7.5  | 29<br>15.6     | 81<br>43.5  | 10<br>5.4                             | 13<br>7.0             | 28<br>15.1 | 11<br>5.9  |
| 現実 | 子どもがいる  | 18歳以下         | 362<br>100.0 | 48<br>13.3 | 106<br>29.3    | 74<br>20.4  | 40<br>11.0                            | 28<br>7.7             | 48<br>13.3 | 18<br>5.0  |
|    |         | 19歳以上         | 339<br>100.0 | 15<br>4.4  | 66<br>19.5     | 84<br>24.8  | 47<br>13.9                            | 45<br>13.3            | 47<br>13.9 | 35<br>10.3 |
|    | 子どもがいない |               | 186<br>100.0 | 34<br>18.3 | 53<br>28.5     | 21<br>11.3  | 7<br>3.8                              | 12<br>6.5             | 45<br>24.2 | 14<br>7.5  |

(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

問 12 あなたは、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要なだと思いますか。(〇は3つまで)

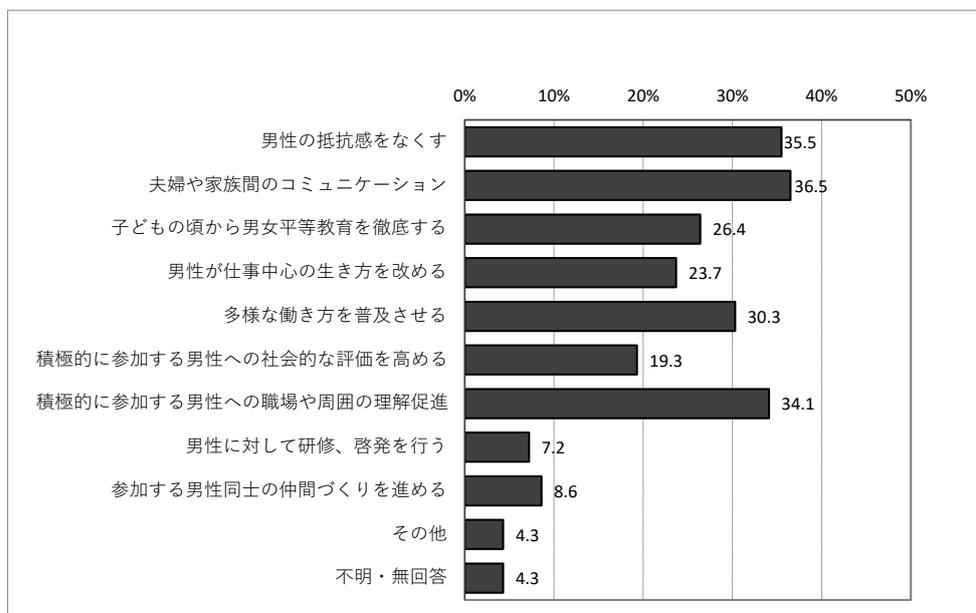
複数回答 (3つまで)

比較・クロス集計：令和元年度国調査、性別、年齢、家族構成・性別

「夫婦や家族間のコミュニケーション」が36.5%と最も高く、次いで「男性の抵抗感をなくす」が35.5%、「積極的に参加する男性への職場や周囲の理解促進」が34.1%となっています。(図表Ⅲ-77)

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「労働条件の改善」、「男性の意識改革」、「男女両方の意識改革」、「性別にこだわらないこと」が多くなっています。(図表Ⅲ-78)

図表Ⅲ-77



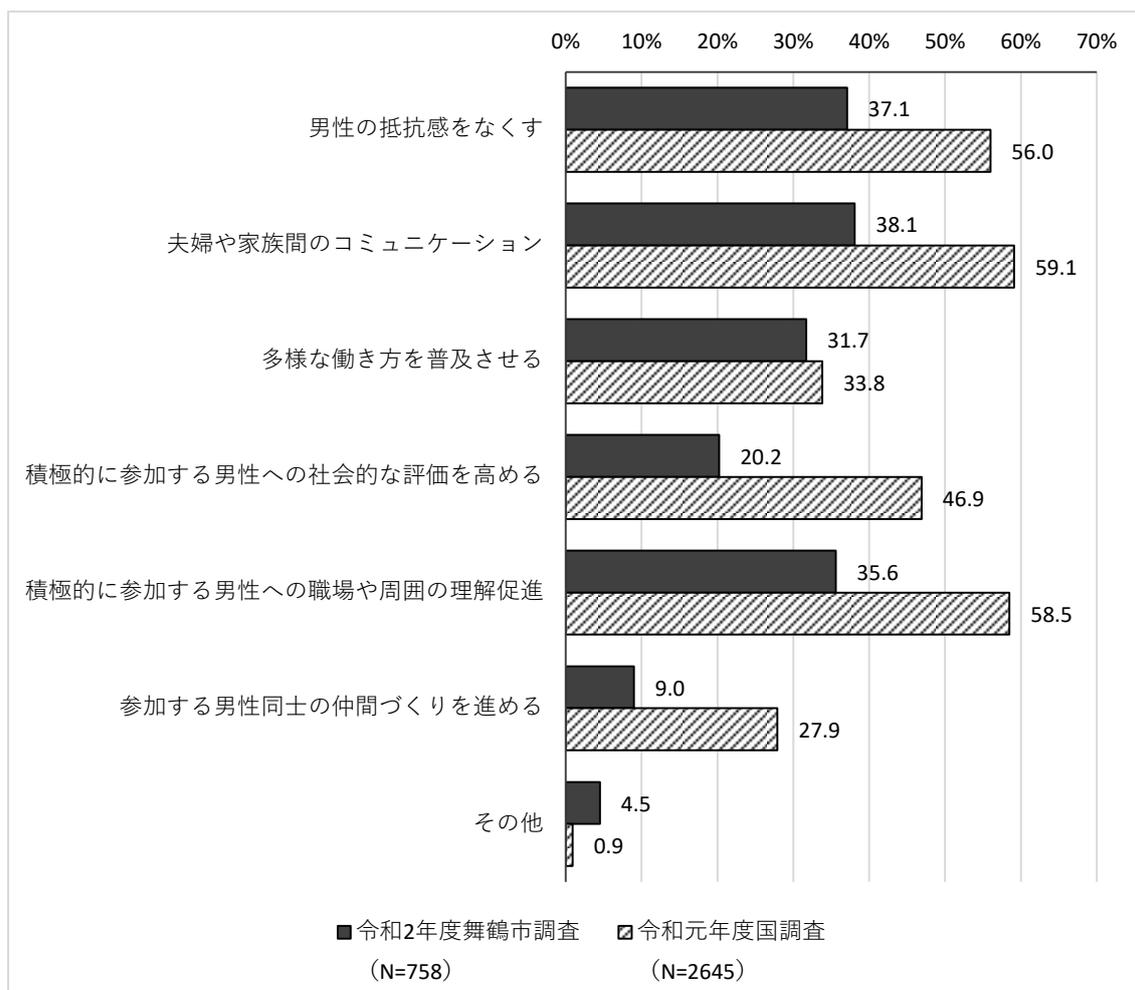
図表Ⅲ-78 「その他」の内容の分類

| 分類                  | 件数 (件) |
|---------------------|--------|
| 労働環境・条件の改善          | 5      |
| 男女両方の意識改革           | 3      |
| 男性の意識改革             | 4      |
| 女性の意識改革             | 2      |
| 子どもの頃からの教育          | 2      |
| 若い世代は既に新しい考え方を持っている | 2      |
| 性別にこだわらないこと         | 3      |
| わからない               | 6      |
| その他                 | 5      |

【令和元年度国調査との比較】

概ね同じ傾向ですが、令和2年度舞鶴市調査では50.0%を超えている選択肢はありません。また、「社会的な評価を高める」と「仲間づくりを進める」についてはともに他の選択肢に比べると低い割合となっています。(図表Ⅲ-79)

図表Ⅲ-79



(注1) 令和元年度国調査のデータは「不明・無回答」を除いたものとなっているため、令和2年度舞鶴市調査のデータも「不明・無回答」を除いたものに揃えています。

(注2) 令和元年度国調査ではあてはまるものをすべて選択する形式をとっていますが、令和2年度舞鶴市調査ではあてはまるものを3つまで選択する形式をとっています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「夫婦や家族間のコミュニケーション」、「男性の抵抗感をなくす」、「積極的に参加する男性への職場や周囲の理解促進」の割合が高いです。一方、女性は「男性の抵抗感をなくす」と「子どもの頃から男女平等教育を徹底する」の割合が男性に比べると高くなっています。(図表Ⅲ－80)

図表Ⅲ－80

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 男性の抵抗感をなくす  | 夫婦や家族間のコミュニケーション | 子どもの頃から男女平等教育を徹底する | 男性が仕事中心の生き方を改める | 多様な働き方を普及させる |
|---------------|--------------|-------------|------------------|--------------------|-----------------|--------------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 175<br>39.7 | 167<br>37.9      | 140<br>31.7        | 82<br>18.6      | 130<br>29.5  |
| 男性            | 335<br>100.0 | 100<br>29.9 | 120<br>35.8      | 69<br>20.6         | 100<br>29.9     | 110<br>32.8  |
| その他           | 1<br>100.0   | -<br>-      | -<br>-           | -<br>-             | 1<br>100.0      | -<br>-       |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 6<br>40.0   | 2<br>13.3        | -<br>-             | 5<br>33.3       | -<br>-       |

| 上段：度数<br>下段：% | 積極的に参加する男性への社会的な評価を高める | 積極的に参加する男性への職場や周囲の理解促進 | 男性に対して研修、啓発を行う | 参加する男性同士の仲間づくりを進める | その他       | 不明・無回答    |
|---------------|------------------------|------------------------|----------------|--------------------|-----------|-----------|
| 女性            | 89<br>20.2             | 157<br>35.6            | 25<br>5.7      | 37<br>8.4          | 10<br>2.3 | 17<br>3.9 |
| 男性            | 61<br>18.2             | 110<br>32.8            | 29<br>8.7      | 27<br>8.1          | 23<br>6.9 | 13<br>3.9 |
| その他           | 1<br>100.0             | 1<br>100.0             | -<br>-         | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-    |
| 不明・無回答        | 2<br>13.3              | 2<br>13.3              | 3<br>20.0      | 4<br>26.7          | 1<br>6.7  | 4<br>26.7 |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

10歳代から40歳代では「多様な働き方を普及させる」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、60歳代では「子どもの頃から男女平等教育を徹底する」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅲ－81)

図表Ⅲ－81

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 男性の抵抗感をなくす | 夫婦や家族間のコミュニケーション | 子どもの頃から男女平等教育を徹底する | 男性が仕事中心の生き方を改める | 多様な働き方を普及させる |
|---------------|--------------|------------|------------------|--------------------|-----------------|--------------|
| 10歳代          | 14<br>100.0  | 6<br>42.9  | 7<br>50.0        | 3<br>21.4          | 1<br>7.1        | 5<br>35.7    |
| 20歳代          | 63<br>100.0  | 26<br>41.3 | 25<br>39.7       | 13<br>20.6         | 15<br>23.8      | 24<br>38.1   |
| 30歳代          | 112<br>100.0 | 39<br>34.8 | 38<br>33.9       | 24<br>21.4         | 33<br>29.5      | 44<br>39.3   |
| 40歳代          | 116<br>100.0 | 42<br>36.2 | 40<br>34.5       | 33<br>28.4         | 27<br>23.3      | 46<br>39.7   |
| 50歳代          | 144<br>100.0 | 49<br>34.0 | 48<br>33.3       | 32<br>22.2         | 29<br>20.1      | 42<br>29.2   |
| 60歳代          | 164<br>100.0 | 56<br>34.1 | 68<br>41.5       | 62<br>37.8         | 39<br>23.8      | 47<br>28.7   |
| 70歳以上         | 161<br>100.0 | 57<br>35.4 | 59<br>36.6       | 41<br>25.5         | 39<br>24.2      | 29<br>18.0   |
| 不明・無回答        | 18<br>100.0  | 6<br>33.3  | 4<br>22.2        | 1<br>5.6           | 5<br>27.8       | 3<br>16.7    |

| 上段：度数<br>下段：% | 積極的に参加する男性への社会的な評価を高める | 積極的に参加する男性への職場や周囲の理解促進 | 男性に対して研修、啓発を行う | 参加する男性同士の仲間づくりを進める | その他       | 不明・無回答     |
|---------------|------------------------|------------------------|----------------|--------------------|-----------|------------|
| 10歳代          | 2<br>14.3              | 4<br>28.6              | 3<br>21.4      | 1<br>7.1           | 1<br>7.1  | -          |
| 20歳代          | 12<br>19.0             | 24<br>38.1             | 3<br>4.8       | 6<br>9.5           | 2<br>3.2  | 3<br>4.8   |
| 30歳代          | 22<br>19.6             | 37<br>33.0             | 8<br>7.1       | 9<br>8.0           | 5<br>4.5  | 2<br>1.8   |
| 40歳代          | 23<br>19.8             | 52<br>44.8             | 11<br>9.5      | 4<br>3.4           | 4<br>3.4  | -          |
| 50歳代          | 33<br>22.9             | 47<br>32.6             | 11<br>7.6      | 9<br>6.3           | 14<br>9.7 | 4<br>2.8   |
| 60歳代          | 25<br>15.2             | 51<br>31.1             | 11<br>6.7      | 22<br>13.4         | 5<br>3.0  | 4<br>2.4   |
| 70歳以上         | 33<br>20.5             | 51<br>31.7             | 7<br>4.3       | 13<br>8.1          | 2<br>1.2  | 17<br>10.6 |
| 不明・無回答        | 3<br>16.7              | 4<br>22.2              | 3<br>16.7      | 4<br>22.2          | 1<br>5.6  | 4<br>22.2  |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

【家族構成と性別によるクロス集計】

女性は、全体としては家族構成による大きな違いは特に見られません。ただし、「親と子と孫（3世帯）」で「多様な働き方を普及させる」が上位3項目に入っていますが、他の家族構成では入っていません。

男性は女性に比べると家族構成による違いが見られます。「ひとり暮らし」では選択肢間のばらつきが少ないです。「夫婦またはパートナーと2人だけ」では「男性が仕事中心の生き方を改める」の割合が最も高く、他の家族構成に比べても高くなっています。「親と子（2世帯）」では「多様な働き方を普及させる」の割合が他の家族構成に比べると高いです。（図表Ⅲ－82）

図表Ⅲ－82

| 性別              | 家族構成            | 合計           | 男性の抵抗感をなくす  | 夫婦や家族間のコミュニケーション | 子どもの頃から男女平等教育を徹底する | 男性が仕事中心の生き方を改める | 多様な働き方を普及させる |
|-----------------|-----------------|--------------|-------------|------------------|--------------------|-----------------|--------------|
| 女性              | ひとり暮らし          | 40<br>100.0  | 16<br>40.0  | 15<br>37.5       | 13<br>32.5         | 4<br>10.0       | 11<br>27.5   |
|                 | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 114<br>100.0 | 47<br>41.2  | 42<br>36.8       | 38<br>33.3         | 17<br>14.9      | 34<br>29.8   |
|                 | 親と子（2世帯）        | 208<br>100.0 | 85<br>40.9  | 84<br>40.4       | 66<br>31.7         | 45<br>21.6      | 58<br>27.9   |
|                 | 親と子と孫（3世帯）      | 44<br>100.0  | 15<br>34.1  | 15<br>34.1       | 11<br>25.0         | 7<br>15.9       | 15<br>34.1   |
|                 | その他             | 13<br>100.0  | 4<br>30.8   | 5<br>38.5        | 5<br>38.5          | 1<br>7.7        | 5<br>38.5    |
|                 | 不明・無回答          | 22<br>100.0  | 8<br>36.4   | 6<br>27.3        | 7<br>31.8          | 8<br>36.4       | 7<br>31.8    |
|                 | 男性              | ひとり暮らし       | 50<br>100.0 | 11<br>22.0       | 14<br>28.0         | 10<br>20.0      | 12<br>24.0   |
| 夫婦またはパートナーと2人だけ | 91<br>100.0     | 35<br>38.5   | 34<br>37.4  | 25<br>27.5       | 39<br>42.9         | 25<br>27.5      |              |
| 親と子（2世帯）        | 142<br>100.0    | 33<br>23.2   | 58<br>40.8  | 22<br>15.5       | 36<br>25.4         | 57<br>40.1      |              |
| 親と子と孫（3世帯）      | 19<br>100.0     | 4<br>21.1    | 5<br>26.3   | 6<br>31.6        | 6<br>31.6          | 4<br>21.1       |              |
| その他             | 7<br>100.0      | 5<br>71.4    | 4<br>57.1   | -                | 1<br>14.3          | -               |              |
| 不明・無回答          | 26<br>100.0     | 12<br>46.2   | 5<br>19.2   | 6<br>23.1        | 6<br>23.1          | 10<br>38.5      |              |

| 性別 | 家族構成            | 積極的に参加する男性への社会的な評価を高める | 積極的に参加する男性への職場や周囲の理解促進 | 男性に対して研修、啓発を行う | 参加する男性同士の仲間づくりを進める | その他       | 不明・無回答    |
|----|-----------------|------------------------|------------------------|----------------|--------------------|-----------|-----------|
| 女性 | ひとり暮らし          | 6<br>15.0              | 15<br>37.5             | 3<br>7.5       | 7<br>17.5          | -<br>-    | 3<br>7.5  |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 25<br>21.9             | 42<br>36.8             | 5<br>4.4       | 9<br>7.9           | 3<br>2.6  | 1<br>0.9  |
|    | 親と子（2世帯）        | 42<br>20.2             | 74<br>35.6             | 11<br>5.3      | 12<br>5.8          | 4<br>1.9  | 7<br>3.4  |
|    | 親と子と孫（3世帯）      | 9<br>20.5              | 15<br>34.1             | 5<br>11.4      | 6<br>13.6          | 1<br>2.3  | 4<br>9.1  |
|    | その他             | 5<br>38.5              | 5<br>38.5              | 1<br>7.7       | 1<br>7.7           | -<br>-    | -<br>-    |
|    | 不明・無回答          | 2<br>9.1               | 6<br>27.3              | -<br>-         | 2<br>9.1           | 2<br>9.1  | 2<br>9.1  |
| 男性 | ひとり暮らし          | 10<br>20.0             | 14<br>28.0             | 7<br>14.0      | 4<br>8.0           | 3<br>6.0  | 3<br>6.0  |
|    | 夫婦またはパートナーと2人だけ | 14<br>15.4             | 26<br>28.6             | 10<br>11.0     | 6<br>6.6           | 6<br>6.6  | 3<br>3.3  |
|    | 親と子（2世帯）        | 31<br>21.8             | 52<br>36.6             | 9<br>6.3       | 12<br>8.5          | 8<br>5.6  | 4<br>2.8  |
|    | 親と子と孫（3世帯）      | 2<br>10.5              | 9<br>47.4              | -<br>-         | 2<br>10.5          | 2<br>10.5 | 2<br>10.5 |
|    | その他             | 1<br>14.3              | 1<br>14.3              | 1<br>14.3      | 1<br>14.3          | 1<br>14.3 | -<br>-    |
|    | 不明・無回答          | 3<br>11.5              | 8<br>30.8              | 2<br>7.7       | 2<br>7.7           | 3<br>11.5 | 1<br>3.8  |

（注1）網掛けは、各家族構成における上位3項目を示しています。

#### IV ドメスティック・バイオレンス（DV）について（問13～問20）

IVでは、ドメスティック・バイオレンス（DV）の経験や相談機関、解決や防止に必要なことについて尋ねています。

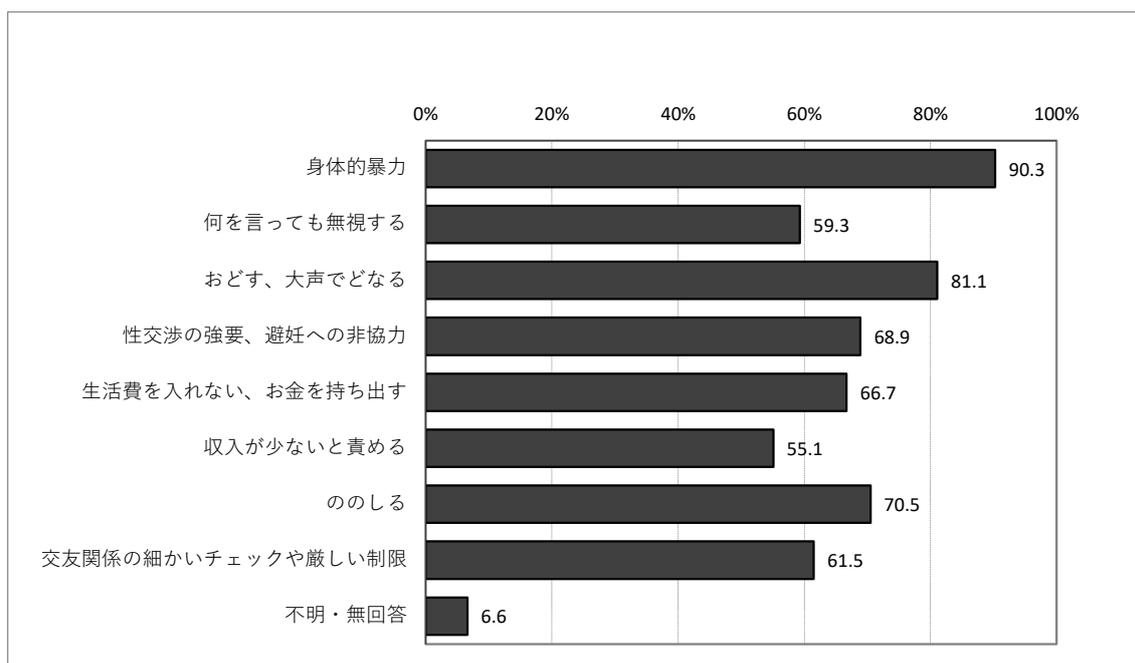
問13 あなたは、夫（妻）又は恋人等から受ける次の行為のうち、ドメスティック・バイオレンス（DV）だと思えるのはどれですか。（思うものすべてに○をしてください。）

複数回答

比較・クロス集計：平成27年度舞鶴市調査、性別、年齢

「身体的暴力」が90.3%と最も高く、次いで「おどす、大声でどなる」が81.1%、「ののしる」が70.5%となっています。（図表IV-1）

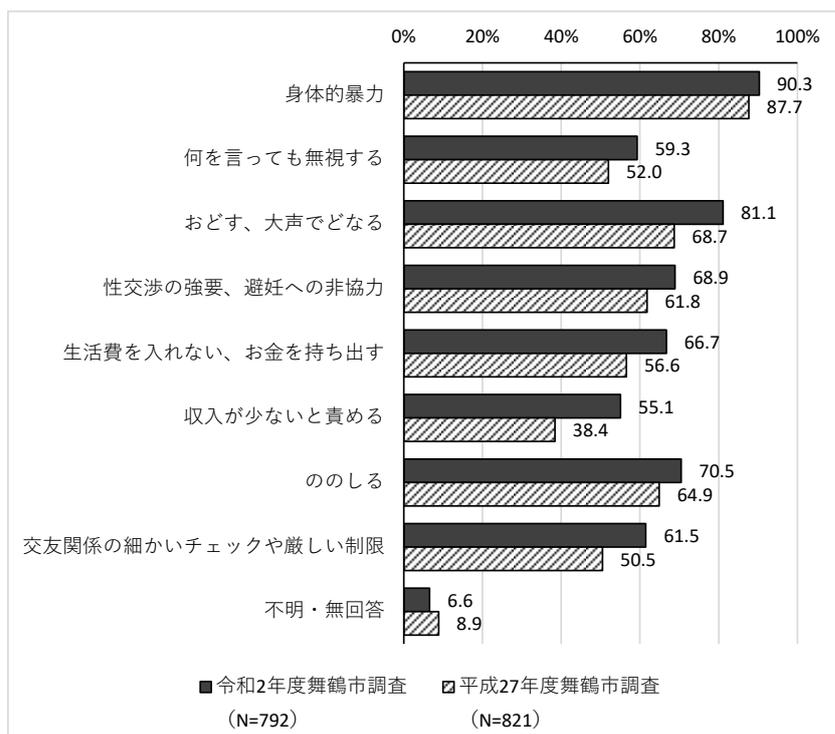
図表IV-1



【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

全体的に、平成 27 年度舞鶴市調査から増加傾向にあります。特に、「収入が少ないと責める」は 16.7 ポイント、「おどす、大声でどなる」は 12.4 ポイント、「交友関係の細かいチェックや厳しい制限」は 11.0 ポイント増加しています。(図表IV－2)

図表IV－2



【性別によるクロス集計】

男女ともに「身体的暴力」と「おどす、大声でどなる」の割合が高いです。また、女性は「性交渉の強要、避妊への非協力」、「生活費を入れない、お金を持ち出す」、「交友関係の細かいチェックや厳しい制限」の割合が男性に比べると高くなっています。（図表IV－3）

図表IV－3

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 身体的暴力       | 何を言っても無視する  | おどす、大声でどなる  | 性交渉の強要、避妊への非協力 | 生活費を入れない、お金を持ち出す | 取入が少ないと責める  | ののしる        | 交友関係の細かいチェックや厳しい制限 | 不明・無回答    |
|---------------|--------------|-------------|-------------|-------------|----------------|------------------|-------------|-------------|--------------------|-----------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 399<br>90.5 | 269<br>61.0 | 363<br>82.3 | 332<br>75.3    | 322<br>73.0      | 255<br>57.8 | 328<br>74.4 | 291<br>66.0        | 33<br>7.5 |
| 男性            | 335<br>100.0 | 307<br>91.6 | 196<br>58.5 | 272<br>81.2 | 207<br>61.8    | 199<br>59.4      | 176<br>52.5 | 223<br>66.6 | 190<br>56.7        | 12<br>3.6 |
| その他           | 1<br>100.0   | 1<br>100.0  | -<br>-      | 1<br>100.0  | 1<br>100.0     | 1<br>100.0       | -<br>-      | 1<br>100.0  | -<br>-             | -<br>-    |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 8<br>53.3   | 5<br>33.3   | 6<br>40.0   | 6<br>40.0      | 6<br>40.0        | 5<br>33.3   | 6<br>40.0   | 6<br>40.0          | 7<br>46.7 |

（注）網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

「身体的暴力」は年齢に関わらずDVであると認識している回答者の割合が最も高いですが、70歳以上では他の年齢に比べると低い割合となっています。「性交渉の強要、避妊への非協力」については10歳代から30歳代では上位3項目に入っていますが、他の年齢では入っていません。また、「ののしる」については50歳代から70歳以上では上位3項目に入っていますが、他の年齢では入っていません。(図表IV-4)

図表IV-4

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 身体的暴力       | 何を言っても無視する  | おどす、大声でとなる  | 性交渉の強要、避妊への非協力 | 生活費を入れない、お金を持ち出す | 収入が少ないと責める  | ののしる        | 交友関係の細かいチェックや厳しい制限 | 不明・無回答     |
|---------------|--------------|-------------|-------------|-------------|----------------|------------------|-------------|-------------|--------------------|------------|
| 10歳代          | 14<br>100.0  | 14<br>100.0 | 10<br>71.4  | 12<br>85.7  | 14<br>100.0    | 12<br>85.7       | 11<br>78.6  | 13<br>92.9  | 10<br>71.4         | -          |
| 20歳代          | 63<br>100.0  | 58<br>92.1  | 28<br>44.4  | 51<br>81.0  | 49<br>77.8     | 42<br>66.7       | 30<br>47.6  | 47<br>74.6  | 40<br>63.5         | 3<br>4.8   |
| 30歳代          | 112<br>100.0 | 109<br>97.3 | 77<br>68.8  | 103<br>92.0 | 98<br>87.5     | 84<br>75.0       | 75<br>67.0  | 92<br>82.1  | 79<br>70.5         | 2<br>1.8   |
| 40歳代          | 116<br>100.0 | 114<br>98.3 | 87<br>75.0  | 106<br>91.4 | 92<br>79.3     | 96<br>82.8       | 72<br>62.1  | 93<br>80.2  | 80<br>69.0         | 1<br>0.9   |
| 50歳代          | 144<br>100.0 | 137<br>95.1 | 91<br>63.2  | 127<br>88.2 | 103<br>71.5    | 101<br>70.1      | 89<br>61.8  | 108<br>75.0 | 93<br>64.6         | 4<br>2.8   |
| 60歳代          | 164<br>100.0 | 152<br>92.7 | 111<br>67.7 | 140<br>85.4 | 112<br>68.3    | 113<br>68.9      | 101<br>61.6 | 121<br>73.8 | 109<br>66.5        | 5<br>3.0   |
| 70歳以上         | 161<br>100.0 | 120<br>74.5 | 61<br>37.9  | 94<br>58.4  | 70<br>43.5     | 72<br>44.7       | 53<br>32.9  | 76<br>47.2  | 69<br>42.9         | 30<br>18.6 |
| 不明・無回答        | 18<br>100.0  | 11<br>61.1  | 5<br>27.8   | 9<br>50.0   | 8<br>44.4      | 8<br>44.4        | 5<br>27.8   | 8<br>44.4   | 7<br>38.9          | 7<br>38.9  |

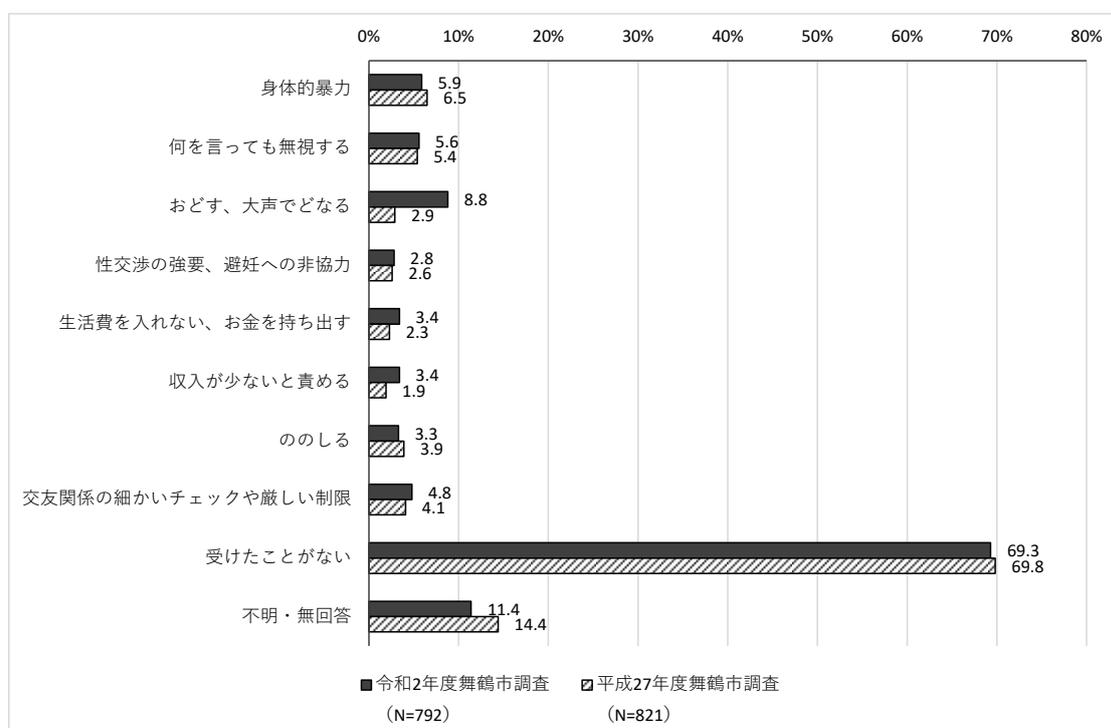
(注) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

問 14 あなたは、夫（妻）又は恋人等から次のような行為（DV）を受けた経験がありますか。（〇はいくつでも）

複数回答

比較・クロス集計：平成 27 年度舞鶴市調査、性別、年齢、結婚、子どもの有無  
 DV を受けたことがある回答者は 19.3% であり、受けたことがない回答者の割合の方が 69.3% と高いです。DV を受けたことがある人の中では、「おどす、大声でどなる」が 8.8% と最も高く、次いで「身体的暴力」が 5.9%、「何を言っても無視する」が 5.6% となっています。また、平成 27 年度舞鶴市調査から大きな変化はありませんが、「おどす、大声でどなる」は 5.9 ポイント増加しています。（図表 IV-5）

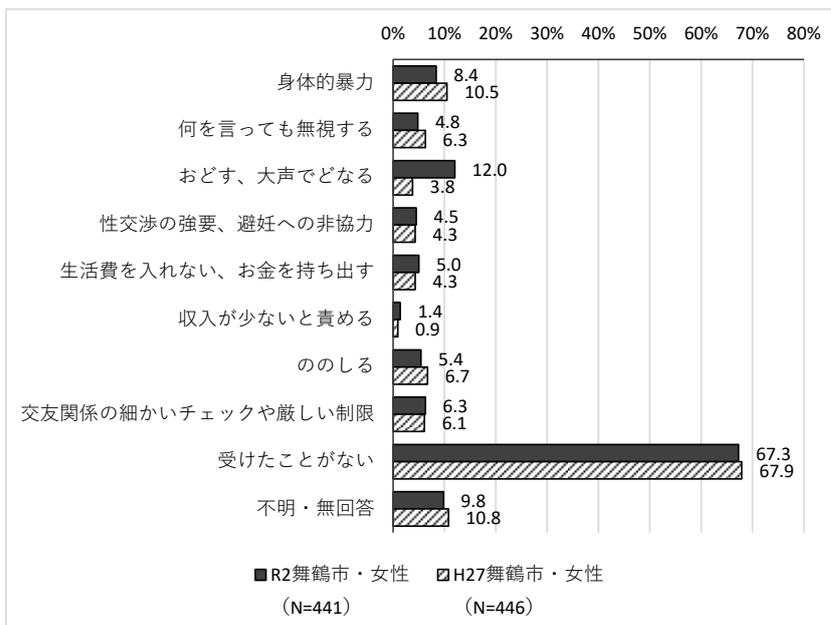
図表 IV-5



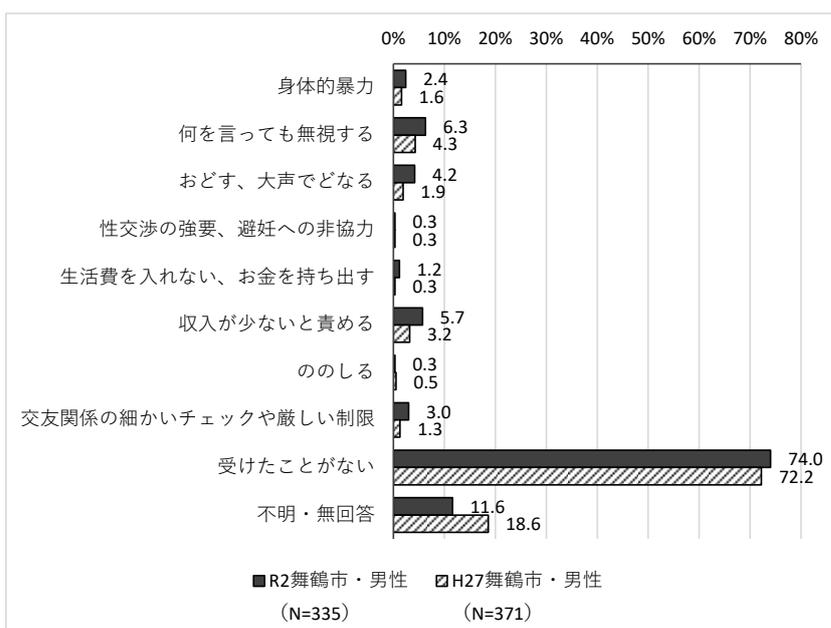
【平成 27 年度舞鶴市調査との比較（男女別）】

女性は「おどす、大声でどなる」が 8.2 ポイント増加していますが、それ以外に特に変化は見られません。また、男性には特に変化は見られません。（図表Ⅳ－6・図表Ⅳ－7）

図表Ⅳ－6 DV を受けた経験の有無の変化（女性）



図表Ⅳ－7 DV を受けた経験の有無の変化（男性）



【性別によるクロス集計】

女性は「おどす、大声でどなる」の割合が最も高く、次いで「身体的暴力」、「交友関係のチェックや制限」となっています。一方、男性は「何を言っても無視する」の割合が最も高く、次いで「収入が少ないと責める」、「おどす大声でどなる」となっています。  
(図表IV-8)

図表IV-8

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 身体的暴力     | 何を言っても無視する | おどす、大声でどなる | 性交渉の強要、避妊への非協力 | 生活費を入れない、お金を持ち出す | 収入が少ないと責める | ののしる      | 交友関係の細かいチェックや厳しい制限 | 受けたことがない    | 不明・無回答     |
|---------------|--------------|-----------|------------|------------|----------------|------------------|------------|-----------|--------------------|-------------|------------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 37<br>8.4 | 21<br>4.8  | 53<br>12.0 | 20<br>4.5      | 22<br>5.0        | 6<br>1.4   | 24<br>5.4 | 28<br>6.3          | 297<br>67.3 | 43<br>9.8  |
| 男性            | 335<br>100.0 | 8<br>2.4  | 21<br>6.3  | 14<br>4.2  | 1<br>0.3       | 4<br>1.2         | 19<br>5.7  | 1<br>0.3  | 10<br>3.0          | 248<br>74.0 | 39<br>11.6 |
| その他           | 1<br>100.0   | -<br>-    | -<br>-     | 1<br>100.0 | -<br>-         | -<br>-           | -<br>-     | -<br>-    | -<br>-             | -<br>-      | -<br>-     |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 2<br>13.3 | 2<br>13.3  | 2<br>13.3  | 1<br>6.7       | 1<br>6.7         | 2<br>13.3  | 1<br>6.7  | -<br>-             | 4<br>26.7   | 8<br>53.3  |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

「何を言っても無視する」は40歳代と60歳代、70歳以上では上位3項目に入っていますが、他の年齢では入っていません。また、「交友関係の細かいチェックや厳しい制限」については30歳代と50歳代では上位3項目に入っていますが、他の年齢では入っていません。(図表IV-9)

図表IV-9

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 身体的暴力     | 何を言っても無視する | おどす、大声でどなる | 性交渉の強要、避妊への非協力 | 生活費を入れない、お金を持ち出す | 収入が少ないと責める | ののしる     | 交友関係の細かいチェックや厳しい制限 | 受けたことがない    | 不明・無回答     |
|---------------|--------------|-----------|------------|------------|----------------|------------------|------------|----------|--------------------|-------------|------------|
| 10歳代          | 14<br>100.0  | -         | -          | -          | -              | -                | -          | -        | -                  | 12<br>85.7  | 2<br>14.3  |
| 20歳代          | 63<br>100.0  | 5<br>7.9  | 2<br>3.2   | 8<br>12.7  | 3<br>4.8       | 2<br>3.2         | 1<br>1.6   | 5<br>7.9 | 3<br>4.8           | 48<br>76.2  | 5<br>7.9   |
| 30歳代          | 112<br>100.0 | 6<br>5.4  | 1<br>0.9   | 8<br>7.1   | 5<br>4.5       | 1<br>0.9         | 3<br>2.7   | 1<br>0.9 | 8<br>7.1           | 86<br>76.8  | 10<br>8.9  |
| 40歳代          | 116<br>100.0 | 11<br>9.5 | 11<br>9.5  | 16<br>13.8 | 3<br>2.6       | 7<br>6.0         | 3<br>2.6   | 8<br>6.9 | 8<br>6.9           | 76<br>65.5  | 9<br>7.8   |
| 50歳代          | 144<br>100.0 | 10<br>6.9 | 7<br>4.9   | 15<br>10.4 | 4<br>2.8       | 5<br>3.5         | 5<br>3.5   | 5<br>3.5 | 9<br>6.3           | 102<br>70.8 | 10<br>6.9  |
| 60歳代          | 164<br>100.0 | 5<br>3.0  | 9<br>5.5   | 13<br>7.9  | 4<br>2.4       | 6<br>3.7         | 5<br>3.0   | 5<br>3.0 | 4<br>2.4           | 113<br>68.9 | 18<br>11.0 |
| 70歳以上         | 161<br>100.0 | 8<br>5.0  | 11<br>6.8  | 8<br>5.0   | 2<br>1.2       | 5<br>3.1         | 8<br>5.0   | 2<br>1.2 | 6<br>3.7           | 105<br>65.2 | 28<br>17.4 |
| 不明・無回答        | 18<br>100.0  | 2<br>11.1 | 3<br>16.7  | 2<br>11.1  | 1<br>5.6       | 1<br>5.6         | 2<br>11.1  | -<br>-   | -<br>-             | 7<br>38.9   | 8<br>44.4  |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

【結婚の状況によるクロス集計】

「受けたことがない」を除くと、結婚の状況に関わらずどの行為も同程度となっています。一方、母数が少ないため単純な比較はできませんが、「結婚していた（離別）」では全体的に高めの数値となっています。特に、「生活費を入れない、お金を持ち出す」、「おどす、大声でどなる」、「交友関係の細かいチェックや厳しい制限」の割合が高いです。（図表IV－10）

図表IV－10

| 上段：度数<br>下段：%     | 合計           | 身体的暴力     | 何を言っても無視する | おどす、大声でどなる | 性交渉の強要、避妊への非協力 | 生活費を入れない、お金を持ち出す | 収入が少ないと責める | ののしる      | 交友関係の細かいチェックや厳しい制限 | 受けたことがない    | 不明・無回答     |
|-------------------|--------------|-----------|------------|------------|----------------|------------------|------------|-----------|--------------------|-------------|------------|
| 全体                | 792<br>100.0 | 47<br>5.9 | 44<br>5.6  | 70<br>8.8  | 22<br>2.8      | 27<br>3.4        | 27<br>3.4  | 26<br>3.3 | 38<br>4.8          | 549<br>69.3 | 90<br>11.4 |
| 結婚している（内縁・事実婚を含む） | 537<br>100.0 | 27<br>5.0 | 32<br>6.0  | 49<br>9.1  | 7<br>1.3       | 12<br>2.2        | 18<br>3.4  | 18<br>3.4 | 23<br>4.3          | 390<br>72.6 | 37<br>6.9  |
| 結婚していた（離別）        | 48<br>100.0  | 8<br>16.7 | 7<br>14.6  | 10<br>20.8 | 8<br>16.7      | 11<br>22.9       | 3<br>6.3   | 5<br>10.4 | 10<br>20.8         | 17<br>35.4  | 8<br>16.7  |
| 結婚していた（死別）        | 52<br>100.0  | 3<br>5.8  | 2<br>3.8   | 3<br>5.8   | 2<br>3.8       | 2<br>3.8         | 2<br>3.8   | 2<br>3.8  | 2<br>3.8           | 30<br>57.7  | 15<br>28.8 |
| 結婚したことがない         | 139<br>100.0 | 6<br>4.3  | 1<br>0.7   | 6<br>4.3   | 4<br>2.9       | -                | 2<br>1.4   | 1<br>0.7  | 3<br>2.2           | 107<br>77   | 22<br>15.8 |
| 不明・無回答            | 16<br>100.0  | 3<br>18.8 | 2<br>12.5  | 2<br>12.5  | 1<br>6.3       | 2<br>12.5        | 2<br>12.5  | -         | -                  | 5<br>31.3   | 8<br>50.0  |

（注1）網掛けは、上位3項目を示しています。

【子どもの有無によるクロス集計】

子どもの有無による違いは特に見られません。（図表IV－11）

図表IV－11

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 身体的暴力     | 何を言っても無視する | おどす、大声でどなる | 性交渉の強要、避妊への非協力 | 生活費を入れない、お金を持ち出す | 収入が少ないと責める | ののしる      | 交友関係の細かいチェックや厳しい制限 | 受けたことがない    | 不明・無回答     |
|---------------|--------------|-----------|------------|------------|----------------|------------------|------------|-----------|--------------------|-------------|------------|
| 子どもがいる        | 551<br>100.0 | 39<br>7.1 | 38<br>6.9  | 57<br>10.3 | 17<br>3.1      | 23<br>4.2        | 23<br>4.2  | 22<br>4.0 | 33<br>6.0          | 369<br>67.0 | 51<br>9.3  |
| 子どもがいない       | 186<br>100.0 | 7<br>3.8  | 4<br>2.2   | 11<br>5.9  | 3<br>1.6       | 4<br>2.2         | 2<br>1.1   | 4<br>2.2  | 4<br>2.2           | 145<br>78.0 | 23<br>12.4 |

（注1）網掛けは、上位3項目を示しています。

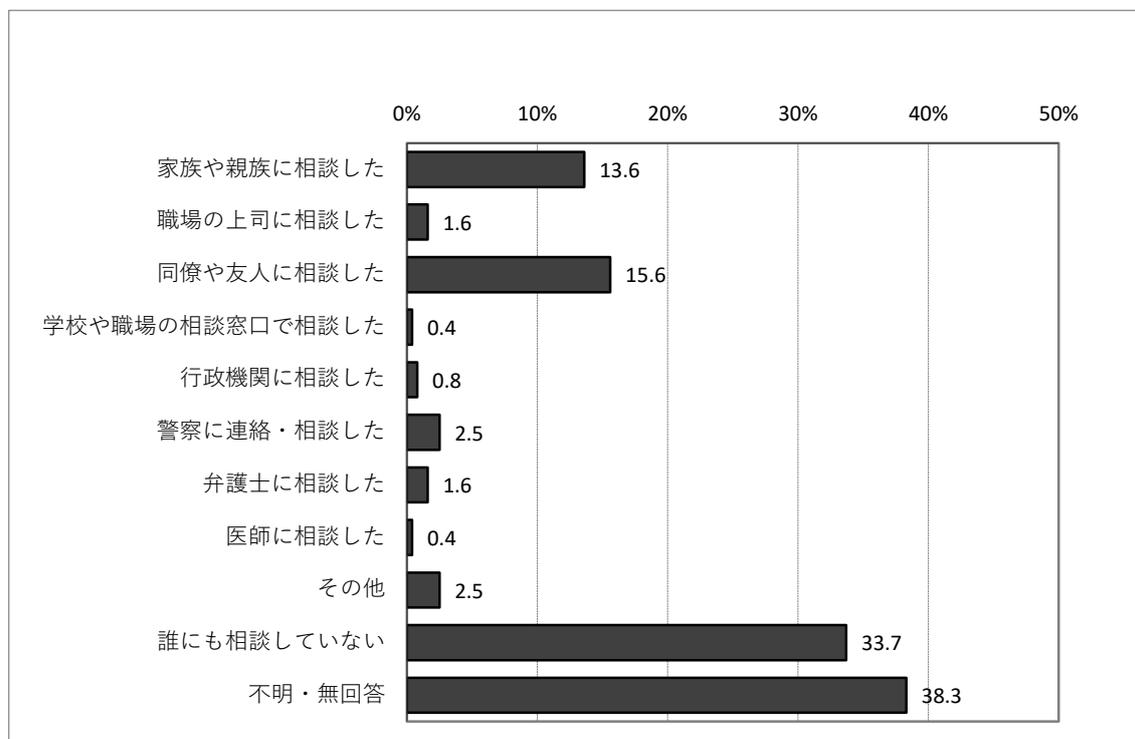
問 15 問 14 で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きします。そのことを誰かに相談しましたか。(〇はいくつでも)

複数回答 (問 15 の対象者：243)

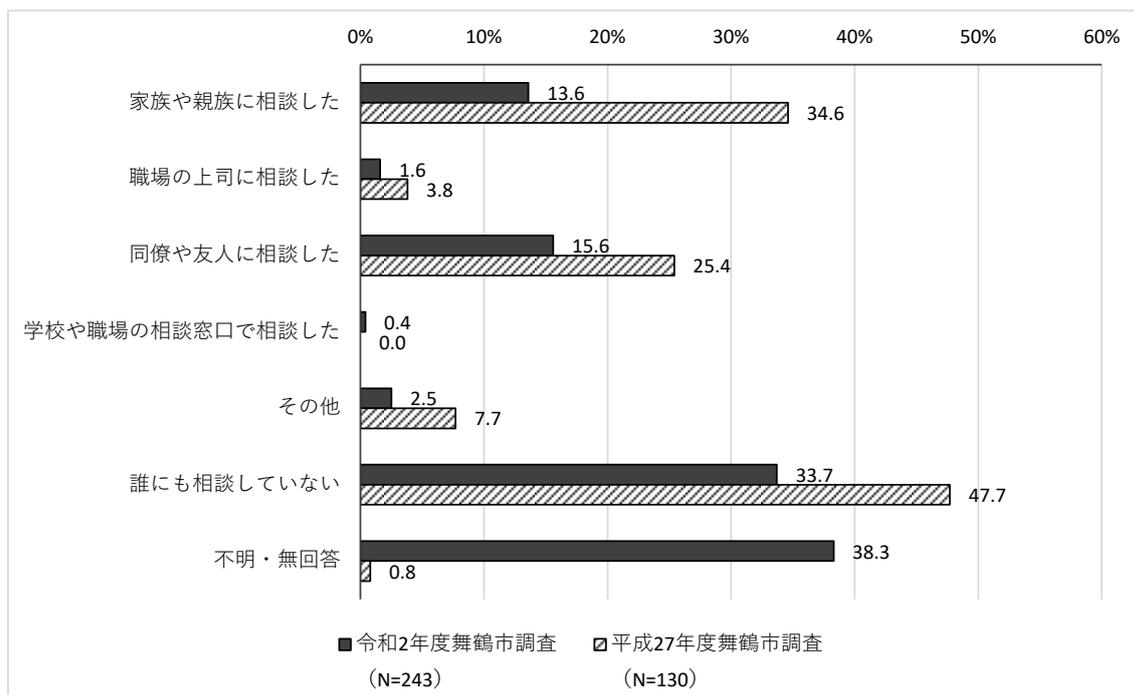
比較・クロス集計：平成 27 年度舞鶴市調査、性別、年齢、結婚、子どもの有無  
この問については、「不明・無回答」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「誰にも相談していない」が 33.7%となっています。これらを除くと、DV を受けた際の相談先としては「同僚や友人に相談した」が 15.6%と最も高く、次いで「家族や親族に相談した」が 13.6%、「警察に連絡・相談した」と「その他」がそれぞれ 2.5%となっています。また、「行政機関に相談した」を選択した回答者は 2 人であり、相談先として挙げられているのは市役所、京都府北部家庭支援センター、京都府中丹東保健所です。(図表IV—12)

平成 27 年度舞鶴市調査と比較すると、令和 2 年度舞鶴市調査は「不明・無回答」の割合が高いことも影響し、全体的に減少傾向にあります。「家族や親族に相談した」は 21.0 ポイント、「誰にも相談していない」は 14.0 ポイント、「同僚や友人に相談した」は 9.8 ポイント減少しています。また、平成 27 年度調査とは選択肢が異なっており、「行政機関に相談した」と「警察に連絡・相談した」、「弁護士に相談した」、「医師に相談した」は令和 2 年度調査のみに含まれるものです。(図表IV—13)

図表IV—12



図表IV—13

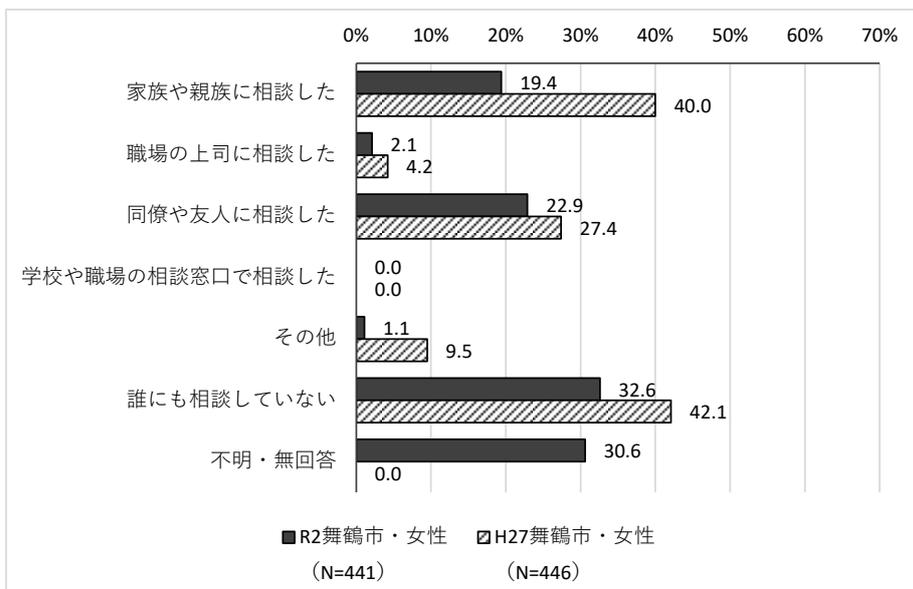


(注1) 平成27年度調査と令和2年度調査では選択肢が異なるため、共通のもののみを比較しています。

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較（男女別）】

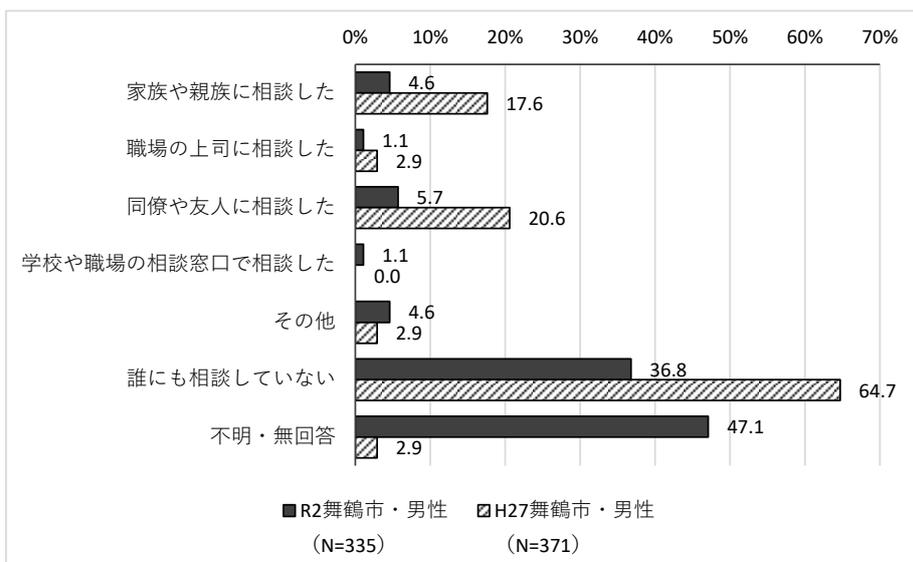
男女ともに「不明・無回答」の割合が大幅に高まっており、他の選択肢の割合は低下しています。（図表IV－14・15）

図表IV－14 DV を受けた際の相談先の変化（女性）



（注 1）平成 27 年度調査と令和 2 年度調査では選択肢が異なるため、共通のもののみを比較しています。

図表IV－15 DV を受けた際の相談先の変化（男性）



（注 1）平成 27 年度調査と令和 2 年度調査では選択肢が異なるため、共通のもののみを比較しています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「誰にも相談していない」の割合が最も高いです。また、相談する相手としては、男女ともに同僚や友人、家族や親族の割合が高いです。(図表IV-16)

図表IV-16

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 家族や親族<br>に相談した | 職場の上司<br>に相談した | 同僚や友人<br>に相談した | 学校や職場<br>の相談窓口<br>で相談した | 行政機関に<br>相談した | 警察に連絡・<br>相談した | 弁護士に相<br>談した | 医師に相談<br>した | その他      | 誰にも相談<br>していない | 不明・無回<br>答 |
|---------------|--------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|---------------|----------------|--------------|-------------|----------|----------------|------------|
| 女性            | 144<br>100.0 | 28<br>19.4     | 3<br>2.1       | 33<br>22.9     | -                       | 2<br>1.4      | 6<br>4.2       | 3<br>2.1     | 1<br>0.7    | 2<br>1.4 | 47<br>32.6     | 44<br>30.6 |
| 男性            | 87<br>100.0  | 4<br>4.6       | 1<br>1.1       | 5<br>5.7       | 1<br>1.1                | -             | -              | 1<br>1.1     | -           | 4<br>4.6 | 32<br>36.8     | 41<br>47.1 |
| その他           | 1<br>100.0   | -              | -              | -              | -                       | -             | -              | -            | -           | -        | 1<br>100.0     | -          |
| 不明・無回答        | 11<br>100.0  | 1<br>9.1       | -              | -              | -                       | -             | -              | -            | -           | -        | 2<br>18.2      | 8<br>72.7  |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

年齢による違いは特に見られません。(図表IV-17)

図表IV-17

| 上段：度数<br>下段：% | 合計          | 家族や親族<br>に相談した | 職場の上司<br>に相談した | 同僚や友人<br>に相談した | 学校や職場<br>の相談窓口<br>で相談した | 行政機関に<br>相談した | 警察に連<br>絡・相談し<br>た | 弁護士に相<br>談した | 医師に相談<br>した | その他      | 誰にも相談<br>していない | 不明・無回<br>答 |
|---------------|-------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|---------------|--------------------|--------------|-------------|----------|----------------|------------|
| 10歳代          | 2<br>100.0  | -              | -              | -              | -                       | -             | -                  | -            | -           | -        | -              | 2<br>100.0 |
| 20歳代          | 15<br>100.0 | 4<br>26.7      | -              | 5<br>33.3      | -                       | -             | 1<br>6.7           | -            | -           | 1<br>6.7 | 3<br>20.0      | 5<br>33.3  |
| 30歳代          | 26<br>100.0 | 3<br>11.5      | 1<br>3.8       | 6<br>23.1      | -                       | -             | -                  | 1<br>3.8     | 1<br>3.8    | -        | 8<br>30.8      | 10<br>38.5 |
| 40歳代          | 40<br>100.0 | 9<br>22.5      | 1<br>2.5       | 11<br>27.5     | 1<br>2.5                | -             | 2<br>5.0           | 1<br>2.5     | -           | 1<br>2.5 | 12<br>30.0     | 9<br>22.5  |
| 50歳代          | 42<br>100.0 | 7<br>16.7      | 2<br>4.8       | 7<br>16.7      | -                       | 1<br>2.4      | 2<br>4.8           | 2<br>4.8     | -           | -        | 19<br>45.2     | 11<br>26.2 |
| 60歳代          | 51<br>100.0 | 6<br>11.8      | -              | 7<br>13.7      | -                       | -             | -                  | -            | -           | 2<br>3.9 | 19<br>37.3     | 18<br>35.3 |
| 70歳以上         | 56<br>100.0 | 4<br>7.1       | -              | 2<br>3.6       | -                       | 1<br>1.8      | 1<br>1.8           | -            | -           | 2<br>3.6 | 18<br>32.1     | 30<br>53.6 |
| 不明・無回答        | 11<br>100.0 | -              | -              | -              | -                       | -             | -                  | -            | -           | -        | 3<br>27.3      | 8<br>72.7  |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

【結婚の状況によるクロス集計】

結婚の状況による違いは特に見られません。(図表IV-18)

図表IV-18

| 上段：度数<br>下段：%         | 合計           | 家族や親族<br>に相談した | 職場の上司<br>に相談した | 同僚や友人<br>に相談した | 学校や職場<br>の相談窓口<br>で相談した | 行政機関に<br>相談した | 警察に連<br>絡・相談し<br>た | 弁護士に相<br>談した | 医師に相談<br>した | その他      | 誰にも相談<br>していない | 不明・無回<br>答 |
|-----------------------|--------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|---------------|--------------------|--------------|-------------|----------|----------------|------------|
| 結婚している（内<br>縁・事実婚を含む） | 147<br>100.0 | 19<br>12.9     | 1<br>0.7       | 26<br>17.7     | -<br>-                  | 1<br>0.7      | 1<br>0.7           | 1<br>0.7     | -<br>-      | 3<br>2.0 | 63<br>42.9     | 39<br>26.5 |
| 結婚していた（離<br>別）        | 31<br>100.0  | 10<br>32.3     | 3<br>9.7       | 6<br>19.4      | 1<br>3.2                | -<br>-        | 4<br>12.9          | 2<br>6.5     | 1<br>3.2    | 1<br>3.2 | 10<br>32.3     | 8<br>25.8  |
| 結婚していた（死<br>別）        | 22<br>100.0  | 2<br>9.1       | -<br>-         | -<br>-         | -<br>-                  | 1<br>4.5      | 1<br>4.5           | -<br>-       | -<br>-      | 2<br>9.1 | 2<br>9.1       | 16<br>72.7 |
| 結婚したことがない             | 32<br>100.0  | 2<br>6.3       | -<br>-         | 6<br>18.8      | -<br>-                  | -<br>-        | -<br>-             | 1<br>3.1     | -<br>-      | -<br>-   | 4<br>12.5      | 22<br>68.8 |
| 不明・無回答                | 11<br>100.0  | -<br>-         | -<br>-         | -<br>-         | -<br>-                  | -<br>-        | -<br>-             | -<br>-       | -<br>-      | -<br>-   | 3<br>27.3      | 8<br>72.7  |

(注1) 網掛けは、上位3項目を示しています。

【子どもの有無によるクロス集計】

子どもの有無に関わらず「誰にも相談していない」の割合が最も高いです。それを除くと、大きな違いは見られず、周囲の身近な人が相談先となっている割合が高いと言えます。(図表IV-19)

図表IV-19

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 家族や親族<br>に相談した | 職場の上司<br>に相談した | 同僚や友人<br>に相談した | 学校や職場<br>の相談窓口<br>で相談した | 行政機関に<br>相談した | 警察に連<br>絡・相談し<br>た | 弁護士に相<br>談した | 医師に相談<br>した | その他      | 誰にも相談<br>していない | 不明・無回<br>答 |
|---------------|--------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|---------------|--------------------|--------------|-------------|----------|----------------|------------|
| 子どもがいる        | 182<br>100.0 | 30<br>16.5     | 3<br>1.6       | 29<br>15.9     | 1<br>0.5                | 2<br>1.1      | 6<br>3.3           | 4<br>2.2     | -<br>-      | 5<br>2.7 | 73<br>40.1     | 53<br>29.1 |
| 子どもがいない       | 41<br>100.0  | 1<br>2.4       | 1<br>2.4       | 6<br>14.6      | -<br>-                  | -<br>-        | -<br>-             | -<br>-       | 1<br>2.4    | 1<br>2.4 | 9<br>22.0      | 24<br>58.5 |

問 16 問 15 で「10. 誰にも相談していない」とお答えの方にお聞きします。

誰にもしなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

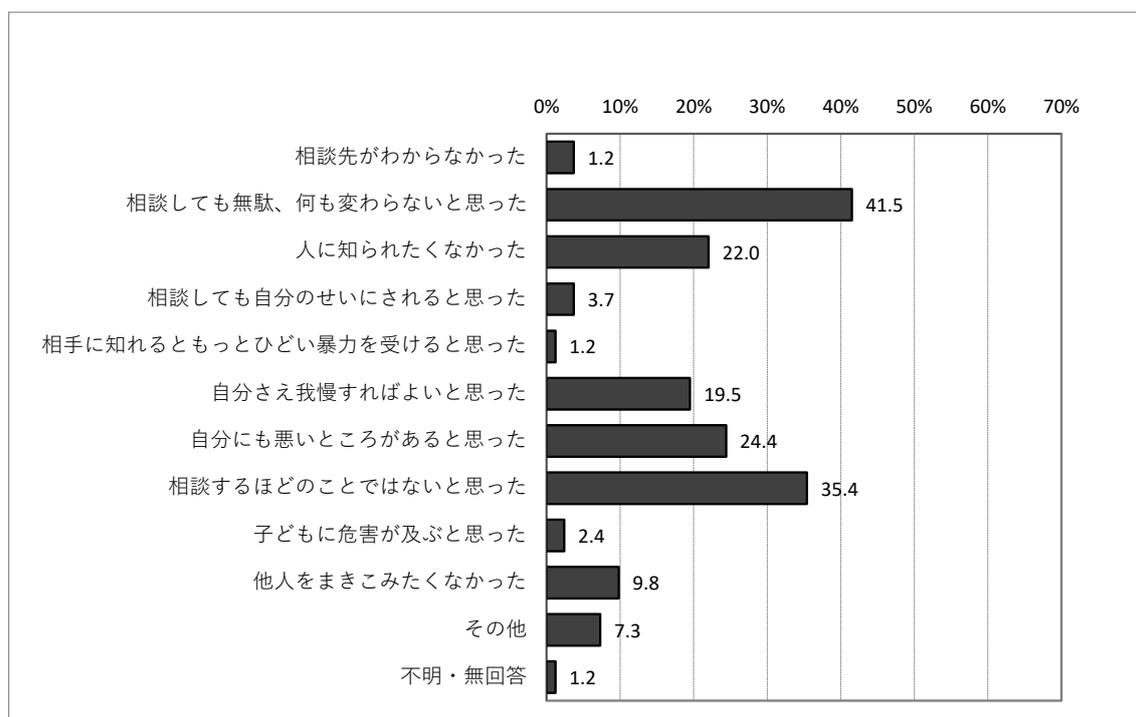
複数回答 (問 16 の対象者 : 82)

比較・クロス集計 : 平成 27 年度舞鶴市調査、性別、年齢、結婚、子どもの有無

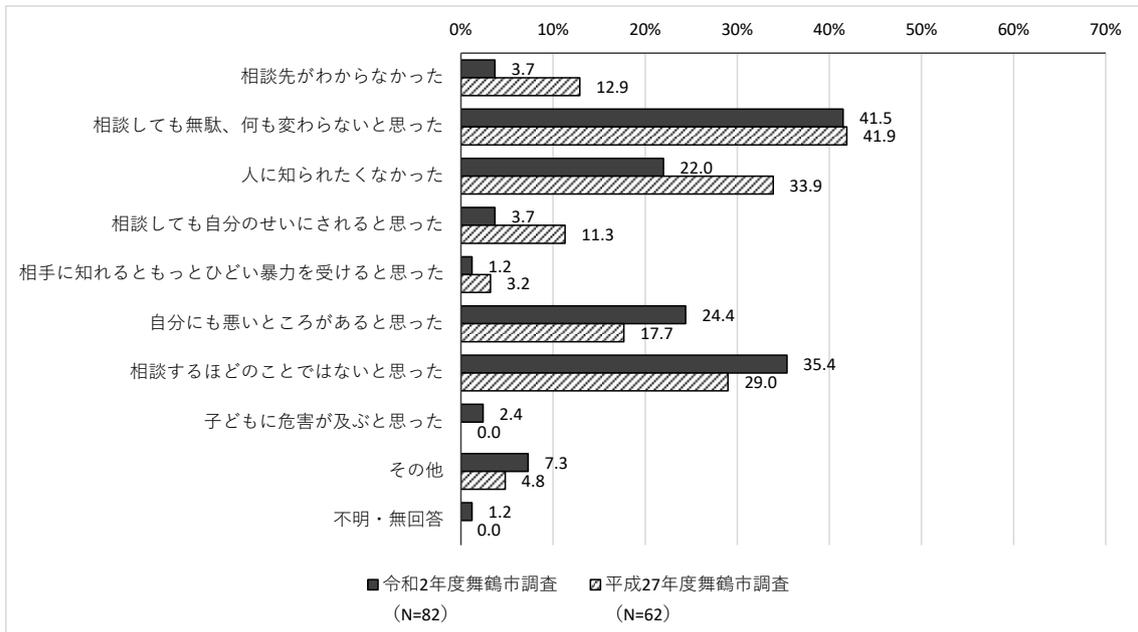
「相談しても無駄、何も変わらないと思った」が 41.5% と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思った」が 35.4%、「自分にも悪いところがあると思った」が 24.4% となっています。(図表 IV-20)

平成 27 年度舞鶴市調査と比較すると、「人に知られたくなかった」は 11.9 ポイント、「相談先がわからなかった」は 9.2 ポイント、「相談しても自分のせいにされると思った」は 7.6 ポイント減少しています。一方、「自分にも悪いところがあると思った」は 6.7 ポイント、「相談するほどのことではないと思った」は 6.4 ポイント増加しています。なお、平成 27 年度調査とは選択肢が異なっており、「自分さえ我慢すればよいと思った」と「他人をまきこみたくなかった」は令和 2 年度調査のみに含まれるものです。(図表 IV-21)

図表 IV-20



図表IV—21



(注1) 平成27年度調査と令和2年度調査では選択肢が異なるため、共通のもののみを比較しています。

【性別によるクロス集計】

男女ともに「相談しても無駄、何も変わらないと思った」と「相談するほどのことではないと思った」の割合が高いです。また、女性は「人に知られたくなかった」の割合が男性に比べると高いです。また、男性は「相談するほどのことではないと思った」の割合が女性に比べると高いです。(図表IV-22)

図表IV-22

| 上段：度数<br>下段：% | 合計          | 相談先がわからなかった | 相談しても無駄、何も変わらないと思った | 人に知られたくなかった | 相談しても自分のせいにされると思った | 相手に知れるともっとひどい暴力を受けると思った |
|---------------|-------------|-------------|---------------------|-------------|--------------------|-------------------------|
| 女性            | 47<br>100.0 | 2<br>4.3    | 20<br>42.6          | 12<br>25.5  | 3<br>6.4           | 1<br>2.1                |
| 男性            | 32<br>100.0 | 1<br>3.1    | 13<br>40.6          | 5<br>15.6   | -<br>-             | -<br>-                  |
| その他           | 1<br>100.0  | -<br>-      | -<br>-              | -<br>-      | -<br>-             | -<br>-                  |
| 不明・無回答        | 2<br>100.0  | -<br>-      | 1<br>50.0           | 1<br>50.0   | -<br>-             | -<br>-                  |

| 上段：度数<br>下段：% | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 相談するほどのことではないと思った | 子どもに危害が及ぶと思った | 他人をまきこみたくなかった | その他       | 不明・無回答   |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|---------------|---------------|-----------|----------|
| 女性            | 8<br>17.0       | 11<br>23.4       | 16<br>34.0        | 2<br>4.3      | 6<br>12.8     | 1<br>2.1  | -<br>-   |
| 男性            | 7<br>21.9       | 7<br>21.9        | 13<br>40.6        | -<br>-        | 2<br>6.3      | 5<br>15.6 | 1<br>3.1 |
| その他           | -<br>-          | 1<br>100.0       | -<br>-            | -<br>-        | -<br>-        | -<br>-    | -<br>-   |
| 不明・無回答        | 1<br>50.0       | 1<br>50.0        | -<br>-            | -<br>-        | -<br>-        | -<br>-    | -<br>-   |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

「人に知られたくなかった」は50歳代と60歳代では上位3項目に入っていますが、他の年齢では入っていません。「自分さえ我慢すればよいと思った」は40歳代と70歳以上では上位3項目に入っていますが、他の年齢では入っていません。(図表IV-23)

図表IV-23

| 上段：度数<br>下段：% | 合計          | 相談先がわからなかった | 相談しても無駄、何も変わらないと思った | 人に知られたくなかった | 相談しても自分のせいになると思った | 相手に知れるとひどい暴力を受けると思った |
|---------------|-------------|-------------|---------------------|-------------|-------------------|----------------------|
| 全体            | 82<br>100.0 | 3<br>3.7    | 34<br>41.5          | 18<br>22.0  | 3<br>3.7          | 1<br>1.2             |
| 10歳代          | -<br>-      | -<br>-      | -<br>-              | -<br>-      | -<br>-            | -<br>-               |
| 20歳代          | 3<br>100.0  | -<br>-      | -<br>-              | -<br>-      | -<br>-            | -<br>-               |
| 30歳代          | 8<br>100.0  | -<br>-      | 3<br>37.5           | 1<br>12.5   | -<br>-            | -<br>-               |
| 40歳代          | 12<br>100.0 | 1<br>8.3    | 5<br>41.7           | 1<br>8.3    | 1<br>8.3          | 1<br>8.3             |
| 50歳代          | 19<br>100.0 | 1<br>5.3    | 7<br>36.8           | 5<br>26.3   | -<br>-            | -<br>-               |
| 60歳代          | 19<br>100.0 | -<br>-      | 8<br>42.1           | 7<br>36.8   | -<br>-            | -<br>-               |
| 70歳以上         | 18<br>100.0 | 1<br>5.6    | 9<br>50.0           | 3<br>16.7   | 2<br>11.1         | -<br>-               |
| 不明・無回答        | 3<br>100.0  | -<br>-      | 2<br>66.7           | 1<br>33.3   | -<br>-            | -<br>-               |

| 上段：度数<br>下段：% | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 相談するほどのことではないと思った | 子どもに危害が及ぶと思った | 他人をまきこみたくなかった | その他       | 不明・無回答   |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|---------------|---------------|-----------|----------|
| 全体            | 82<br>100.0     | 20<br>24.4       | 29<br>35.4        | 2<br>2.4      | 8<br>9.8      | 6<br>7.3  | 1<br>1.2 |
| 10歳代          | -<br>-          | -<br>-           | -<br>-            | -<br>-        | -<br>-        | -<br>-    | -<br>-   |
| 20歳代          | -<br>-          | 1<br>33.3        | 1<br>33.3         | -<br>-        | 1<br>33.3     | -<br>-    | -<br>-   |
| 30歳代          | 2<br>25.0       | 3<br>37.5        | 3<br>37.5         | 1<br>12.5     | 2<br>25.0     | 1<br>12.5 | -<br>-   |
| 40歳代          | 3<br>25.0       | 2<br>16.7        | 3<br>25.0         | 1<br>8.3      | 1<br>8.3      | 2<br>16.7 | -<br>-   |
| 50歳代          | 4<br>21.1       | 5<br>26.3        | 10<br>52.6        | -<br>-        | 1<br>5.3      | 1<br>5.3  | -<br>-   |
| 60歳代          | 1<br>5.3        | 3<br>15.8        | 5<br>26.3         | -<br>-        | 2<br>10.5     | 2<br>10.5 | 1<br>5.3 |
| 70歳以上         | 4<br>22.2       | 4<br>22.2        | 7<br>38.9         | -<br>-        | 1<br>5.6      | -<br>-    | -<br>-   |
|               | 2<br>66.7       | 2<br>66.7        | -<br>-            | -<br>-        | -<br>-        | -<br>-    | -<br>-   |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

【結婚の状況によるクロス集計】

問 16 の対象者は 82 人であり、76.8%が「結婚している（内縁・事実婚を含む）」に該当します。その他は該当者が少なく、結婚の状況による違いは特に見られません。（図表IV-24）

図表IV-24

| 上段：度数<br>下段：%     | 合計          | 相談先がわからなかった | 相談しても無駄、何も変わらないと思った | 人に知られたいくなかった | 相談しても自分のせいにされると思った | 相手に知れるともっとひどい暴力を受けると思った |
|-------------------|-------------|-------------|---------------------|--------------|--------------------|-------------------------|
| 結婚している（内縁・事実婚を含む） | 63<br>100.0 | 2<br>3.2    | 23<br>36.5          | 12<br>19.0   | -<br>-             | 1<br>1.6                |
| 結婚していた（離別）        | 10<br>100.0 | -<br>-      | 5<br>50.0           | 4<br>40.0    | 1<br>10.0          | -<br>-                  |
| 結婚していた（死別）        | 2<br>100.0  | 1<br>50.0   | 2<br>100.0          | -<br>-       | 1<br>50.0          | -<br>-                  |
| 結婚したことがない         | 4<br>100.0  | -<br>-      | 2<br>50.0           | 1<br>25.0    | -<br>-             | -<br>-                  |
| 不明・無回答            | 3<br>100.0  | -<br>-      | 2<br>66.7           | 1<br>33.3    | 1<br>33.3          | -<br>-                  |

| 上段：度数<br>下段：%     | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 相談するほどのことではないと思った | 子どもに危害が及ぶと思った | 他人をまきこみたくなかった | その他      | 不明・無回答   |
|-------------------|-----------------|------------------|-------------------|---------------|---------------|----------|----------|
| 結婚している（内縁・事実婚を含む） | 10<br>15.9      | 15<br>23.8       | 24<br>38.1        | 1<br>1.6      | 5<br>7.9      | 6<br>9.5 | 1<br>1.6 |
| 結婚していた（離別）        | 3<br>30.0       | 2<br>20.0        | 2<br>20.0         | 1<br>10.0     | 1<br>10.0     | -<br>-   | -<br>-   |
| 結婚していた（死別）        | -<br>-          | 1<br>50.0        | -<br>-            | -<br>-        | 1<br>50.0     | -<br>-   | -<br>-   |
| 結婚したことがない         | 1<br>25.0       | -<br>-           | 2<br>50.0         | -<br>-        | 1<br>25.0     | -<br>-   | -<br>-   |
| 不明・無回答            | 2<br>66.7       | 2<br>66.7        | 1<br>33.3         | -<br>-        | -<br>-        | -<br>-   | -<br>-   |

（注 1）網掛けは、上位 3 項目を示しています。

【子どもの有無によるクロス集計】

問 16 の対象者は 82 人であり、89.0%が「子どもがいる」に該当します。「子どもがいない」は該当者が少なく、子どもの有無による違いは特に見られません。(図表IV—25)

図表IV—25

| 上段：度数<br>下段：% | 合計          | 相談先がわからなかった | 相談しても無駄、何も変わらないと思った | 人に知られたいかなかった | 相談しても自分のせいだとされると思った | 相手に知れるともっとひどい暴力を受けると思った | 自分さえ我慢すればよいと思った | 自分にも悪いところがあると思った | 相談するほどのことではないと思った | 子どもに危害が及ぶと思った | 他人をまきこみたくなかった | その他      | 不明・無回答   |
|---------------|-------------|-------------|---------------------|--------------|---------------------|-------------------------|-----------------|------------------|-------------------|---------------|---------------|----------|----------|
| 子どもがいる        | 73<br>100.0 | 3<br>4.1    | 30<br>41.1          | 17<br>23.3   | 3<br>4.1            | 1<br>1.4                | 14<br>19.2      | 17<br>23.3       | 25<br>34.2        | 2<br>2.7      | 5<br>6.8      | 6<br>8.2 | 1<br>1.4 |
| 子どもがいない       | 9<br>100.0  | -           | 4<br>44.4           | 1<br>11.1    | -                   | -                       | 2<br>22.2       | 3<br>33.3        | 4<br>44.4         | -             | 3<br>33.3     | -        | -        |

(注 1) 網掛けは、上位 3 項目を示しています。

問 17 問 14 のような暴力に関する次の相談機関の中で知っているものはどれですか。(○はいくつでも)

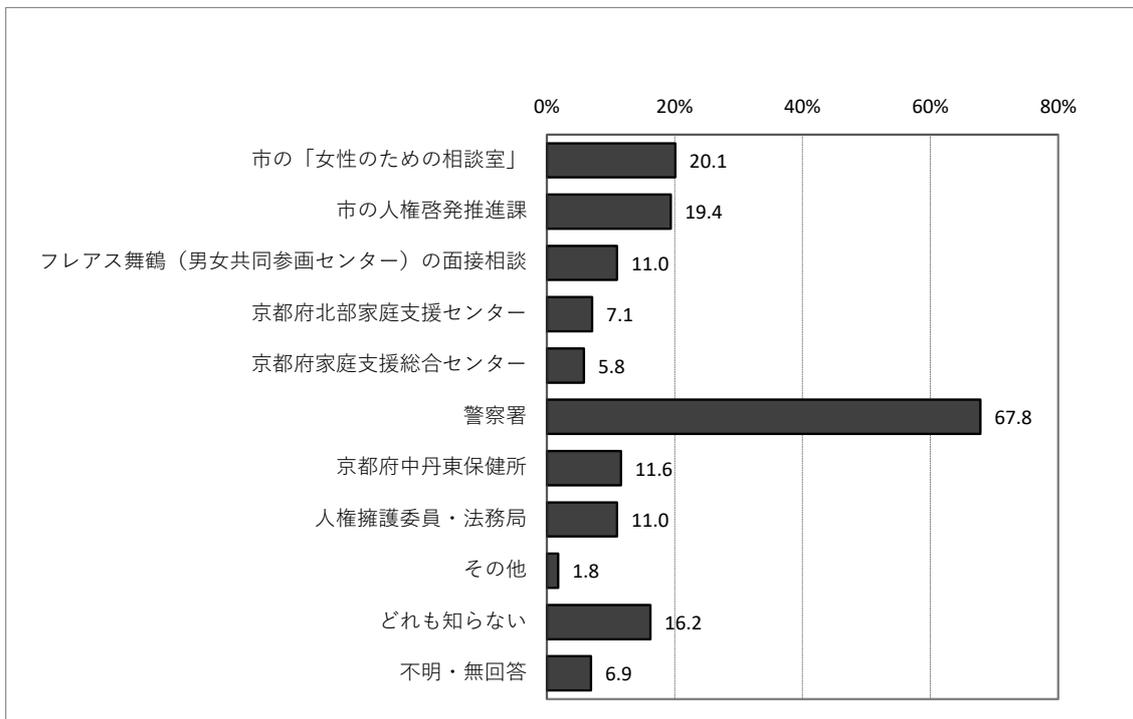
複数回答

比較：平成 27 年度舞鶴市調査

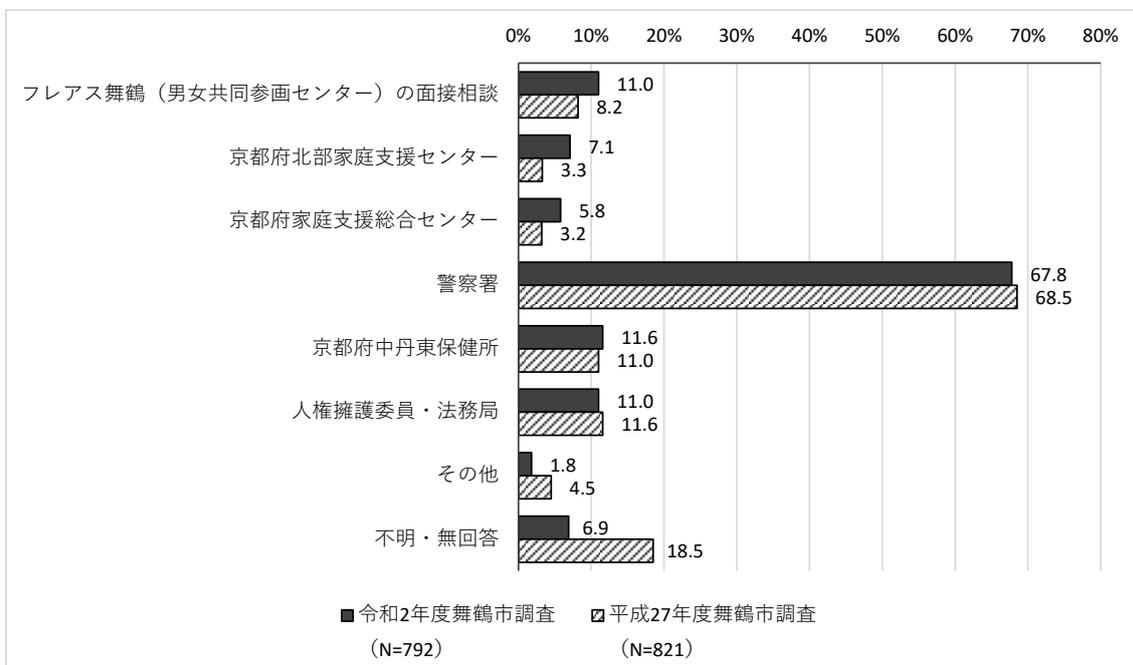
「警察署」が 67.8%と最も高く、次いで「市の「女性のための相談室」」が 20.1%、「市の人権啓発推進課」が 19.4%となっています。ただし、4 番目に割合が高いのは「どれも知らない」であり、その他の相談機関を知っている回答者の割合は 10%前後となっています。(図表IV—26)

平成 27 年度舞鶴市調査と比較すると、「不明・無回答」の割合は減少していますが、大きな変化は見られません。また、平成 27 年度調査とは選択肢が異なっており、「市の「女性のための相談室」」と「市の人権啓発推進課」は令和 2 年度調査のみに含まれるものです。(図表IV—27)

図表IV—26



図表IV—27



(注1) 平成27年度調査と令和2年度調査では選択肢が異なるため、共通のもののみを比較しています。

問 18 あなたは、夫（妻）又は恋人等からの暴力を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

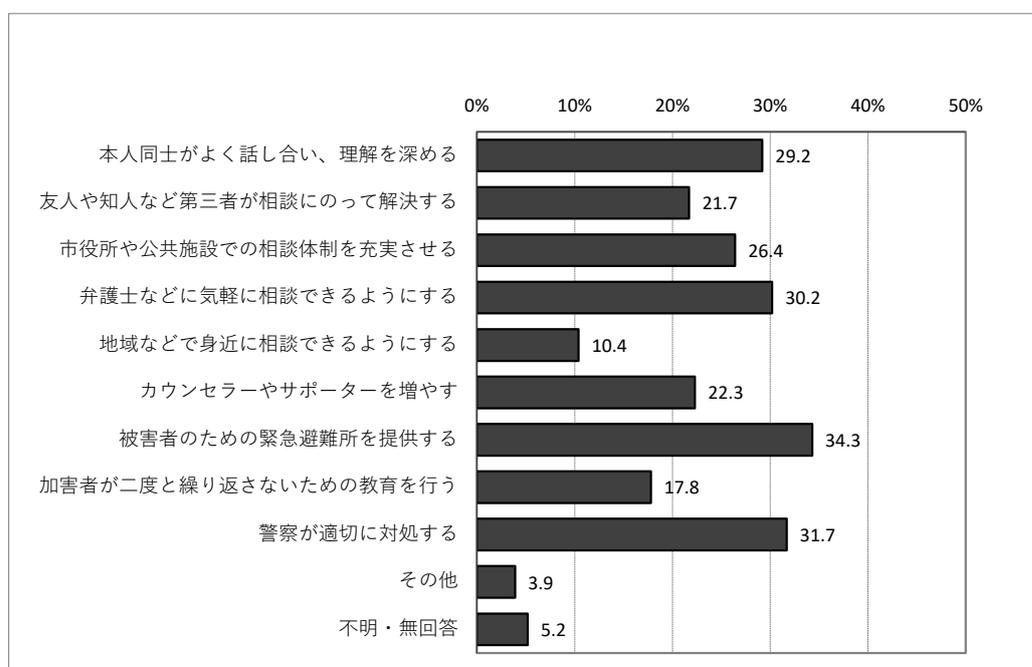
複数回答（3つまで）

クロス集計：性別

「被害者のための緊急避難所を提供する」が34.3%と最も高く、次いで「警察が適切に対処する」が31.7%、「弁護士などに気軽に相談できるようにする」が30.2%となっています。（図表IV-28）

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「関係解消」、「再犯防止」、「厳罰化」が多くなっています。（図表IV-29）

図表IV-28



図表IV-29 「その他」の内容の分類

| 分類       | 件数 (件) |
|----------|--------|
| 広報の改善・充実 | 2      |
| 社会全体の理解  | 2      |
| 再犯防止     | 3      |
| 厳罰化      | 3      |
| 関係解消     | 6      |
| わからない    | 3      |
| その他      | 5      |

【性別によるクロス集計】

男女ともに「弁護士などに気軽に相談できるようにする」と「警察が適切に対処する」の割合が高いです。また、女性は「被害者のための緊急避難所を提供する」の割合が男性に比べると高く、男性は「本人同士がよく話し合い、理解を深める」の割合が女性に比べると高くなっています。(図表IV-30)

図表IV-30

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 本人同士がよく話し合い、理解を深める | 友人や知人など第三者が相談にのって解決する | 市役所や公共施設での相談体制を充実させる | 弁護士などに気軽に相談できるようにする | 地域などで身近に相談できるようにする | カウンセラーやサポーターを増やす | 被害者のための緊急避難所を提供する | 加害者が二度と繰り返さないための教育を行う | 警察が適切に対処する  | その他       | 不明・無回答    |
|---------------|--------------|--------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|--------------------|------------------|-------------------|-----------------------|-------------|-----------|-----------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 105<br>23.8        | 81<br>18.4            | 118<br>26.8          | 134<br>30.4         | 48<br>10.9         | 107<br>24.3      | 178<br>40.4       | 92<br>20.9            | 141<br>32.0 | 14<br>3.2 | 26<br>5.9 |
| 男性            | 335<br>100.0 | 119<br>35.5        | 90<br>26.9            | 90<br>26.9           | 101<br>30.1         | 33<br>9.9          | 68<br>20.3       | 91<br>27.2        | 48<br>14.3            | 110<br>32.8 | 17<br>5.1 | 9<br>2.7  |
| その他           | 1<br>100.0   | 1<br>100.0         | -                     | -                    | -                   | -                  | -                | -                 | -                     | -           | -         | -         |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 6<br>40.0          | 1<br>6.7              | 1<br>6.7             | 4<br>26.7           | 1<br>6.7           | 2<br>13.3        | 3<br>20.0         | 1<br>6.7              | -           | -         | 6<br>40.0 |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

問 19 あなたは、夫（妻）又は恋人等からの暴力を防止するためには、どのよう  
なことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

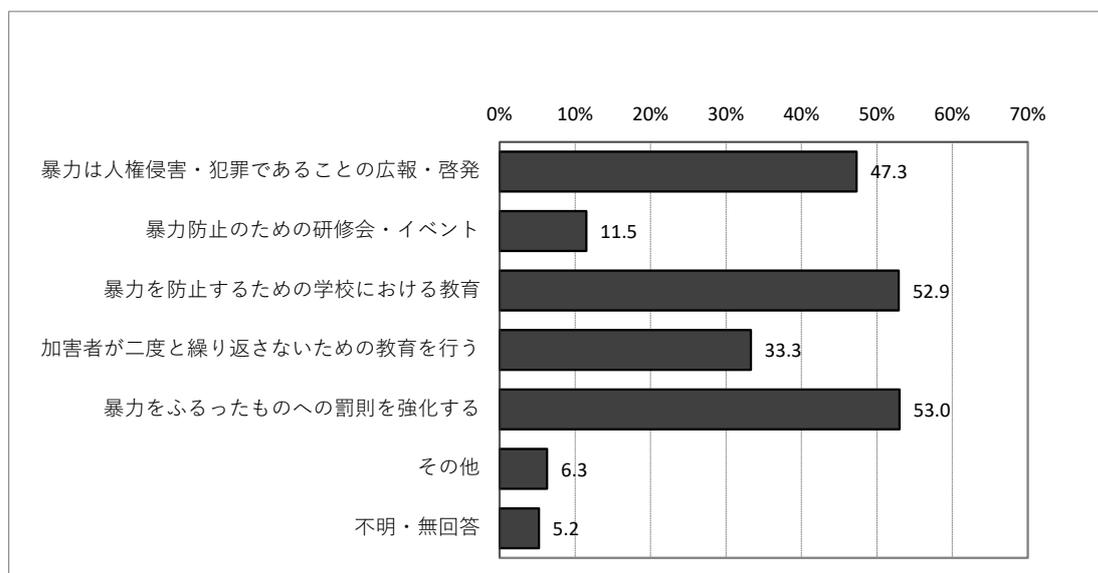
複数回答（3つまで）

クロス集計：性別

「暴力をふるったものへの罰則を強化する」が53.0%と最も高く、次いで「暴力を防止するための学校における教育」が52.9%、「暴力は人権侵害・犯罪であることの広報・啓発」が47.3%となっています。（図表IV—31）

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「相談窓口の充実」、「双方が距離を置く」、「加害者のケア」、「DVに関する学習や啓発の充実」、「被害者自身が動く」などとなっています。（図表IV—32）

図表IV—31



図表IV—32 「その他」の内容の分類

| 分類                | 件数 (件) |
|-------------------|--------|
| 相談窓口の充実           | 6      |
| 加害者のケア            | 4      |
| DVに関する学習や啓発の機会の充実 | 4      |
| 双方が距離を置く          | 6      |
| 被害者のケア            | 2      |
| 厳罰化               | 3      |
| 被害者自身が動く          | 4      |
| DVは治らない・治すのは困難    | 3      |
| わからない             | 8      |
| その他               | 2      |

【性別によるクロス集計】

性別による違いは特に見られません。男女ともに「暴力をふるったものへの罰則を強化する」、「学校で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」、「暴力は人権侵害・犯罪であることを広報し、啓発する」の割合が高くなっています。(図表IV-33)

図表IV-33

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 暴力は人権侵害・犯罪であることの広報・啓発 | 暴力防止のための研修会・イベント | 暴力を防止するための学校における教育 | 加害者が二度と繰り返さないための教育を行う | 暴力をふるったものへの罰則を強化する | その他        | 不明・無回答    |
|---------------|--------------|-----------------------|------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|------------|-----------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 203<br>46.0           | 41<br>9.3        | 240<br>54.4        | 161<br>36.5           | 234<br>53.1        | 26<br>5.9  | 24<br>5.4 |
| 男性            | 335<br>100.0 | 165<br>49.3           | 50<br>14.9       | 174<br>51.9        | 102<br>30.4           | 183<br>54.6        | 23<br>6.9  | 12<br>3.6 |
| その他           | 1<br>100.0   | -<br>-                | -<br>-           | -<br>-             | -<br>-                | -<br>-             | 1<br>100.0 | -<br>-    |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 7<br>46.7             | -<br>-           | 5<br>33.3          | 1<br>6.7              | 3<br>20.0          | -<br>-     | 5<br>33.3 |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

問 20 女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口で配慮すべきと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

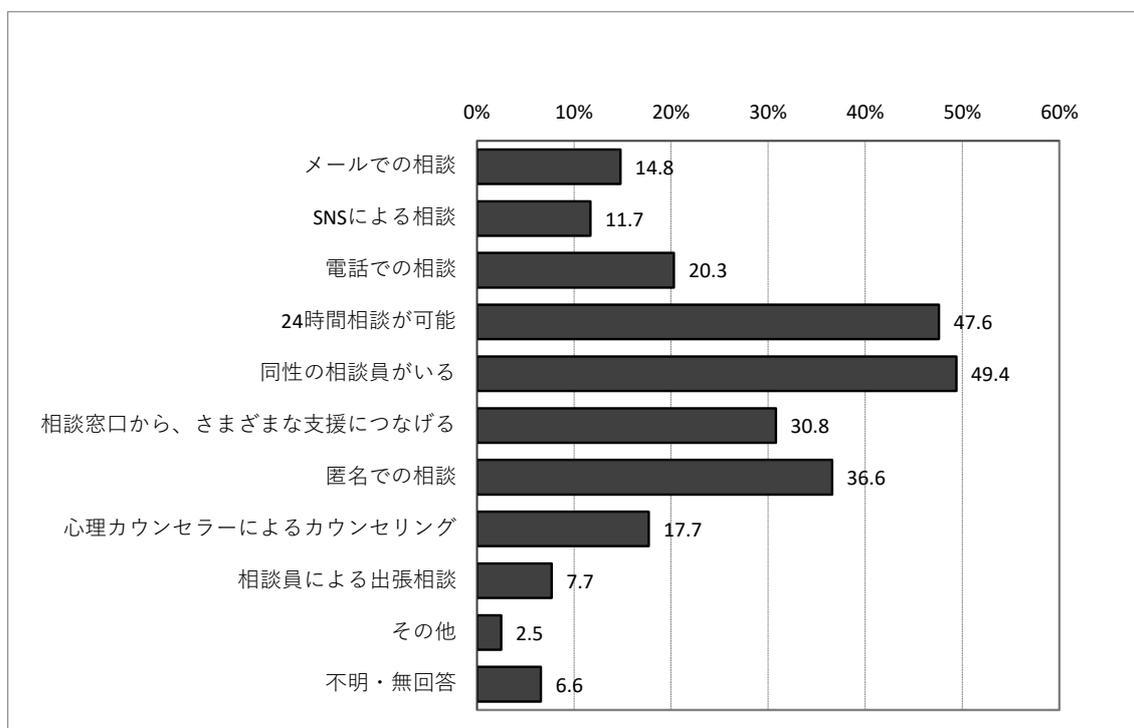
複数回答 (3つまで)

クロス集計：性別

「同性の相談員がいる」が 49.4%と最も高く、次いで「24 時間相談が可能」が 47.6%、「匿名での相談」が 36.6%となっています。(図表IV-34)

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「安全の保障」、「相談窓口での丁寧な対応」、「担当者の十分な教育」などとなっています。(図表IV-35)

図表IV-34



図表IV-35 「その他」の内容の分類

| 分類          | 件数 (件) |
|-------------|--------|
| 安全の保障       | 3      |
| 相談窓口での丁寧な対応 | 3      |
| 担当者の十分な教育   | 3      |
| わからない       | 4      |
| その他         | 4      |

【性別によるクロス集計】

女性は「24時間相談が可能」の割合が男性に比べると高いです。(図表IV—36)

図表IV—36

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | メールでの<br>相談 | SNSによる<br>相談 | 電話での相<br>談 | 24時間相談<br>が可能 | 同性の相談<br>員がいる | 相談窓口か<br>ら、さまざま<br>な支援に<br>つなげる | 匿名での相<br>談  | 心理カウ<br>ンセラーによ<br>るカウンセ<br>リング | 相談員によ<br>る出張相談 | その他       | 不明・無回<br>答 |
|---------------|--------------|-------------|--------------|------------|---------------|---------------|---------------------------------|-------------|--------------------------------|----------------|-----------|------------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 60<br>13.6  | 48<br>10.9   | 88<br>20.0 | 228<br>51.7   | 217<br>49.2   | 151<br>34.2                     | 167<br>37.9 | 82<br>18.6                     | 24<br>5.4      | 6<br>1.4  | 28<br>6.3  |
| 男性            | 335<br>100.0 | 56<br>16.7  | 43<br>12.8   | 71<br>21.2 | 144<br>43.0   | 168<br>50.1   | 89<br>26.6                      | 121<br>36.1 | 57<br>17.0                     | 37<br>11.0     | 14<br>4.2 | 17<br>5.1  |
| その他           | 1<br>100.0   | -           | 1<br>100.0   | -          | 1<br>100.0    | 1<br>100.0    | -                               | -           | -                              | -              | -         | -          |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 1<br>6.7    | 1<br>6.7     | 2<br>13.3  | 4<br>26.7     | 5<br>33.3     | 4<br>26.7                       | 2<br>13.3   | 1<br>6.7                       | -              | -         | 7<br>46.7  |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

## V 子育て・教育について（問 21～問 22）

Vでは、子育てに関する考え方について5段階で尋ねています。また、学校教育の場における男女共同参画の推進に必要なことについても尋ねています。

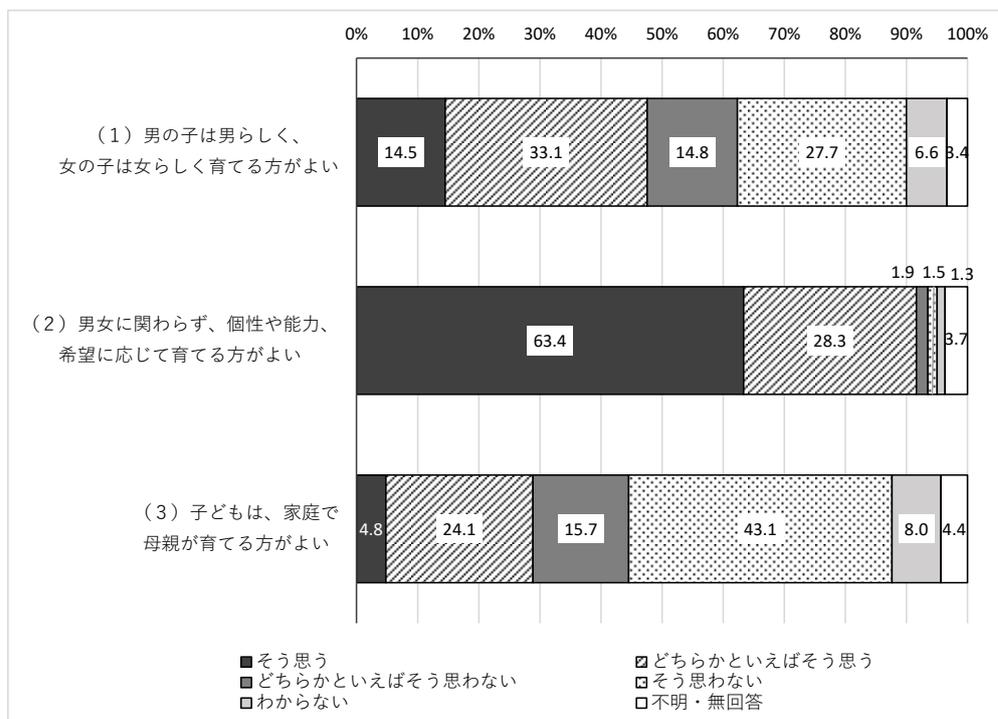
問 21 あなたは、子育てに関する（1）～（3）のことがらについて、どのように思いますか。《お子さんがいらっしゃる方は「いる」と仮定してお答えください。》（○はそれぞれ1つ）

単数回答（N=792）

比較・クロス集計：平成 27 年度舞鶴市調査、性別、年齢

（1）から（3）の単純集計の結果をまとめると、表V-1のようになります。「（2）男女に関わらず、個性や能力、希望に応じて育てる方がよい」は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」が 91.7%と高い割合を占めています。一方、「（3）子どもは、家庭で母親が育てる方がよい」は「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」が 58.8%となっており、否定的な考え方の割合の方が高いです。また、「（1）男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」については「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が同程度となっています。

図表V-1

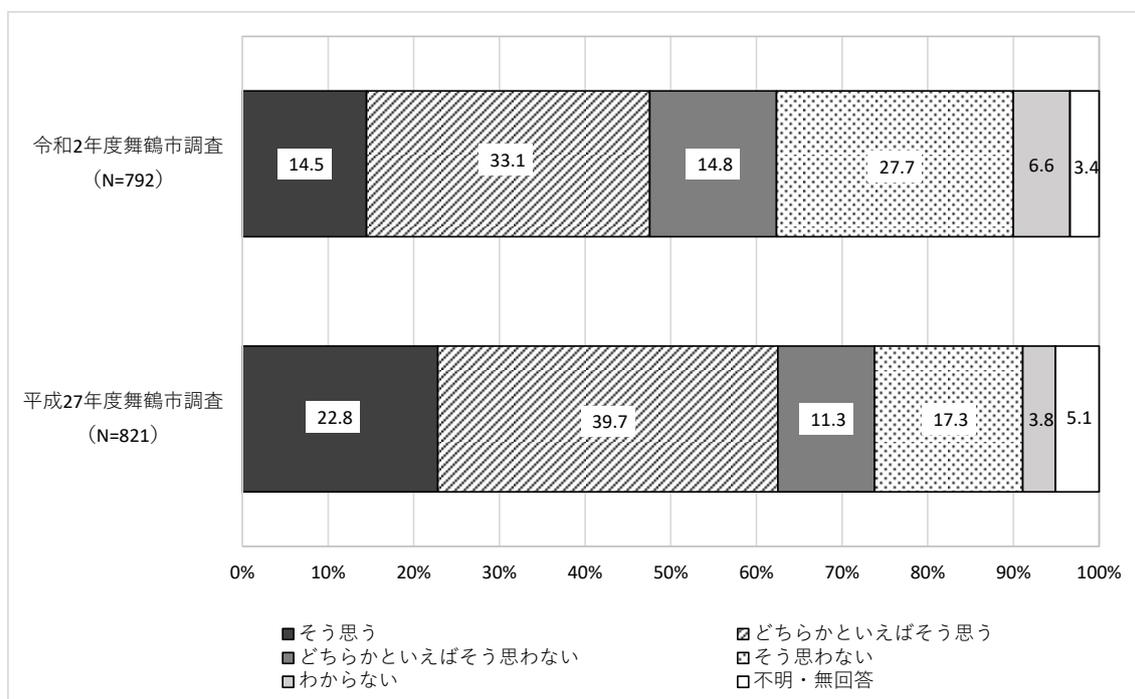


(1) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は 14.9 ポイント減少し、「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」の合計が 13.9 ポイント増加しています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」の差が縮小しており、令和 2 年度舞鶴市調査ではともに 40%台となっています。(図表 V-2)

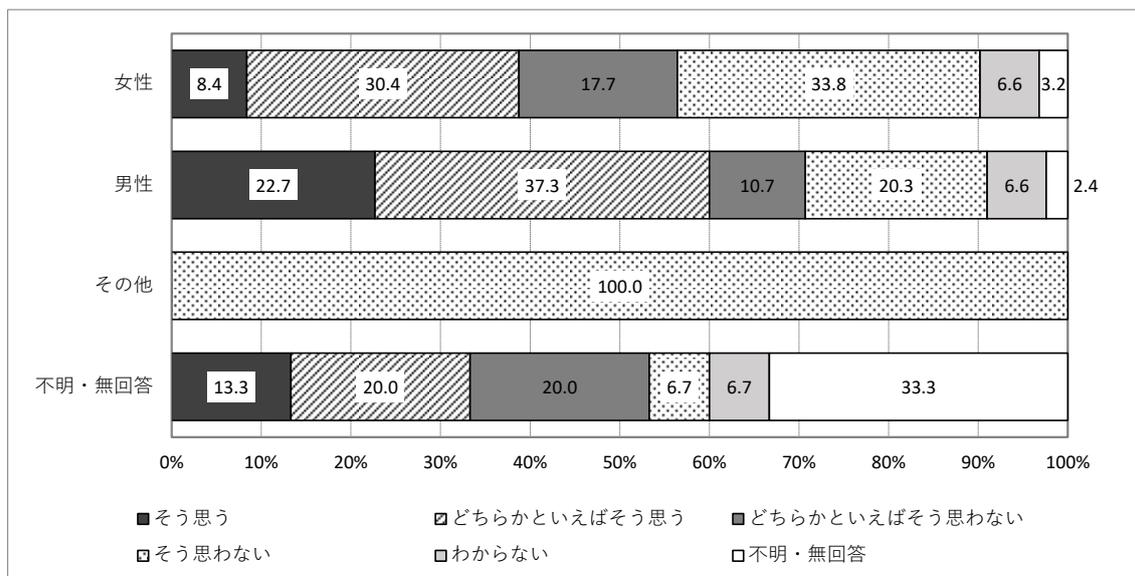
図表 V-2



【性別によるクロス集計】

女性は「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が 51.5% となっていますが、男性は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が 60.0% となっています。(図表V-3)

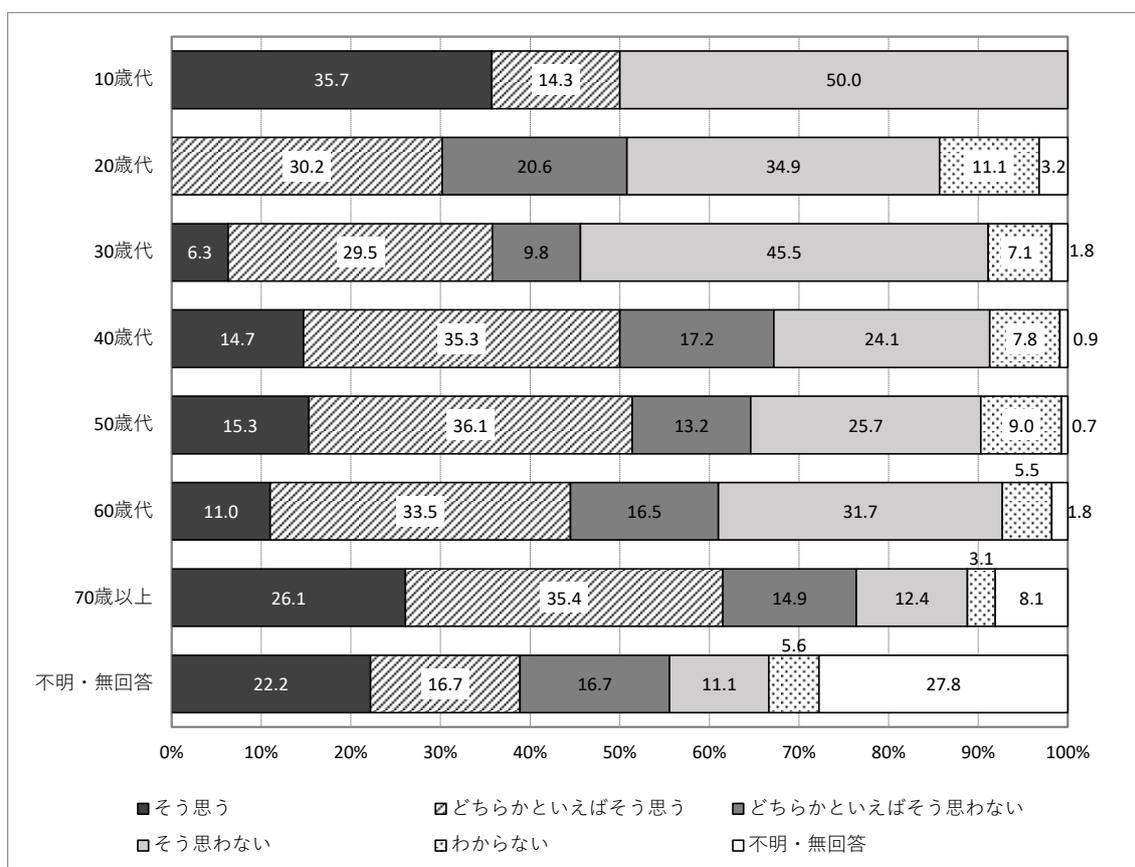
図表V-3



【年齢によるクロス集計】

20歳代と30歳代では「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が50.0%以上、40歳代と50歳代、70歳以上では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が50.0%以上となっています。また、60歳代では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計と「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計のどちらも50.0%未満となっています。(図表V-4)

図表V-4

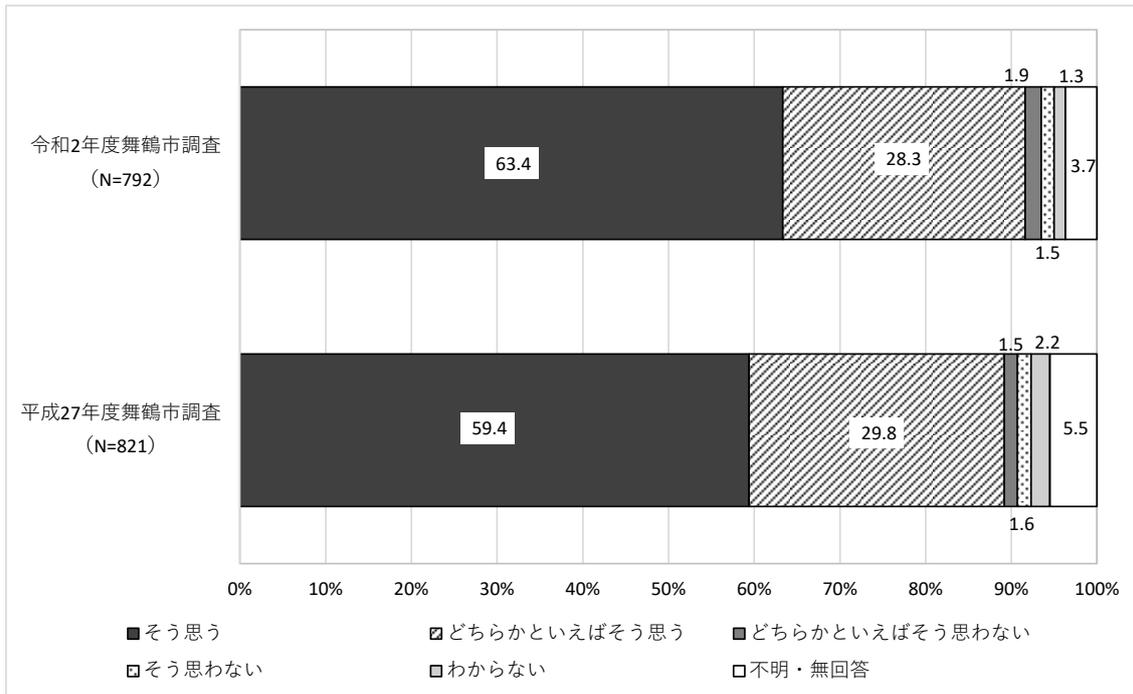


(2) 男女に関わらず、個性や能力、希望に応じて育てる方がよい

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

平成 27 年度舞鶴市調査の結果から大きな変化は見られません。(図表 V - 5)

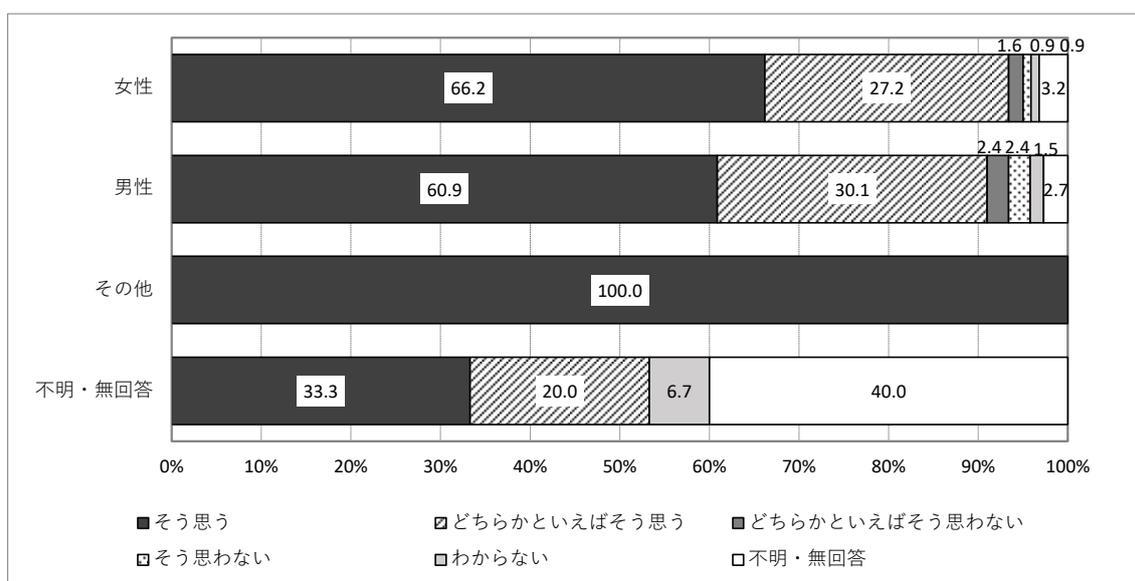
図表 V - 5



【性別によるクロス集計】

性別による違いは特に見られず、男女ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が90.0%以上となっています。(図表V-6)。

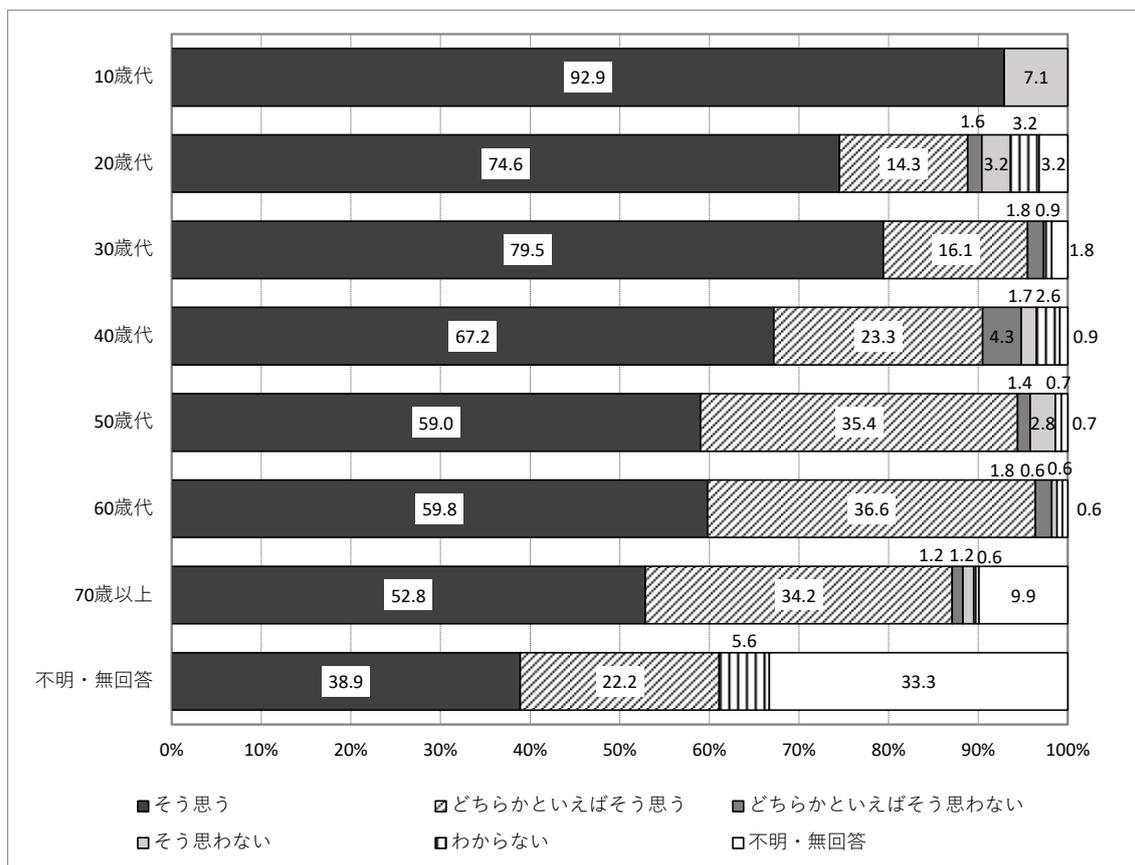
図表V-6



【年齢によるクロス集計】

年齢による違いは特に見られません。(表V-7)

図表V-7

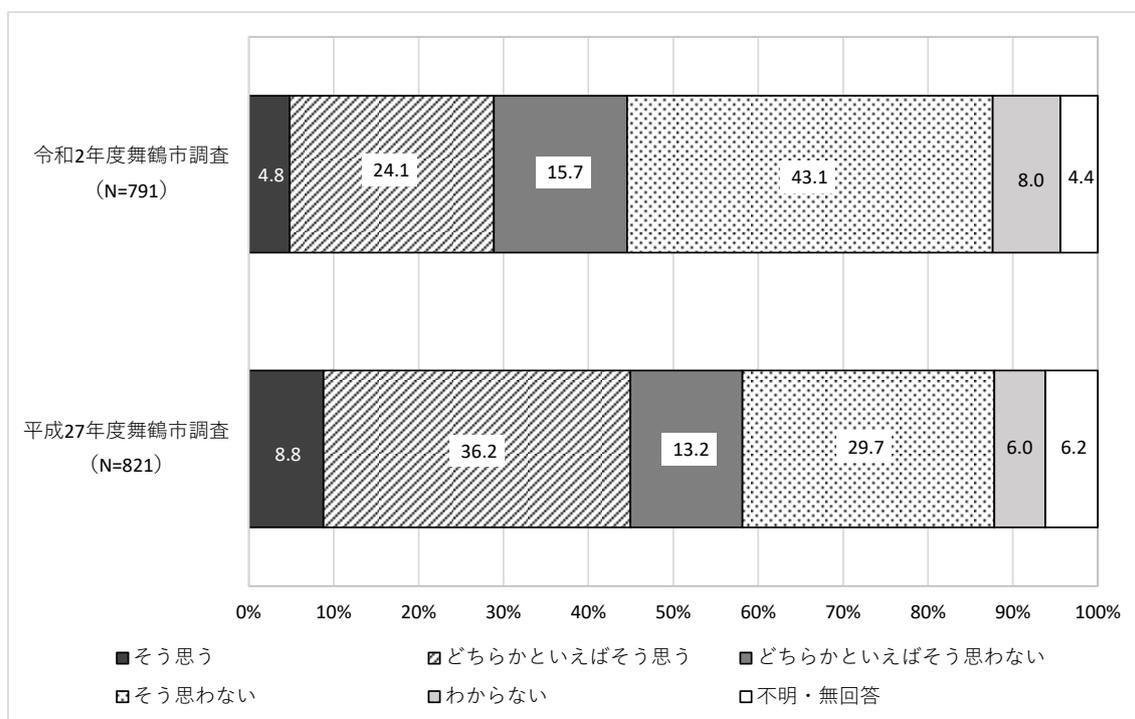


(3) 子どもは、家庭で母親が育てる方がよい

【平成 27 年度舞鶴市調査との比較】

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は 16.1 ポイント減少し、「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」の合計が 15.9 ポイント増加しています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」の差が拡大しており、令和 2 年度舞鶴市調査では後者が前者の約 2 倍となっています。(図表 V-8)

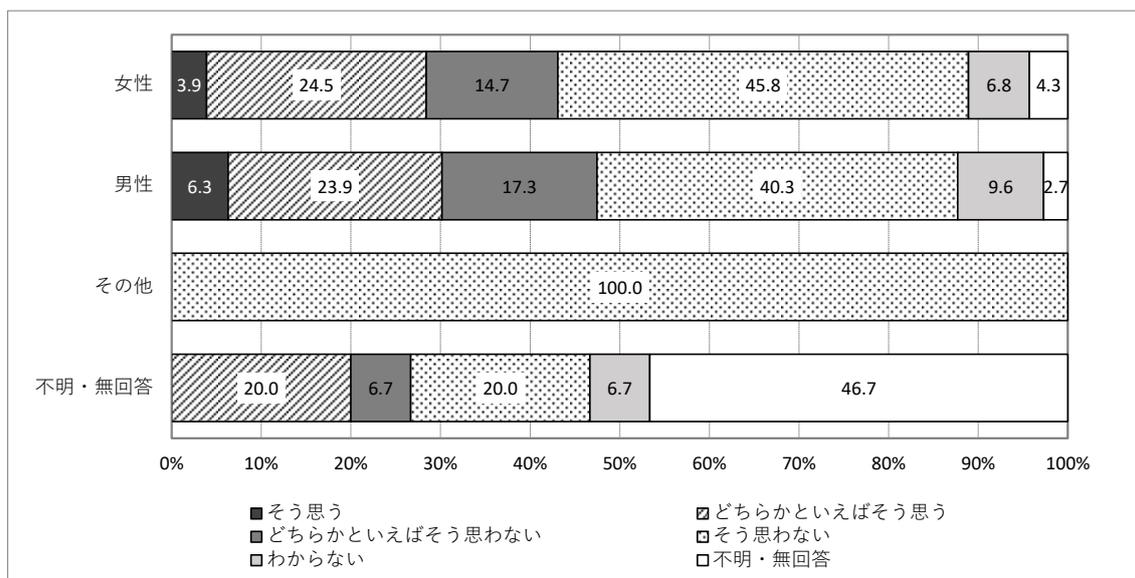
図表 V-8



【性別によるクロス集計】

性別による違いは特に見られません。男女ともに「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が約 60.0%となっています。(図表V-9)

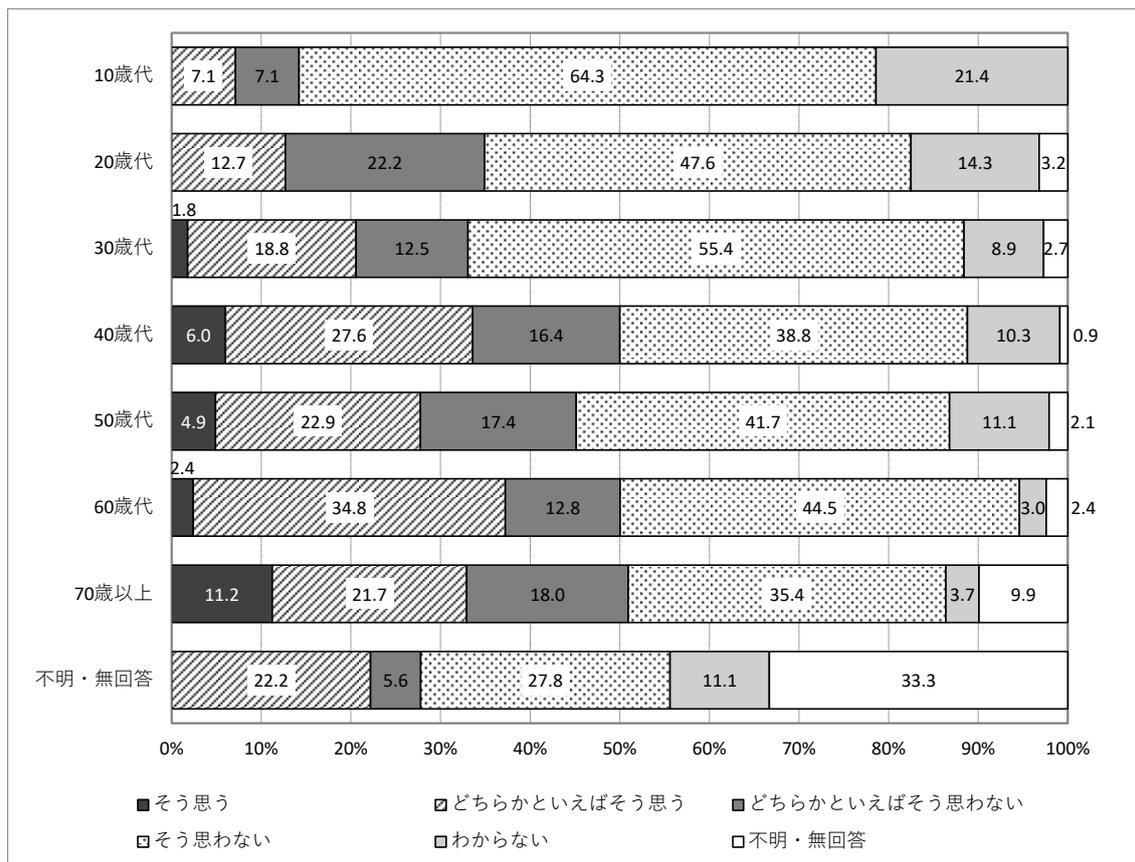
図表V-9



【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が50.0%以上となっています。ただし、40歳代と60歳代、70歳以上では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が他の年齢に比べると高くなっています。(図表V-10)

図表V-10



問 22 あなたは、学校教育の場において男女共同参画を推進するために、どのような取り組みをすればよいと思いますか。次の中から選んでください。  
(○は3つまで)

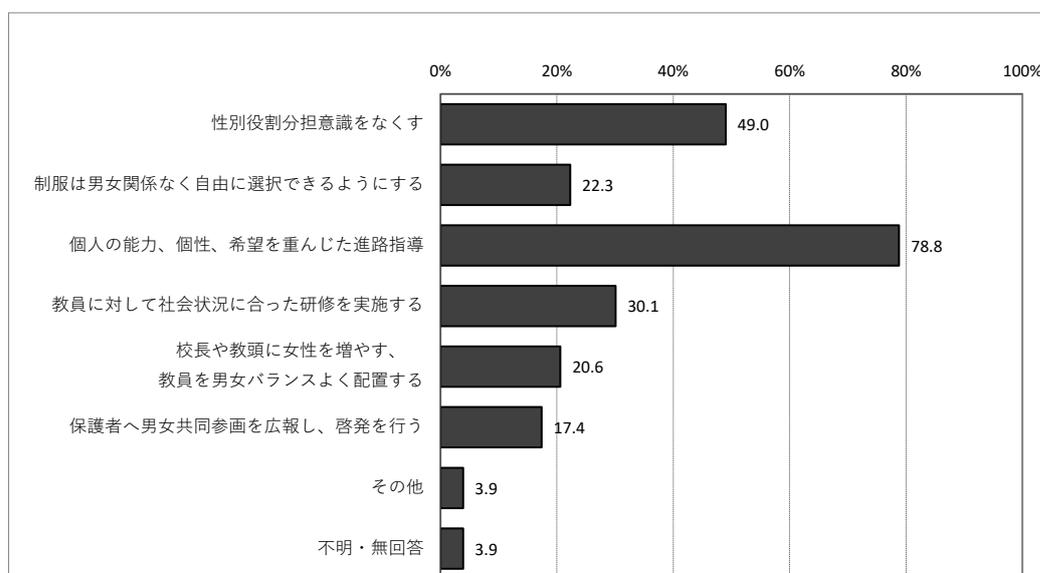
複数回答 (3つまで)

クロス集計：子どもの有無・年齢

「個人の能力、個性、希望を重んじた進路指導」が78.8%と最も高く、次いで「性別役割分担意識をなくす」が49.0%、「教員に対して社会状況に合った研修を実施する」が30.1%となっています。(図表V-11)

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「大人が率先して男女共同参画に取り組む」、「男女共同参画に関する取組への参加の義務付け」、「男女平等の推進」、「児童・生徒間での議論」などとなっています。(図表V-12)

図表V-11



図表V-12 「その他」の内容の分類

| 分類                    | 件数 (件) |
|-----------------------|--------|
| 大人が率先して男女共同参画に取り組む    | 3      |
| 男女共同参画に関する取組への参加の義務付け | 2      |
| 男女平等の推進               | 2      |
| 児童・生徒間での議論            | 2      |
| 家庭内での議論               | 1      |
| 教育の充実                 | 1      |
| 特にない                  | 1      |
| わからない                 | 3      |
| その他                   | 10     |

## VI 災害について（問 23）

VIでは、平時の防災体制や災害時の対応にも男女共同参画の視点が必要とされていることを踏まえて、災害に備えるために今後必要な施策について尋ねています。

問 23 東日本大震災や熊本地震などの教訓から、平時の防災体制や災害時の対応にも男女共同参画の視点が必要だと指摘されています。災害に備えるために、これからどのような施策が必要だと思いますか。

（○はいくつでも）

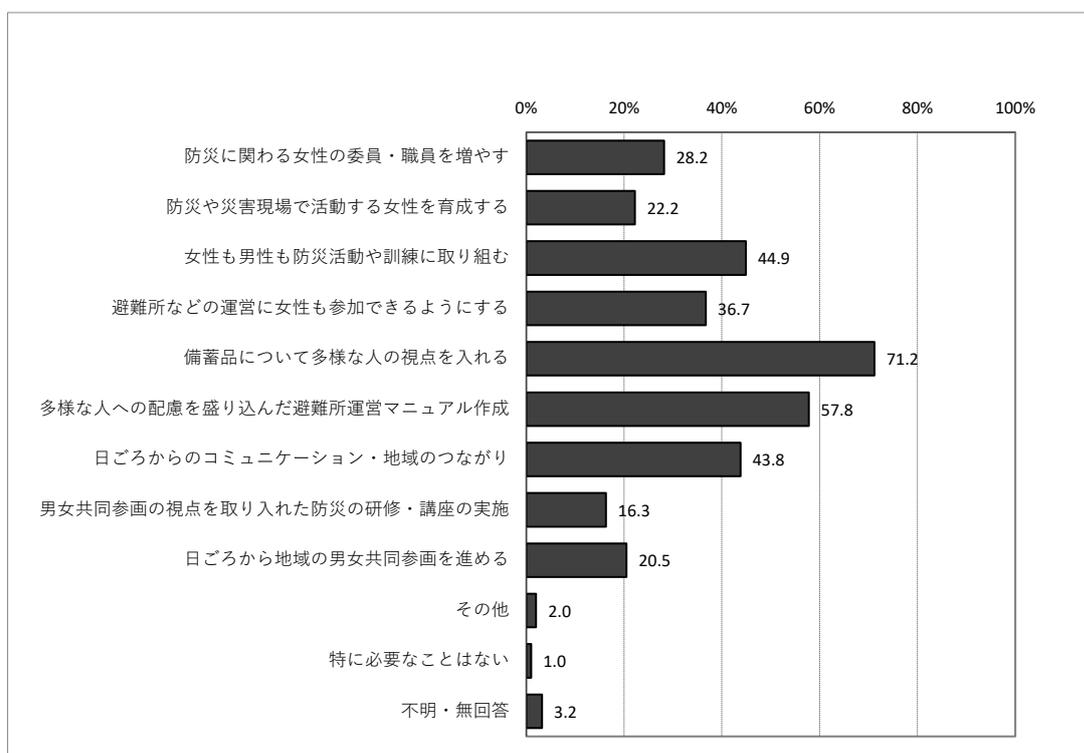
複数回答

クロス集計：性別

「備蓄品について多様な人の視点を入れる」が71.2%と最も高く、次いで「多様な人への配慮を盛り込んだ避難所運営マニュアル作成」が57.8%、「女性も男性も防災活動や訓練に取り組む」が44.9%となっています。（図表VI-1）

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「男女関係なく必要・重要」、「防災に関する情報提供の改善・工夫」、「災害対策用品にユニバーサルデザインを取り入れる」などとなっています。（図表VI-2）

図表VI-1



図表VI-2 「その他」の内容の分類

| 分類                      | 件数 (件) |
|-------------------------|--------|
| 全員参加の防災訓練を行う            | 2      |
| 実態調査を行う                 | 1      |
| 防災に関する情報提供の改善・工夫        | 2      |
| 災害対策用品にユニバーサルデザインを取り入れる | 2      |
| 男女関係なく必要・重要             | 5      |
| わからない                   | 3      |
| その他                     | 3      |

【性別によるクロス集計】

女性は「日頃からのコミュニケーション・地域のつながり」の割合が男性に比べると高いです。また、男性は「女性も防災活動や訓練に取り組む」の割合が女性に比べると高いです。(図表VI-3)

図表VI-3

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 防災に関わる女性の委員・職員を増やす | 防災や災害現場で活動する女性を育成する | 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む | 避難所などの運営に女性も参加できるようにする | 備蓄品について多様な人の視点を入れる |
|---------------|--------------|--------------------|---------------------|--------------------|------------------------|--------------------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 112<br>25.4        | 79<br>17.9          | 179<br>40.6        | 152<br>34.5            | 337<br>76.4        |
| 男性            | 335<br>100.0 | 105<br>31.3        | 95<br>28.4          | 173<br>51.6        | 134<br>40.0            | 222<br>66.3        |
| その他           | 1<br>100.0   | -<br>-             | -<br>-              | -<br>-             | -<br>-                 | 1<br>100.0         |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | 6<br>40.0          | 2<br>13.3           | 4<br>26.7          | 5<br>33.3              | 4<br>26.7          |

| 上段：度数<br>下段：% | 多様な人への配慮を盛り込んだ避難所運営マニュアル作成 | 日ごろからのコミュニケーション・地域のつながり | 男女共同参画の視点を取り入れた防災の研修・講座の実施 | 日ごろから地域の男女共同参画を進める | その他       | 特に必要なことはない | 不明・無回答    |
|---------------|----------------------------|-------------------------|----------------------------|--------------------|-----------|------------|-----------|
| 女性            | 277<br>62.8                | 205<br>46.5             | 63<br>14.3                 | 84<br>19.0         | 5<br>1.1  | 4<br>0.9   | 12<br>2.7 |
| 男性            | 177<br>52.8                | 136<br>40.6             | 62<br>18.5                 | 76<br>22.7         | 10<br>3.0 | 4<br>1.2   | 6<br>1.8  |
| その他           | -<br>-                     | -<br>-                  | -<br>-                     | -<br>-             | -<br>-    | -<br>-     | -<br>-    |
| 不明・無回答        | 4<br>26.7                  | 6<br>40.0               | 4<br>26.7                  | 2<br>13.3          | 1<br>6.7  | -<br>-     | 7<br>46.7 |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

VII フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）について（問 24～問 26）

VIIでは、フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）の認知度と利用経験、今後充実させるべきことについて尋ねています。

問 24 フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）についてお聞きします。

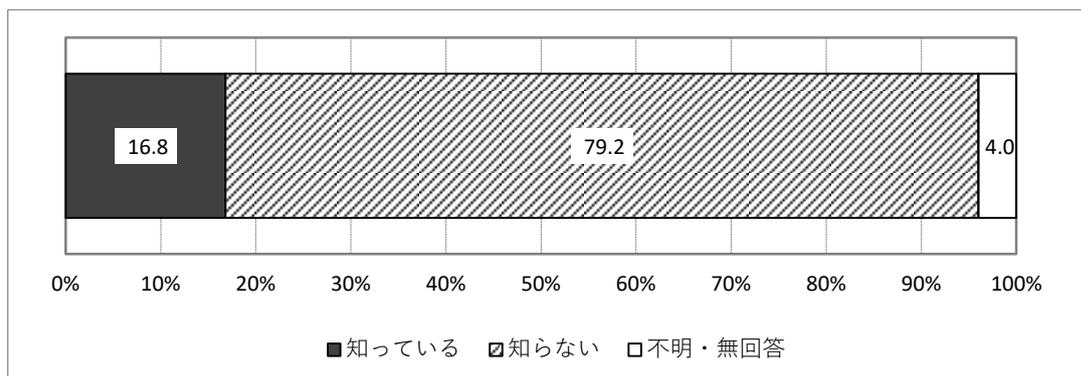
問 24-1 あなたは、フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）を知っていますか。

単数回答 (N=792)

クロス集計：性別、年齢

フレアス舞鶴を知らない回答者が約 80.0%を占めています。「知らない」は「知っている」の 4.7 倍となっています。（図表VII-1）

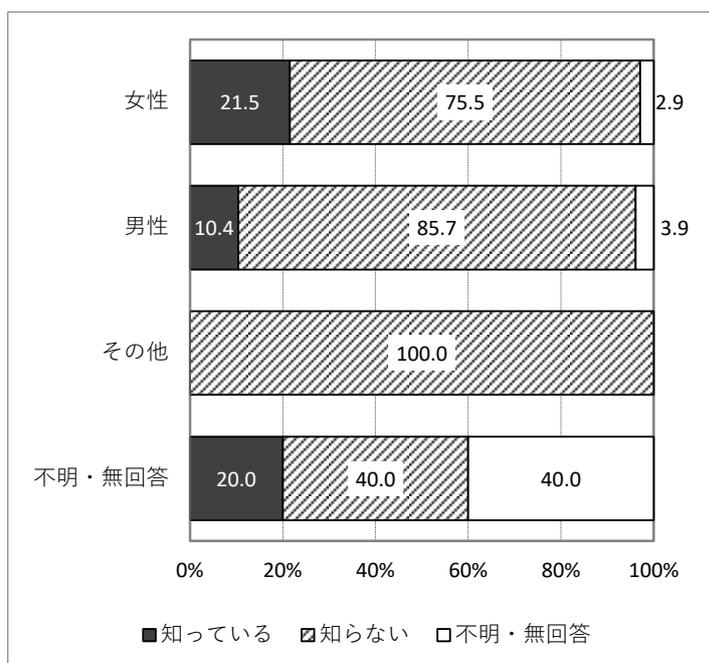
図表VII-1



【性別によるクロス集計】

男女ともに「知らない」の割合が最も高いです。ただし、女性は「知っている」の割合が男性に比べると高くなっています。(図表VII-2)

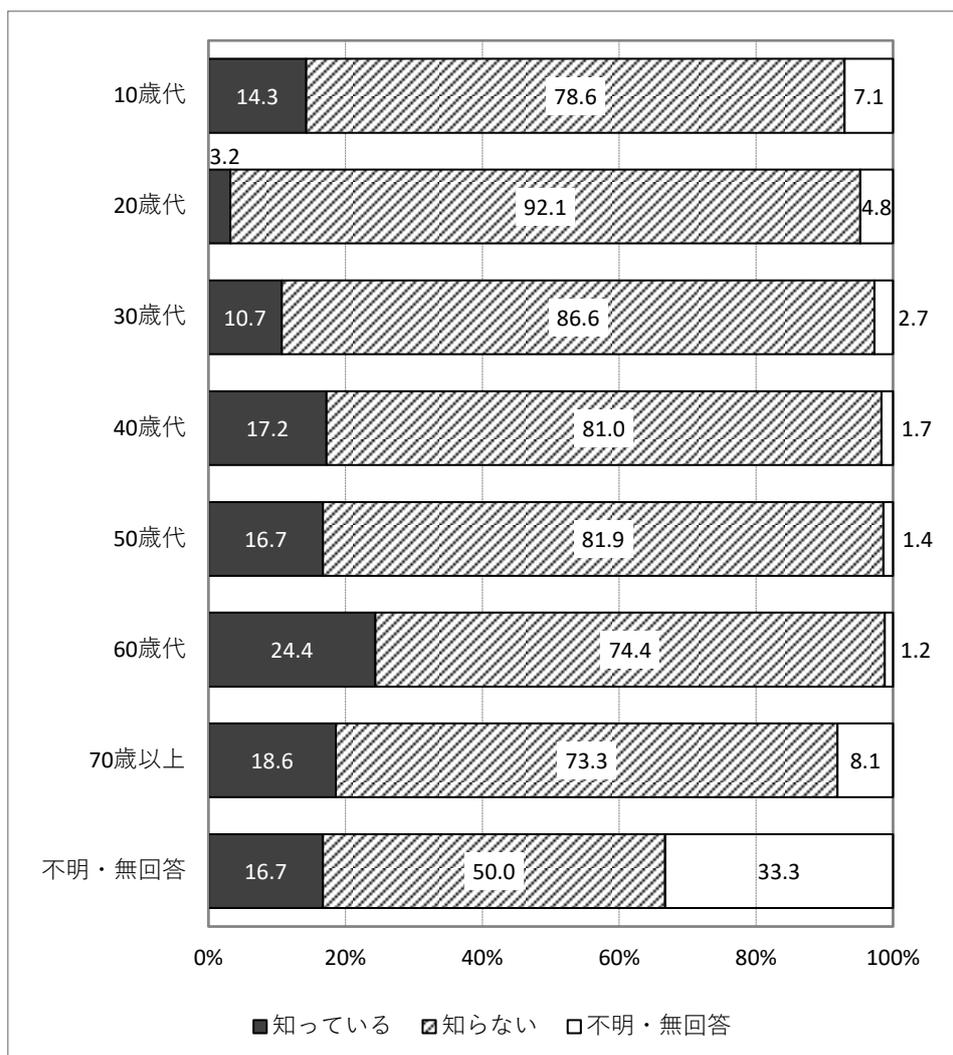
図表VII-2



【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず「知らない」の割合が70.0%以上となっています。ただし、20歳代と30歳代では「知らない」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、60歳以上では「知っている」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表VII-3)。

図表VII-3



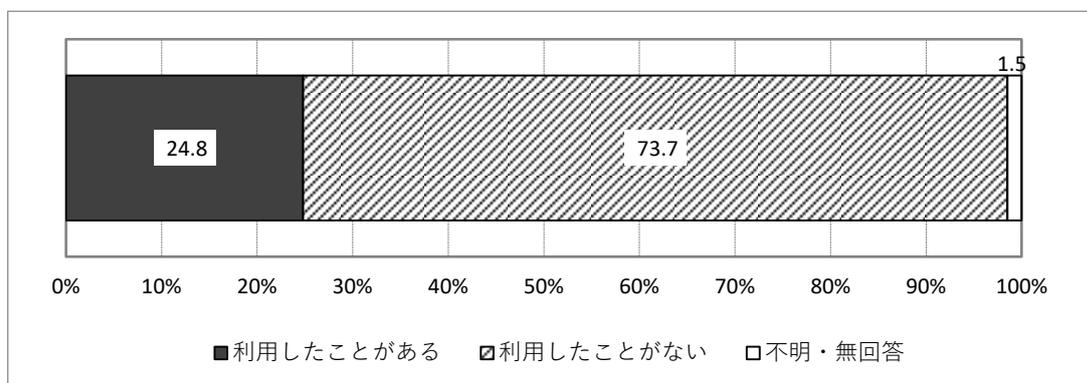
問 24-2 「1. 知っている」と答えた方のみ回答ください。フレアス舞鶴を利用したことがありますか。

単数回答 (N=133)

クロス集計：性別、年齢

フレアス舞鶴を利用したことがない回答者の割合の方が高く、73.7%となっています。また、「利用したことがない」は、「利用したことがある」の約3倍となっています。(図表VII-4)

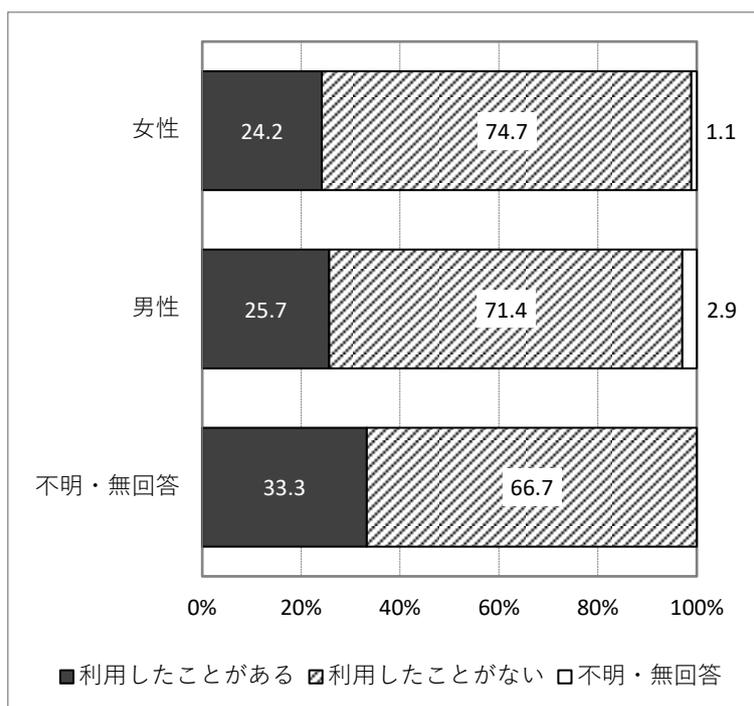
図表VII-4



【性別によるクロス集計】

男女ともに「利用したことがない」の割合が最も高いです。施設の認知度については性別による違いが若干見られましたが、利用経験については性別による違いは特に見られません。(図表VII-5)

図表VII-5

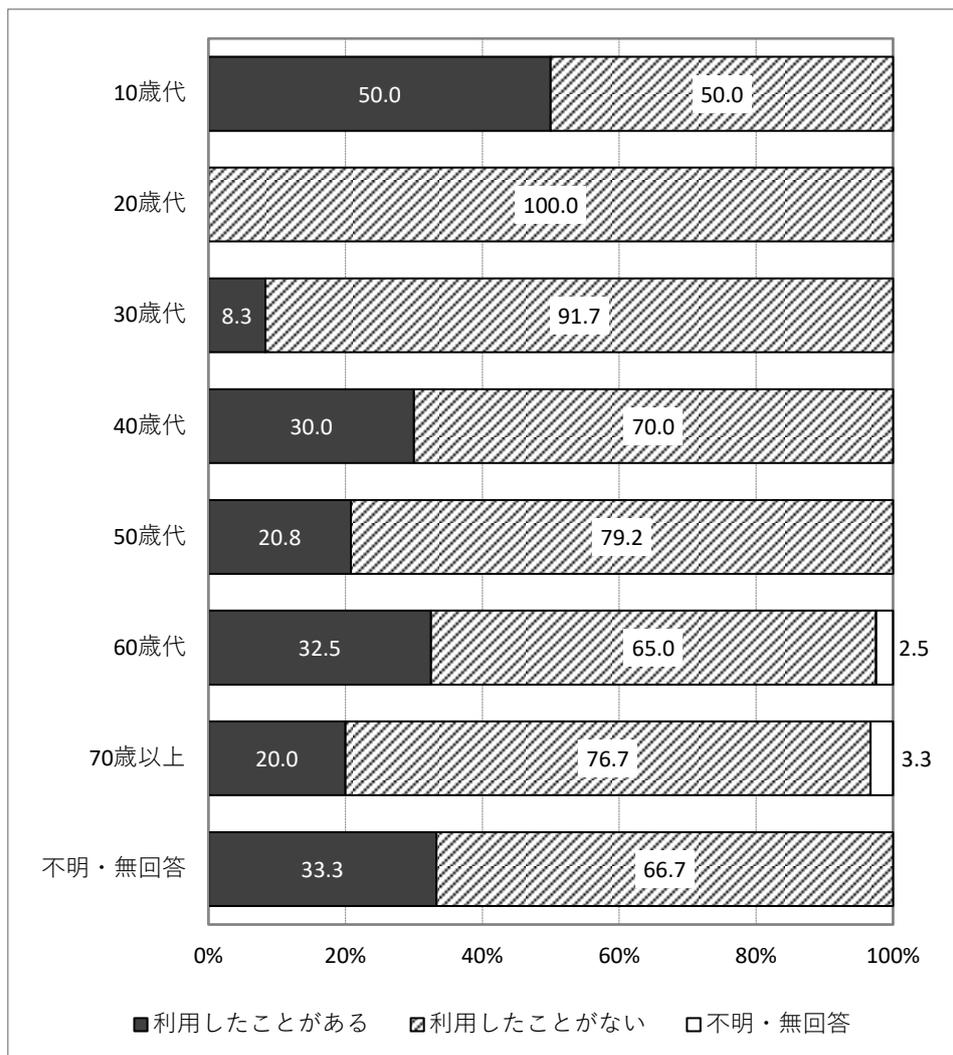


(注1) 性別の「その他」については、該当する回答がなかったため表示していません。

【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず「利用したことがない」の割合が60.0%以上となっています。ただし、40歳代と60歳代では「利用したことがある」の割合が他の年齢に比べると高くなっています。(図表VII-6)

図表VII-6



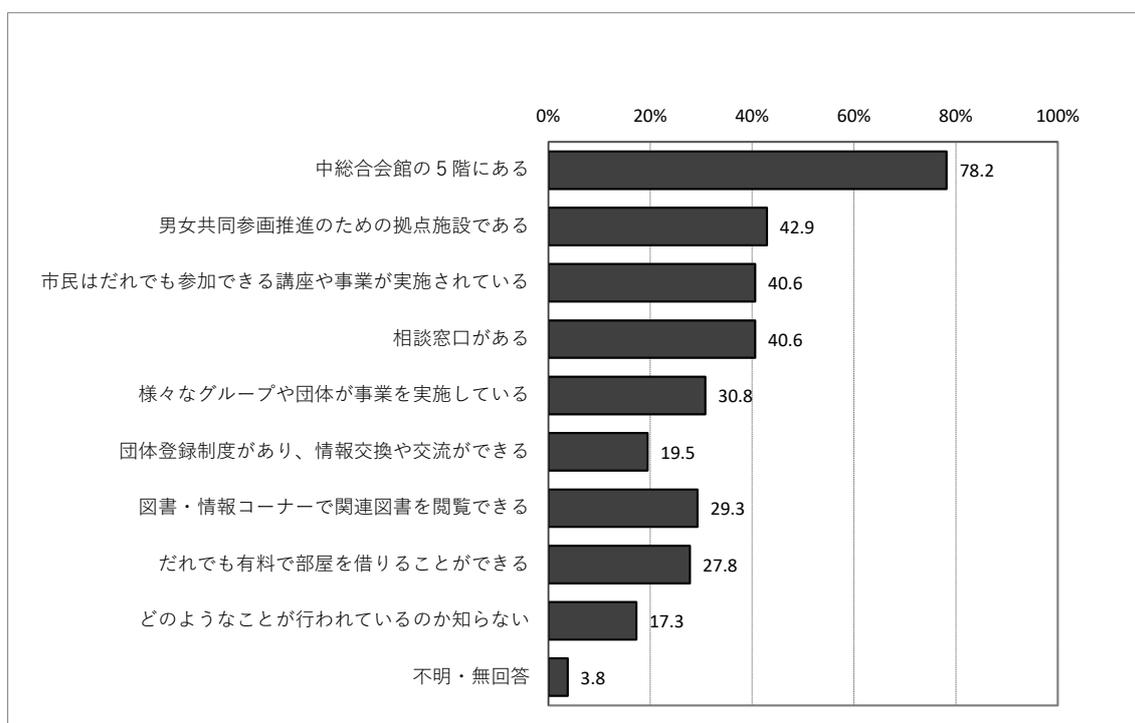
問 25 フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）について知っていることを次の中から選んでください。（○はいくつでも）

複数回答

クロス集計：性別

「中総合会館の5階にある」が78.2%と最も高く、次いで「男女共同参画推進のための拠点施設である」が42.9%、「市民はだれでも参加できる講座や事業が実施されている」が40.6%となっています。（図表VII-7）

図表VII-7



【性別によるクロス集計】

男女ともに「中総合会館の5階にある」、「男女共同参画推進のための拠点施設である」、「市民はだれでも参加できる講座や事業が実施されている」、「相談窓口がある」の割合が高いです。また、女性は「相談窓口がある」の割合が男性に比べると高くなっています。(図表VII-8)

図表VII-8

| 上段：度数<br>下段：% | 合計          | 中総合会館<br>の5階にあ<br>る | 男女共同参<br>画推進のた<br>めの拠点施<br>設である | 市民はだれ<br>でも参加で<br>きる講座や<br>事業が実施<br>されている | 相談窓口が<br>ある | 様々なグ<br>ループや団<br>体が事業を<br>実施してい<br>る | 団体登録制<br>度があり、<br>情報交換や<br>交流ができ<br>る | 図書・情報<br>コーナーで<br>関連図書を<br>閲覧できる | だれでも有<br>料で部屋を<br>借りること<br>ができる | どのような<br>ことが行わ<br>れているの<br>か知らない | 不明・無回<br>答 |
|---------------|-------------|---------------------|---------------------------------|---|-------------|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|------------|
| 女性            | 95<br>100.0 | 72<br>75.8          | 38<br>40.0                      | 38<br>40.0                                | 41<br>43.2  | 30<br>31.6                           | 16<br>16.8                            | 28<br>29.5                       | 24<br>25.3                      | 20<br>21.1                       | 3<br>3.2   |
| 男性            | 35<br>100.0 | 29<br>82.9          | 17<br>48.6                      | 15<br>42.9                                | 11<br>31.4  | 10<br>28.6                           | 9<br>25.7                             | 10<br>28.6                       | 11<br>31.4                      | 3<br>8.6                         | 2<br>5.7   |
| その他           | -           | -                   | -                               | -   | -           | -                                    | -                                     | -                                | -                               | -                                | -          |
| 不明・無回答        | 3<br>100.0  | 3<br>100.0          | 2<br>66.7                       | 1<br>33.3                                 | 2<br>66.7   | 1<br>33.3                            | 1<br>33.3                             | 1<br>33.3                        | 2<br>66.7                       | -                                | -          |

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

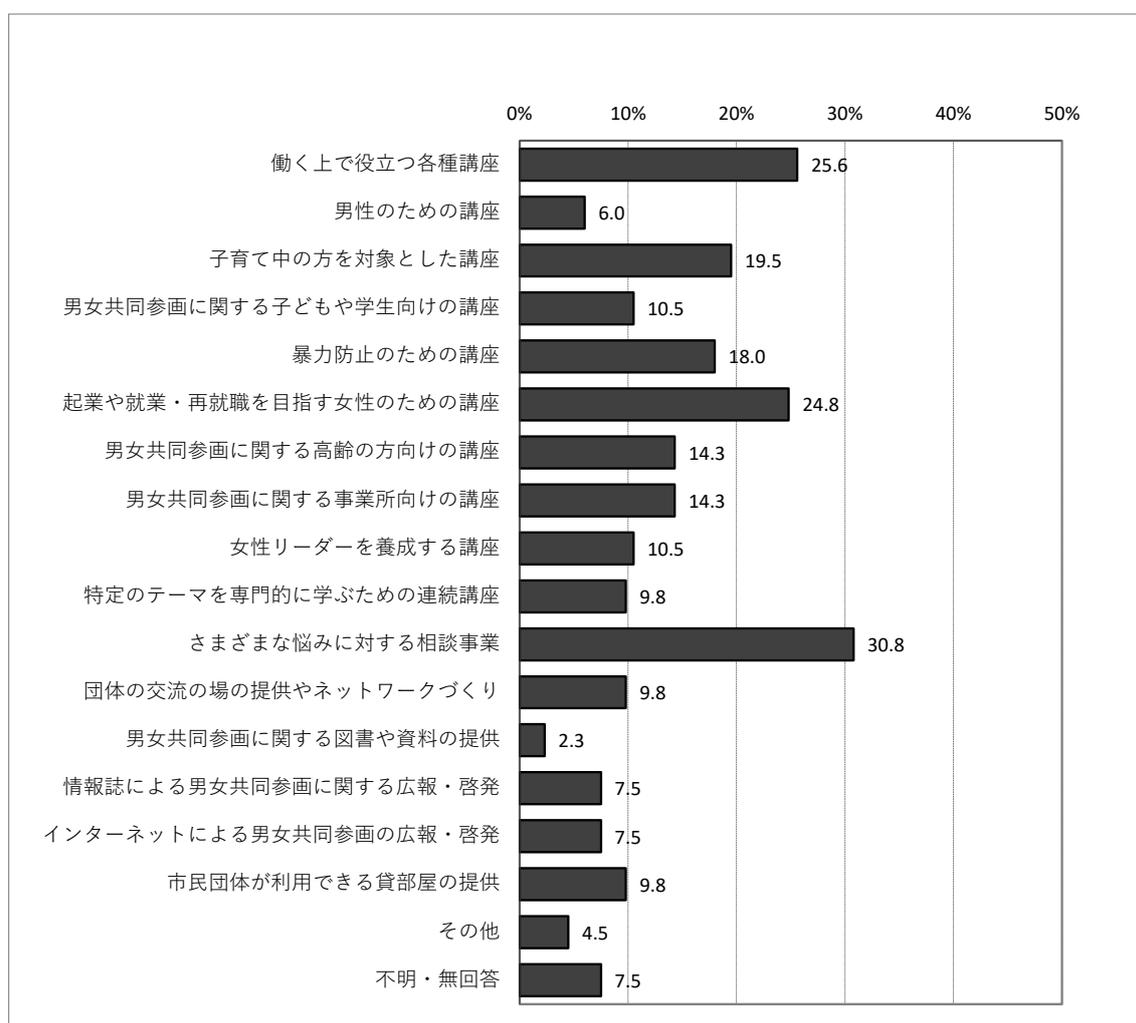
問 26 フレアス舞鶴の事業としてどのようなことを充実すべきだと思いますか。  
次の中から選んでください。(〇は3つまで)

複数回答 (3つまで)

クロス集計：性別、年齢

「さまざまな悩みに対する相談事業」が30.8%と最も高く、次いで「働く上で役立つ各種講座」が25.6%、「起業や就業・再就職を目指す女性のための講座」が24.8%となっています。(図表VII-9)

図表VII-9



【性別によるクロス集計】

性別による違いは特に見られません。男女ともに「さまざまな悩みに対する相談事業」と「起業や就業・再就職を目指す女性のための講座」の割合が高いです。(図表VII-10)

図表VII-10

| 上段：度数<br>下段：% | 合計          | 働く上で役立つ各種講座 | 男性のための講座 | 子育て中の方を対象とした講座 | 男女共同参画に関する子どもや学生向けの講座 | 暴力防止のための講座 | 起業や就業・再就職を目指す女性のための講座 | 男女共同参画に関する高齢の方向けの講座 | 男女共同参画に関する事業所向けの講座 |
|---------------|-------------|-------------|----------|----------------|-----------------------|------------|-----------------------|---------------------|--------------------|
| 女性            | 95<br>100.0 | 26<br>27.4  | 6<br>6.3 | 21<br>22.1     | 9<br>9.5              | 15<br>15.8 | 25<br>26.3            | 14<br>14.7          | 12<br>12.6         |
| 男性            | 35<br>100.0 | 6<br>17.1   | 2<br>5.7 | 4<br>11.4      | 4<br>11.4             | 9<br>25.7  | 8<br>22.9             | 4<br>11.4           | 6<br>17.1          |
| その他           | -           | -           | -        | -              | -                     | -          | -                     | -                   | -                  |
| 不明・無回答        | 3<br>100.0  | 2<br>66.7   | -        | 1<br>33.3      | 1<br>33.3             | -          | -                     | 1<br>33.3           | 1<br>33.3          |

| 上段：度数<br>下段：% | 女性リーダーを養成する講座 | 特定のテーマを専門的に学ぶための連続講座 | さまざまな悩みに対する相談事業 | 団体の交流の場の提供やネットワークづくり | 男女共同参画に関する図書や資料の提供 | 情報誌による男女共同参画に関する広報・啓発 | インターネットによる男女共同参画の広報・啓発 | 市民団体が利用できる貸部屋の提供 | その他      | 不明・無回答    |
|---------------|---------------|----------------------|-----------------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|------------------|----------|-----------|
| 女性            | 11<br>11.6    | 11<br>11.6           | 28<br>29.5      | 11<br>11.6           | 2<br>2.1           | 9<br>9.5              | 5<br>5.3               | 12<br>12.6       | 3<br>3.2 | 5<br>5.3  |
| 男性            | 3<br>8.6      | 2<br>5.7             | 13<br>37.1      | 2<br>5.7             | 1<br>2.9           | 1<br>2.9              | 5<br>14.3              | 1<br>2.9         | 3<br>8.6 | 4<br>11.4 |
| その他           | -             | -                    | -               | -                    | -                  | -                     | -                      | -                | -        | -         |
| 不明・無回答        | -             | -                    | -               | -                    | -                  | -                     | -                      | -                | -        | 1<br>33.3 |

(注1) 網掛けは、各性別における上位5項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

40 歳代では「子育て中の方を対象とした講座」と「特定のテーマを専門的に学ぶための連続講座」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、50 歳代では「起業や就業・再就職を目指す女性のための講座」と「さまざまな悩みに対する相談事業」の割合が他の年齢に比べると高いです。70 歳以上では「働く上で役立つ各種講座」と「男女共同参画に関する高齢の方向けの講座」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表VII-11)

図表VII-11

| 上段：度数<br>下段：% | 合計          | 働く上で役立つ各種講座 | 男性のための講座  | 子育て中の方を対象とした講座 | 男女共同参画に関する子どもや学生向けの講座 | 暴力防止のための講座 | 起業や就業・再就職を目指す女性のための講座 | 男女共同参画に関する高齢の方向けの講座 | 男女共同参画に関する事業所向けの講座 |
|---------------|-------------|-------------|-----------|----------------|-----------------------|------------|-----------------------|---------------------|--------------------|
| 10歳代          | 2<br>100.0  | -           | -         | -              | 1<br>50.0             | 1<br>50.0  | -                     | -                   | 1<br>50.0          |
| 20歳代          | 2<br>100.0  | -           | -         | -              | -                     | -          | -                     | -                   | -                  |
| 30歳代          | 12<br>100.0 | 2<br>16.7   | 1<br>8.3  | 3<br>25.0      | 1<br>8.3              | 1<br>8.3   | 3<br>25.0             | 1<br>8.3            | 3<br>25.0          |
| 40歳代          | 20<br>100.0 | 4<br>20.0   | 1<br>5.0  | 7<br>35.0      | 4<br>20.0             | 3<br>15.0  | 4<br>20.0             | 3<br>15.0           | 3<br>15.0          |
| 50歳代          | 24<br>100.0 | 7<br>29.2   | -         | 2<br>8.3       | -                     | 3<br>12.5  | 11<br>45.8            | -                   | 1<br>4.2           |
| 60歳代          | 40<br>100.0 | 9<br>22.5   | 3<br>7.5  | 8<br>20.0      | 2<br>5.0              | 10<br>25.0 | 9<br>22.5             | 5<br>12.5           | 5<br>12.5          |
| 70歳以上         | 30<br>100.0 | 10<br>33.3  | 3<br>10.0 | 5<br>16.7      | 5<br>16.7             | 6<br>20.0  | 6<br>20.0             | 9<br>30.0           | 5<br>16.7          |
| 不明・無回答        | 3<br>100.0  | 2<br>66.7   | -         | 1<br>33.3      | 1<br>33.3             | -          | -                     | 1<br>33.3           | 1<br>33.3          |

| 上段：度数<br>下段：% | 女性リーダーを養成する講座 | 特定のテーマを専門的に学ぶための連続講座 | さまざまな悩みに対する相談事業 | 団体の交流の場の提供やネットワークづくり | 男女共同参画に関する図書や資料の提供 | 情報誌による男女共同参画に関する広報・啓発 | インターネットによる男女共同参画の広報・啓発 | 市民団体が利用できる貸部屋の提供 | その他       | 不明・無回答    |
|---------------|---------------|----------------------|-----------------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|------------------|-----------|-----------|
| 10歳代          | -             | -                    | 1<br>50.0       | 1<br>50.0            | -                  | -                     | -                      | -                | 1<br>50.0 | -         |
| 20歳代          | -             | -                    | -               | -                    | -                  | -                     | 1<br>50.0              | -                | -         | 1<br>50.0 |
| 30歳代          | -             | -                    | 3<br>25.0       | 1<br>8.3             | -                  | -                     | 1<br>8.3               | -                | 1<br>8.3  | 2<br>16.7 |
| 40歳代          | 2<br>10.0     | 5<br>25.0            | 5<br>25.0       | 4<br>20.0            | -                  | 3<br>15.0             | 1<br>5.0               | 3<br>15.0        | -         | -         |
| 50歳代          | 3<br>12.5     | 4<br>16.7            | 11<br>45.8      | 3<br>12.5            | -                  | 1<br>4.2              | 2<br>8.3               | 1<br>4.2         | -         | 1<br>4.2  |
| 60歳代          | 6<br>15.0     | 2<br>5.0             | 13<br>32.5      | 3<br>7.5             | 3<br>7.5           | 4<br>10.0             | 2<br>5.0               | 5<br>12.5        | 4<br>10.0 | 2<br>5.0  |
| 70歳以上         | 3<br>10.0     | 2<br>6.7             | 8<br>26.7       | 1<br>3.3             | -                  | 2<br>6.7              | 3<br>10.0              | 4<br>13.3        | -         | 3<br>10.0 |
| 不明・無回答        | -             | -                    | -               | -                    | -                  | -                     | -                      | -                | -         | 1<br>33.3 |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位5項目を示しています。

VIII 男女共同参画全体について（問 27・自由記述）

VIIIでは、男女共同参画社会の実現に向けて舞鶴市が力を入れて取り組むべきことについて尋ねています。

問 27 あなたは、「男女共同参画社会」の実現に向けて、舞鶴市はどのようなことに力を入れて取り組むべきと思いますか。（〇は3つまで）

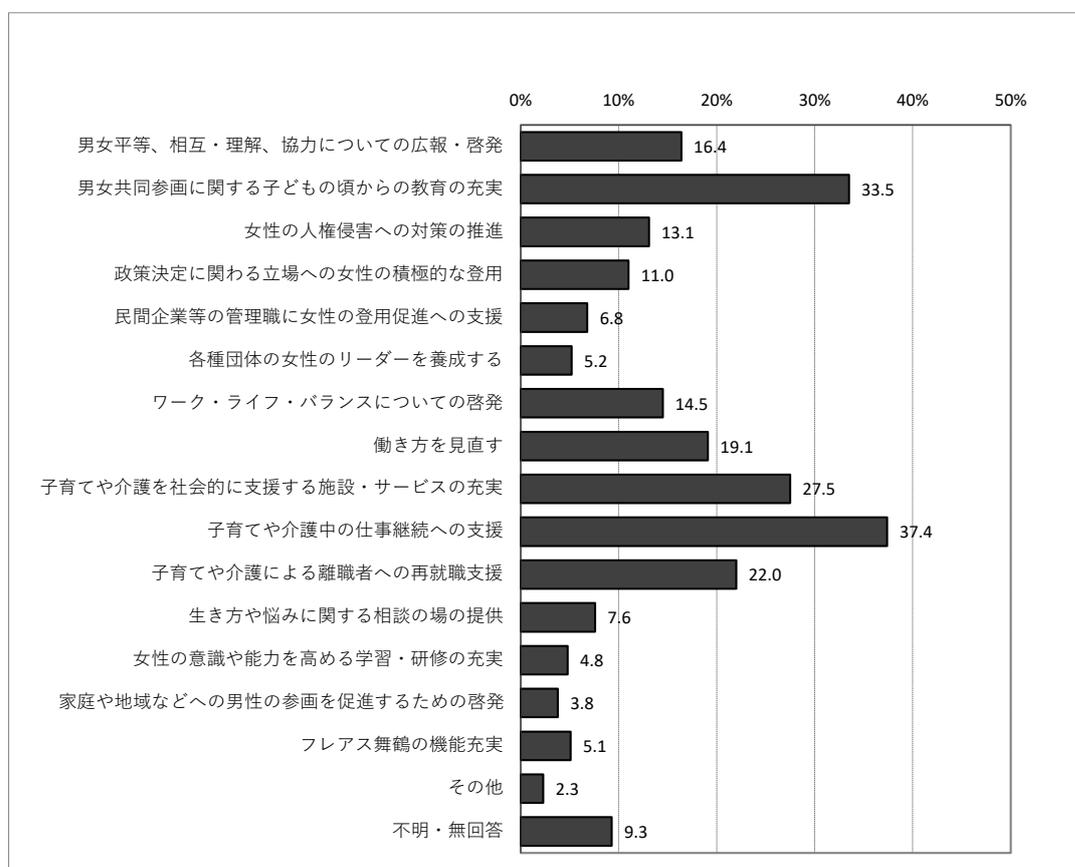
複数回答（3つまで）

クロス集計：性別、年齢、結婚、子どもの有無・年齢

「子育てや介護中の仕事継続への支援」が37.4%と最も高く、次いで「男女共同参画に関する子どもの頃からの教育の充実」が33.5%、「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実」が27.5%となっています。（図表VIII-1）

「その他」として挙げられている内容を分類すると、「固定観念や古い慣習を変えていくこと」、「教育の改善」、「男女問わず能力で登用する」、「様々な人が参加しやすい環境の整備」、「必要ない」などとなっています。（図表VIII-2）

図VIII-1



表Ⅷ－２ 「その他」の内容の分類

| 分類                | 件数（件） |
|-------------------|-------|
| 教育の改善             | 2     |
| 固定観念や古い慣習を変えていくこと | 3     |
| 男女問わず能力で登用する      | 2     |
| 様々な人が参加しやすい環境の整備  | 2     |
| 必要ない              | 2     |
| わからない             | 4     |
| その他               | 3     |

【性別によるクロス集計】

性別による違いは特に見られません。男女ともに仕事継続のための支援、子どもの頃からの教育の充実、子育てや介護を支援するサービスの充実の割合が高くなっています。（図表Ⅷ－３）

図表Ⅷ－３

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 男女平等、相互・理解、協力についての広報・啓発 | 男女共同参画に関する子どもの頃からの教育の充実 | 女性の人権侵害への対策の推進 | 政策決定に関わる立場への女性の積極的な登用 | 民間企業等の管理職に女性の登用促進への支援 | 各種団体の女性のリーダーを養成する | ワーク・ライフ・バランスについての啓発 | 働き方を見直す    |
|---------------|--------------|-------------------------|-------------------------|----------------|-----------------------|-----------------------|-------------------|---------------------|------------|
| 女性            | 441<br>100.0 | 56<br>12.7              | 147<br>33.3             | 59<br>13.4     | 56<br>12.7            | 23<br>5.2             | 23<br>5.2         | 75<br>17.0          | 86<br>19.5 |
| 男性            | 335<br>100.0 | 74<br>22.1              | 117<br>34.9             | 45<br>13.4     | 31<br>9.3             | 31<br>9.3             | 18<br>5.4         | 40<br>11.9          | 64<br>19.1 |
| その他           | 1<br>100.0   | -                       | -                       | -              | -                     | -                     | -                 | -                   | 1<br>100.0 |
| 不明・無回答        | 15<br>100.0  | -                       | 1<br>6.7                | -              | -                     | -                     | -                 | -                   | -          |

| 上段：度数<br>下段：% | 子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実 | 子育てや介護中の仕事継続への支援 | 子育てや介護による離職者への再就職支援 | 生き方や悩みに関する相談の場の提供 | 女性の意識や能力を高める学習・研修の充実 | 家庭や地域などへの男性の参画を促進するための啓発 | フレアス舞鶴の機能充実 | その他       | 不明・無回答     |
|---------------|---------------------------|------------------|---------------------|-------------------|----------------------|--------------------------|-------------|-----------|------------|
| 女性            | 134<br>30.4               | 178<br>40.4      | 96<br>21.8          | 37<br>8.4         | 21<br>4.8            | 18<br>4.1                | 19<br>4.3   | 8<br>1.8  | 37<br>8.4  |
| 男性            | 84<br>25.1                | 118<br>35.2      | 77<br>23.0          | 23<br>6.9         | 17<br>5.1            | 12<br>3.6                | 21<br>6.3   | 10<br>3.0 | 23<br>6.9  |
| その他           | -                         | -                | -                   | -                 | -                    | -                        | -           | -         | -          |
| 不明・無回答        | -                         | -                | 1<br>6.7            | -                 | -                    | -                        | -           | -         | 14<br>93.3 |

（注１）網掛けは、各性別における上位５項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

20歳代では「子どもの頃からの教育の充実」が上位3項目に入っておらず、「ワークライフバランスについての啓発と働き方の見直し」が上位3項目に入っているという点が他の年齢とは異なります。60歳代と70歳以上では「子どもの頃からの教育の充実」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、30歳代と40歳代では「仕事継続のための支援」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表Ⅷ-4)

図表Ⅷ-4

| 上段：度数<br>下段：% | 合計           | 男女平等、<br>相互・理<br>解、協力に<br>ついての広<br>報・啓発 | 男女共同参<br>画に関する<br>子どもの頃<br>からの教育<br>の充実 | 女性の人権<br>侵害への対<br>策の推進 | 政策決定に<br>関わる立場<br>への女性の<br>積極的な登<br>用 | 民間企業等<br>の管理職に<br>女性の登用<br>促進への支<br>援 | 各種団体の<br>女性のリー<br>ダーを養成<br>する | ワーク・ラ<br>イフ・バラ<br>ンスについ<br>ての啓発 | 働き方を見<br>直す |
|---------------|--------------|---|---|------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------|
| 10歳代          | 14<br>100.0  | 3<br>21.4                               | 5<br>35.7                               | 3<br>21.4              | 2<br>14.3                             | 1<br>7.1                              | 1<br>7.1                      | 4<br>28.6                       | 4<br>28.6   |
| 20歳代          | 63<br>100.0  | 8<br>12.7                               | 15<br>23.8                              | 12<br>19.0             | 3<br>4.8                              | 2<br>3.2                              | 4<br>6.3                      | 20<br>31.7                      | 22<br>34.9  |
| 30歳代          | 112<br>100.0 | 15<br>13.4                              | 33<br>29.5                              | 10<br>8.9              | 15<br>13.4                            | 8<br>7.1                              | 8<br>7.1                      | 25<br>22.3                      | 32<br>28.6  |
| 40歳代          | 116<br>100.0 | 16<br>13.8                              | 38<br>32.8                              | 12<br>10.3             | 9<br>7.8                              | 9<br>7.8                              | 3<br>2.6                      | 22<br>19.0                      | 32<br>27.6  |
| 50歳代          | 144<br>100.0 | 19<br>13.2                              | 42<br>29.2                              | 21<br>14.6             | 17<br>11.8                            | 8<br>5.6                              | 8<br>5.6                      | 18<br>12.5                      | 18<br>12.5  |
| 60歳代          | 164<br>100.0 | 40<br>24.4                              | 68<br>41.5                              | 27<br>16.5             | 22<br>13.4                            | 14<br>8.5                             | 11<br>6.7                     | 21<br>12.8                      | 21<br>12.8  |
| 70歳以上         | 161<br>100.0 | 28<br>17.4                              | 63<br>39.1                              | 19<br>11.8             | 18<br>11.2                            | 12<br>7.5                             | 6<br>3.7                      | 4<br>2.5                        | 22<br>13.7  |
| 不明・無回答        | 18<br>100.0  | 1<br>5.6                                | 1<br>5.6                                | -<br>-                 | 1<br>5.6                              | -<br>-                                | -<br>-                        | 1<br>5.6                        | -<br>-      |

| 上段：度数<br>下段：% | 子育てや介<br>護を社会的<br>に支援する<br>施設・サー<br>ビスの充実 | 子育てや介<br>護中の仕事<br>継続への支<br>援 | 子育てや介<br>護による離<br>職者への再<br>就職支援 | 生き方や悩<br>みに関する<br>相談の場の<br>提供 | 女性の意識<br>や能力を高<br>める学習・<br>研修の充実 | 家庭や地域<br>などへの男<br>性の参画を<br>促進するた<br>めの啓発 | フレアス舞<br>鶴の機能充<br>実 | その他      | 不明・無回<br>答 |
|---------------|---|------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--|---------------------|----------|------------|
| 10歳代          | 2<br>14.3                                 | 4<br>28.6                    | 3<br>21.4                       | 1<br>7.1                      | -<br>-                           | 1<br>7.1                                 | -<br>-              | 1<br>7.1 | -<br>-     |
| 20歳代          | 18<br>28.6                                | 25<br>39.7                   | 10<br>15.9                      | 10<br>15.9                    | 3<br>4.8                         | 1<br>1.6                                 | 3<br>4.8            | 2<br>3.2 | 3<br>4.8   |
| 30歳代          | 33<br>29.5                                | 47<br>42.0                   | 32<br>28.6                      | 5<br>4.5                      | 6<br>5.4                         | 5<br>4.5                                 | 6<br>5.4            | -<br>-   | 4<br>3.6   |
| 40歳代          | 27<br>23.3                                | 56<br>48.3                   | 23<br>19.8                      | 11<br>9.5                     | 7<br>6.0                         | 6<br>5.2                                 | 5<br>4.3            | 5<br>4.3 | 3<br>2.6   |
| 50歳代          | 45<br>31.3                                | 52<br>36.1                   | 36<br>25.0                      | 13<br>9.0                     | 6<br>4.2                         | 6<br>4.2                                 | 8<br>5.6            | 5<br>3.5 | 12<br>8.3  |
| 60歳代          | 52<br>31.7                                | 57<br>34.8                   | 35<br>21.3                      | 11<br>6.7                     | 9<br>5.5                         | 8<br>4.9                                 | 8<br>4.9            | 3<br>1.8 | 10<br>6.1  |
| 70歳以上         | 40<br>24.8                                | 52<br>32.3                   | 34<br>21.1                      | 9<br>5.6                      | 7<br>4.3                         | 3<br>1.9                                 | 10<br>6.2           | 2<br>1.2 | 28<br>17.4 |
| 不明・無回答        | 1<br>5.6                                  | 3<br>16.7                    | 1<br>5.6                        | -<br>-                        | -<br>-                           | -<br>-                                   | -<br>-              | -<br>-   | 14<br>77.8 |

(注1) 網掛けは、各年齢における上位5項目を示しています。

【子どもの有無と年齢によるクロス集計】

全体的な傾向は子どもの有無と年齢に関わらず概ね同じです。ただし、「男女共同参画に関する子どもの頃からの教育の充実」の割合は子どもが19歳以上の回答者で相対的に高くなっています。また、「働き方を見直す」は子どもが18歳以下の回答者と子どもがいない回答者で相対的に高くなっています。(図表Ⅷ-5)

図表Ⅷ-5

| 上段：度数<br>下段：% |       | 合計           | 男女平等、<br>相互・理<br>解、協力に<br>ついでの広<br>報・啓発 | 男女共同参<br>画に関する<br>子どもの頃<br>からの教育<br>の充実 | 女性の人権<br>侵害への対<br>策の推進 | 政策決定に<br>関わる立場<br>への女性の<br>積極的な登<br>用 | 民間企業等<br>の管理職に<br>女性の登用<br>促進への支<br>援 | 各種団体の<br>女性のリー<br>ダーを養成<br>する | ワーク・ラ<br>イフ・パラ<br>ンスについ<br>ての啓発 | 働き方を見<br>直す |
|---------------|-------|--------------|---|---|------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 362<br>100.0 | 49<br>13.5                              | 108<br>29.8                             | 44<br>12.2             | 45<br>12.4                            | 24<br>6.6                             | 20<br>5.5                     | 66<br>18.2                      | 88<br>24.3  |
|               | 19歳以上 | 339<br>100.0 | 65<br>19.2                              | 131<br>38.6                             | 47<br>13.9             | 32<br>9.4                             | 23<br>6.8                             | 18<br>5.3                     | 39<br>11.5                      | 50<br>14.7  |
| 子どもがいない       |       | 186<br>100.0 | 28<br>15.1                              | 55<br>29.6                              | 27<br>14.5             | 27<br>14.5                            | 12<br>6.5                             | 12<br>6.5                     | 31<br>16.7                      | 42<br>22.6  |

| 上段：度数<br>下段：% |       | 子育てや介<br>護を社会的<br>に支援する<br>施設・サー<br>ビスの充実 | 子育てや介<br>護中の仕事<br>継続への支<br>援 | 子育てや介<br>護による離<br>職者への再<br>就職支援 | 生き方や悩<br>みに関する<br>相談の場の<br>提供 | 女性の意識<br>や能力を高<br>める学習・<br>研修の充実 | 家庭や地域<br>などへの男<br>性の参画を<br>促進するた<br>めの啓発 | フレアス舞<br>鶴の機能充<br>実 | その他       | 不明・無回<br>答 |
|---------------|-------|---|------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--|---------------------|-----------|------------|
| 子どもがいる        | 18歳以下 | 97<br>26.8                                | 141<br>39.0                  | 83<br>22.9                      | 34<br>9.4                     | 17<br>4.7                        | 17<br>4.7                                | 17<br>4.7           | 10<br>2.8 | 20<br>5.5  |
|               | 19歳以上 | 104<br>30.7                               | 125<br>36.9                  | 72<br>21.2                      | 17<br>5.0                     | 18<br>5.3                        | 10<br>2.9                                | 16<br>4.7           | 6<br>1.8  | 34<br>10.0 |
| 子どもがいない       |       | 53<br>28.5                                | 61<br>32.8                   | 39<br>21.0                      | 23<br>12.4                    | 4<br>2.2                         | 9<br>4.8                                 | 9<br>4.8            | 5<br>2.7  | 13<br>7.0  |

(注1) 網掛けは、上位5項目を示しています。

自由記述1：男女共同参画について

男女共同参画についての意見や要望を分類すると図表Ⅷ－6のようになります。「男女ともに働きたい人が働ける社会になってほしい」、「古い考え方や固定観念が依然として残っている」、「男女問わず1人の人間として暮らせる社会を実現してほしい」、「性別ではなく能力で評価される社会にしていくことが必要」、「男女の性差も考慮すべき」、「今後の取組や展開に期待する」などが挙げられています。

図表Ⅷ－6

| 分類                                  | 件数（件） |
|-------------------------------------|-------|
| 男女問わず1人の人間として暮らせる社会を実現してほしい         | 12    |
| 男女ともに意識改革が必要である                     | 2     |
| 男女ともに働きたい人が働ける社会になってほしい             | 17    |
| 性別ではなく能力で評価される社会にしていくことが必要          | 10    |
| 学校教育の改善が必要                          | 4     |
| 男女の性差も考慮すべき                         | 9     |
| 働きやすさ、仕事と家庭の両立、地域活動への参加促進には男性の視点も必要 | 7     |
| 社会全体が取り組むべき                         | 6     |
| 中高年の男性の意識改革が必要                      | 5     |
| 女性の積極的な参加や社会進出が必要                   | 6     |
| 広報・啓発活動の充実と工夫が必要                    | 8     |
| 教育や研修の機会の充実が必要                      | 3     |
| 男女平等が重要                             | 2     |
| 古い考え方や固定観念が依然として残っている               | 16    |
| 以前と比べて最近は変わってきている                   | 4     |
| 今後の取組や展開に期待する                       | 9     |
| 特にない                                | 5     |
| 関心を持ってない                            | 3     |
| わからない                               | 5     |
| その他                                 | 5     |

## 自由記述2：フレアス舞鶴について

フレアス舞鶴についての意見や要望を分類すると、図表Ⅷ－7のようになります。「広報活動の工夫と充実が必要」、「このアンケートで初めて知った」、「誰でも利用しやすい環境や制度を整備してほしい」、「現在の取組の改善や充実が必要である」などが挙げられています。

図表Ⅷ－7

| 分類                     | 件数（件） |
|------------------------|-------|
| 広報活動の工夫と充実が必要          | 20    |
| このアンケートで初めて知った         | 19    |
| 誰でも利用しやすい環境や制度を整備してほしい | 10    |
| 現状と実績を知りたい             | 5     |
| 利用者を増やすためのイベント等が必要     | 2     |
| 現在の取組の改善や充実が必要である      | 8     |
| 利用してみたい                | 4     |
| 今後の取組や展開に期待する          | 2     |
| 特にない                   | 5     |
| わからない                  | 4     |
| その他                    | 7     |

## ④ 調 査 票

# 男女共同参画に関する市民アンケート調査 へのご協力について（お願い）

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、『舞鶴市男女共同参画計画（まいプラン）（第3次）』を策定し、男女が互いに尊重しながら性別に関係なくあらゆる分野で活躍でき、自分らしくいきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざして、様々な取り組みを進めております。

令和3年度に「まいプラン(第3次)」の中間年を迎えることから、更なる施策の充実を図るための計画の見直しを予定しています。その基礎調査として、市民の皆さんのお考えや現状を調べるためのアンケート調査を実施いたします。

調査の実施にあたり、18歳以上の市民の方から無作為に対象者を選ばせていただきましたところ、あなた様のご意見をお伺いすることとなりました。

**調査対象者 市内にお住まいの18歳以上の2,000人**

つきましては、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご回答いただきました内容は、個人のプライバシーを遵守し、また、統計的に処理し、この調査の目的以外には一切使用いたしません。

令和2年8月

舞鶴市長 多々見 良三

## 【お願い】

- アンケートには宛名の本人がお答えください。
- 回答は質問ごとにあなたのお考えに近いものに○をつけてください。  
「その他」にあてはまる場合は内容を（ ）に記入してください。
- 記入後の調査票は、同封の返信用封筒でご返送ください（切手不要）。  
お名前や住所の記入は不要です。

**回答期限：令和2年8月21日(金)までに投函ください。**

【問い合わせ先】 舞鶴市 人権啓発推進課

電話 0773-66-1022

Eメール：jinken@city.maizuru.lg.jp

## 用語の説明

### ※1 育児・介護休業制度

育児や介護を行う労働者が円滑に仕事と両立できるよう配慮し、働き続けられるよう支援する制度です。平成29年の改正では、介護休業は対象家族1人につき通算93日まで、3回を上限とした分割取得が可能となりました。令和3年1月1日からは、これまで半日単位での取得だった子の看護休暇・介護休暇が、時間単位で取得できるようになります

### ※2 ドメスティック・バイオレンス（DV）

夫婦や恋人などの親密な関係にある人からふるわれる暴力のことです。被害者は女性には限定していませんが、配偶者からの暴力の被害者は、多くの場合女性です。なぐる・けるなどの身体的な暴力だけでなく、精神的暴力・性的暴力・経済的暴力・社会的暴力も指します。

### ※3 SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Social Networking Service）の略。サービスに登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことです。友人同士や、同じ趣味を持つ人などで集まり、ある程度閉ざされた世界にすることで、密接な利用者間のコミュニケーションを可能にしています。

### ※4 LGBT

下記の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われることもあります。

<性的指向（どのような人を好きになるか）>

L（Lesbian レズビアン、女性の同性愛者）、G（Gay ゲイ、男性の同性愛者）、B（Bisexual バイセクシャル、両性愛者）

<性自認（自分の性をどのように認識するか）>

T（Transgender トランスジェンダー、身体の性と心の性が一致しない人）

### ※5 ワーク・ライフ・バランス

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のことをいいます。生活の充実によって、仕事の効率・パフォーマンスが向上し、仕事がうまくいけば私生活も充実するという好循環をもたらします。

# 男女共同参画に関する市民アンケート調査票

(※)は、別紙（お願い文裏面）の用語の説明を参照してください。

## I. 男女共同参画に関する意識についておたずねします。

【問1】あなたは、次の(1)～(5)についてどのように思いますか。  
(○はそれぞれ1つ)

|   | 抵抗を感じる | 抵抗を感じない | どちらともいえない | わからない |
|---|--------|---------|-----------|-------|
| (1)「女(男)だから…」<br>「女(男)のくせに…」<br>といった言い方 | 1      | 2       | 3         | 4     |
| (2)男性が育児休暇をとる                           | 1      | 2       | 3         | 4     |
| (3)自治会長など地域の<br>役員に女性になる                | 1      | 2       | 3         | 4     |
| (4)結婚してもそれぞれ<br>の姓を名乗る                  | 1      | 2       | 3         | 4     |
| (5)「男は仕事、女は家<br>庭」といった考え方               | 1      | 2       | 3         | 4     |

【問2】あなたは、次の(1)～(9)について男女は平等になっていると思いますか。  
あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

|                         | 男性が非常に<br>優遇されている | どちらか<br>といえば男性<br>が優遇されて<br>いる | 平等である | どちらか<br>といえば女性<br>が優遇されて<br>いる | 女性が非常に<br>優遇されて<br>いる | わからない |
|-------------------------|-------------------|--------------------------------|-------|--------------------------------|-----------------------|-------|
| (1)家事や育児など<br>家庭生活      | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (2)雇用の機会や働く<br>場        | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (3)賃金や待遇                | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (4)学校教育の場               | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (5)自治会やPTA<br>などの地域活動の場 | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (6)政治の場                 | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (7)法律や制度                | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (8)社会通念・習慣・<br>しきたりなど   | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |
| (9)社会全体                 | 1                 | 2                              | 3     | 4                              | 5                     | 6     |

Ⅱ. 働く場における男女平等についておたずねします。

【問3】 企業や行政などの職場では、責任ある職務や指導的立場にある女性の比率が低い状況にあります。これについてあなたはどうお考えですか。(〇は1つ)

1. 適性のある女性はどんどん登用していくべき
2. ある程度は男女の比率を同じにするべき
3. このままでよい
4. 女性は登用しなくてよい
5. その他 ( )

【問4】 企業や行政などの職場において、管理職など責任ある職務や指導的立場にもっと女性が参画するためには、どうするのがよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 女性の教育や研修機会を充実する
2. 女性の意識改革を進める
3. 男性の意識改革を進める
4. 一定の割合で女性管理職の登用を進める
5. すべての仕事を男女がともに担うようにする
6. その他 ( )

【問5】 あなたは、男女がともに働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女が協力しながら家事・育児・介護を担う
2. 男女がともに育児休業、介護休業を取りやすくする
3. 短時間勤務や在宅勤務など多様な働き方ができるようにする
4. 子育てや介護のための離職後、職場復帰ができる制度をつくる
5. 賃金、昇進などの待遇面における男女差をなくす
6. セクシャル・ハラスメントなど職場での嫌がらせをなくす
7. 子育て・介護を支援する地域ネットワークを形成する
8. 保育所、放課後児童クラブなどの育児環境を整備する
9. 施設整備、介護保険サービスなど高齢者福祉を充実させる
10. 能力開発のための研修やセミナーを開催する
11. すでに男女がともに働きやすい環境になっている
12. その他 ( )













【問 20】女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口で配慮すべきと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. メールでの相談
2. SNS (※3) による相談
3. 電話での相談
4. 24時間相談が可能
5. 同性の相談員がいる
6. 相談窓口から、さまざまな支援につなげる
7. 匿名での相談
8. 心理カウンセラーによるカウンセリングを行う
9. 相談員が身近な公共施設などに出張し、相談を行う
10. その他 ( )

V. 子育て・教育についておたずねします。

【問 21】あなたは、子育てに関する(1)～(3)のことがらについてどのように思いますか。

《お子さんがいらっしゃらない方は「いる」と仮定してお答えください。》  
(〇はそれぞれ1つ)

|                                | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない | わからない |
|--------------------------------|------|--------------|----------------|--------|-------|
| (1)男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい    | 1    | 2            | 3              | 4      | 5     |
| (2)男女に関わらず、個性や能力、希望に応じて育てる方がよい | 1    | 2            | 3              | 4      | 5     |
| (3)子どもは、家庭で母親が育てる方がよい          | 1    | 2            | 3              | 4      | 5     |

【問 22】あなたは、学校教育の場において男女共同参画を推進するために、どのような取り組みをすればよいと思いますか。次の中から選んでください。  
(〇は3つまで)

1. 児童会・生徒会活動などの選出で会長は男子、副会長は女子というような性別役割分担意識をなくす
2. 制服は男女関係なく自由に選択できるようにする
3. 性別に関わらず、個人の能力、個性、希望を重んじた進路指導を行う
4. 教職員に対して、LGBT (※4) など多様な性のあり方に関する研修等、社会状況にあった研修を実施する
5. 校長や教頭に女性を増やしたり、教員を男女バランスよく配置したりする
6. 保護者へ男女共同参画を広報し、啓発を行う
7. その他 ( )

Ⅵ. 災害についておたずねします。

【問 23】東日本大震災や熊本地震などの教訓から、平時の防災体制や災害時の対応にも男女共同参画の視点が必要だと指摘されています。災害に備えるために、これからどのような施策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 市の防災会議、災害対策本部、防災担当に女性の委員・職員を増やす
2. 防災や災害現場で活動する女性を育成する
3. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む
4. 避難所などの運営に女性も参加できるようにする
5. 備蓄品について、女性、乳幼児、介護が必要な人、障害者などの視点を入れる
6. 女性、乳幼児、介護が必要な人、障害者などへの配慮を盛り込んだ避難所運営マニュアルを作成する
7. 日ごろからのコミュニケーション・地域のつながりを大切にする
8. 男女共同参画の視点を取り入れた防災の研修・講座を実施する
9. 日ごろから地域の男女共同参画を進める
10. その他 ( )
11. 特に必要なことはない

Ⅶ. フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）についておたずねします。

【問 24】フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）について、お聞きします。

【問24-1】

あなたは、フレアス舞鶴（舞鶴市男女共同参画センター）を知っていますか。

1. 知っている ⇒問24-2、問25、問26へ
2. 知らない ⇒問27へ

【問24-2】「1. 知っている」と答えた方のみ回答ください。  
フレアス舞鶴を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない



Ⅷ. 男女共同参画全体についておたずねします。

【問 27】あなたは、「男女共同参画社会」の実現に向けて、舞鶴市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての広報・啓発を進める
2. 子どもの頃から「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実する
3. 女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める
4. 政策決定に関わる立場に女性を積極的に登用する
5. 民間企業等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
6. 各種団体の女性のリーダーを養成する
7. ワーク・ライフ・バランス（※5）についての啓発を進める
8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など働き方を見直す
9. 子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実させる
10. 子育てや介護中でも仕事が続けられるように支援する
11. 子育てや介護で仕事を辞めた人の再就職を支援する
12. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
13. 女性の意識や能力を高める学習・研修の機会を増やす
14. 家庭や地域などに男性の参画が進むよう男性の啓発を進める
15. フレアス舞鶴（男女共同参画センター）の機能を充実させる
16. その他（）

★ご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

<男女共同参画について>

<フレアス舞鶴について>

Ⅷ. 最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

以下の質問では、個人のことについてお聞きしていますが、それぞれの分野での意識や行動の違いを把握する必要があるためにお伺いするものです。

【問 28】 あなたの性別は。

★男女共同参画や男女の平等に関する意識などを調査するため、性別をおたずねするものです。

1. 女性                      2. 男性                      3. その他

【問 29】 あなたの年齢は。(記入日の時点で)

1. 10 歳代                  2. 20 歳代                  3. 30 歳代                  4. 40 歳代  
5. 50 歳代                  6. 60 歳代                  7. 70 歳以上

【問 30】 あなたは現在結婚されていますか。(○は1つ)

1. 結婚している(内縁・事実婚を含む)  
2. 結婚していた(離別)  
3. 結婚していた(死別)  
4. 結婚したことがない

【問31】お子さんについておたずねします。

【問31-1】あなたにはお子さんがおられますか。また、何人おられますか。

1. いない ⇒問32へ  
2. 1人    3. 2人    4. 3人    5. 4人以上 ⇒問31-2へ

【問31-2】一番下のお子さんは何歳ですか。

一番下のお子さんの年齢（                      歳）

【問32】あなたの現在の家族構成はどれにあたりますか。（○は1つ）

1. ひとり暮らし                      2. 夫婦またはパートナーと2人だけ  
3. 親と子（2世代世帯）              4. 親と子と孫（3世代世帯）  
5. その他（具体的に                      ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました

{ この調査票は 8月21日（金） までに、同封の返信用封筒  
{ に入れて、切手を貼らずに無記名でご返送ください。 }

**舞鶴市 男女共同参画に関する市民アンケート調査 結果報告書**

発行：2021年3月19日

発行者：京都府立大学公共政策学部公共政策学科 窪田好男研究室

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

電話：075-703-5168